

Working Paper Series

Working Paper #14-01

河井重蔵・弥八研究会編

河井弥八日記 河井弥八手帳 一九五二年

Graduate School of International Relations

University of Shizuoka

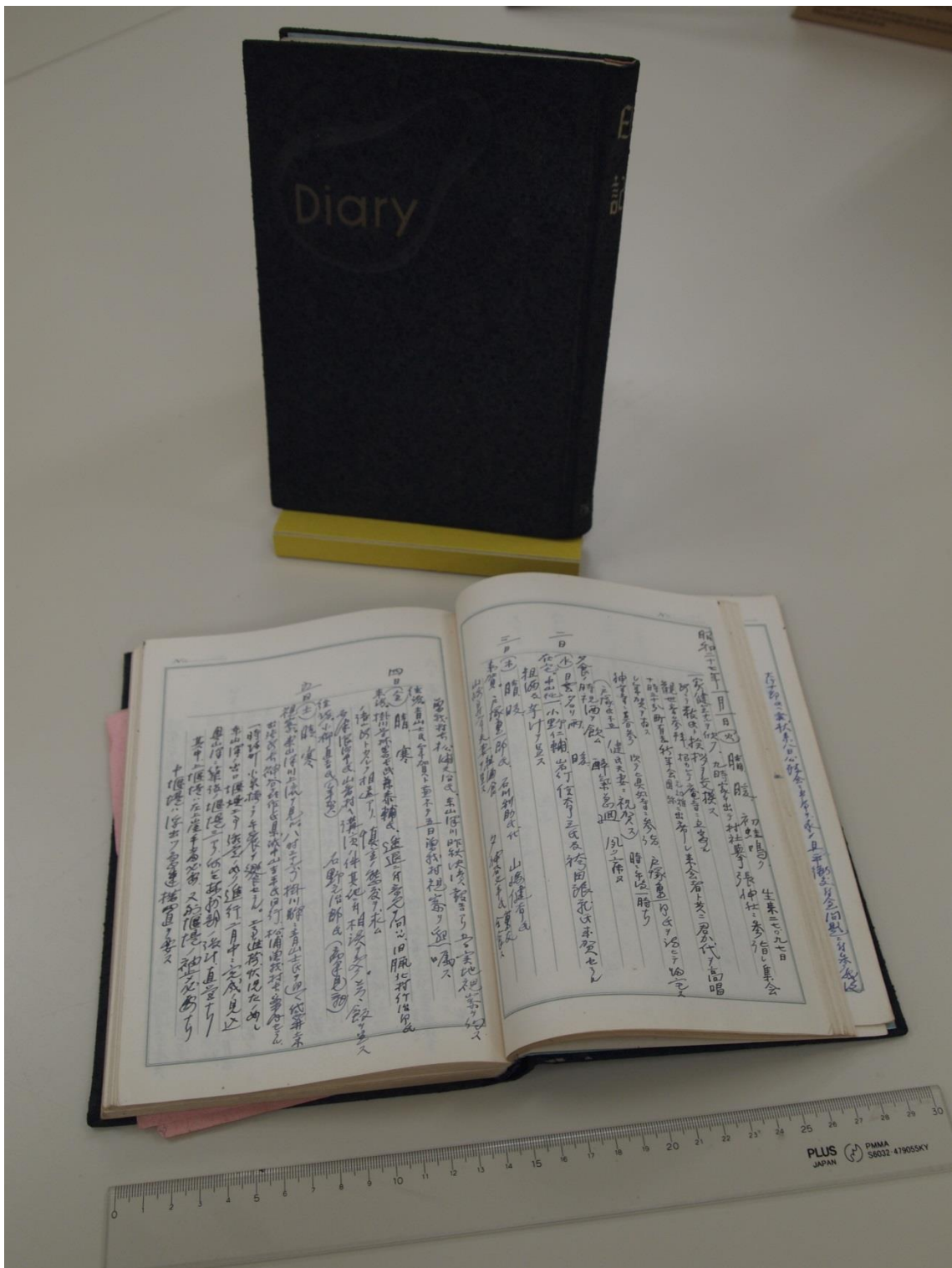
52-1, Yada, Shizuoka, JAPAN 422-8526

<http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp>

【史料復刻】

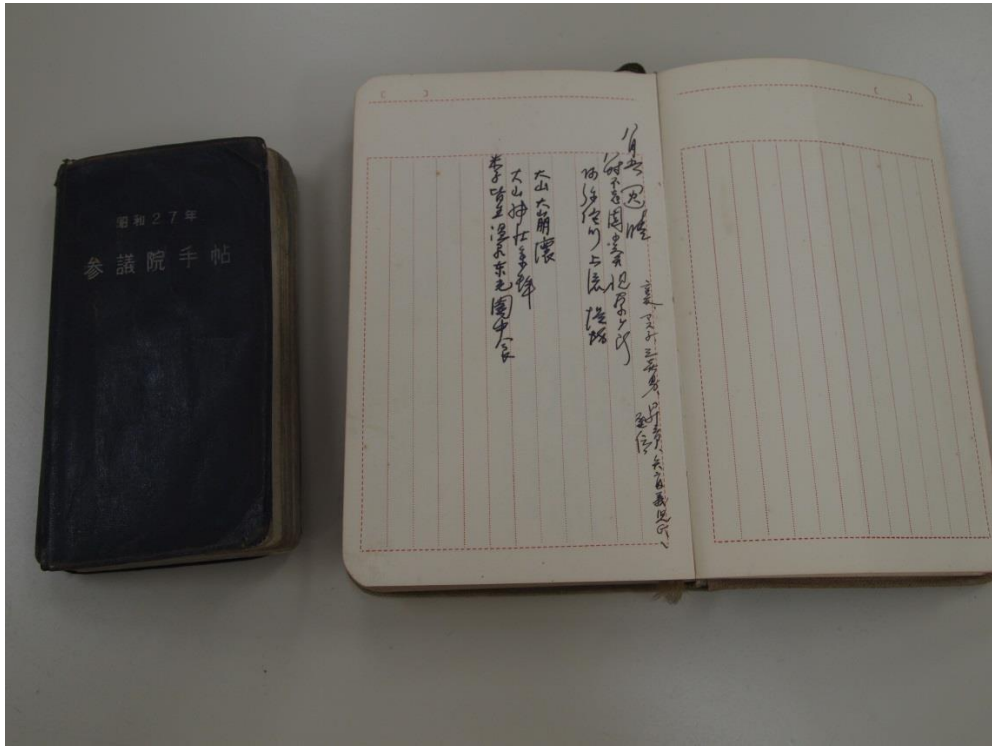
『河井弥八日記』 『河井弥八手帳』 一九五二年

前山亮吉・森山優（編） 河井重蔵・弥八研究会（校訂）



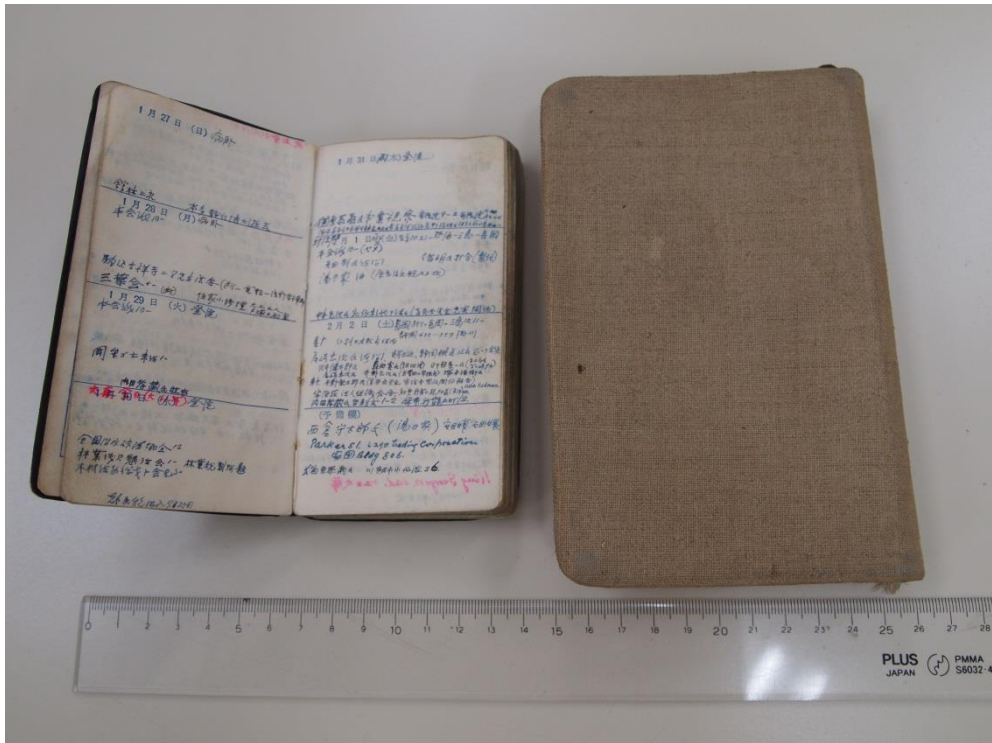
上：『河井弥八日記』（一九五一年）一月一日～一〇月二〇日分を記述

下：『河井弥八日記』（一九五二年）記述は、一九五一年一〇月二一日から一九五二年八月九日まで。開いた箇所は、一九五二年一月一日から一月五日の部分
いずれも、『昭和廿六年自由日記』博文館新社



左：『河井弥八手帳』一九五二年（『昭和27年 参议院手帖』）

右：『河井弥八日記』一九五二年 追加分（一九五二年八月五日以降が記録されていた）



左：同上

右：同上

目次

解題

『河井弥八日記』(一九五二年) 本文

『河井弥八日記』(一九五二年 追加分) 本文

『河井弥八日記』 人名録

『河井弥八手帳』(一九五二年) 覚えと住所録

『河井弥八手帳』(一九五二年) 本文

(右開きのページ数)

iii

1

108

(左開きのページ数)

1

87

1

【史料復刻】

『河井弥八日記』『河井弥八手帳』一九五二年

前山亮吉・森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）

解題

ここに復刻したのは、河井弥八の『日記』と『手帳』のうち一九五二（昭和二七）年の部分である。その一部（破壊活動防止法の審議期間）については、既に本学・大学院の『国際関係・比較文化研究』一二・一（二〇一三年九月）に復刻した。河井修氏（河井家当主）が掛川市に寄贈した膨大な史料群と調査の経緯、河井重蔵・弥八研究会に関しては、その解題に付記した。今回初めてこのワーキングペーパーを緝く読者の便宜のため、改訂のうえ、ページ以降に再録したので参照されたい。

既に復刻した僅か一八日間の記述を見ていただければ、『日記』の内容が如何に豊富であり、参議院を中心とする中央政治や静岡県の政治史のみならず、災害復旧、報徳社等さまざまな領域で一級の史料であることをご理解いただけるだろう。一九五二年は、サンフランシスコ講和条約が発効し、日本が主権を回復した、まさにその時である。六年八ヶ月に及んだ占領期が終わり新生日本が産声を上げた時期、国会ではさまざまな法案が審議されていた。戦災復興の核となった経済安定本部の廃止等の

行政整理、保安庁の設置、占領中は停止されていた軍人恩給の復活、破壊活動防止法等、河井は参議院内閣委員会委員長として戦後日本の制度を構築した各種法案の成立に尽力した。

政界では、吉田首相の率いる与党自由党に対抗する形で二月に改進黨が結党、政局は混沌としていた。日記からは、緑風会の重鎮であった河井の政党政治に対する冷静な観察が窺える。また、当該期は参議院が自民党に系列化される前であり、見方を変えれば参議院が最も自律性を発揮していた時代でもあった。そのような時代における衆議院と参議院の関係についても示唆的な記述が見受けられる点、貴重である。

当然のことだが、河井は地元政治の重鎮でもあった。折しも、静岡県選出の平岡市三参議院議員が三月二〇日に死去し、講和後初の国政選挙が静岡県で実施されることとなった。突然の死去ということもあり、立候補者の調整は難航し、自由党から前静岡県知事小林武治と大昭和製紙専務取締役の斉藤美英の二人が立候補する事態となった。ここに割って入ったのが改進黨党首就任を要請されるも固辞していた石黒忠篤である。東京生まれの農林官僚で大臣経験者でもある石黒は中央でこそ著名だったが、強固な地盤を誇る自由党の候補相手に敵地で選挙戦を戦うのは無謀である。相談を受けた河井は緑風会への入会を条件

に次回改選時にはライヴアルになる可能性もあった石黒を支持する。吉田首相とのやりとり、自由党候補二名の辞退をめぐる県内自由党有力者の取りまとめなど、きわめて興味深い。斎藤は辞退に応じたが、小林は肯んぜず（前回の知事選で党の公認を取り消されて辞退した経緯があった）、事実上の一騎打ちとなった。河井は私財を投じて選挙戦に没頭している。選挙期間中、日記は選挙関係の記述で埋め尽くされている感があるが、形勢不利な地域には自動車やトラックで梃子入れにまわるなど、その精力的な活動には驚かされる。

また、六月末に日本を襲ったダイナ台風等、災害復旧に対する河井の対応も特筆すべきである。災害が発生したと聞けば見舞状を発送し、必要とあらば足を運んで現場を確認する河井の姿勢は徹底している。八月の対馬調査の際も、山陰地方を回りながら砂防の状況を調査している。

今日まで引き継がれている問題とも言えるが、富士山頂をめぐる山梨県との係争にも多く筆を費やしている。この時期の静岡県側の動向を知る上で、興味を引かれる。

河井の基盤でもあった報徳社はもとより、県内福祉関係の記述も散見される。ボーイ・スカウト活動にも真剣に取り組んでいる姿勢が見て取れ、河井の人物を知ることができる。

この他にも様々な情報が含まれているが、微細に摘記することで読者の方々の感興を削ぐことは避け、最後に書誌的な情報と復刻にあたった研究会のことを書き添えておきたい。

河井弥八は『日記』を記すにあたり、常時携帯していた『手帳』を元に『日記』に清書していたものと推測される。一九五二（昭和二七）年の『日記』は博文館新社の『昭和廿六年 自由日記』を使い、前年一九五一年一〇月二日から記述が始まっている（仮番号 23-59）。この日記帳は冒頭にこそ一九五一年のカレンダーが印刷されているが、あとは罫線が引かれているのみであり、日付や分量は書き手の裁量に任されている自由度の高い構成となっている。このため、河井は日記帳の制限に左右されることなく、その日の出来事を記している。

残念なことに、一九五二年の『日記』は、八月九日で記述が途切れている。折しも対馬調査の途中であり、何らかの手違いがあったのかもしれない。そのため、後半の五ヶ月間の河井の行動は、『手帳』によってのみ知ることができる。研究会では、『日記』と同様、『手帳』も復刻することで、正確を期すこととした。ところが、両者の復刻作業が佳境に入った二〇一三年一〇月末の調査で、戦時期の小ぶりな日記（冒頭に、戦前期の日本の対外方針等が記されていた）のなかに、一九五二年八月一

九日までの記述があることが判明した。従来の『日記』と重複している日もあるが、ともに復刻・採録してある。なお、一日の記述に続く余白に、資源科学研究所研究員の猶原恭爾による「対馬の山地開発」（同年九月）の抜粋が筆写されているが、割愛した。

今回の復刻にあたって、研究会が特に力を注いだのは、日記に登場する多彩な人物の人名録である。地元の掛川はもとより、河井の行動が対馬にまで及んでいるため、その調査は困難を極めた。幸い、統括した清水実研究分担者の奮闘により、かなりの精度で調べをつけることができたため、特に記しておきたい。

河井重蔵・弥八研究会について

二〇〇二年、掛川市は、河井家から旧河井邸と土地、土蔵等に納められていた河井重蔵と弥八関係の膨大な旧蔵史料を譲渡された。史料の全貌を把握して河井家に報告する必要があるため、掛川市教育委員会が二〇〇三年に開始したが、新たに立ち上げられた河井家寄贈資料目録作成調査委員会による目録作成事業である。既に弥八の侍従次長時代の日記が、岩波書店から復刻されていた（一九九三―一九九四年）。これらの史料の価値については、今さら論じるレベルではないことが、当初か

ら想定された。北原勤の呼びかけに応じた地域史研究者を中心に、掛川市教育長から委嘱された一〇名ほどの調査員が、主に夏・冬・春の休みの期間（高校教員を主要メンバーとしていたため）、旧河井邸での任にあたることになる。途中、中断時期はあったが、二〇〇七年まで事業は継続された。夏は冷房がなく締め切った部屋の中で、冬は隙間風に苛まれながらという悪条件の作業だったが、一部は埃まみれとなっていた膨大な史料群との格闘が、往事を偲びつつ続けられた。

現在、確認されているだけで、史料数は四万余点にのぼる。河井重蔵と弥八の巨大な政治活動を窺わせる史料群である。まだ調査が完了していない段階だったが、北原勤が『近現代日本人物史料情報辞典3』（伊藤隆・季武嘉也編、吉川弘文館、二〇〇七）に、「河井重蔵・弥八」の項目を執筆したことで、河井家史料の存在が全国の研究者に知られることになる。その後、諸事情により、史料の閲覧が困難な状況が続いたが、旧河井邸が取り壊された跡に南郷地域生涯学習センターが建設され、敷地内に残る土蔵を改装した河井弥八記念館も二〇一二年に開館となった。現在、史料が自由に閲覧できる状態とは言えないが、教育委員会に連絡すれば、閲覧は可能である。

河井重蔵・弥八研究会は、上記の事業で調査員を務めた者達

を中心として、若干のメンバーを加え、二〇一二年に発足した。二〇一四年四月の構成は、下記の通りである(調査員経験者は*を付した)。

足立洋一郎* (静岡県立西部特別支援学校教諭 日本近代思想史)
北原勤* (元静岡県立高等学校教諭 地域史)
見城悌治 (千葉大学国際教育センター・准教授 日本史学、日本近代思想史)

小池善之 (静岡県近代史研究会事務局長 日本近代思想史)

清水実* (元静岡県立高等学校教諭 地域史)

前山亮吉 (静岡県立大学国際関係学部教授 政治学、日本政治史)

村瀬隆彦* (静岡県立掛川西高校教諭 軍事史・地域史)

森山優* (静岡県立大学国際関係学部准教授 日本史学、日本近代史)

山本誠* (静岡県立科学技術高校教諭 日本近世文学)

二〇一二年・一三年度に、静岡県立大学教員特別研究費「戦後政治と参議院 河井弥人文書を中心に」が採択され、史料調査と判読作業が開始された。調査の過程で、二〇〇七年までの史料調査では把握できなかった新史料も発見され、研究が深化しつつある。二〇一四年度は、新たに静岡県立大学教員特別研究

費「河井家文書と日本政治(河井重蔵・弥八を中心に)」として採択され、河井重蔵関係文書も加えて研究を進めている。

日記の筆耕は清水・山本・前山・北原・森山が、手帳の筆耕には樋田友直(静岡大学院人文社会科学研究所・当時)が加わっておこなった。解題は森山が執筆し、本文全体のチェックは清水・山本を中心に、研究会メンバーが実施した。

河井弥八日記

一九五二年一月一日から八月十九日

凡例（書式について）

- 1 仮名遣いは原文のままとした。
- 2 句読点は適宜補った。日記の日付同一行の天候、健康などの句読点は、原文の通りとした。
- 3 旧字は基本的に常用漢字に置き換えるが、人名は表記のままとした（正字は正字、略字は略字）。
- 4 一行に二行書いている場合（註的な意味で）は ≪ ≫ で括った。
- 5 ママ カ 「ヨゴレ」「ニジミ」などは、ルビと同様に文字の横につけた。
- 6 本文中の空白は、文字数程度の幅のかっこをとり、「空白」とした。
- 7 「総裁」を「総才」と書くなど、日記ゆえの簡略化については、分かりにくい場合は、文字の横にかっこ「」で正確な字を記載した。
- 8 アルファベット、算用数字は基本的に半角横書きとした。
- 9 抹消部分は、単なる書き間違いを除き、筆耕して抹消線を引いた。
- 10 欄外に記入されている場合は、その日付の最後に「以下欄外」として記入した。
- 11 日記は、日付が変わるごとに、空白一行を挿入した。
- 12 現在では差別的表現と受け取られる記述があるが、歴史的史料のため原文通り記載した。
- 13 プライベートな問題に関する記述については、一部復刻を見送った部分がある。

昭和二十七年一月一日(火)晴 暖 初蛙鳴ク 生来二七、〇
九七日

一家健全ナルヲ欣フ。九時家ヲ出テ村社舉張神社ニ参詣シ、集
会所ニテ数氏ト挨拶ヲ交換ス。

觀世音参拝。招カレテ庵寺ニ立寄ル。

十時三十分、町有志新年会(元幼稚園跡)ニ出席シ、来会者ト
共ニ君ガ代ヲ高唱シ年賀ヲ為ス。

神宮寺ニ暮参。次デ眞如寺ニ参詣。戸塚重一郎氏ヲ訪ヒテ帰宅
ス(戸塚氏不在。健氏夫妻ニ祝賀ス)。時ニ午後一時ナリ。

夕食ノ時、祝酒ヲ飲ム。酔氣急廻。夙ク寝ヌ。

二日(水)曇 夕ヨリ雨 暖

在宅。中山純一、小野仁輔、岩竹信太郎、三氏及袴田銀藏氏来
賀セララル。粗酒及芋汁ヲ呈ス。

三日(木)晴 暖

来賀。戸塚重一郎氏、石川利助氏代、山崎健太郎氏。

山崎昇二郎夫妻(粗酒食ヲ呈ス)。夕、神谷文平氏(重友会食
ス)。

曾我村長松浦久治氏、東山沢川、昨秋決潰報告アリ。五日実地
視察ヲ約ス。

往訪、青山士氏。年賀卜兼ネテ五日、曾我村視察ヲ懇囑ス。

四日(金)晴 寒

来訪。掛川営林署長武藤泰輔氏、進退ニ付意向ヲ問ハル。旧臘
北村竹治郎氏ノ語ル所ト少シク相違アリ。慎重ノ態度ヲ求
ム。

石津浪次郎氏、山香村へ講演ノ件、其ノ他ニ付相談ヲ受ク。と
ろゝ飯ヲ呈ス。

往訪、小柳直吉氏(年賀)。石野元治郎氏(病氣見舞)。

五日(土)晴 寒

視察。東山沢川上流ヲ見ル。八時三十分、掛川駅ニ青山士氏ヲ
迎へ、袋井土木出張所長神谷喜作氏、県議中山吉平氏同行。

松浦曾我村長案内セララル。

一時帰町。小泉楼ニテ午餐ヲ饗セララル。工事進捗状況左ノ如シ。
東山沢ノ出口堰堤工事予定ノ如ク進行。二月中ニ完成ノ見込。

奥山沢ニ築設ノ堰堤三アリ。何レモ林務部ノ設計。直営ナリ。
其中、上堰堤ハ左上崖手当必要。又副堰堤ノ袖止メ必要ナリ。

中堰堤ハ浮出ツ。急速措置ヲ要ス。

ガリノヤ既設堰堤ハ甚有効ナリ。然レドモ水叩キヲ急速ニ修理
スルヲ要ス。

ガリノ谷ハ奥山沢ノ下ノ堰堤直下ニ合スルヲ以テ、前項ノ措置
ハ奥山沢ノ下ノ堰堤ヲ保全ス。

シオリ沢沿道路工事ハ治山課ノ設計ト施工トニ依リ進行中ニシテ、三月末竣工ノ見込ナリ。然ルニ、(1)設計不当ニシテ工法乱暴ナリ、(2)山腹切取ノ土砂ハ多クハ下流ニ放出セラル。土砂扞止ノ適切ナル工事ナシ。

正法寺境内ニ築設セル混凝土堰堤ハ悉ク落成シ、効果顕著ナリ。

以上ノ如キ実情ナルヲ以テ、東山沢川下流部昨秋ノ決潰ハ、治山課施行ノ道路工事ニ因ルモノト認メラル。而シテ行政上及工事上相当ノ改善ヲ見サル限り、鉄道以北ノ弱所ハ大雨毎ニ決潰スヘキヲ疑ハス。

依テ村長ニ対シテ村ノ執ルヘキ態度ヲ告ケ、神谷所長及中山県議ニ対シテ県ノ施設是正ヲ促シ、及機構改革ノ必要ヲ警告シタリ。

午餐饗応ノ厚意ヲ謝スルモ、村ノ為メ失敗多キヲ惜ム。改善ヲ要ス。《予ト青山氏ハ弁当ヲ携行セリ。》

往訪。山崎健太郎氏。

来訪。小塩孫八氏掛川マテ来リ、電話ニテ予ノ不在ヲ知リテ帰岡セラル。果物ヲ贈ラル。

六日(日) 雨 寒冷甚シ

報徳社新年常会ヲ行フ。来会者約千名。中山、河井、神谷、河西、鈴木講演ス。又、有志坪井貞次氏、鈴木賢一氏ノ所見発

表アリ。東京ヨリ来レル田中宋太郎氏ニモ講演ヲ求メタリ。碧海郡常磐村ヨリ中嶋定吉氏ノ報徳青年三名ヲ伴ヒ来レルアリ。頗盛会ナリ。有志ノ所見発表ハ、儀礼ニ君ガ代合唱ヲ行ヒタルト共ニ、大ニ生氣ヲ与ヘタリ。鈴木氏ノ意見ニ依リ、来会者ニ自由釀金ヲ求メタルニ、千七百六十三円ヲ得タリ。五時ヨリ役員有志晚餐会アリ、出席ス。神谷、中山、小野、角皆、太田、岩竹諸氏出席ス。

来賀。朝、藤田久藏氏来賀。鏡餅ヲ贈ラル。逝去、石野元治郎氏、今晚二時、老衰病、八十五才。

七日(月) 寒冷甚シ

掛川報徳館所属各社々長会、九、三〇―四、〇〇。出席者五十名。山梨県南湖報徳社代表モ出席ス。

報徳学園女子部茶話会、三、〇〇―五、〇〇。出席者十五名。記念撮影ヲナス。

八日(火) 晴 寒

県庁出頭。内閣常任委員会専門員藤田友作氏、同調査員吉原和孝氏、来十日来県ニ付、視察ノ便宜ヲ求ムル為、民生部長数原氏、漁業課及官房公室長ヲ訪ヒ依頼ヲ為ス。

小塩孫八氏ト会見(一、三〇―二、三〇静岡経営者協会)、主タル題目ハ同胞援護会事業移管後ノ措置報告、一ノ瀬、山形

両氏病状、前知事小林氏及副知事藤原氏ノ近状等ナリ。
増田市長往訪、久能山東照宮司ニ関スル件、矢田部神社庁長ノ
斡旋ニ依リ解決セシ報告ヲナス。

静岡駅へノ帰途、徳川慶久公ト邂逅ス。公ハ市内上足洗一二ニ
住居セラルト云フ。

四時半頃掛川著。直ニ平野土建会社ニ開催セラレタル上張有志
ノ新年会ニ出席ス。会衆約二十名、内婦人三名アリ。歡ヲ尽
セリ。記念ノ撮影ヲ為ス。八時帰宅。隣人三名送來ル。

九日(水)晴 寒

在宅、読書ス。年初來読了セシハ、日本宋学史、及武者小路氏
ノ理想農村ナリ。

掛川ニ出テ斬髪ス。帰途黒田吉郎氏ヲ訪フ。不在ナリ。夫人ニ
面ス。

十日(木)晴 夜雨 暖

藤田専門員、吉原調査員ハ、一時二十分浜松著ナルヲ以テ、十
一時二十六分掛川発ニ乗り、浜松駅ニ出迎へ。終日視察ヲ共
ニス。乃左ノ如シ。

天竜荘 県衛生部予防課鈴木恒雄氏案内、天竜荘ヨリ自動車ヲ
供セラル。

聖霊保養農園 長谷川保氏ノ案内ニテ、弁天島母子寮長山形春

人氏ノ病状ヲ見舞フ。氏ハ萎縮腎ニ罹リ、回復ノ見込ナシト
云フ。病牀ニテ後事ヲ託セラル。夫人モ亦同病ニ罹リ、枕ヲ
並ヘテ平臥ス。

六時掛川著、帰宅ス。藤田氏等ハ焼津へ赴キ焼津ホテルニ泊ル。
〔以下欄外〕

国立療養所天竜荘 荘長中村健治氏、庶務課長高館義雄氏

十一日(金)晴 寒冷、

八時三十三分発ニテ焼津ニ至リ、藤田専門員等ト漁業状態、漁
港ヲ視察シ、漁業組合事務所ニ於テ業務状況ヲ調査ス。中食
ヲ饗セラレタル後、製氷会社、缶詰会社ヲ視察ス。市長清水
兵一郎氏ノ案内ナリ。尚漁業協同組合専務理事具議近藤久一
郎氏ノ配慮ヲ煩シタルコト多シ。

二時、一行ト別レ、市長ノ好意ニ依リテ自動車ニ乗り、坂部村
へ赴ク。途中中村円一郎氏訪問、氏不在。夫人ト面会シテ挨
拶シ、二時四十分頃、坂部村杉本荘一郎氏ニ投宿ス。

杉本氏方ニテ夕食ヲ饗セラル。村有志十五名來会。時局談ヲナ
ス。

坂部報徳社ニテ連合報徳集会アリ。出席ス。八時ヨリ九時半マ
テ講演ス。

杉本氏方ニテ東京村上龍太郎氏ヨリノ電報ヲ転聞ス。曰ク「十
二日、本年ノ植樹行事ニ関シ、知事ト県東京事務所ニテ打合

セヨナスニ付、出頭セヨ」トノ要領ナリ。予ノ明日ノ予定ヲ
変更シ難キヲ以テ、知事公舎ニ電話ヲ以テ之ヲ断ル。

〔以下欄外〕

焼津市長清水兵一郎氏、助役石野治録氏、県焼津漁港修築事務
所技師八木忠義氏、土木部港湾課技師藤波善郎氏、經濟部水
産課技師大内峻氏。

十二日(土) 晴 寒

来訪、寺田美佐久氏、早朝ヨリ二時半頃マテ随伴世話セラル。
川崎報徳館社長会並常会(八時四十分坂部ニテバスニ乗リ九時
出社)。榛葉良之助、杉本、寺田、東萩間社長鈴木弥四郎諸
氏等、九名出席。会場ニテ儀礼ヲ行ヒ、控室ニ復リテ社長訓
話ヲナシ、各社興隆ノ手法ヲ相談ス。榛葉氏、鈴木氏ノ熱意、
多トスヘシ。昼食後、二時散会ス。

培本塾長小田原先生来訪アリ。塾経営振興策ニ付協議ス。而シ
テ不振ノ原因ハ中心人物ナキニ由ル。依テ適當ナル人ヲ得ル
ニ於テハ一切ヲ依託スルヤヲ問ヒ、同意ヲ得タリ。乃チ予ハ
全力ヲ尽スヘキヲ約シ、金五千円ヲ寄付ス。榛葉氏ヨリ相良
町菅山ノ人戸塚実氏ヲ推薦セラル。戸塚氏ニ関シテハ小田原
氏ノ熱意、未十分ナラス。

静波ヨリ軽便鉄道ニ依リ藤枝ヲ経テ帰ル。(静波二、四八一藤
枝三、五〇一掛川)

藤田専門員、吉原調査員ハ清水ニテ海上保安庁事務ヲ視察シ、
山梨へ赴ク予定ナリ。

十三日(日) 晴 暖

上京。掛川八、三三一三島四、一二一六、三〇品川一渋谷一
七二〇宅

三島大社参拝、矢田部宮司ト会见ス。用件ハ岩崎宮司ニ対スル
神社庁長、矢田部氏ノ処措ヲ詳ニスルニ在リ。説明ヲ聴キタ
ル上、静岡市観光協会ニ対シ予ノ執リシ処置ヲ報告ス。次ニ
矢田部氏ヨリ、富士山八合目以上ノ浅間社有復帰要求ニ関ス
ル依頼ヲ受ク。午餐ヲ饗セラル。

東京宅一同無事。マス子、一昨日無事帰京セリト云フ。

十四日(月) 雨 寒冷

往訪、徳川家正公、岩崎宮司ニ関スル件ニ付キ報告ス。公ヨリ
宮司談ノ内容ヲ聴ク。

赤木氏、会館ニテ会谈ス。砂防ヨサン増額ノ件。行政セイリニ
関スル意見交換。

兵庫県梁瀬町へ講演ノ件等ナリ。

野田建設大臣、行政整理立案ニ関シ会谈ヲ申入ル。今夕、来訪
ヲ約セラル。

静岡県庁東京事務所、育英会移転ニ付挨拶ヲナス。

楠緑化会幹事ニ面シ、十二日、村上氏ト^(客)齊藤知事トノ会談内容ヲ聴取ス。

家居。静養ス。

橋本厚生大臣、遺族給与問題ニテ會議中ナルヲ以テ立話シテシ、行政セイリ方針ハ大整理断行ニ在ルヘキヲ警告ス。

十七日(木)晴 頗寒シ

来訪。野田建設大臣、夕八時過來訪ス。赤木氏ノ来駕ヲ求め、三人ニテ隔意ナキ意見ヲ交換ス。大臣八十時十分頃帰ル。

歳費受領七三、九〇一《内、歳費五七、〇〇〇、税(引)一六、

八九九》松崎運転士へ一月分手当千円ヲ支給ス。

図書三冊返還、英書二冊ヲ借入ル。降雨ノタメ洋傘ヲ買フ。七

五〇円ナリ。

不在中ノ要件ニ関シ十四五通ニ返書ヲ発ス。其中ニハ塩島主事

ニ宛テ、事務所ノ移転ヲナスヘキ指示ヲ送リタルモノアリ。

十五日(火)晴 寒

帰国。品川七、四七一小田原三、一八一六、五七掛川

二宮神社ニ参拝。小田原報徳館社長会及常会ニ出席ス。出席者

十五人。

佐々井先生ハ出席ノ予定ナリシモ、旧臘来感冒癒エサルヲ以テ

来ラス。

小倉嘉明氏遺族弔問。令息及未亡人ニ面会ス。

十六日(水)晴 頗寒シ

小笠郡町村会總會ニ出席ス。《十一時地方事務所内》出席者ハ町村長会員三十五名《代理の出席ナシ》、来賓全員三十二名ニシテ未曾有ノ盛時ナリ。会長蔦ヶ谷町長挨拶、予ハ来賓代表トシテ挨拶ヲ述へ、顧問(河井、水野、三橋、戸塚)、相談役(丸尾、赤堀、大石、中山、黒田、山崎)ノ推薦ニ対シテ水野、丸尾両氏、謝辞ヲ述フ。

次テ一同ハ富田楼ニ於ケル午餐会ニ臨ム。蔦ヶ谷会長挨拶、三橋顧問謝辞アリ。散会ニ先チ予ノ発声ニテ町村会万歳ヲ三唱ス。

山崎昇二郎ト出会ヒ、培本塾ニ推薦スヘキ石川喜三郎氏へ交渉開始ノ方法ヲ問フ。結局、山崎延吉氏ヲ煩ハスヲ以テ第一トスルニ決シ、明後十九日、予自ラ往訪スルコトトス。

四時頃、静銀平田支店長山下重兵衛氏来訪ス。書画帖揮毫ヲ求めラル。乃チ直ニ拙筆ヲ揮フ。又氏ノ希望ニ応シ、古風庵回顧録及米国民主義会訪問記ヲ貸読セシム。石罅一打ヲ贈ラレ、タオル三本ヲ呈ス。

重友ハ三時十九分發ニテ上京ス。戸塚氏ニ面会ノ為ナリ。最近健氏ノ態度円満ナラス。事業ヲ俱ニスルコト難シト云フ。

十八日(金) 晴 頗寒シ

掛川八、三〇―袋井八、五三―森―浜松―掛川〔森ヨリ帰宅マテ浜松市長ノ自動車〕

報徳報本社社長会及常会ニ出席ス。田辺元老以下百五六十名出席シ、頗盛会ナリ。新年所感ヲ述ヘテ社員ノ奮起ヲ望ム。十二時十分退出。

岩崎浜松市長訪問。北遠総会開発促進ノタメ、市長主催ノ関係市町村長会アリ。(1)佐久間ダムヲ第一期工事トスルコト、(2)佐久間線急設、(3)ダム建造ニ依ル水没鉄道区間ハ城西水窪ヘ敷設替スルコトノ三件ヲ要望スルニ決シ、本日ノ自由党大会ノ決議ヲ経タリト云フ。大会ニテ中村、金原、大野、神田諸氏ト会フ。予ハ右ニ対シ尽力スヘキヲ約ス。而シテ其方法トシテ請願書ノ提出ヲ勸メタリ。夕やつこ方ニテ晚餐会ニ招カレ出席ス。赤松市長、商工会議所事務局長山内実氏、水窪町長、山香村長、城西村長、其他総員十三四名ナリ。自動車ニテ送ラレ帰宅ス。

安城町山崎延吉氏へ電報ヲ発シ、明日十一時往訪ヲ通告ス。橋谷氏同行世話セラル。

重友滞京。

十九日(土) 晴 頗寒シ

八時三十分発ニテ、安城町ニ山崎延吉氏ヲ訪問ス。石川喜三郎

氏ニ関シ、培本塾ノ実情ヲ述ヘテ質問シ希望ス。山崎氏ハ天下第一ノ適任者ナリト答シ、極力勧誘スルヲ約セラル。又石川氏ヲ農事試験場ヨリ喚寄せ、予ニ紹介セラル。又帰宅ニ方リテハ安城駅マテ予ニ同行セシメラル。山崎氏ハ駅ヨリ石川氏ヲ喚寄せ勧誘セラルト云フ。駅ニテ列車待合中、予ハ右ノコトヲ昇二郎及小田原氏へ報告ノタメ葉書ヲ認メ投函ス。五時五十一分掛川著、帰宅。

大石廉一氏、去十七日逝去ノ由、小田原先生ヨリ通知アリ。又、野村嘉六氏、十七日逝去セシ由、新聞紙ニテ報導セラル。

橋本厚生大臣ハ遺族手当支給問題ニ関シテ、政府ノ決定ヲ容ルル能ハス辞任シ、首相ハ昨日厚生大臣ハ吉武労働大臣ノ兼任トシ、行政管理庁長官ハ木村法務総才ノ兼任トナセル由、新聞紙ニ発表アリ。

昭和二十七年年度会計ヨサン概要、発表セラル。

二十日(日) 晴 嚴寒

早朝、榛葉勇次郎氏来訪ス。三月静岡銀行退職ニ付、其後ノ職務ニ付相談ヲ受ク。中村円一郎氏往訪依頼スルヤウ勧告ス。見付報徳館新年常会ニ出席、講演ス。来会者百二十名、午後社長会ヲ開ク。

四十名計リ出席シ、有益ナル発言アリ。祝酒ヲ酌シ、三時過散会ス。

帰途、柴田家ヲ訪フ。夫人ハ東京ニ転住セリト云フ。又大夫人ハ大阪在住ト聞ク。

磯部英一氏ヲ訪ヒ、片山家ノ紛紜ヲ急速解決スルコトヲ勧告ス。

夜、山梨大学教授武藤弘氏来訪ス。静大浜松分校へ転任ノ件ニ付テナリ。

重友昨夜帰宅。戸塚重一郎氏ト会見ノ結果ニ付報告アリ。又葛ヶ谷町長ノ就職ニ付、戸塚氏ノ配慮ノ旨ヲ告ケラル。九一郎氏ノ立候補ニ付苦悩スト云フ。

敏子ハ天真会主催ノ日本楽器会社見学団ニ加ハリ、視察ヲ為ス。

二十一日(月)晴 寒 少シク感冒ノ気味アリ 入浴

朝ヨリ荷物ヲ整へ上京ノ用意ヲ為ス。敏子ニ金三万円ヲ渡し、預金セシム。

山崎延吉氏ヨリ書状到着。石川氏培本塾へ来任ヲ肯セスト云フ。已ムヲ得サルコトナリ。山崎氏へ返書ヲ送り、配慮ヲ謝シ、期限ニ付考慮ヲ求メタリ。

小倉嘉明氏夫人幾重子刀自ヨリ謝状ヲ受ク。依テ亡夫君ノタメ、追放解除ノ申請書提出ノ薦メ、軍人恩給法ニ依ル扶助料ヲ受クルコトヲ勧告シタリ。

重友ニ対シ戸塚重一郎氏ヨリ本日上京ヲ促スノ電話アリ。打合

ノ結果、明日上京スト云フ。

三時十九分電車ニテ上京ス。一同無事ナリ。

二十二日(火)晴 寒和ク

朝、塩島金一郎氏夫人来訪ス。塩島氏十二月二十九日、鼻血出テ、一月二日マテ止ラス。血圧高く、百方療養ノ結果、昨今起床スルヲ得ルニ至リシモ、育英会ノ事務ニ当ルヲ得ス。適當ナル後任者ノ選定ヲ求メラル。驚愕ニ堪へサルモ十分医療ニ努メラルルヲ希望シ、後任者ノ選定ヲ速ニスルコトヲ告ケ、ソレマテハ夫人ニ於テ氏ヲ輔ケテ処務セラレンコトヲ求メタリ。見舞金五千円ヲ呈ス。

九時半出発。赤木氏同車登院ス。十一時。

天皇陛下御親臨ノ下ニ開会式ヲ行ヒ勅語ヲ賜ヘリ。

式後、緑風会総会アリ。会務委員村上義一氏、鈴木直人氏、補欠ニ付協議シ、政府ノ施政方針演説ニ対スル代表演説等ニ付、打合セヲ行フ。

一時、林業議員懇話会ヲ開会シ、林業税制ニ対スル各種意見ニ付検討シ、民間諸団体ヨリ要望ヲ聴取ス。又林野庁当局ヨリ明年度林野予算案ニ付、説明ヲ聴取ス。更ニ木材ノ運賃軽減問題ニ付、民間ノ要望ヲ聴キタリ。結局、右案件ニ付テハ急速ニ当局ト会見スルニ決定ス。予ハ本日ハ他ノ会合ニ出席スルノ要アリ。総代席ヲ森幸太郎氏ニ譲レリ。五時新年懇親会

アリ、出席ス。席上、幸田林政部長ノ歓迎。奥原四国営林局長ニ対シ祝詞ヲ述フ。六時散会ス。

幣原平和財団創立總會ハ一時半ヨリ首相官邸ニ開カレ出席ス。

趣意書、規約書ヲ可決シ役員ヲ選定シ、自由民主、社会(右)、緑風、各代表ノ祝辞アリ。二時半散会ス。

財団法人興農学園ノ評議会ハ、三時ヨリ兜町二ノ一八田中鋳業事務所ニ開カレ出席ス。出席者ハ田中次郎氏、古里和夫氏ナリ。明年度ヨサン、本年度決算ヲ確定シ、財産ノ処分及事業計画ニ付協議シ、四時二十分散会シタリ。

内閣委員長更任ノ問題ニ付テハ、竹下氏ヨリ旧臘楠見氏ト相談ノ結果ナリトシテ、同氏就任スヘシト書信アリ。予ハ予ノ去就ハ緑風会ノ定ムル所ニ従フトノ意思表示ヲ為シタルノミナルニ依リ、竹下氏ノ申入ハ氏ノ誤解ニ基キタルモノト解シテ返書ヲ差控ヘ居タリ。本日楠見氏ヨリ会见ヲ求メラレ、旧臘竹下氏ヨリ協議ヲ受ケタル内容ヲ明ニセラレ、竹下氏ノ就任ヲ予ニ通告スルコトヲ求メラレシモ、通告セサリシ由ヲ告ケラレタリ。之ニ対シ予ハ委員長ノ地位ニ恋々タル者ニ非ス。何時ニテモ欣然離職スヘキモ、之カ決定ハ緑風会ノ内部事情ニ依リテ行ハルルヲ至当ト信スルヲ以テ、其結果ヲ俟ツノミト答ヘタリ。

此会谈ノ席ニ会マ竹下氏来合セタルヲ以テ、予ハ旧臘書信ヲ受取リタルモ、去就ニ付一切ヲ会務委員ニ任セタリト告ケ、誤

解ナキコトヲ希望シタリ。竹下氏ハ別ニ弁明ヲナサス、之ヲ了シタルモノノ如シ。事態機微ニ亘ル。一ニ会ノ決定ヲ待ツ。

昨日ハ静岡銀行東京支店ノ新築移転ノ日ナリトテ、頭取ヨリ静岡ノ産物一箱ヲ贈ラル。其中ニ鏡台一具、塗下駄^{サンダ}一足、用箋

二帖、浴後用タオル一枚アリ。感謝ニ堪ヘス。其中鏡台及塗下駄ハ葉子ニ与フ。

徳川家正公軽キ肺炎ノ由ナルニ付、夜電話シテ見舞フ。軽快ナリト云フ。

昨日、山崎延吉氏ヨリ書状ヲ受領シタルニ付、其内容ヲ小田原勇氏及山崎昇二郎へ報告スルタメ葉書ヲ認ム。昇二郎ニ対シテハ別ニ適當人ノ推薦ヲ依頼ス。

〔以下欄外〕

一古里理事ヨリ、各種種苗ノ下付ヲ林野庁ニ要請シタシトノ希望アリ。依テ氏ヲ長官ニ紹介シ、更ニ長官ニ面会シテ右ノ希望ヲ取次キ同意ヲ得タリ。

一横川長官ヨリ引佐国有林ノ下戻ニ付、各種ノ運動アリ。迷惑ストノ苦情ヲ聴ク。予ハ予テ警告セシ所ナレハ、断然タル態度ヲ堅持スルコトヲ勧告ス。

二十三日(水)晴 寒 注射 服薬(エビオス、感冒薬、頓服 共二種)

午後ヨリ少シク頭痛アリ。感冒ノ気味ナリ。依テ医務室ニテ投

薬ヲ受ケ、夜八時前就褥ス。

登院。三時ヨリ本会議アリ。出席ス。首相、安本長官、蔵相ノ演説ヲ聴ク。

図書館ニテ午前中読書ス。

岩塚源也氏来訪ス。全森連会長ニ相川勝六氏ヲ推薦ストテ、予ノ同意ヲ求メラル。考慮ヲ約ス。

全国治水砂防協会有志会ニ出席ス。新潟、兵庫両県陳情者来ル。出席者ハ赤木氏ト予ノミ。

緑風会政務調査会ニテ高瀬莊太郎氏ノ欧米視察談ヲ聴ク。

杉田専門員ト会見シ、内閣委員会ノ運営ニ付、協議ス。(1)行政機構改革ニ付、行政管理庁ト打合セノ結果ヲ聴取ス。(2)恩給

関係制度調査手續ニ付、準備ヲ依頼ス。

野村嘉六氏去十七日逝去セラル。依テ帰途弔問ス。

夜、重友来京ス。明日、戸塚重一郎氏ト会見スル為ナリ。静岡鈴木弘氏ノ令嬢ハ婿ヲ迎ラル予定ナル由、報告アリ。

二十四日(木)晴 寒 注射 服薬(エビオス及感冒薬)

往訪。朝、徳川家正公ヲ見舞フ。単純ナル肺炎ニシテ経過良好ナリト云フ。

聖堂ニ原理事ヲ訪ヒ、静岡育英会ノ為ニ謝意ヲ表ス。

日本橋本町三丁目静岡銀行東京支店ニ至リ、支店長鷺巢憲之助氏ニ面会シテ、同店ノ新築落成ヲ祝贺シ記念品ヲ贈ラレタル

ヲ謝ス。

日本銀行ニ中山均氏ヲ訪問セシニ病氣ノ為、未夕出勤セス。空シク帰ル。

登院。十一時半ヨリ林業議員懇話会ヲ開ク。大蔵省主税局調査

課長亀得正之氏、及桜井事務官ノ出席ヲ求メ、一昨日、懇話会ニテ協議セシ税制要綱ニ基キ、政府立案ノ内容ヲ問ヒ、大

ニ民意ノ採択セラレタルヲ見ル。然レトモ尚一段ノ要望ヲ提出スルノ必要アルモノト考ヘ、大蔵大臣ニ会見スルタメ、楠

常務ヲシテ両者ノ意見ノ取纏メヲ為サシメ、之ヲ会員ニ配布セシムルコトトス。昼食ヲ共ニシテ散会ス。出席者ハ、金原、

井出、竹下、河井、楠、倉田、永田諸氏ノ外、林野庁幸田林政部長、丹羽経済課長ナリ。

御殿場、勝又春一氏ヨリ、本年東大林学科卒業ノ江藤素彦氏ノ就職ニ付、依頼アリ。履歴書ヲ幸田林政部長ニ呈シテ採用ヲ

依頼ス。

諸米献上ノ為、藤野議員及梅崎哲一氏同乗。宮内庁侍従職ニ出頭シ三谷侍従長、稲田侍従次長ヲ訪ヒ、実物及説明書ヲ呈出

シテ奉獻ノ手續ヲ了ス。感冒未癒エス。三時帰宅。直チニ就褥ス。

二十五日(金)晴 寒 服薬

感冒、殆平癒セシモ、気分晴朗ナラス。四時帰宅。夙ク寝ヌ。

食欲不振ナリ。

登院。本会議ニ出席ス。羽生三七氏、一松政二氏ノ質問演説アリ。

来訪。伊藤敏氏、氏ノ需ニ応シ、中山寿彦氏ニ乞ヒテ氏ヲ東大

外科〔空白〕博士ニ紹介ス。

中野智蔵氏信用組合制ヲ改廃シテ公益質屋ヲ開業スル由、報告アリ。

二十六日(土) 晴、厳寒 食欲不振 Edios服用

本会議ニ出席ス。岡本愛祐氏、吉川末次郎氏、演説質疑ヲ為ス。

緑風会政務調査会(一時)ニテ、厚生省田島事務官ヨリ軍人遺

家族援護問題ニ付、説明ヲ聴ク。

夕食後、応接室ニテ興三、新購ノ各種音楽レコードヲ聴ク。甚

怡シ。

二十七日(日) 晴 厳寒

腸感冒ト自診。腹痛アリ。下痢、朝二回。夜、連続三回あり。

コレハシブルノミ。終日臥床。食餌二回。(朝十時パン、卵

二、味噌汁、夕七時パン、麦粥、刺身)。服薬チャーコール

一回、ダイヤジン二回(六箇 3gm 二箇 1gm) エビオス二回。入

浴、懐炉施用。

昼夜、随時睡眠。気分平静ナリ。

来訪。鈴木洋子、石間督也(一泊ス)。総テ面会セス。

館林、佐賀ヨリ来著。飛行機、五時半来宅。

二十八日(月) 晴 厳寒

終日病臥。本会議ニ欠席ス。下痢止ム。食餌二回(朝十時パン、

卵二、味噌汁、夕七時麦粥、パン、煮魚、牛乳)。服薬エビ

オス二回、懐炉施用。

本会議アリタルモ欠席ス。又五時、三葉会開会セラレシモ欠席ス。

大洞院浅野哲禅老師ヨリ本日吉祥寺ヲ案内セラレタルモ、其詳

細ハ同寺ヨリ直接ニ通知アルヘシトノコトニテ、何等ノ通知

ニ接セス。而シテ同寺ニ照会セントセシモ電話ノ便ナシ。加

之、病臥中ニテ他出シ難キヲ以テ、同寺浅野師宛電報ヲ以テ

不参ノ旨ヲ告知ス。戸塚重一郎氏ノ好意ニ依リ、大工三人ヲ

遣サレ、家屋小破箇所ノ修理ヲ為ス(重友ノ申入ニ依ルモ

ノナリ)。

二十九日(火) 朝晴 午後小雨 冷 Edios服用 入浴

昨夜来、心身共ニ順調トナル。今朝起床セシニ、腰痛アリシノ

ミニテ他ニ格別ノコトナシ。依テ登院、本会議ニ出席ス。疲

勞ナシ。下痢ナシ。

食餌ハ三回。朝、粥、卵。昼、蕎麦一杯。夕、パン、牛乳。晩、

粥、味噌汁、刺身。

岡正路氏来院、面会ス。発電会社ニ顧問弁護士タランコトヲ求メラル。食堂ニテ昼食ヲ共ニス。又、杉田専門員ヲ紹介ス。木村法務総裁ト会見シ、行政セイリニ関シ意見ヲ交換センコトヲ申入ル。明日三時ヲ約ス。野田建設大臣ト会見シ、右件ニ付所見ヲ求ム。

経済調査庁監査部長木村武氏来院。会见ス。今後ノ行政監査方式ニ付、意見ヲ聴ク。

三十日(水) 晴 寒和ク Epiios服用、
十時登院。内閣常任委員会室ニテ執務ス。

農林省畜産局生産課長神尾正夫技官来訪シ、明日ノ猶原恭爾氏ノ事業視察同行ニ付、打合セヲ為ス。長谷川局長支障ノ為、代理同行スト云フ。特別調達庁次長「空 白」官房長「空 白」氏来訪、講和条約発効後ニ於ケル米派遣軍ノ為、必要ナル調達業務遂行ノ為、改組後ノ性格ニ付説明ス。又、明年度警察予備隊大拡張ニ伴フ建設及備品充実業務執行ノ為、改組後ノ所属ニ付説明ヲ為ス。

正午、治水砂防協会有志会ニ至リ、昼食ス。出席者ハ次田、赤木両氏ナリ。

一時、林業議員懇話会ヲ開キ、去二十四日ノ懇話会ニ於テ、大蔵省主税局調査課長亀徳事務官ヨリ聴取シタル林業税制ノ

内容ニ付検討シ、各員ノ意見ヲ集メ、尚中央林業懇話会々長小林準一郎氏ノ要望ヲ聴キ、其結論ヲ大蔵大臣ニ具陳スルコトトセリ。又、小林氏ヨリハ木材引取税廃止ニ関スル意見ヲモ發表シアリ。出席者ハ岡本、徳川、竹下、赤木、大矢、田村、千賀、金原、高橋(権六)各議員、横川林野庁長官、幸田林政部長、丹羽経済課長、東辻事務官、坂本事務官、(地)方自治庁事務官佐々木喜久治氏等ナリ。永田教授、倉田専門員、楠常務モ出席。予ハ三時、法務総才ト会見ノ為、席ヲ千賀議員ニ譲リ中途退席ス。

三時、東大林学部学生江藤素彦氏来院面会ス。林野庁奉職志願ニ関シ指示ヲ与フ。

三時、法務府ニ木村総裁ヲ訪問シ、行政機構改正ニ関スル根本問題ニ付、意見ヲ交換ス。四時退出ス。

議員会館ニ赤木氏ヲ訪ヒ、右会談ノ要領ヲ報告シタル上、同車帰宅ス。

夕、伊林初次郎氏来訪。夕食ヲ共ニシ、一泊ス。

マス子、本日淡島郵便局ニ至リ、二十六年中ノ恩給受領願ノ計算ヲ受ク。又、第四期分都民税七、三三〇円ヲ納税ス。

三十一日(木) 雨 冷 Epiios服用

八時半出発、伊林氏同車、四谷駅ニ片柳眞吉氏ヲ迎へ、九時参議院ニ著。伊林氏ト別レ、神尾畜産局生産課長ヲ同乗セシメ、

赤木氏ヲ議員会館ニ誘ヒ、入間郡古谷村ニ向フ。途中浦和ニテ埼玉県庁畜産課技師藤野徳雄氏一行ニ迎ヘラレ、其先導ニテ、十時半、古谷村役場著。指示ニ依リ荒川新堤沿ニ猶原恭爾氏ヲ訪問ス。

猶原氏ニ就キ、乳牛導入新農村経営方法ノ説明ヲ聴ク。十二時同村ノ中学校ニ案内セラレ、同村酪農協組合長萩嶋西三氏、外十数氏ト会见シ、経営者側ノ要望ヲ聴ク。十二時五十五分辞去。二時、参議院会館ニ還ル。

参議院ニテ明一日、本会議ナキ由ヲ聴キ、明日ノ委員会ヲ延期スルニ決シ、内閣委員室ニ杉田、藤田、両専門員ト会见シテ行政セイリニ関スル重要事項ノ調査ヲ依頼ス。

藤田地方自治政務次官ヨリ故大石廉一氏ニ贈位ノ件ハ内定ノ由ヲ聞キ、直ニ依頼者榛原地方事務所長鈴木章夫氏へ書状ヲ発ス。

会計課ニ至リ、二十六年年度中ノ所得税届出書ノ作成ヲ依頼ス。山崎昇二郎ニ対シ、培本塾長後継者内定ノ旨ヲ報シ将来ノ援助ヲ求ム。

二月一日(金) 雪 厳寒 服薬 入浴二回

長岡温泉へ赴ク。数日来、健康ノ違和ト本日ノ厳寒ニ促サレタルニ由ル。十時発急行列車ニ乗り遅レ、十時二十分発熱海行ニ乗ル。終駅ニテ米原行ニ乗換ヘ三島ニ下車ス。

矢田部氏ヲ訪フ。大社出勤ノ矢田部氏ト電話、(1)来四日追儼式出席ヲ断ル。(2)富士山頂所屬問題ニ付、浅間神社側ノ決意ヲ問ヒ、法律の見解ヲ質ス。矢田部氏ヨリ滝川博士ノ法律論ヲ送来ル。

次ニ緒明太郎氏ニ電話ヲ以テ塩島主事ノ病状及主事改任ノ必要ヲ告ケ、適任者ノ推薦ヲ依頼ス。尚当分、塩島氏執務スルコトヲ告ク。

三時十八分電車ニテ長岡ニ至リ、四時前湯の家ニ投ス。渡辺寮長不在(伊東へ赴ナリト云フ)。親切ナル待遇ヲ受ク。特ニ石倉守太郎氏ヨリ電気 Vibrator ニ依ル手当ヲ受ク。強風窓ヲ動カシ寒氣凜然タリ。富士山頂境内地還付ニ関スル意見書ヲ検討ス。九時就床。

二日(土) 晴 強風 厳寒

胃幽門ノ辺ニ異物ヲ感ス。又、昨夜ノ電気療器ニ依リ、左手ニ麻痺アルヲ発見ス。何レモ検診ヲ要ス。

八時五十五分バスニ乗り、長岡駅ヲ経テ三島駅ニ出ツ。十時十分発熊本行急行ニ乗り、十一時十分静岡ニ著ス。車中武者小路公共氏、加藤辰弥氏、英人三名ト興津坐漁莊財団創立会へ赴クニ邂逅ス。武者小路氏ヨリ興津へ誘ハレトモ之ヲ断ル。又、松平恒雄氏ノ伝記編纂ニ付相談ヲ受ク。

駅ニテ尾崎忠次氏外両氏ノ出迎ヲ受ケ、静鉄本社ニ同行シ川井

健太郎氏ニモ面談ス。用件ハBoy Scout 静岡県連盟長ニ就任スルニ付、事業ノ性質、内容、経費等ニ付、説明ヲ聴取スル為ナリ。出席者ハCommissioner 尾崎忠次、理事長川井氏、理事森田実氏、日下部養一氏《兼事務局長》井野包次氏、塚本孫衛氏ナリ。四時会谈ヲ了リ、四時三十七分發ニテ掛川ニ返ル。

車中、平野繁太郎氏、水野代議士ト同車ス。平野氏ヨリ育英会資金造成ノ件、及学習院寄宿舎買収問題ノ経緯ニ付報告アリ。

十二時、県庁ニ新任土木部長仁科太郎氏ヲ訪ヒ挨拶ス。氏ハ東京へ出發ノ際ニテ自動車ヲ駐メテ談話セリ。

三日(日)曇 寒冷 出社 上京(掛川三、一九一七、四五品川)

心身軽快ナラス。九時出社。直ニ二月常会ニ出席シテ一時間余ニ亘リテ講演ス。中山常務、小野仁輔氏等来ラス。鷺山先生モ亦来ラス。

神谷、中山両氏宛書状ヲ遣シ、左ノ三点ヲ協議ス。

(1) 佐々井理事ノ退任ヲ乞ヒ、小野氏ヲ補任スルコト。(2) 参事改選ニ付、適任者ヲ選スルコト。(3) 培本塾援助ノタメ本社ヨリ指導講師派遣ノ案ヲ立テ、之カ当否ニ付、意見ヲ求ムルコト。

石川喜三郎氏、安城ヨリ来社セラル。山崎昇二郎ト共ニ会见ス。

予ハ培本塾振興計画ヲ述へ、山崎延吉氏ヲ通シテ石川氏ヲ懇請シタル事情ヲ明ニシ、将来再ヒ来任ヲ乞フコトアルヘシト告ク。石川氏モ相当ニ理解ヲ深クセラレタルカ如ク、強ヒテ固辞セス。氏ハ予ニ対シ報徳農村指導ノ根本義ヲ問フ。洵ニ適切ナル質問ナリ。予ノ答ハ、亦氏ノ満足セシモノノ如シ。更ニ氏ハ帰西ノ列車時刻マテ三時間有余ヲ利シテ近郊農村ヲ視察シタシト申出ツ。依テ神谷副社長ト相談ノ上、松浦助手ヲ喚ヒ松浦清^カ三郎氏方ニ案内スルコトトシ、自転車ニテ出發ス。神谷、松浦両氏同行ス。

中嶋定吉氏、愛知県常磐村ヨリ来訪ス。同車、東京へ赴カント云ウ。依テ其目的ヲ問ヒシニ、小笠原三九郎氏ヲ訪フト答フ。予ハ予告ナクシテ訪問スルノ無謀ナルヲ告ケシニ、浜松市海老塚町倉橋留吉氏ニ至リ、予ノ電報ヲ俟チテ明夜行ニテ上京セント云フ。予ハ今夜帰京、直ニ小笠原氏ノ都合ヲ電話ニテ問ヒ、明朝電知スルコトヲ約束シタレハナリ。

中嶋氏ノ為ニ乗車時刻迫リシモ三時十九分發ニテ上京ス。東萩間社長鈴木弥四郎氏、外一名来社。同地砂防堰堤新造ノコトヲ陳情ス。(追記)

四日(月)曇 夜小雪 厳寒 入浴 Ebi-os服用、登院。本会議ニ出席ス。緊急質問四件ナリ。何レモ非緊急ナリ。

午後二時ヨリ四時マテ図書館ニ於テ読書ス。

木下辰雄氏夫人逝去。本日告別式ニ付往弔ス。

村上運輸大臣主宰、日米行政協定交渉ノ説明ヲ聴クノ会ニ出席

ス。コレハ緑風会首脳者^カニ対スル政府側ノ説明会ナリ。五時

白金般若苑ニ集会ス。緑風会側出席者ハ、徳川、伊達、赤木、

前田、高瀬、楠見、杉山、西郷、梅原、河井ニシテ、政府側

ハ、村上、岡崎、池田、木村、保利ナリ。岡崎、池田、木村

各大臣ヨリ説明アリ。晚餐ヲ饗セラル。

泰治来泊ス。

五日(火) 晴 嚴寒、Edios服用

登院ノ途、内田孝藏氏ノ逝去ヲ弔問ス。焼香ノ後、夫人ト面シ

悼辞ヲ述フ。

外務省勤務古田駒次氏来訪、面談ス。希望ニ依リ氏ヲ南江治郎

氏《日本放送協会理事》ニ紹介ス。

佐藤議長ヲ訪問セシニ不在ナリ。依テ近藤事務総長ニ面会シテ

武者小路氏ト会見ノ結果ヲ告ケ、松平議長ノ伝記編纂発起ノ

コトヲ依頼ス。

一時、林業議員懇話会ヲ開会ス。去月三十日ノ決定ニ基キ、林

業税軽減取扱方ニ付、国税庁長官ヲ訪問セラレタル金原代議

士(《竹下、岡本両議員同行》)ヨリ報告ヲ聴取ス。次テ山形、

岩手、静岡、三重、愛知、神奈川等代表、及日本林業懇話会

々長(小林準一郎氏)等ヨリ税制ニ対スル希望意見ヲ聴キ、議員側ヨリ質疑ヲ行ヒ、了テ将来更ニ適正ナル結果ヲ得ルニ努ムヘキヲ告ク。次ニ二十六年度用材薪炭資源ノ需給報告アリ。又、二十七年年度ノ見込量ヲ聴取ス。

右ニ関シ、予ハ広島、山口両県下視察ノ感想トシテ、森林ノ荒廃斯克マテニ酷シキニ至レル現状ニ対処スル為ニハ、砂防施設ノ徹底ヲ計ルハ勿論、森林造成ハ企業的意思ヲ離レテ、国土保全的^マ観点ヨリナスヘシトノ意見ヲ発表ス。

本期国会ニ提案サルヘキ法案ノ説明ニ関シテハ、之ヲ他日ニ譲

リテ散会ス。

野田建設大臣ノ招キニ応シ、赤木氏ト共ニ官舎ニ至リ、四時半ヨリ会見ス。大臣ヨリ行政機構改正要綱ニ付内示アリ。予等

ハ之ニ対シ率直ナル意見ヲ開陳ス。六時過辞去ス。

館林ハ今朝八時、羽田発飛行機ニテ帰任ス。八時頃無事到着ノ

旨、電報アリ。

参議院会計課ニテ二十六年所得最終申告書作成、受付セラル。

泰治ハ本日講演ヲ為シ、帰来シテ夕食ヲ共ニス。十一時半東京

発ニテ大阪へ帰ル。誠ニ金千円ヲ贈ル。

朝比奈貞一、夜十時過來泊ス。就床後ナルヲ以テ面会セス。霜

ノ研究ヲ為ス為ナリト云フ。

六日(水) 晴 嚴寒《气温最低》 服薬

本会議ニ出席ス。首相ニ対スル緊急質問四人アリ。曾祢、棚橋
両氏ノ演説ヲ聴キシノミ。

全国治水砂防協会有志会ニ至リ昼食ス。赤木、次田両氏出席ス。

青森県有志十数人來訪シテ陳情ヲ為ス。

一時、内閣委員会ヲ開ク。先ツ新任委員ノ紹介ヲ行ヒ、(1)理事
ノ互選(委員長指名ノ議決ニ基キ鈴木直人氏、山本末治氏
ヲ指名ス。)(2)皇室經濟法改正案、皇室經濟法施行法改正案
(予備審査)、(3)恩給制度ニ關スル調査承認要求ノ件ヲ上程、
一時四五分散会ス。

二時、緑風会政務調査会ニ於テ、三橋恩給局長ヨリ軍人恩給法
ノ取扱ニ關スル説明ヲ聴取ス。「空 白」松本勝太郎氏
來院会见ス。

七日(木)曇《夜雪》嚴寒 服薬

六時、ラジオニテ英国皇帝George VI陛下、昨日俄ニ崩御ノ由ヲ
聞ク。驚悼ニ堪ヘス。

九時二十分、会館ニ赤木氏ヲ訪ヒ同車。建設省砂防課ニ出頭シ、
静岡県砂防事業費二十七年査定会ニ臨ム。県原案ニハ狩野
川支流筏場川ノ砂防ヲ欠クヲ以テ、之カ実現ヲ赤木氏ト共ニ
強調ス。又、木村課長及木村技官ニ対シテ、一連ノ工事力完
成スルマテハ中途廃止ノ不可ヲ進言ス。県河川課長ハ未曾テ
筏場川ヲ視察シタルコトナシト云フ。粗慢怖ルヘシ。

県課長ニ東萩間八十原地内堰堤施工如何ヲ問ヒシニ、実行ヲ約
ス《浦上技師立会フ》。

十時登院、建設委員会ヲ傍聴ス。赤木氏ヨリ目黒河川局長ニ対
シテ、筏場川砂防実行ノ方針ヲ質シ肯定的答ヲ得タリ。予ハ
之カヨサン措置トシテ特ニ考慮アラントヲ要求シ、同意ヲ
得タリ。

一時、矢田部盛枝氏來院。富士山本宮淺間神社宮司佐藤東氏、
外三名ヲ同伴ス。佐藤氏ヨリ富士山八合目以上ヲ神社へ還付
要求ノ理由ニ付キ説明ヲ聴キ、大蔵大臣ニ取次クコトヲ約
ス。ソレヨリ高瀬莊太郎氏ト打合セ、大蔵大臣ニ会见ヲ求ム。
大臣ハ緑風会室ニ來リ、兩名ニテ要請ヲ為ス。大臣ハ事実ヲ
調査シタル上、処理スル旨ヲ答フ。

一時ヨリ政務調査会アリ。健康保険当面ノ諸問題ニ付、説明ヲ
聴ク。

二時ヨリ吉武厚相ノ戦死者遺家族、及障害者援護措置ニ關スル
説明ヲ聴ク。

朝、Patker Pen販売店ニ至リ、破損取替ノ要求ヲナス。部分品
ナキヲ以テ待ツコトナル。

夜、徳川公ヨリ電話アリ。久能山宮司岩崎氏ニ關スル觀光協会
ノ不満足事、静岡新聞ニ登載アリト告ケラル。右ハ矢田部宮
司ヨリモ報告アリ。依テ速ニ岩崎宮司ヲ喚ヒテ真相ヲ訊シ、
直ニ誤解ヲ消除スルコトヲ勸メ、若シ徹底セサルニ於テハ、

断然タル処置ニ出ツルモ亦已ムヲ得サルヘシ、ト告ケタルコトヲ公爵ニ報告シタリ。公ハ来週ヨリ伊東へ転地セラルルニ付、右件処理ニ関シテ予ノ意見ヲ求メラレタルナリ。本日ハ左記へ書状ヲ発ス。

太田民次郎氏夫人及小笠郡農協連婦人有志、皇居洒掃ニ関スル件、小田原勇氏、培本塾ハ榛原高校へ吸収ストノ新聞記事取消ノ件、山崎昇二郎、右件新聞記事切抜ヲ贈ラレタルニ付、返事。

矢田部守枝氏、大蔵大臣ト会見ノ報告、岩崎宮司ニ関スル徳川公ノ電話ノ件。

佐藤東氏、《富士本宮浅間神社宮司》大蔵大臣ト会見ノ報告。竹中節雄氏、徳山村桃沢砂防第二期工事続行ノ返答。

鈴木弥四郎氏、東萩間八十原地内砂防堰堤施工確定ノ報告。齋藤静岡県知事、(1)浜松市競馬場位置選定ノ件、(2)筏場川砂防工事二十七年施行要望、(3)腹スリ道路工事不当施行ニ対スル警告。

八日(金) 半晴 寒 服薬 入浴

登院。内閣常任委員室ニテ執務ス。

来院氏 《池新田町長》、丸尾県議、比木朝比奈両村長。朝比奈川ヲ中小河川ニ編入方、建設省へ陳情ノ為ナリ。本件ハ昨日院内ニテ目黒河川局長ニ要請シ、宮本町長ノ書状ヲ局長ニ呈

シタルモ、尚河川局ニ出頭ス。局長次長共ニ不在ナリ。県河川課長四氏ヲ誘導シテ担当官ヲ訪問ス。予ハ同行セス。

都田村長齋藤太郎氏、都田川改修工事続行陳情ノ為ナリ。目黒局長宛紹介名刺ヲ渡ス。

二時、青松寺ニ於ケル故本田静六博士ノ告別式ニ至リ、礼拝焼香ス。《赤木氏、岡本氏》同行。

二時半、神社庁ニ理事長鷹司信輔公ヲ訪フ。岡本愛祐氏同行ス。岡本氏ノ為ニ参議院立候補ニ関シ依頼ヲナス。富岡盛彦氏

《深川富岡八幡宮宮司》同席ス。

四時半、会館No32ニテ野田建設大臣ノ来訪ヲ受ク。赤木氏ト共ニ会談ス《行政セイリ案ニ付テナリ、会見約四十分》。

九日(土) 曇 寒和ク Epiios服用

登院。館哲二氏ヲ訪ヒ、同氏緑風会入会ニ付、打合セヲ為ス。松本勝太郎氏来院面会ス。会館三二号ヲ提供シ、用務ニ便ナラシム。食堂竹葉方ニテ鰻ヲ饗セラル。

木村法務総才ヲ大臣室ニ訪ヒ、行政セイリニ関シ、来十二日三時会谈ヲ約ス。

三越ニ至リ、Semi soft Collar半打、折Collar一本、Pen入シース、懐炉等ヲ求ム。Shoulder bagヲ求メントセシニ適当ノモノナシ。

歳費ノ支払ヲ受ク。《行右側注記：八七、五〇一(内歳費五七

〇〇〇税(引)一六八九九)≧秘書給料ハマス子ニ渡ス。松崎運転手ニ手当千円ヲ呈ス。

内閣委員会ニテ執務ス。吉原調査員ニ依頼シ、山口県知事ヨリ贈ラレタルAlbumニ県砂防課長ノ撮影贈与セラレタル写真十二葉ノ貼付ヲ依頼ス。

十日(日)曇 小雨アリ 寒 Epidios服用 入浴

八時半出發。鵜沼ニ木村遍氏ヲ訪フ。氏及夫人、健在ナリ。予ヲ迎ヘテ大ニ歓ハル。予モ亦歓喜ニ堪ヘス。京都産ノ玉露茶一缶、及昨日八木夫人ヨリ贈ラレタル苺二箱ヲ呈ス。天婦羅并飯ヲ饗セラル。旧話尽クル所ナキモ一時退出ス。

藤沢大船ヲ経テ逗子ニ下車シ、字披露山^{ヒロヤマ}ニ尾崎老先生ヲ見舞フ。行輝氏ニ面会ス。親族両三氏在リ。隣室ニ臥床セル老先生ハ、痰ノからみタルカ如ク頻リニ大声ヲ発セリ。元氣衰ヘサルカ如ク感シタリ。要スルニ病氣ニ罹レルニ非ス。老衰セリト云フヘシ。故ニ食餌進ミ氣候回復セハ健康ヲ復スヘシ。切ニ全快ヲ祈リテ辞去ス。逗子駅ヨリ距離ニ^三坂路泥濘甚シ。

京浜電車逗子駅ヨリ横浜ヲ經由シ品川ニ還リ、省線ニ依リ六時帰宅ス。

朝比奈ヲ訪ハントシタルモ億劫ヲ感シ、且帰宅ノ時、遅ルルヲ欲セス、其俣帰ル。

今夕ヨリ新ナルSuntory Whiskyヲ飲用ス。

十一日(月)晴 寒 Epidios服用

登院。議員会館ニテ執務ス。徳川宗敬氏ヲ其室ニ訪フ。

緑風会室ニテ館哲二氏ト会见シ、同氏入会ニ関シ打合せヲ為ス。

淡島郵便局ヨリ恩給「空白」(税引)ヲ受ク(マス子取扱)。

又、二六年度所得税五六、九六二円ヲ納入スルタメ淡島局ヘ持参セシメシニ、納入用紙ナシトテ果サス。

東京瓦斯会社ニ、育英会資産タル株式ノ配当ニ対スル所得税免除申請手續ヲ依頼ス。然ルニ抄本ナシトテ不備ヲ指摘セラレ。抄本ハ近日提出スルコトヲ約シ、依頼書ハ株式係ニ預ケテ帰ル。

日本橋榛原方ニ至リ、封筒大小二種ヲ求ム。代大三〇〇円、小六〇円ナリ。新橋マテ徒歩。好奇ノ眼ヲ怡ハシメツ、帰ル。

(新橋ヨリ電車)

夕、徳川家ヨリ電話アリ。山形春人氏ノ訃ヲ報セラル新聞ヲ見シニ広告アリ。依テ弔書ヲ長谷川保氏ニ呈ス。又、深澤鑛二氏ニ会葬ヲ頼ミ、必要アラハ弔詞奉呈ヲ託ス。

徳川家正公、本日伊東ヘ転地セラル。昨日ノ発状到著。静岡觀光協会ヨリ岩崎宮司ノ態度、改マルコト少キヲ懇ヘ、来十七

日ノ大祭ニ当リ会見ヲ申込ムノ書状ヲ同封セラル。依テ右書状ヲ矢田部氏ニ送付ス。

右二件ニ関シ徳川公へ發状ス。(一ハ挨拶、一ハ報告ナリ)

一ノ瀨康一氏夫人へ書状ヲ認メ、一ノ瀨氏ノ病氣ヲ見舞フ。

育英会主事塩島氏へ發状。東京瓦斯会社へ書面提出ノコトヲ報告ス。

十二日(火)曇 寒和ク 服薬

登院。内閣委員室ニテ執務ス。行政機構改革ニ関シ取調ヲ為ス。

十時、榛葉良之助氏来院ス。培本塾ノ経営ニ関シ、小田原塾長

ノ方針ヲ貫徹スルタメ努力スル趣旨ヲ説明ス。予ハ去七日、

小田原塾長へ發状シタル趣旨ヲ告ケ、且静岡新聞ノ切抜ヲ渡

シ、此際誤解ヲ一掃スル方法ヲ執ルコトヲ勧告ス。次ニ新方

針徹底ノ為、評議員会理事会ノ開催ヲ求メ、又報徳社ニ対シ

テ講師差遣ヲ要ムルタメ、小田原氏、榛葉氏ノ来社ヲ勧ム。

同成会員那覇市長當間重民氏逝去ノ由、三浦安藏氏宛電報あ

リ。依テ弔電ヲ呈シ、且三浦氏ニ託シテ会員ニ対シテ訃報ヲ

發ス。

四時、法務府ニ木村総裁ヲ訪問シ、本日ノ新聞紙ノ記事ヲ示シ

機構改革案(未定稿)トノ異同ヲ問フ。総才ヨリ種々説明ヲ

聴ク。予ハ砂防局設置ノ意見書ヲ呈シ、国土省建設ノ中核ト

シテ実現スルヤウ力説ス。

午前中、赤木氏ト会見ス。氏ノ起草セル砂防局ヲ国土省内ニ設

置スル意見書ヲ受取り、之ヲ政府ニ提出スルコトトス。而シ

テ明日、機構改革ニ関スル首相主催ノ閣僚会ニ提出スルタメ

赤木氏ハ古島一雄氏ヲ訪問シ、古島氏ヨリ之ヲ外相邸ナル首

相宛急送ス。

十三日(水)曇 寒和ク 服薬 入浴

登院。本会議ニ出席シ、緊急質疑演説ヲ聴ク。十二時過退席ス。

一時、内閣委員会ヲ開ク。三橋恩給局長ノ出席ヲ求メ、恩給制

度調査ヲ開始ス。

局長ヨリ平和条約発効後ニ於ケル軍人恩給取扱ニ関スル政府

ノ意見ヲ聴取ス。成瀬、上条、竹下諸氏ヨリ質疑アリ。三時

半、一応終了ス。次ニ内閣委員室ニテ作成セル機構改革ニ関

スル各種意見集ヲ委員ニ配布シ、杉田専門員ヨリ説明ヲナ

ス。

十二時二十分、全国治水砂防協会有志会ニ出席ス。出席者ハ次

田、池田、牧野、赤木、河井ナリ。

一時ヨリ林業議員懇話会開会セラレシモ、内閣委員会ノタメ出

席スル能ハス。機構改革案中、林野庁ヲ国土省ニ移管反対ノ

件、今期国会ニ提出セラルヘキ林野庁関係法律案ノ説明、木

材運賃低減ノ件ヲ審議セリ。内閣委員会散会后、出席セント

セシモ既ニ散会シタリ。

楠常務理事ヨリ入選Posterヲ示サル。依テ之ヲ議員控室ニ貼付スルコトトス。

第一俱樂部ノ解体ニ伴ヒ三浦辰雄、森八三一、両議員緑風会ニ入会ス。

院内図書館ニ内田分館長ヲ訪ヒ、木村遍氏寄贈ノ掛物ヲ取寄スル相談ヲナス。図書館所属ノ小型車ヲ発スルコトトナリ、予ノ紹介名刺ヲ渡ス。

西園寺公と政局―原田日記 第六卷ヲ買入ル。代四七七円ヲ支払フ。

朝、松井三郎氏来訪ス。氏ノ需ニ依リ、氏ヲ宮内庁高尾秘書課長ニ紹介ス。(名刺)

十四日(木)曇 夜晴 寒和ク 服薬

登院。内閣委員室ニテ執務ス。一時、議員会館ノ自室ニ於テ奥村経済調査庁次長及木村監査部長ト会见シ、行政機構改革ニ対スル希望ヲ聴ク。

石間尚来院。弁護士手塚誠氏ヲ紹介ス。参議院ヲ参看セシム。

北浜村長雨宮文吾氏来訪ス。二十七年中ニ同村畑地灌漑実現ヲ農林省ニ要望ノ為、取次ヲ求ム。依テ農林委員会ニ平川農政局長ヲ訪ヒテ要望ヲ述べ、後刻政府委員室ニテ委細ヲ聴取スルコトヲ申入ル。

三時、付属公舎ニ至リ、木村法務府総裁ヨリ国内治安ノ実情ニ

付、隔意ナキ説明ヲ聴ク。又、吉河特審局長ヨリ共産党ノ治安紊乱計画ニ関スル詳細ナル陳述アリ。之ニ対シテ会員ヨリ各種ノ質問ヲナス。五時四十分散会ス。

六時、新橋クラブニ於ケル森林資源総会对策審議会々長笹山忠夫

氏ノ晚餐会ニ出席ス。出席者ハ森、大村、金原、平野、井出、野原、遠藤、各代議士、徳川、岡本、田村、三浦、河井、各参議ナリ。会長ノ挨拶ニ次キ、予ハ一同ヲ代表シテ謝辞ヲ述フ。食間、理事長小林準一郎氏ヨリ事業報告及希望開陳アリ。野原政務次官、之ニ答フ。其他歓談ヲ交ヘ七時頃退散ス。

十五日(金)曇 午後雪 寒 服薬

登院ス。本会議ハ首相差支ノタメ質疑ヲナスヲ得ス。午後一時

ニ延期シタルモ登院ナキヲ以テ三時延会ス。

館哲二氏、緑風会ニ入会ス。紹介者、河井、赤木、梅原ナリ。会計課ニテ都民税ノ申告書ヲ作ツテ貰フ。

佐藤助九郎氏、上京セリトテ来訪ス。依テ館氏佐藤氏ヲ招キ食事ヲ共ニス。

二時、内閣委員会ヲ開ク。木村経済調査庁監査部長ヨリ、電力統制実施ノ結果ニ付同庁ニテ調査セシ内容ノ説明ヲ聴ク。

三時、議長公舎ニ至リ、Free Mason バストマスター アップルゲート大尉夫妻帰国送別会ニ出席ス。来会者二十四五名、

盛会ナリ。

五時半ヨリ議員会館ニテ経済政策懇話会主催ノ土居明夫氏談、米ソ戦ト日本ヲ聴ク。八時過散会。同氏ヲ送り、新宿駅ニテ別ル。

十六日(土) 雪 冷 服薬

朝、戸塚重一郎氏来訪ス。

登院。国会図書館ニテ執務ス。

大野木行政管理庁次長、杉田専門員、図書館へ来訪ス。依テ議員会館ナル予ノ室ニ同伴シ、政府ノ行政セイリ案進行ノ状況ニ付聴取ス。更ニ治安問題、行政監査制度、林野庁移管問題等ニ付、意見ヲ交換ス。税務署廃止、営林局減少、其他細部ノ改廢ニ及フ。会談約二時間、一時二十分止ム。

二時、付属邸ナル大橋國務相ノ防衛力ニ関スル諸問題ノ説明聴取会ニ出席ス。三時半退出ス。(一時開会)

五時。赤木正雄氏来訪ス。本日ノ会務委員会ノ結果ニ付報告セラル。即チ自由党ノ申入ニ係ル党政策説明会開催ノ件ヲ否決セリト云フ。洵ニ適切ナル措置ナリ。然ルニ会務委員諸氏ニハ赤木氏ノ外、毅然タル態度ヲ執リ得ル人ナシ。遺憾ナリ。予ハ又本日、大野木次長ト会見シタル顛末ヲ報告シ、行政セイリカ政府内部ニ於ケル難問トナリ了ラントスルノ形勢ナルヲ告ク。結局、吉田首相ニ面会シテ直接進言スルノ外ナシ

ト信ス。

夜、参議院議員手帳ノ書込ヲ了ス。

十七日(日) 曇 小雪 寒冷身ニ沁ム 服薬

朝、佐々井信太郎先生ヲ往訪ス。(1)報徳社理事ノ更任ヲ要スル事情ヲ説明シ、令息典比古氏ノ理事辞退ヲ乞フ。先生快諾セラル。(2)一円融合会ノ組織及運営ニ付意見ヲ交換ス。(3)最近ノ世界状勢ニ対処スルタメ、報徳ニ依ル平和運動ノ在方ニ付テ先生ノ意見ヲ問フ。午餐(饅飩)ヲ饗セラル。京都宇治茶一缶ヲ呈ス。

朝比奈宅ヲ訪フ。貞一不在。アキ子及五兒健在ナリ。三時辞去ス。美弥子、素子、桜木町駅マテ送リ来ル。キヤラメルヲ贈ル。

夜、菊池捨六氏来訪ス。宮内庁又ハ発電会社へ就職斡旋ヲ求めラル。マス子、終日不快ニシテ臥床ス。頭痛アリト云フ。

十八日(月) 晴 寒冷 服薬 入浴

登院。本会議。財政法改正案、継続費ヲ認メル件ヲ可決ス。一時、内閣委員会ヲ開ク。出席者少数ノ為、流会ス。

宮内庁高尾文書課長ヨリ、磐田郡婦人連合会及小笠郡農協婦人会ノ為、皇居内洒掃日取ノ決定ヲ示サル。

読書室ニテ読書ス。日本政党史ニ関シテナリ。

十九日(火) 雪 寒冷 服薬

登院。岡崎国務大臣ノ行政協定内容説明聴取会ハ、都合ニ依リ

二十一日ニ延期セラル。

天竜川治水費二十七年ヨサンハ、二十六年分ニ比シテ大幅

ニ削除サレタルニ付、之カ増額ノタメ同川綜合開發会有志十

余名、明日来京スル由、岩崎浜松市長ヨリ通知アリ。依テ稲

浦技監及伊藤課長ト会見シテ、減額ノ正当ナルヲ認め、直ニ

市長ニ電報ヲ以テ「明日静岡ヘ行ク。会ヒタシ。稲浦技監ニ

会ツタ」ト通信ス。

図書館ニテ読書ス。日本政党史ヲ読ム。

久能山東照宮宮司岩崎氏ニ対スル非難、十八日ノ新聞記事トシ

テ登才アリ。今尚解決徹底セサルノ感アリ。昨日来訪セシ清

水市長ニ質セシニ、亦然ルカ如シ。

今朝徳川公ヨリ電話アリシヲ以テ、明日静岡ヘ赴クヲ以テ其席

ニ増田市長高崎助役ヲ訪ヒ、解決ヲ進ムルニ決意シ、公ニ答

フ。

五時半、佐藤議長ヨリ南甫園ニ招待セラレ、鄭重ナル日本料理

ヲ饗セラル。前期国会ニ於テ成績顕著ナリシ常任委員長慰勞

ノ為ナリト云フ。出席セシハ大隈外務、山田運営、及予ナリ。

近藤総長、松村秘書モ列席ス。又特ニ議長ノ旧知法学士浅井

一彦氏(財団法人石炭科学研究所長)ヲ招キ同席セシメラル。
浅井氏ヨリ最近ノ独逸ノ実情ヲ聴キ感奮ニ堪ヘス。他日再ヒ
氏ノ談ヲ聴クコトヲ相談ス。

二十日(水) 快晴 頗寒冷 服薬

本会議ヲ欠席ス。砂防協会欠席。野村嘉六翁追悼会欠席。緑風

会懇親会欠席。

静岡県社会福祉協議会第二回總會(一時公会堂)ニ出席ス(八

時発急行品川ヨリ乗車)。厚生大臣代理(空 白)局長全国

社会福祉協議会々々長田子一民氏等ト同車ス。高松宮殿下御親

臨激励ノ御演説ヲ拝聴ス。殿下御退場ノ後、退出ス。(空白)

大東館ニテ昼食ヲ饗セラル。

公会堂ニテ小塩会長、長谷川理事、勝田理事、藤田訓二氏、岩

竹信太郎氏、天野庵原村長、鈴木榛原地方事務所長、中田駿

郎氏等ニ会フ。

静岡市役所ニ市長及高崎助役ヲ訪ヒ、岩崎宮司ノ態度ニ付説明

ヲ聴キ解決推進策ヲ決シ、之カ実行ヲ依頼ス。(1)宮司ヲシテ

説明ヲ徹底セシメ、市有志ヨリ奉賛の会組織ヲ結成セシムル

コト、(2)崇敬者総代トシテ市長ヲ推薦スルコト、是ナリ。帰

途三島ニ矢田部氏ヲ訪ヒ、此事ヲ報告ス。

公会堂ニテ^(審)藤知事ニ会フ。知事ヨリ予ノ書翰ニ対シテ謝意

ヲ表セラル。予ハ(1)植樹日ニ関スル件、(2)筏場川砂防実施ノ

コトヲ述フ。

矢田部氏ヲ訪ヒ岩崎宮司ノ件ノ外、富士浅間神社神体地返還運動ニ付報告ス。

二十一日(木) 快晴 寒冷 服薬 入浴

朝、付属公舎ニ於テ、岡崎国務大臣ヨリ行政協定進行状況、及其内容ニ付説明ヲ聴ク。

林業議員懇話会アリ。木材引取税問題ニ付協議ス。岡本、竹下両氏出席シ、林野庁丹羽経済課長ト懇談ス。

内閣委員会ヲ開キ、皇室経済法及同施行法ノ改正案ヲ可決ス。

次テ木村経済調査庁監査部長ヨリ電力問題ニ付説明ヲ聴ク。又工業技術庁監理部長(空 白)氏ヨリ工業試験所及出張所等ノセイリ方針ノ説明ヲ聴ク。

田畑宮内庁侍従職務官ヨリ明後二十三日六時、両陛下ヨリ御

晩餐ノ御相伴ニ召サルルノ恩命ヲ伝達セラル(電話)。天恩尚枯骨ニ及フ。感激ニ堪ヘス。

夜、本日ノ委員会了リ二案ニ付、明日ノ本会議報告案ヲ練ル。

二十二日(金) 晴 寒 服薬

六時覚眠。八時マテニ、皇室経済法ノ一部改正案及同施行法ノ一部改正案委員長報告ノ原稿ヲ作ル。

登院。本会議ニ於テ右二案ノ委員長報告ヲ為ス。両案ハ多数ヲ

以テ可決セラル。

午後、全国農業指導連事務所ニ大山謙吉氏ヲ訪ヒ、主食自給甘藷増産並加工ニ関スル各種ノ資料ノ蒐集ヲ依頼ス。

佐藤議長ヲ議長室ニ訪ヒ、去十九日ノ恩遇ヲ拝謝ス。議長ヨリ Masonic Community Building 購入資金募債ニ付内話アリ。

分割払トシテ百\$ノ引請ヲ承諾ス。

沼津市今沢渡辺嘉一氏、稻梓村土屋竹次郎氏ト来院。政府ハ製粉原料小麦ノ買取制実施ノ計画アリト聞クモ、斯クテハ中小製粉業ヲ危殆ニ陥ルルモノナルヲ以テ之ヲ停止セシメ、現在

ノ如ク依託製粉ヲ継続セラレタシト要望ス。緑風会ノ農政議員ニ報告シテ善処センコトヲ約ス。

掛川町、報徳社へ打電、二十四日十二時半著。出社ノ旨ヲ報ス。又重友へ葉書ヲ出ス。

徳川公ヨリ電話アリ。其序ヲ以テ岩崎宮司ニ関シ、増田市長高

崎助役ト会見シ依頼セルニ条件ノコトヲ報告ス。又、矢田部氏往訪ノコトモ報告ス。

二十三日(土) 晴 寒 服薬 斬髪(院内四〇円)

九時十五分、議員会館自室ニテ木村経済調査庁監査部長ノ来訪ヲ受ク。将来ノ行政監査機構並其範圍ニ関スル意見書ヲ提出

セシメ、其説明ヲ聴ク。十時ヨリ全国治水砂防協会第十三回大会(第一会議室)アリ。

出席ス。徳川会長、佐藤議長、次田、赤木、河井、各理事、田中、上村監事、田子、西尾、石坂、鈴木、各顧問、会員三百六十名出席、野田建設大臣、稲浦技監、目黒河川局長、木村砂防課長等出席ス。

会長ノ挨拶。赤木常務ノ報告、決算ヨサンヲ可決ノ上、野田建設大臣ヨリ告辞アリ。砂防ノ重要性ヲ強調ス。次ニ討議ニ入り、宮城県代表ヨリ砂防局新設要望決議ノ提出アリ。全会一致之ヲ可決ス。次ニ各種ノ要望ノ陳述アリ。又、砂防費増額計上ノ要望決議ヲ可決シ、正午散会ス。現在会員五、二四二。五時五十分、参内。直ニ自動車ニテ御文庫へ案内セラレ、六時過御食堂ニテ兩陛下ノ御晚餐御相伴ニ召サル。砂防、造林、報徳ノコト等ニ付御話申上ク。

又、来四月上旬植樹ノタメ静岡県へ行幸啓ニ関シテハ、甚御興味深ク御聴召サル。八時入御、皇后陛下ヨリ特ニ糯(精白)一升、小豆一升、及なめこ缶詰三箇ヲ賜ハル。

昨臘献上セシ長崎県諫早市梅崎哲一氏製造ノ甘藷米ハ、本日御昼餐ノ時御試用アラセラレタル由ニテ、製品ノ精良ナルヲ御嘉賞アラセラレ、加工法ニ付天皇陛下ヨリ御下問アラセラレタリ。

二十四日(日)曇 寒 入浴

七時二十分出発、八時十一分品川ヨリ急行列車阿蘇ニ乗り、静

岡ニテ電車ニ乗換へ十二時二十九分掛川著。直ニ徒歩、報徳社ニ出頭ス。

午前十時ヨリ理事会開催。二十六年業務報告。決算決定、現量鏡決定等ニ付審議セシモ出席セス。午後一時開会ノ役員会ニ出席ス。理事会ニテ決定セシ俣ヲ可決ス。尚、参事改選人名、理事補欠(佐々井氏辞任ニ付、小野仁輔氏補任)名誉講師氏名、名誉社員制度等ニ付協議シ三時散会ス。

昨夕、皇后陛下御下賜ノ糯米及小豆ハ、本日ノ役員会ニ出席シタル二十五六名及ヒ東遠明朗会諸氏へ呈スルコトトシ、糯米ハ各家ニテ餅拍ヲナス場合ニ之ヲ混入スルコト、又小豆ハ各家ニテ栽培スルコトトシ、先ハ之ヲ神前ニ奉奠シ次テ役員諸氏へ頒チタリ。

原川角太郎氏来社、面会ス。掛川ヲ中心トスル経済文化等推進ノ為ニ俱ニ部組織ノ發起人タルコトヲ求メラレ之ヲ諾ス。帰途、戸塚重一郎氏ヲ訪問ス。中村達一郎氏令嬢ノコトヲ話サル。

六時半帰宅。

二十五日(月)曇 冷

丸山方氏ヲ訪問ス。甘藷品種及其性能ニ付指導ヲ受ク。又化学肥料施用ノ程度、及作物ニ及ホス効果等ニ付質疑ス。

氏ノ厚意ニ依リ、昨年産米ニテ炊ケル飯ヲ饗セラル。又氏ノ需

ニ依リテ三枚ノ揮毫ヲナス。伊良湖村(脚脱)小久保徳三郎氏、外二名ノ囑ニ依ル。

三月二日ノ常会ニハ出席講演ヲナスコトヲ約セラル。

帰途、東新町駅マテ見送ラル。電車ニ乗遅レルノ惧アリシヲ以

テ、約二百五十米計リ駆足ヲナス。氏ノ強健ヲ加ヘタル、驚

嘆ニ堪ヘタリ。《掛川発八、三〇同著五、五〇》

平喜百貨店ニテ肩掛靴(布製)ヲ求ム。代六七〇円ナリ。

伊藤洋服店ニ立寄りHomespun外套ノ裏返シ《本月初メテ着用代

三、〇〇〇円》ニ対シ改良点ニツヲ示シ、出来上り期限ヲ三

月二日ト定ム。

二十六日(火)夜来雨 午後曇 薄寒

二、二六日ナリ。往時ヲ追想シテ感慨深シ。

出社。十時ヨリ総会ヲ開ク。来会百三十余名。中山理事、岩竹

参事ヨリ各件ヲ説明シテ承認ヲ得。理事補選、参事改選ハ議

長指名トナリ、名誉社員規程ヲ可決シテ無事散会。《十一時

半》

次ニ埼玉県比企郡大岡村森田熊太郎氏ヨリ同氏ノ報徳生活ニ

関スル談話アリ。深キ感動ヲ以テ聴取セリ。次ニ一木輶太郎

氏ノ有益ナル講話アリ。最後ニ予ハ簡単ナル講話ヲナセリ。

十二時三十分散会ス。

森田氏ハ今回モ引続キ参事ニ就任ス。土台金二万円ヲ推譲セラ

ル。

榛葉良之助氏出席。元水翁ヨリ託セラレタル谷田社ノ資産及取

扱書ヲ齎サル。又培本塾改造運営ニ付、中山常務ヲ交ヘテ協

議ス。

磐田郡婦人会ノ皇居洒掃ニ付、太田民次郎氏ト打合セヲナス。

又、小笠郡農協婦人、婦人会ニ関シテハ重友ヲシテ促進セシ

ム。

三時十九分発ニテ上京ス。島田マテ榛葉良之助氏同車ス。八時

半帰宅ス。

二十七日(水)晴 寒和ク 入浴 服薬

登院。内閣委員室ニテ執務、打合セヲ為ス。

十一時、侍従職ニ徳川侍従ヲ訪ヒ、去二十三日ノ恩寵ヲ拝謝シ、

御礼トシテ栗ノ実約一升ヲ奉呈シ、皇居内ノ適當ナル箇所ニ

栽培セラレンコトヲ願フ。又、皇后陛下御下賜ニ係ル糯米及

小豆ノ処置ニ付説明ス。

石崎書店ヲ訪ヒ、名刺五〇〇枚ヲ註文ス。代金五五〇円ヲ石崎

氏ニ渡ス。

近藤事務総長ヲ訪ヒ、栗ノ実十二箇ヲ呈シ庭内栽培ヲ頼ム。

十時、北濱村、中瀬村ノ代表十名許リ来訪。院内ニテ会见ス。

用件ハ農林省ニ対シ、両村内畑地灌漑実施ノ要請ナリ。依テ

政府委員室ニ平川農地局長及野原政務次官ヲ訪ヒテ陳述ヲ

ナシ、更ニ一同ヲ兩氏ニ紹介、会見セシム。

十二時半、全国治水砂防協会有志会ニ出席ス。山梨県代表六七名来談ス。

一時、内閣委員会ヲ開催シ、請願及陳情ヲ審議ス。四時散会ス。三時頃、富士山本宮浅間神社宮司佐藤東氏、矢田部盛枝氏、外一名ト来院会見ス。

富士山八合目以上ノ土地下戻ノ件ニ付、審議會ノ狀況ヲ告ケ目的ノ達成ヲ依頼セラル。依テ高瀬莊太郎氏ト協議ノ上、之ヲ推進スルコトヲ約ス。

夕、高瀬氏ヲ会館ニ訪ヒ、右件ニ付、手別ケシテ委員ヲ訪問スルコトトス。而シテ予ハ明日、林野庁ニ幸田林政部長ヲ訪フコトヲ約ス。

五時半頃帰宅ス。塩島金一郎氏来訪シ在リ。病氣輕快ニ付深甚ナル謝意ヲ表セラル。育英会事務ノ打合セヲナス。又手編毛糸胴服一、肩掛革靴ヲ贈ラル。

二十六年所得税、五六、九六〇円ヲ世田谷税務署ニ納入ス。マス子取扱ナリ。

本日、乗用自動車ノ抽籤ヲ行フ。49年製Chevrolet四三、八三九番ニ当ル。

明日、日米安全保障条約実施ノタメ交渉セル行政協定成立ノ予定ナルヲ以テ、特ニ本会議ヲ開キ、岡崎国務大臣ヨリ経過並内容報告ヲ聴取スルコトトナル。

二十八日(木) 半曇 寒和ク 服薬

昨夜、不眠甚シク終日気分重シ。各方面へ葉書十数枚ヲ認ム。

朝、林野庁ニ幸田林政部長ヲ訪問シ、富士山頂無償下戻要請ニ関スル審議會ノ意向ヲ質問ス。ソレヨリ進ンテ神社側ノ意見ヲ述へ、山梨県側ノ意見ヲ反駁シ部長ノ協力ヲ求ム。幸ニシテ了解ヲ得タリ。横川長官出張中ナリ。

登院。内閣委員室ニテ執務ス。

一時、会館ノ自室ニテ木村經濟調査庁監査部長ト会見ス。林野庁ヲ国土庁ニ移管スルノ件 關係事項ニ付、意見ヲ聴キ更ニ所見ヲ交換ス。

緑風会政務調査会ニテ、主計局長ヨリ二十七年ヨサンノ説明ヲ聴ク。

中村幸八氏来訪。選挙区混乱ノ事情ヲ懇フ。北浜、中瀬兩村畑地灌漑運動ノコトヲ問ヒシニ、足立代議士ニ妨ケラレテ知らスト答フ。

行政協定ハ本日午前調印式ヲ了リ、ラスク特使ハ今夕出發歸米ス。右ニ付本会議ヲ開キ、岡崎国務大臣ノ説明ヲ聴クコトトナル。然ルニ議院運営委員会ニ於テ説明者ノ資格ニ付、疑問ヲ生シタル為、五時過ニ至リ開会ス。先ツ法律案二件ヲ可決シ、次テ行政協定ノ説明ヲ聴キ六時散会ス。

右ノ為、野田建設大臣ヨリ行政整理ニ関スル説明聴取会ハ三日

ニ延期トナル。

四時頃、富士山本宮浅間神社宮司佐藤氏、外一名来訪ス。高瀬氏ト共ニ会见ス。宮司ハ審議会ノ結果不利ナル決定ヲ見ルヘシト告ケ、予等ニ対シテ配慮ヲ要求ス。予ハ今朝幸田林政部長ト会谈セシ内容ヲ告ケ、差当リ大蔵大臣ヲ訪ヒテ右決定延期ヲ求メ、別ニ委員ヲ歴訪シテ翻意ヲ促スト共ニ、県知事ノ熱心ナル支持ヲ求ムヘシト強調ス。宮司等帰後高瀬氏ト共ニ大蔵大臣ヲ訪問、池田大臣室ニテ面会ス。陳情ノ後、決定ノ延期ヲ求ム。

宮司ニ対シ蔵相ト会见ノ状況ヲ告ケ、急遽静岡県知事ノ発動ヲ促スコトヲ要望スルノ書翰ヲ認め、五時投函ス。

故鈴木文史朗氏ノ文集ヲ求ム。代三七〇円ヲ振替ニテ支払フ。

田代夫人へ給料千円ヲ渡ス。

帰途ハ抽籤ニ依リテ得タル新ナル自動車ニ乗ル。赤木、岡本、奥、三氏同乗ス。43839号

二十九日(金) 雪 寒冷 服薬

登院ノ時、杉田専門員ノ同乗ヲ乞ヒ、車中ニテ打合セヲナシ、品川区大井林町二四八、五城寮ニ山梨勝之進氏ヲ訪ヒ、軍人恩給復活ノ件ニ付意見ヲ問フ。而シテ先ツ塚本重治氏ト打合セヲ為スヘキ旨ヲ告ケラル。尚、堀悌吉、初見盈五郎、二氏ノコトヲ紹介セラル。昼食(天ぷら饅飩)ヲ饗セラル。十二

時退去ス。

新橋ナル静岡県事務所ニ至リシニ、会マ高見副知事在リ。好都合ナリ。副知事ニ対シテ富士山頂返還問題ニ関シ、山梨県知事等ノ陳述ハ事実相違ナキヤヲ質シタルニ、然ラストノ答ヲ得タリ。依テ此際、直ニ知事ノ意見ヲ強力ニ大蔵省ニ具申スルヤウ強調ス。副知事之ヲ了シ帰任ス。

静岡新聞支社ニ大石社長ヲ訪ヒシモ面会ヲ得ス。稲宮氏ニ面会ス。《報徳常会ノ記事登載ヲ頼ム、富士山ノ件ニ付テモ依頼ス。》朝、井出光三氏ニ電話セシニ出張中ナリ。夫人ニ用件ノ概要ヲ告ク。

午後ヨリ本会議ニ出席。昨日ノ岡崎国務大臣ノ報告演説ニ対スル各派有志ノ質問演説ヲ聴ク。三時四十分散会ス。

内閣委員会ハ、議事散会后開会ノ予定ト改メタルモ、委員ノ出席ナキヲ以テ開会ニ至ラス。

高見副知事ト会见ノコトハ佐藤宮司ニ報告シ、宮司ヨリ知事ヘ依頼ノ便ヲ計ル。又、右ノコトハ井出光三氏へ電話セシ事実ト共ニ高瀬莊太郎氏ニ告ク。

大熊喜邦氏《工博経博》ノ告别式《一時、青山》ニ至リ拝礼ス(神式)。

長崎県農業関係有志(特ニ諸米関係)来院。食堂ニテ藤野議員ト会谈セシヲ以テ、藤野氏ノ需ニ依リ出頭面会シ、諸米御嘉称アリシ事実ヲ報告ス。

六時ヨリ議長公舎ニ於ケル事務局有志ノ修養会ニ於テ、浅井一彦氏ノ講話ヲ陪聴ス。甚有益ナリ。出席議員ハ山田佐一氏、大隈信幸氏、赤木正雄氏、岡本愛祐氏、加賀操氏、甲良とみ氏、山本勇造氏、及予ナリ。八時散会。甚有益ナリ。
元男爵前田勇氏《追放解除トナリシ元陸大佐、議員》令息代議士前田正雄氏同伴来院、面会ス。

三月一日(土)曇 冷 服薬 入浴

十時、渋谷、松濤ニ榎本重治氏ヲ往訪シ、軍人恩給法復活ニ関シ、昨日山梨元大将ヲ訪問セシ顛末ヲ告テ、内閣委員会及緑風会政務調査会ニ適当ナル人選ヲ依頼ス。

富国ビル内 Parker 会社出張所ヲ訪ヒ、Pa 二本ノ部分品取替ヲ求ム。五月マテ猶予ヲ求メラル。依テ右二本ヲ預置ク。預証番号〇四三二ナリ。後刻、杉田正三郎氏ニ報告ス。

一時二〇分、築地本願寺ニ於ケル故木村小左衛門氏ノ告別式ニ至リ焼香ス。

三時、議長公舎附属館ニ於ケル緑風会政務調査会ニ出席シ、野田、木村両大臣ヨリ行政セイリ案ノ大綱案ヲ聴ク。各員ヨリ活潑ナル質疑アリ。五時散会ス。前途ノ多難ヲ想ハシム。安部定氏来院。近ク設置セラルヘキ中央教育審議会ノ委員ニ推薦セラレシコトヲ申入レラル。又、三矢宮松氏ヨリ書状受領。同一ノ希望ヲ通セラル。

名刺五百枚刷成。石崎氏ヨリ届来ル。会館ニテ受取ル。《二十七日依頼、同日代済》

赤木樟一氏ヨリ広汎ナル甘藷文献書抜報告ヲ寄セラル。興三ヨリ、二月二十三日付経済保安課長警視永沼真二宛、

「United Aorations ヨリ自動車購入の件ニ付テ」、ナル畜産局競馬部長ノ説明書ヲ受ク。之ハ杉山東一氏《農林 事ム官》ヨリ託セラレタルモノナリ。

二日(日)晴 暖 服薬 入浴

八時十一分、品川ヨリ急行列車ニ乗り、静岡ニテ電車ニ乗換ヘ、十二時二十九分掛川著。掛川報徳社ノ常会ニ出会ス。岡本愛祐氏同行、出席セラル。聴衆六七百。午前中丸山講師ノ甘藷栽培法研究ノ結果ノ発表アリ。岡本氏ハ一時ヨリ二時半マテ講演セラル。次テ戸塚九一郎氏講演シ、三時過散会ス。岡本氏ノ講演聴講ノ為、小笠郡下町村長来集セシモ、午後マテ居残りシ者少シ。又、榛原地方事務所長鈴木章夫氏、五和村長山田寛司氏モ来聴セラル。岡本氏ハ三時十九分ニテ帰京セラル。

神谷副社長ハ協同学校職員学生四十名計リヲ引連レ、昨日ヨリ来社シ午前ノ常会ヲ傍聴セシメ、午後八大坂村、佐束村ヲ見学シ、応声院ニ宿泊スト云フ。帰途、戸塚重一郎氏ヲ訪問ス。

重友ニ毛糸編衲衣ヲ与フ。之ハ塩島金一郎氏ヨリ贈ラレタル品ナリ。

三日(月)晴 暖 服薬

黒田重兵衛氏(八九才)一日逝去。本日葬儀ノ由。九時弔電ヲ発ス。

朝、斎藤知事、電話ヲ以テ富士山頂下戻ノ件ニ付、強力ナル発動ヲ頼ム。知事ハ今尚、就床中ナリト云フヲ以テ、取次ニ此事ヲ依頼ス。

昨午前、熊村長熊村昌一郎氏来訪、国鉄バス運転開示ノ為、請願書ヲ提出スヘキヤヲ問ハレタル由ナルヲ以テ、今朝返書ヲ発ス。熊村氏ヨリ椎茸ヲ贈ラル。

報徳社ニ出勤ス。九時半、第三回講習会ノ開講式ヲ行ヒ、一同ニ対シテ告辞ヲナス。次テ一同紀念ノ撮影ヲ為シ、十時過ヨリ講義ヲ行ヒ、十二時ニ至リテ終了ス。

伊東報徳社設立者藤原義久氏来社。同社ノ為ニ予ノ講演会出席ヲ求メラル。依テ来二十一日ヲ約ス。

報徳社ニ金四千円ヲ推譲ス。内三千円ハ一円融合会費内払ナリ。又千円ハ例月ノ推譲ナリ。「空白」敏子ニ金五千円ヲ託ス。

十二時四十二分発ニテ上京ス。七時前帰宅ス。

四日(火)晴 冷 服薬

登院。十時ヨリ内閣委員会開会。出席者一二名。時ヲ違ヘテ来ル。依テ一時開会ニ決セシモ開会ニ至ラス。遺憾ナリ。

十一時ヨリ林業議員懇談会ヲ開会ス。農地法改正案(平川局長説明)、森林法改正案(平野議員説明)、森林火災国家保険法改正(林政課長説明)、松害虫其他防除法改正(同上)、森林課税標準改正(国税庁説明)、木材引取税基準改正(地方自治庁)、説明等ヲ聴取ス。一時三十分散会ス。

湯河元威氏、ヨサン委員会ニ公述人トシテ来院ス。依テ面会セシニ、牛ヶ渕財団所有タリシ建物(旧軍人会館)ノ処分ニ関シテハ、旧財団ノ意向ヲ尊重スルヤウ厚生省へ申入レタル由、内話アリ。氏ノ証書ヲ聴ク。

中瀬村長河合多三氏、外二名来院、畑地灌漑要請ノ為、陳情書ヲ持来ル。依テ其一部ヲ平川局長ニ提出シ、又一部ヲ請願書ニ改メ紹介提出ス。衆議院側ニ対シテハ、金原代議士ニハ渡シタルニ一見セシノミナリ。依テ中村代議士ニ面会シ、氏ノ紹介ヲ以テ請願トシテ提出スルコトヲ要望ス。(河合村長へ此事ヲ通知ス)

小塩孫八氏来院面会ス。弁天島同胞寮長後任選定ノ件、山形氏未亡人ニ弔慰金贈呈ノ件、育英資金調達ノ件、報告アリ。予ハ育英会ノ更正ニ関シテ希望ヲ提出ス。又、理事更任及塩島主事後任選定ノ件ニ付、相談ス。更ニ、久能山宮司ノ態度ヲ

更ムル為^レ市長ヲ信者惣代トスルコト、市有力者ニテ奉覽シテ作ルコト^ニヲ提案ス。

長崎県漁連会長丸龜秀雄氏来院。要請ニ応シ、五島列島ニ於テ

二ヶ所ニ地下水探查ヲ行フタメ、農林省政府委員室ニ至リ、

農地局係官ニ紹介ス。

朝、通産省政府委員室ニ至リ、杉山競馬部事務官ノ提出セル書

類ヲ取次キ、処分ノ改正ト綱紀ノ肅正トヲ促ス。

上大見村三枝元氏来院面会ス。筏場川上流ニ砂防工事施行決定

ノ旨ヲ告ケ、来二十一、二日頃同村往訪ノ由ヲ告ク。

夜、千葉県白潟〔空白〕氏来泊ス。

自動車超過勤務二月分、手当金一千三十三円ヲ緑風会ヲ通シテ

支払フ。

十時過、北海道襟裳岬沖合ニ強烈ナル地震アリ。北海道ノ被害

多大ヲ伝フ。其時予ハ予算委員室ニ在リ。シヤンデリアノ緩

ク大キク揺レタルヲ見タリ。

五日（水）曇 冷 服薬 入浴 気分重シ

朝、塩島金一郎氏来訪。静岡育英会ノ評議員会ヲ、来十七日ニ

時ヨリ新事務所ニ開クコトヲ決定ス。徳川総才^{（秘）}ニ電話ニテ

此承諾ヲ得タリ。

朝、公二君来訪。競馬部自動車買入ノ件ニ付、質問ス。

公二君及白潟ノ〔空白〕氏ヲ同車、出発ス。公二君ハ虎之門ニ

テ〔空白〕氏ハ新橋ニテ下車ス。

静岡県事務所ニ至リ、十七日評議員会開催ニ付、同意ヲ得、鈴

木所長ヨリ富士山八合目以上ヲ浅間神社へ還附ノ件ニ付、予

ノ採リシ処置ニ付説明ヲ求メラル。

競馬部ニ杉山事務官ヲ訪ヒシニ不在ナリ。

登院。内閣委員室ニテ執務ス。

正午、全国治水砂防協会有志会ニ出席ス。次田、山崎、田中、

小林、赤木諸氏出席ス。

一時、常任委員長懇談会アリ、出席ス。北海道震災ノ見舞トシ

テ議員派遣ノ件ニ付、議長ヨリ諮問ヲ受ケ、^{（秘）}台風被害見

舞ノ例ニ依ルコトヲ決ス。

鈴木二平氏ヨリ電報ヲ以テ、明六日十時着京、椎茸献上ノ旨、

照会シ来ル。然ルニ明日ハ本会議アルヲ以テ、午後二時五十

七分著ニテ来ルヤウ返電ス。

明日ハ本会議ヲ開会スルヲ以テ、通産省ノ試験所見学ハ延期

ス。

七時、木村武氏来訪。身上ノコトニ付、相談ヲ受ク。立派ナル

人物ナリ。徹底的ニ協カスヘシ。昨夜中、頭部ヲ乱打セラレ

シヲ夢ミル。覚醒ノ時午前二時ナリ。

六日（木）雨 冷 服薬

本会議ニ出席ス。最初吉田首相、廣川農相ノ前回ノ質問ニ対ス

ル答弁アリ。

日程ニ入ル。任命ノ承認、法案二件ニ次テ、予ハ請願陳情ニ付
委員長報告ヲ行ヒ、全会一致採択セラル。次ニ人事委員長ノ
報告アリ。採択。散会。

内閣常任委員会室ニテ執務ス。〔宮中ニテ頂戴セシ巻煙草ヲ、
一本ツ、委員室ノ諸氏ニ頒ツ〕

鈴木二平氏二時五十七分東京駅著。椎茸献上ノ為ナリ。東京駅
ニ出迎へ。直ニ参内。稲田侍従次長ニ面会献上ス。直チニ退
出。三時三十分東京駅ニ送届ク。二平氏ヨリ椎茸八百匁及海
苔一帖贈ラル。椎茸ハ約二百匁宛、佐藤議長並ニ徳川家正公
へ進呈スルコトトス。

朝比奈美弥子来宿ス。明日ヨリ東京女子大学入学試験ヲ受クル
為ナリ。夜、朝比奈貞一來訪ス。帰宅ノ時椎茸若干ヲ頒ツ。
国土緑化推進委員会ヨリ緑化ノ歌レコードヲ贈ラル。

竹村啓太郎氏〔県議入野村〕逝去ニ付、嗣子啓二郎氏へ弔電ヲ
呈ス。

緒明太郎氏へ黒田重兵衛氏逝去ニ付、悔状ヲ認ム。相続税交渉
ニ関シテ林業委員懇談会ノ意見ヲ参考ニセンコトヲ勸ム。

七日(金) 小雨 小雪 冷 服薬

登院ニ先チ佐藤議長及徳川公ヲ訪ヒ、椎茸二百匁ツ、籠入ヲ呈
ス。佐藤氏出勤後徳川公感冒退散。出勤ノ前ナリ。岩崎宮司

昨日来訪(不面)ノ由ヲ談ラル。

本会議ニ出席ス(遅刻)。

内閣委員室ニテ執務ス。一時四十分頃、第二復員局残務受理部
復員業務課長森下陸一氏ノ来訪ヲ求メ、旧海軍軍人軍属ノ恩
給関係事項ニ付説明ヲ聴取ス。

十一時過、掛塚町婦人会長山下(空白)女史来院。皇居清掃奉
仕ノ件ニ付申入アリ。依テ午後高尾事務官ニ対シ電話ヲ以テ
問合せ、其結果ヲ電話ニテ女史ニ報告シ、又磐田郡連合婦人
会長太田はる子女史へ書状ヲ認ム。

竹村啓太郎氏〔県議、入野村〕逝去ニ付弔電ヲ呈ス。
山崎昇二郎へ農地法改正案文ヲ送付ス。

四時ヨリ会館徳川宗敬氏ノ室ニ於テ、三島通陽氏ノ Boy Scout
事業ノ説明ヲ聴ク。野田俊作、梅原真隆(早退)、両氏モ来
ル。

帰途、三島氏ヲ送ル。

飯田精太郎氏脳溢血ニテ急逝ス。依テ帰途弔問ス。三島氏赤木
氏同車。

上狩野村長城所啓氏、仁科村長堤傳平氏来院。両村ヲ連ナル林
道開設工事進捗ノ状況ヲ報告シ、大ニ謝意ヲ表セラル。

新潟県代議士渡辺良夫氏、県議会副議長塚野清一氏等、北村一
男氏ト来室。只見川水力電気開発計画ニ付、新潟県側ノ要求
ヲ説明セラル。

八日(土) 大雪 冷 服薬

静岡県庁へ赴クニ付、朝、赤木氏ト電話ニテ打合セ。砂防ヨサン割当願其他ノコトニ関シ、仁科土木部長ニ進言スルニ決ス。

十時発、急行ニ乗ル。然ルニ降雪ノ為、列車ニ故障ヲ生シ、東京駅発十二時十分トナル。從テ静岡著三時ヲ過ギ、県庁ノ役人ハ総テ退出ス。

松阪屋六階ニB.S. 展覧会ヲ見、幹部諸氏ニ面会ス。ソレヨリ県庁ニ至リ、秘書課ニテ林政課長勝又〔空白〕^(嘉)一氏ト会見、兩陛下御樹栽ニ付、打合セヲナシ、又B.S.ノ参加ヲ申入ル。知事不在、副知事不在ナリ。知事ノ行先不明ノ為、明朝七時副知事ニ電話スルコトヲ申入ル。仁科部長ハ上京不在ナリ。平喜店ヲ訪フ。竹内氏ニ今朝佐藤虎次郎氏ヨリ聴キシ所ヲ告ク。

松阪屋六階ニ帰り、尾崎忠治、森田実、日下部養一、井野包次諸氏ヨリ、来十一日挙行セラルヘキ連盟舎長就任式ニ関シ、心得要項ヲ聴取ス。又、予ハ四月四日ノ植樹行事ニ参加スルコトヲ求メ、県庁ニテ交渉セシ所ヲ告ケ、更ニ内交渉ハ森田氏ト勝又課長トニテ行ヒ、正式交渉ハ会長ヨリナスコトヲ決定ス。

静岡新聞社ニ重田社長ヲ訪フ。不在ナリ。〔空白〕氏ニ面会

シ、B.S. 長就任ニ付挨拶ヲ述ヘ、且四月四日ノ植樹式ニ参加ノコトヲ告ケ、協力ヲ頼ム。尾崎氏同行セラル。列車遅レ甚シク、八時半帰宅ス。〔空白〕修風邪仆床ス。元気良シ。

九日(日) 晴 暖 服薬

八時三十三分発、上京ス。途中矢田部氏ヲ訪ヒ、富士山ノコト、函南村内ニ植樹ノコト等ヲ報告ス。又久能山問題ハ無事解決セシ由ナリ。

早朝大雨、はる子夫人へ電話シ、掛塚町婦人会長山下氏ノコト及浦川町婦人会ノコトヲ報告ス。

七時、副知事高見三郎氏ニ電話シ、富士山ノコトヲ聞ク。又、四月四日ノ植樹行事ニB.S. 参加申込ヲナシ、同意ヲ得タリ。依テ此事ハ平中ヨリはかきニテB.S. 事務所へ報告ス。

三島駅カラ矢田部氏宅ニ至ル間、右腰ニ疼痛ヲ発シ歩行ニ艱ム。矢田部氏方ニテ温灸ノ治療ヲ受ケ、軽快トナル。帰途、駅マテ矢田部氏見送ラル。

六時廿分頃帰宅。猶、杉山東一氏、公二氏来訪。競馬部ノ自動車購入ノ件ニ付懇談ス。杉山氏ヨリかすてら一箱ヲ贈ラル。

十日(日) 雨 小雪 冷 服薬 腰部超短波治療 血圧154

登院。本会議ニ出席ス。

予算委員会ハ去六日、吉田首相ノ兵力ト憲法トノ關係ニ関シ不
当ノ答弁アリシヨリ、翌七日以來開會セサリシ処、本日開會、
難関ヲ脱シタルカ如シ。

午前及午後、読書室ニ於テBoy Scoutノ沿革事業等ヲ調査ス。
午後二時、青松寺ニ於ケル故飯田精太郎氏ノ告別式ニ至リ焼香
ス。

浜名郡可美村村長高橋栄一郎氏、村有志五名ト来院、国道舗装
施工決定ニ付謝意ヲ表セラル。

興三ハマス子ト共ニ、夕四時ヨリ内田明氏方ヲ訪フ。
歳費其他八二、四〇一円ヲ受領ス。

富士山本宮浅間神社宮司佐藤東氏へ發状ス。又、熊村長熊村昌
一郎氏へ返書ス。二俣線輸送力強化促進会代表、明日来京ノ
由ニ付、「明日ハ静岡へ往復」スルヲ以テ在京セストノ電報
ヲ薦ケ谷掛川町長へ發ス。

朝比奈美弥子東京女子大入学試験終了。帰宅ス。

十一日(火) 晴 冷 服薬

ボーイ・スカウト静岡県連盟長就任式(一時松坂屋)アリ、出
席ス。(品川八、一一一一、一四静岡四、四八一七、五六
品川)十一時三十分頃ヨリ開會中ノ理事会ニ出席ス。二六年
度決算、二七年度ヨサン、同行事予定、会ノ拡大計画並後援
会結成計画等ノ協議アリ(中食)。

就任式ハ国旗拝礼、君か代斉唱ニ始マリ、尾崎Commissioner
リ就任ニ至ルマテノ経過報告アリテ、予ノ略歴ヲ述ヘテ予ヲ
紹介セラレ、次ニ予ハ就任ノ挨拶ヲ述ヘテ、責務遂行ノ為全
力ヲ傾注センコトヲ誓フ。最後ニ理事長川井健太郎氏祝辞ヲ
述ヘラル。

次ニ指導者票贈与式アリ。予ハ三名ニ対シ之ヲ贈与シタル上、
祝賀ト希望ノ辞ヲ述ヘ、之ニ対シテ代表ノ謝辞アリ。

最後ニ第三回總會ヲ開キ、二六年度事業報告、決算報告、二七
年度事業予定計画、同ヨサン案議決ヲ行ヒ、尾崎Com.ヨリ事
業ノ拡張及充実ニ関スル抱負ヲ述ヘ、次ニ川井理事長ヨリ後
援会結成意見ノ開陳アリ。最後ニ、会則改正及役員ノ改選ニ
付テハ之ヲ幹事会ニ一任セラル。此日、特ニ祝辞ヲ寄セラレ
タルハ、知事、教育長、田中氏(静岡市議)及大先輩某氏ナ
リ。出席者三十名。

富士山本宮浅間神社宮司佐藤東氏松阪屋へ来訪、面会ス。意見
書ヲ渡サル。

矢田部盛枝氏松阪屋へ来訪、面会ス。植樹poster五枚ヲ呈シ植
樹ノ歌ノrecordヲ貸与ス。

四月四日ノ植樹行事ニB.S.参加ノ件ハ、本日午前県庁ヨリ承認
ヲ与ヘラレタル由ニテ、B.S.関係諸氏大ニ喜フ。参加者ノ数
ハ約七十名ニシテ、両陛下ノ奉迎ヲ拝シ、其植栽ノ場所ハ片
手植ノ箇所ニ接近シテ、一団地ヲ指定セラルル由ナリ。参加

者ハ自然東部B.S.ニ多キモ、全県ヨリ代表者ヲ選定スル予定ナリ。携行セルposter十枚ヲ渡シ、東部方面ヲ主トシテ適當ニ配分セシム。

東上ノ際、駅頭ニハ川井、尾崎、其他二氏見送ラル。第一助役

「空白」氏ヨリ特別二等車乗車ノ配慮ヲ受ク。

北村勝藏博士昨日逝去セシ由、県嘱託青山於菟氏ヨリ聞ク。哀傷寂寞ニ堪ヘス。同級ノ生存者ハ杉村七太郎博士ト予トノミトナル。

十二日(水) 晴 冷 服薬 腰痛治療(超短波)

十一時半、寛永寺境内貞恭院殿ノ御墓ニ詣ツ。明日参拝スル能ハサルニ由ル。序ニ頤徳院殿ノ御墓参リヲ為ス。御墓域ニ烏柏ノ種ノ生ヘタル数株アリ。

正午、全国治水砂防協会有志会ニ出席ス。徳川会長、次田氏、田中氏、赤木氏出席ス。

一時ヨリ内閣委員会ヲ開ク。予備審査案二件、提案ノ理由ノ説明ヲ聴取スルニ止ム。出席者甚少シト雖、理事補欠選挙ヲ行フ議決ニ依リ、山田佐一君ヲ指名ス。山本末治君ノ補欠ナリ。

松崎運転手ニ本月分手当ヲ給ス。「空白」昇三郎夜来泊ス。

十三日(木) 晴 冷 服薬 腰痛殆全快ス

出発ノ時、昇三郎及公二同車ス。

登院。十時ヨリ工業技術庁ノ案内ニテ、都内四ヶ所ノ試験研究

機関ヲ視察ス。参加者ハ河井、山花、横尾、竹下、小串五委員ナリ。杉田、藤田両専門員、以下委員会附六人、事務局上田主事等同行ス。先ツ目黒ナル工業技術庁ニ至リ、長官井上春成氏ヨリ機構、事業、経理ノ大要ヲ聴キ、長官ノ案内ニ依リ、(1)東京工業試験所目黒分室《青酸カリ製造等》、(2)同本所(長、理博島五郎氏)(中食)、(3)機械試験所本所(長、佐々木栄一氏)(井荻)、(4)電気試験所田無分室(長、工博駒形作次氏)ヲ視察シ意見ヲ交換ス。田無ニテハ夕食《寿司》ヲ饗セラレ懇談ヲナス。帰途ハ井上長官ノ車ニ同乗シ宅ニ送ラル。運転手ニ手当千円ヲ呈ス。

十四日(金) 雨 寒冷 服薬ス

夜来感冒ノ気味アリシモ、自然治癒ス。軽キ下痢アリ。腰痛歇ム。

朝、岡山県渡辺辯三翁来訪ス。笠岡町ニ設立セル芋博物館落成セリトテ報告セラル。翁ニ対シ芋米製造、芋おこし製造ノコトヲ告ケ、館内ニ収ムルヤウ勧告ス。又文献蒐集者トシテ赤木樟一氏ヲ紹介ス。金千円ヲ呈ス。

同車登院。島村軍次氏、藤野繁雄氏、西山亀七氏、カニエ邦彦氏等ニ紹介ス。西山氏ハ金二千円ヲ贈ラル。又翁ノ希望ニ依リ、大臣室ニ伴ヒ岡野国务大臣ニ面会セシム。又其室ニ居リ

タル村上運輸、佐藤郵政電通、岡崎國務、吉武労働各大臣ニ紹介ス。ソレヨリ自動車ヲ供シ翁ノ行ク所ニ行カシム。本会議ニ出席ス。

全国合併町村長会長等七名来院ス。其中ニ蔦ヶ谷町長モアリ。

平衡交付金等ノ問題アリ。依テ岡本愛祐氏ヲ紹介ス。

県議大石俊雄氏来院面会ス。土方村内下小笠川上流用水池築設

ニ関シ陳情ノ為、村長及村議長等ト共ニ上京セリト云フ。村長等ハ東京農地局ヘ陳情中ナリ。依テ大石氏ヲ農林省政府委員室ニ同伴セシモ、農地局長不在ノタメ局長ニハ後日ノ会見ヲ求メテ去ル。

一時、内閣委員会ヲ開会ス。恩給法特例臨時措置法案及統計法及ヒ教育委員会法ノ一部改正案ニ付、提案ノ理由ヲ聴キタルノミニテ散会ス。但シ恩給法関係ニ付テハ厚生委員会ヨリ連合審査要求アリ。委員会ニ諮リテ之ヲ可決シ、提案理由ノ説明聴取ハ連合委員会ニ於テ行フ。

三時ヨリ会館会議室ニ開会ノ政務調査会ニ出席。田中警視總監ヨリ、最近ノ治安状態ニ関スル説明ヲ聴ク。

四時半、院内大臣室ニテ木村法相ト会見シ、行政セイリ案ニ付意見ノ交換ヲ申入ル。総才ト予ノ都合適合セス。本件閣議上程前ヲ期シテ別ル。先是食堂ニテ自由党政務調査会長岩澤忠孝氏ト会見シ、党内意見ノ結論ヲ問フ。未進捗ヲ見ス。

十五日（土）快晴 暖 服薬ス

故北村勝藏博士ノ葬儀ニ列ス。（品川一〇 一一一、〇三靜岡）。終テ未亡人ヨリ招カレ回家ニ至リ、初七日法会ニ列ス。

宮崎通之助、鈴木与平、山本《田子》淑志、加藤芳太郎東小一《遠師会会長》、《静大》杉山祐作、司馬鼎甫氏夫人等同席ス。食事ヲ与ヘラレ、自動車ニテ駅ニ送ラル。

七時掛川著、帰宅ス（香奠五百円）。

松阪屋^{マヤ}デパートニ至リ、B.S.制服作製ヲ依頼シ、寸法ヲ取ル。史郎愛知大学卒業、就職決定ニ付、来村墓参ス。夕食ヲ共ニス。

十六日（日）晴 曇 夜雨 暖 服薬 入浴

八時三十三分發ニテ三島ニ至リ、矢田部氏ヲ訪フ。大社ニ在リ。電話ニテ用務ヲ果ス。会マ富士山本宮淺間神社宮司佐藤東氏来訪アリ面会ス。

二時五十分發準急列車ニ乗り、品川ヲ經テ帰宅ス。

一也、昨日盲腸炎ヲ發シ、直ニ三楽病院ニ入り、手術ヲ受ケ経過良好ナリト云フ。マス子ハ病院ニ付添ヒ居リ不在ナリ。

葉子ハ数日来感冒ニテ臥床中ナリシモ、昨日全快、起床セリト云フ。

二十二日、上大見村筏場川視察ニ付、県庁河川課片岡紀一氏及青山士氏ヘ發状ス。又、城所上狩野村長、荻野^原上大見村長ヘモ發状ス。尚、樹裁箇所実地見学ノコトニ付、県林務部勝

又林政課長へ発状ス。

十七日(月) 晴 暖 服薬

登院ス。本会議ナシ。委員会ナシ。大野木行政管理庁次長ト会
見ス。

十時半、高見副知事、本杉県議長、三上自由党長老、丸尾県議
等来院。宮幡代議士来導ス。直ニ大蔵省ニ西村政務次官ヲ訪
問ス。内田管財局長等ノ出席ヲ求メ、富士山頂帰属問題ニ付、
県側ノ意見ヲ具陳ス。十一時四十分引揚ク。

長野県福島町小野元代議士(秀一氏)来院。木曾営林局移転反
対陳情ヲ為ス。

二時、静岡育英会評議員会ヲ新事務所ニテ開ク。(1)二十七年度
ヨサン案ヲ可決シ、(2)事務所移転ノ定款変更案ヲ可決ス。二
十七年度貸費生採用計画ニ付説明シ、又塩島主事辞任希望ノ
申出アリタル旨ヲ發表ス。又杉山理事去十一日逝去セシ由報
告アリ。同理事関係事項ノ善後策ニ付協議シ、緒明副社長ニ
之ヲ調査ヲ依頼ス。尚、貸費基金造成ニ関シテハ中山理事ト
相談ス。四時半散会ス。

帰宅ノ時、神谷理事渋谷マテ同車ス。又会館ヨリ赤木氏同乗ス。
廣瀬素行氏(報徳社元監事)十五日逝去。十七日告別式ノ由。

嗣直行氏ヨリ通知アリ。

十八日(火) 曇 夕小雨 暖 服薬 超短波電気治療

登院。十時内閣委員会ヲ開会ス。定員法中改正案ノ予備審査ヲ
行フ。政務次官ヨリ提案理由ノ説明、大野木次長ヨリ改正案
ノ内容ノ説明アリ。三四ノ質問ヲ経テ散会ス。

一時ヨリ、内閣厚生両委員ノ連合会ヲ開ク予定ナリシモ、保利
官房長官出席スル能ハサル為、懇談会ヲ開キ、菅野官房次官
ヲ招キ長官欠席ノ理由ヲ問ヒ、次会ハ長官及大蔵厚生両大臣
ノ出席確定ノ日ニ於テ開会スルニ決シテ散会ス。

野田建設大臣ヲ訪問ス。行政整理案ニ付質問セントセシモ、新
聞記者多数集合セルタメ中止シ他刻ヲ約ス。

高瀬莊太郎氏ニ面会シ、遠州方面ニ於ケル講演会開催ニ関シテ
相談ス。其結果、中村幸八氏ノ来室ヲ求メ、緊密提携ヲ計ル。
尚、氏ニ對シテ富士山頂交付問題ニ付、昨日大蔵政務次官及
内田管財局長ト会見セシ内容ヲ報告ス。

自由党ハ昨日党大会ヲ開キ、吉田氏ヲ総裁ニ推スコトヲ全会一
致議決ス。最高幹部以下総務役員ノ改選ハ本日施行スルニ決
シ、三役ハ本日決定ス。増田甲子七氏幹事長トナル。廣川派
ハ全敗ヲ喫ス。

故三島実氏ノタメ鳩居堂ニテ線香「雪月花」一箱ヲ求メ、未亡
人ニ發送スルコトヲ依託ス。香代五〇〇円、荷作送料一五〇
円、計六五〇円ナリ。

五時、矢部和作氏ヨリ初収穫ノ椎茸試食会ニ招カル(陶々亭)。

品種ハ天白又ハ芫子ト云ヒ頗上品ナリ。来会者ハ小林準一郎氏、金原代議士、中山均氏、永田龍之助教授、村上竜太郎氏、主税局税制課長泉美之松氏、国税庁資産税課長庭山慶一郎氏、林野庁特産課長片山佐又氏及中央林業懇話会小林信祐氏ナリ。林業ニ関スル有益ナル意見交換セラル。

新ナル寝衣ヲ著ル。(マス子昨日三越ニテ調達、代一、二〇〇円、タオル織ナリ)

一也治療費トシテ五、〇〇〇円ヲ与フ。又、一也、葉子、興三ニ白シャツ地各一著ヲ与フ。

十九日(水) 西南強風雨 暖 服薬 電気治療

本会議ニ出席ス。

正午過、全国治水砂防協会有志会ニ出席ス。次田、田中、赤木、大石諸氏出席ス。

一時、政務調査会ニ山崎、木村、野田三大臣出席。行政セイリ案ニ付説明ス。

政府部内ノ不統一、弱体ヲ悲シム。先是野田建設相ト会見ス。高平勇氏十五六名ノ同志ト来院ス。院内ヲ参看シテ去ル。

三時、付属公舎ニテ浅井一彦氏ノ最近ノ独乙事情ニ付説明ヲ聴ク。

六時、会館四号室ニテ、前陸軍中将稲田正純氏ノ今後ノ国防体制ニ関スル意見ヲ聴ク。来聴者二十余名、外ニ和蘭海軍大佐

Muller氏モ来ル。参議院議員ハ赤木、岡本、岡部、田村、高瀬、松平勇雄諸氏ナリ。九時帰宅ス。

二十日(木) 曇 冷 服薬 感冒薬トモ 電気治療
常任委員室ニテ執務ス。

三島市長朝日原作氏来訪ス。両陛下植樹祭へ行幸啓ニ付説明ヲ求メラル。市長ヲ宮内庁秘書課長高尾事務官へ紹介ス。

緑風会總會ニテ、行政協定ハ国会ノ承認ヲ得ヘキモノナリヤ否ヤニ関シテ、議院運営委員会ニ於ケル緑風会委員ノ態度ヲ協議ス。結極、斯カル決定ハ旧委員会ノ権限外ナリト定ム。

故□□□□氏養女□□□□来院。長女□□□□ヲ伴フ。□□□□ノ為ニ就職ヲ依頼セラル。依テ近藤事務総長ニ依頼シ、川崎庶務課長、渡辺人事課長ニモ紹介ス。

富士宮市會議員諸氏五六名来院ス。富士山下戻ノ件ナリ。高瀬氏ト共ニ会見ス。

平岡市三氏胆石病ノ為、昨夜日本大学病院ニテ逝去セリト云フ。依テ帰途弔問ス(香料五〇〇)。高瀬、赤木両氏及吉原調査員同車ス。

朝、三島甫母堂へ書状ヲ呈ス。線香贈呈ニ関シテナリ。廣瀬素行氏令息直行氏へ弔状ヲ杉山甕男氏へ令息茂氏へ弔辞ヲ認ム。香料各三百円ヲ呈ス。吉原市ニ小潤川破堤氾濫セリト云フ。依テ川島悦郎氏へ見舞状ヲ、又、由比町今宿平ニ崩壊発

生セリト伝フ。依テ志田収氏へ見舞状ヲ発ス。

二十一日(金) 晴 暖 入浴 感冒薬^{ダム}服用

伊東報徳社結成ニ付、記念講演会ニ出席ス。八時十一分品川ニテ急行ニ乗ル。田中武雄氏一松定吉氏ト同車。熱海ニテ乗換一〇、四四著。駅ニテ太田市長ニ迎ヘラレ、社長井野数丸氏モ同車シ市役所ニ到ル。秘書役山田義郎氏斡旋ス。藤原義久氏モ大ニ世話セラル。《簡単ナル中食ヲ饗セラレ、二時ヨリ四時マテ職業安定所ニテ講話ス。来会者二十名。太田市長ヨリ紹介セラル。聴衆ニ鈴木信太郎氏アリ。散会後川畔ノ喫茶店ニテ珈琲ヲ饗セラル。市長及鈴木氏ト別レ、旅館観水荘方へ案内セラル。古瀬恵三郎氏《長伏社長》中郷村ヨリ来リ、聴講各種ノ打合ヲナス。

夕食ハ市長ノ饗応ヲ受ク。秘書山田義郎氏接待セラル。食後井野社長、藤原義久氏、市村寿章氏《青年》、山川揚一氏《青年》、宇佐美村山田《》、後レテ武見次郎氏モ来訪セラレ、十時頃マテ縦横談論ス。

講演開始ノ頃ヨリ軽キ感冒気味アリ。藤原氏ニ託シテ^{ダム}ヲ求メ寝前服用ス。

〔以下欄外〕 当市在住元大宮御所勤務女官某夫人来訪ス。

二十二日(土) 晴 暖 ^{ダム}服用二回 入浴 《長岡》 体重

十四貫

朝太田市長、武見^次太郎氏へ電話ニテ謝意ヲ表ス。又電話ニテ徳川公ノ在否ヲ旅館はとやニ問フ。昨日帰京セラレタリト云フ。次ニ高橋信博士ニ安否ヲ問フ。感冒ニ罹リ臥床中ナリト云フ。

長岡町湯の家ニ今夕投宿(三人)ノコトヲ申入ル。

伊東土木工営所長滝口定一氏ノ配慮ニ依リ自動車ヲ供セラル。九時三十分同氏来館、

直ニ発ス。冷川峠ニテ同氏ト別レ、十一時頃上大見村役場ニ著ス。《運転手二百円ヲ礼ス。》

朝、井野社長、藤原義久氏来訪ス。又小川大夫氏ノ従兄弟小川武氏《松原町電気商》モ来訪ス。宿泊料ハ市長支払ハル。恐縮ノ至ナリ。依テ金千円ヲ井野社長ニ進呈ス。又観水荘主人ハ榎田弥太郎ト云ヒ、榛原郡吉田町ノ出身ナリト云フ。

上大見村役場ニテ村長荻原文清氏、議長内田林平氏、助役飯田浩氏等ト会见シ、筏場川砂防工事施行ニ付、了解ヲ得ルタメ来村セル旨ヲ説明ス。村有志大ニ感謝ス。

県河川課長片岡紀一氏、三島土木事務所長小川^山繁雄氏、同所技師山田茂夫氏、県議《上狩野村湯ヶ島》佐田友三郎氏、仁科村長堤傳平氏、上狩野村長城所啓氏及青山士氏、来集ス。山田技師及片岡課長ヨリ砂防設計ニ付説明アリ。十二時出發、中食所ニ赴キテ中食シ了テ現場ヲ見ル。

ソレヨリ車行、片岡課長ト別レ、徒歩国土越ヲ踏破ス。峠ニハ上狩野村有志七八名出迎フ。徒歩三キロ、再ヒ乗車、湯ヶ島ニ達ス。

天城営林署ニ浅野所長ヲ訪ヒ、国土越林道開設ニ付助力ヲ乞ヒ、辞シテ村役場ニ至リ、村會議員其他有志及上大見村長以下有志ノ会合ニ臨ミ、挨拶ヲ述ヘテ帰途ニ就ク。

上大見村長ヨリ山葵ヲ、有志某氏ヨリ山葵漬ニ函ヲ贈ラル。又城所上狩野村長ヨリ生椎茸ヲ贈ラル。此日、三枝元氏ハ予ノ為ニ荷物ヲ持チ同行セラル。村長ノ配慮ニ依リ、地下足袋ヲ借用シテ山越ヲ為セリ。

五時半頃、三島土木事務所ノ自動車ニテ上狩野ヲ発シ、六時半頃湯の家ニ達ス。青山氏、小山所長同車、一同宿泊ス。

〔以下欄外〕米上院ハ昨日平和条約及安全保障条約ヲ可決ス。

二十三日(日) 晴 曇 雨 不定 暖 Edios服用

七時五十分湯の家発車。八時長岡駅著。八時四分発ノ準急ニテ帰ル。十時三分横浜著。東横線ニテ大倉山駅著。大倉文化科学研究所ニ著ス。(青山氏、小山所長ハ長岡ヨリ狩野川架橋工事、分水工事視察ニ赴ク。)

十一時ヨリ大倉図書館ニテ一円融合会発起人開会セラレ、定款案ヲ決定シ、発起人タルヘキ人ノ範圍ヲ相談シ、創立總會ノ日ヲ定ム。四時散会。東横線ニ依リ帰宅ス。松村光麿、東隆、

加藤仁平博士等ト途中マテ同車ス。一也盲腸炎ノ手術全治シ、一昨二十一日夕刻退院帰宅セリトイフ。

二十四日(月) 晴 曇 驟雨 冷 Edios服用 電気治療 入浴

登院。午前中ニ内閣委員会ヲ開キ、外務省設置法改正案及經濟安定本部設置法等改正案ニ付、提案ノ理由ノ説明ヲ聴ク。十一時半林業議員懇話会ヲ開ク。農地法改正案ニ付陳情及意見ヲ聴取シ、平川農地局長ト所見ヲ交換ス。

金原代議士、津村県議、稻勝正太郎氏、外三名ト来院。北遠地方ニ於ケル林野庁ノ立木払下価格ノ決定ニ対シ、当業者ノ実情ヲ斟酌セラレンコトヲ要望ス。依テ懇話会散会后、其室ニテ幸田林政部長ニ陳情セシム。

神田代議士、静岡市長、市議會議長等ト共ニ来訪シ、市営電気事業ノ政府買上トナリタルモノノ還元払下法ニ付陳情ス。同代議士ニ対シ、参議院議員補欠選挙ニ関スル県内ノ動向ヲ問フ。尚、小林武治氏書翰ノ内容ヲ告ケ、条理ニ従テ候補者ヲ挙ケルコトヲ要望ス。

発信、静岡B.S. 日下部養一氏。大日本報徳社(《電報》)。伊東、上大見、上狩野、県庁、三島、青山士氏等旅行関係者一同へ挨拶。

二十五日(火) 晴 寒 服薬

本会議アリ。重ナル議案ハ、行政協定ハ国会ノ承認ヲ要ストノ決議案ナリ。反対一名賛成五名ノ討論アリ。記名投票ヲ以テ之ヲ否決ス。

四時過ヨリ内閣委員会ヲ開キ、定員法中改正案ヲ審議シ六時散会ス。

小林武治氏来訪ス(夜八時―九時三〇分)。平岡市三氏逝去ニ付、補欠選挙ニ出馬スルノ件ナリ。本件ニ付テハ昨日神田代議士トノ談話、本日長島議員トノ談話ノ内容ヲ告ケ、自由党内部ニテ一致ノ推薦ヲ得ルヤウ勸告ス。予ノ意見ハ小林氏ノ立候補ヲ正当ト認ムルニ至ルモ、党员ニ非サルヲ以テ推薦ニ関シ発言スル能ハスト告ク。

藤原正治氏、熱海市長ニ就任確實ナル由、報告ヲ聴ク。

二十六日(水) 晴 寒 服薬

朝、電話ニテ小林氏立候補ニ対スル中村幸八氏ノ意見ヲ伺フ。好意的ニ非ス。自由党増田幹事長ヨリ右件ニ関シ予ノ意見ヲ問ハル。予ノ持論ヲ述へ、党ノ中央部ヨリ強力ナル推進ナクシテハ不可能ナルヘシト答フ。又中村、神田代議士等ノ支持厚カラサル旨ヲ警告ス。

朝、日本橋通一丁目千代田銀行支店ニ至リ、旧臘日本林業協会

ヨリ贈ラレタル小切手金五千円ノ交付ヲ受ク。三越ニ至リ、Duties靴(代九、〇〇〇円)紙幣入(代一、八〇〇円)ヲ買フ。

正午過、全国治水砂防協会有志会ニ出席ス。次田、赤木両氏ノ外、徳川会長モ出席セラル。

鎮玉村有志、国有林払下運動ノ為来院ス。依テ村長小出邦太郎氏ヲ横川林野庁長官へ紹介ス(本日来訪者ハ野澤英太郎氏ナリ)。

静岡市鳥居政幸氏逝去ニ付、喪主幸子氏へ、大島徹雄氏逝去ニ付、令嗣へ弔電ヲ発ス。又県統計調査事務所三島出張所ノ申入ニ対シ、明日十時ヨリ予算案上程討議ノ旨ヲ電報シ、以テ傍聴ニ便宜ヲ計ル。

一時ヨリ内閣委員会ヲ開ク。文部省設置法ノ一部改正案、農林省設置法等ノ一部改正案及総理府設置法等ノ一部改正案ヲ議題ニ供シ、順次政府ヨリ提案ノ理由ノ説明ヲ聴ク。

緑風時報ニ記事材料ヲ供給ス。昭和二十一年末貴族院議員老令者氏名表ナリ。

統計委員会事務局(審査第二課長兼審査室長)後藤正夫(後藤文夫氏令息)来訪。同氏立案ニ係ル統計報告調整法案提出ニ付協力ヲ求メラル。杉山専門員ト共ニ会见ス。

マス子ハ午後成也同伴、横浜朝比奈方ヲ訪問ス。

二十七日(木) 雨 冷 服薬 電気治療(左膝)

本会議ニ出席ス。午前中税法其他此種ノ法律案ヲ可決シ、二時マテ休憩ス。

三時過開会。廿七年度ヨサン案三件ノ会議ニ入ル。委員長報告ニ次テ各派一名ツ、賛否討論ヲナシ、記名投票ニ依リ之ヲ可決ス。(総数二二四 ≪白青≫ 八時半散会。

元東大教授中央大学総長加藤正治博士ノ告別式ニ至リ焼香ス(≪三時半、中央大学講堂≫)。

鎮玉村長小出邦太郎氏、野澤英太郎氏来訪ス。横川林野庁長官訪問ニ付注意ヲ与フ。

国鉄労組書記長古関一郎(坂部村坂部) ト云フ者、報徳社関係ナリト称シテ傍聴券十六枚ヲ僭用ス。名称ヲ求メタルニ前記ノモノ一枚ヲ渡セリ。

Free Mason会館買収基金ノ募集ニ応シ、百弗証券ヲ一枚買フ。但シ四回分割払込トシ九千円ヲ払入タリ(三、四、五、六各

月末日マテニ九千円宛払込ノ約ナリ)。
マス子感冒ニ罹リ発熱臥床ス。Camヲ服用セシム。

二十八日(金) 晴 暖 服薬 電気治療(左膝) 入浴

登院。十一時開会ノ本会議ニ出席。直チニ内閣委員会ヲ開ク。経済安定本部設置法ノ一部改正案、外務省設置法、設置法ノ一部改正案及農林省設置法等ノ一部改正案ヲ可決スヘキモ

ノト議決ス。

図書館ニ於テ右三案委員長報告ノ準備ヲ為ス。

横川林野庁長官来院ス。鎮玉村長等要請ニ対シテハ、承認不能ノ旨ヲ伝ヘラル。又米国産ベカンノ種子ヲ与ヘラル。依テ佐藤議長。赤木氏及近藤事務総長へ五箇ツ、ヲ頒ツ。

パスノ引替行ハル。即鉄道外二〇〇〇五五七五、地方鉄道五七四、都電〇〇七九三ナリ。

夜重友ヨリ電話アリ。四月某日、村有林地ニ記念植林ヲ為スニ付、記念手拭ヲ作ルノ計画アリトテ、予ニ揮毫ヲ求メ来ル。依テ「培其徳」「樹徳厚大」ノ二種ヲ書ス。明朝発郵ノ手筈ヲ整フ。

二十九日(土) 雨 冷 服薬 電気治療(左膝) 入浴

登院。内閣委員室ニテ執務ス。木村経済調査庁監査部長ト会見ス。

野田建設大臣ト会見ス。木村法務総才ハ行政管理庁長官ヲ離任シ、野田建設相、長官ヲ兼任スルコトニ内定シタルカ如シ。

二時日本女子学園ニテ行ハレタル故平岡市三氏ノ葬儀ニ列シ焼香ス。盛大豪華ヲ極ム。

三時二十一分東京発電車ニ乗り三島ヲ経テ、伊豆長岡町湯の家ニ至ル(≪七時前著≫)。

財団法人静岡社会福祉事業協会ヲ社会福祉法人ニ変更スル件

二付、評議員会ヲ開ク。来会者ハ徳川顧問、三橋監事、木全、澤村、廣瀬、太田夫人、渡辺夫人、及深澤常務理事ナリ。委任状ヲ出シテ欠席セルモノ多数。八時晚餐ヲ終へ、十時マテ会議シ原案ヲ可決ス。

十時半頃入浴、疲労ヲ回復ス。湯の家ニ泊ル。

本日ハ故母上ノ命日ナリ。明治四十四年ノ当日ヲ想フ。

三十日(日)晴 暖 服薬 入浴

早朝、澤村、廣瀬、木全、太田夫人等帰ル。徳川公、三橋氏ト

朝食ヲ共ニス。三橋氏ト参議院議員ノ補欠選挙ニ関シ意見ヲ交換ス。

九時、湯の家ヲ辞シ長岡駅ヨリ電車ニテ三島本町駅ニ至ル。深

澤常務同行ス。大社ニ参拝シ矢田部官司ニ面会ス。官司ニ米

国胡桃種子^ペカン五箇ヲ呈ス。

深澤氏ト別レ、矢田部家ヲ訪フ。中食ヲ饗セラル。閑ヲ利シテ

故神谷文平氏ヲ追想スルノ文ヲ草シ、又小林武治氏ニ対シ三

橋氏ト会见スヘキ旨ノ書翰ヲ認ム。

三島駅乗車ノ前、両書翰ヲ投函ス。三時十六分発電車ニテ帰京ス。

三島直子ヨリ来書、近状ヲ報告アリ。淳二郎氏ハ去十五日芦屋

市打出楠町八一ニ移転シ母堂モ其家ニ在リト云フ。

夜、明日本会議ニ上程セラレタル法律案三案ノ委員長報告、並

追加上程セラルヘキ特別調達庁設置法改正案ニ付、調査ヲ為ス。

三十一日(月)曇 午後ヨリ雨 冷 服薬 電気治療(左膝)

本会議ハ、四月一日ヨリ施行セラルヘキ法律案審議ノ為、休憩ヲ為シツ、長時間ニ亘リ開会ス。予ノ担当セル経済安定本部設置法等ノ一部改正案(物価庁ヲ内局トスル件)、外務省設置法ノ一部改正案、農林省設置法等ノ一部改正案ハ、何レモ可決トナル。又特別調達庁法ノ一部改正案ハ日程追加ノ上可決セラル。

内閣委員会ハ十時ヨリ開会シ、特別調達庁法ノ一部改正案ヲ審議シテ休憩、四時半再開、之ヲ可決ス。(和博雄氏中途退席ノ為、同氏出席ヲ求ムルニ、時ヲ費セリ。但シ同氏欠席ス。)

一時半常任委員長懇談会ニ出席、担任法案審議ノ状況ヲ説明シテ、自然休会ニ反対ス。議運ハ四月四日ト十四日ニ議事ヲ開クコトヲ議決ス。(其間ハ自然休会ナリ。)

町村敬貴氏来院ス。食堂ニ談ジ米國ノ状況ヲ聴ク。

佐藤議長ヨリ公邸ニ招カレ、晚餐ヲ饗セラル。同席者は徳川、

伊達、木下、岡本、高橋、新谷、高瀬、楠見、赤木諸氏ナリ。

本日ハ故母上ノ命日ナリ。明治四十四年ノ当時ヲ追憶ス。

泰治来泊ス。学会出席ノ為ナリ。

四月一日(火)雨 寒冷 服薬 電気治療(左膝)

海上保安庁法ノ一部改正案審議ノタメ、午後一時ヨリ内閣、運輸、地方自治三委員ノ連合会ヲ開ク。村上運輸大臣、柳澤保安庁長官ヨリ提案理由及内容ニ付説明ヲ聴キタル後、運輸委員長及委員ヨリ質疑ヲ為シ、了テノ地方自治委員ヨリ質疑ヲ為シ、四時四十分散会ス。而シテ運輸委員会ハ質疑ヲ終了シテ連合会ヲ解除セリ。

豊田機械豊田自動車会社ノ相談役豊田喜一郎氏ノ告別式ニ至リ焼香ス。冷雨花束ヲ打ツ。

榛原方ニテ中型封筒及巻紙ヲ求メ、丸善ニテ赤藍インクヲ求ム。

文部省設置法一部改正案中、著作権審査会ヲ審議会ト改正スルニ反対陳情ノ為、中島健蔵《日本著作家組合》、森川宗興《毎日新聞社》、青砥道雄《新日本放送》、北村治久《日本著作権協議会幹事長》、東季彦《弁ゴ士法博》来院面会ス。本法案ノ審議ハ十四日頃ヨリ行フ旨ヲ告ク。

平野雅子夫人二氏ヲ連レ入室挨拶ヲ述フ。

□□□□氏ノ孫娘ハ、参議院事務課勤務ニ採用セラレタリト聞ク。

二日(水)晴 寒冷 服薬 電気治療(左膝)

十時、内閣委員会ヲ開ク予定ノ処、委員ノ集合少ク、十一時三十分開会ス。法務府設置法中改正案ハ政府ノ説明ヲ聴クニ止メ、統計法及ヒ教育委員会法ノ一部改正案。

内閣委員会事務室ニテ執務。(1)海上保安庁法改正ニ付、同庁次長ヨリ審査促進ノ要求ヲ受ク。之ニ対シ、今朝村上運輸大臣ノ要求アリシヲ告ゲ、同一趣旨ノ答ヲ為ス。(2)警察ヨビ隊令中改正案ニ付、当局ノ説明ヲ聴取ス。

朝、登院ノ時、泰治同車ス。泰治ハ東大工学部ニ於ケル機械科総会ニ臨ミ、研究報告ヲ為ス。夕帰宅、八時三十分発急行ニ乗リ大阪へ帰ル。

三日(木)晴 寒冷 服薬 電気治療 入浴

登院。十時ヨリ内閣地方行政両委員連合会ヲ開キ、海上保安庁法一部改正案ニ付質疑ヲ続行ス。十二時半散会ス。

十二時半ヨリ、緑風会政務調査会ニテ行政機構改正ニ対スル処理ニ関シ協議ス。

中村代議士ヨリ戸塚九一郎氏ニ対シ、衆議院立候補ヲ止メ参議院補欠ニ出馬スルヤウ勧告スルコトヲ依頼セラル。之ヲ断リ、意向ヲ問フコトヲ約ス。《緑風会ヨリ出馬スルナラハ之ヲ一考スト答ヘタルニ、中村氏ノ希望挫折ス。》

渡辺辯三翁ヨリ来書、芋博物館列品ノ入手困難トナリシコト、芋米ノ送付ナキコトヲ以テス。依テ野原政務次官及藤野政務

次官ヲ訪ヒ、夫々依頼ヲ為ス。渡辺翁ニ返書ス。

三時帰宅。旅装ヲ改メテ品川ヨリ東京、六時半頃熱海ニ下車ス。

大野屋ニ泊ル。

戸塚九一郎氏ト車中ニテ邂逅ス。熱海駅ニテ、(1)小林氏立候補

熱望ノコトヲ告ケ、(2)戸塚氏ハ今回ノ補欠選挙ニ立候補スルノ意ナキヤヲ問フ。其意ナシト答フ。

夜大野屋ニテ林衆院議長、大村清一氏、野原政務次官、横川林

野庁長官、村上事務局長其他数氏ト会食ス。大村代議士ト同室ニ寝ヌ。

四日(金)晴曇 山上寒冷 服薬

九時、大村氏ト共ニ乗車。函南村駒止ナル全国緑化大会及植樹行事場へ赴ク。

十時著。十一時ヨリ十二時マテ緑化大会アリ。十二時五十五分、

両陛下ノ御臨場アラセラレ、檜苗三株宛ヲ御手植アラセラ

ル。林委員長、^(審)齊藤知事及副委員長タル予ハ御植樹ニ介添申上ク。其時陛下ハ「此場所ハ植栽ニ適スルカ」トノ御下問

ヲ賜セシニツキ、予ハ適當ト信スル旨ヲ拝答シタリ。両陛下ハ展望闊キ御野立所ニ進マセラレ、知事ヨリ県下林業林政状

況ニ関スル説明ヲ御聴取アラセラレ了テ、還幸啓遊ハサル。

予ハ場ノ入口所定ノ地位ニ於テ奉迎及奉送シタリ。

白)発三島ヨリ還幸啓アラセラレタリ。著御ノ頃ニハ半曇寒

風吹始メタリ。御健康万全ヲ禱リ奉ル。

植樹地ニ集合セル者二三万人、両陛下ヲ迎へ奉リテ歓呼山岳ヲ

動カシタリ。予ノ唱導セルもの代表以下百名計リ来会シテ秩序アル行動ヲナシ、大ニ感賞ヲ博シタリ。只、寒氣薄衣ヲ冒シ発熱者ナキヤヲ惧ル。

帰途ハ大村氏ト同車、青森県川内町菊池昌治氏ヲ加へテ三島駅

ニ送ラレ、三時十六分発電車ニテ帰京ス。三浦辰雄氏菊池氏ト同車。菊池氏ハ湯河原ニ下車ス。此日知事ヨリ伊豆長岡ニ招カレタルモ辞退ス。

五日(土)晴 夕曇 暖 桜花咲初ム 服薬

内閣地方自治両委員会連合会ヲ開催。海上保安庁令改正二付、

大橋、村上両大臣ノ説明ヲ聴ク。又ケイサツヨビ隊令改正案二付、大橋大臣ノ説明ヲ聴ク。了テ連合会ヲ解除ス。予ハ十

一時三十分退出。席ヲ山田理事ニ譲ル。

一時、横浜市杉田、西幸太郎氏邸ニ於ケル、同氏主催ノ古島一雄翁ノ米寿祝賀会ニ出席ス。赤木氏ト同車ス。西氏ノ開会辞、

古島氏ノ謝辞アリ。一同歡喜ヲ極ム。二時二十分辞去ス。横浜駅ニテ赤木氏ト別レ、三時二分発門司行列車ニ乗り掛川ニ

帰ル。尚、原マテ席ヲ得ス疲労ス。八時過帰宅ス。山羊ハ二

日雄仔二頭ヲ分娩セリ。

六日(日) 晴 暖 桜花盛開 春光麗ナリ

十時ヨリ報徳社ニテ、二宮、佐藤両先生ノ例祭ヲ行フ。来会者ハ社員其他合計六百余名ナリ。了テ各種優良者ノ表彰ヲ行フ。

午後一時ヨリ講演会ヲ行フ。聴衆五百余名、高瀬莊太郎博士ニ時著。直チニ「歐洲の視察より帰りて」ナル講演ヲ為ス。最剽切ナリ。了テ三四十分間各種ノ質問ヲ受ク。

五時半頃高瀬氏ト帰宅。夕食ヲ共ニシ歓談ス。氏一泊。

本日報徳社ニテ面接セシハ

雨宮文吾氏《北浜村長》河合多三氏《中瀬村長》高林辰雄氏《北浜村議長》外十数名、畑地灌漑要求ノ件、奥野開十郎氏外十名、浜名町姥ヶ谷開拓地区外道路開設ノ要求。柴山重一中将、

金原長松氏《笠原村》、天竜川総合開発ニヨル用水ヲ笠原村へ供給ノ件。小杉良平氏《弁天島》同胞寮寮長急速選任ノ件(藤田訓二氏推薦)。

本日培本塾入塾式举行セラレシモ出席セス。

報徳社へ金四千円ヲ寄付ス。

七日(月) 晴 暖

高瀬莊太郎博士八時三十分發ニテ浜松市へ赴カレシヲ以テ、自動車ニテ見送ル。

元海軍中佐鈴木信一郎氏、原川角太郎氏ト来訪。軍人恩給復活期成会ノ会長タルコトヲ要望セラル。予ハ内閣委員長タルノ故ヲ以テ之ヲ謝絶ス。

深澤鑛二氏来訪。静岡社会福祉協会ノ法人變更ノ件、同会ノ経理ニ関スル件ニ付協議ス。次ニ藤田訓二氏ヲ弁天島同胞寮々長タルノ件ニ付、同意ヲ求ラル。

午後野末里平氏来訪。笠井氣賀往還道路開鑿ニ付陳情ノ相談ヲ受ク。

二時ヨリ板沢山椎広ナル旧南郷村共有樹林植栽会ニ臨ミ松ヲ栽エ、記念写真ヲ取り、式場ニテ祝辞ヲ述フ。了テ会食ヲ為ス。予ノ揮毫ノ手拭ヲ頒ツ。

重友ニ金六万円ヲ渡シ預金セシム。

八日(火) 午後雨 冷 服薬 入浴

帰京ノ途次、県庁ニ知事ヲ訪ヒ、植樹行事ニ際シB.S.ノ参加ヲ許サレタルヲ深謝ス。又静岡育英会ノ援助ヲ求ム。三上県議来室。富士山山頂下付ニ付、大蔵省ニ於ケル予ノ発言ヲ多トセラル。知事ニ対シ県民ノ一致ヲ要望ス。耕地課森田実氏ヲ訪ヒ、B.S.ノ参加ヲ犒ヒ罹病者ナキヤヲ見舞フ。又氏ノ案内ニテ林政課長勝又氏ヲ訪謝ス。林務部長不在ナリ。謝意伝言ヲ頼ム。仁科土木部長ヲ訪ヒ砂防推進ヲ要望ス。又砂防課ノ独立ヲ勧ム。

土木部長ノ厚意ニ依リ自動車ヲ借り、由比ノ地すべリヲ視察ス。先ツ志田収氏方ニ至リテ中食シ、役場及治山事務所ニ電話シテ、濁沢及今宿平視察ニ付案内ヲ依頼ス。事務所ヨリハ所長富永技官来リ、雨ヲ冒シテ今宿平南東ノ大崩壊地ヲ視、又濁沢ノ実情ヲ窮ム。ソレヨリ国道改修ノ状況ヲ視、更ニ国鉄ノ安否ヲ視察ス。収氏案内セラル。

視察後、志田氏方ニテ助役久保田陣太郎氏ト会見シ、率直ナル意見ヲ述フ。

三時四十一分発列車ニテ東上帰宅ス。由比ヨリ沼津マテ原榮作氏ト同車ス。

九日(水) 大雨 暖 電気治療(左膝) 服薬

議員会館ニテ執務ス。小林武治氏来訪。氏ノ参議院立候補ニ付説明アリ。予ノ援助ヲ求メラル。予ハ昨年ノ知事選挙ノ余波ヲ再挙クルヲ快シトセサルヲ以テ之ヲ謝絶ス。朝、岡野繁蔵氏ヨリモ同様勸求アリ。明確ニ謝絶セリ。

全国治水砂防協会有志会ニ出席ス。徳川公、山崎氏、次田氏、赤木氏出席ス。

二時半頃参議院ニ至リ、熱海市議員澤地敏郎氏ニ対シ夫人ノ逝去哀悼ノ電報ヲ発ス。医務室ニテ医療ヲ受ケ、内閣委員会室ニ至リテ会館ニ還ル。

四時四十分頃赤木氏ト同車、日本倶楽部二次田氏ヲ、交詢社ニ

徳川公ヲ誘ヒ、錦水方ニ至リ砂防協会ノ晚餐会ニ出席ス。大蔵省主計局長河野

〔二行空白〕

今朝九州板付へ向ヘル飛行機木星号ハ、大島経由後行衛不明トナリ遭難セシ模様ニテ、乗客ノ安否最モ寒心セラレシモ、浜名湾南方海上十kmニ浮流中ヲ発見セラレ、三十三名ノ乗客及機長以下乗組職員悉ク救出セラレタリト報セラル。

十日(水) 晴 暖 桜花満開 電気治療(膝部) 服薬

登院。石黒忠篤氏、静岡県ヨリ参議院補欠出馬ノ報アリ。緑風会ニテ楠見義男氏ヨリ意向ヲ聴ク。又赤木氏ヨリモ其噂ヲ聞ク。予ノ所信ヲ両氏ニ告ク。

十時半日本銀行ニ荷見安氏ヲ訪フ。昨日氏ノ需アリシニ由ル。荷見氏ハ先客アリシヲ以テ中山均氏ニ面会シ、(1)静岡社会福祉事業会、特ニあそひ刊行ニ付意見ヲ問ヒ、(2)一昨日斎藤知事ニ対シ育英会ノ事業援助ヲ求メシ件ヲ告ケ、(3)弁天島同胞寮長トシテ至急藤田訓二氏ヲ迎フルニ至リシ始末ヲ報告シ、二十日開催セラルヘキ理事会ニ出席ヲ求ム。(4)石黒忠篤氏立候補ノ件ニ付所見ヲ交換ス。荷見氏ト会見、荷見氏ヨリ石黒氏立候補ノ場合、選挙ノ情勢如何ヲ問ハル。全県ニ組織網ヲ張困ラセル梟患無類ノ強敵ノ推ス自由党员全部ノ支持スル候補者ト、他県出身ノ理想選挙者ノ競争ノ無謀ナルコトヲ警

告ス。然レトモ、若シ強ヒテ出馬セントスルニハ、緑風会ニ入ルニ非サレハ予ハ援助スル能ハスト告ケ、緑風会ハ入会ノ詮衡ニ当リ、他日予ト競争ノ立場ニ在ルコトヲ重視スヘシト告ク。

一時過、院内ニテ竹山祐太郎氏ト会见ス。氏ハ石黒氏ノ出馬ヲ翹望シ、予ニ対シテ援助ヲ要望ス。予ハ竹山氏ノ推薦ハ慎重ヲ要スル旨ヲ警告シ、直接石黒氏ト会见ノ希望ヲ告ク。竹山氏ト打合せ三時、会館ノ室ニテ石黒氏ヲ待ツコトトス。

五時頃石黒氏来訪ス。氏ハ戦時以来氏ノ執リシ態度ヲ告ケ、最近、民主党々首ヲ就諾セサリシ理由ヲ明ニシ、今後参議院ニ席ヲ占メタシト述ヘ、今回ノ補欠選挙ニ出馬スヘキヤ否ヤニ付、予ノ所見ヲ問ハル。予ハ石黒氏ノ考方ノ正当ナルヲ称揚シ、将来参議院ニ入ラレンコトヲ勸メ、而シテ現実ノ問題トシテハ、今朝荷見氏ニ告ケタルト同一趣旨ノ言ヲ以テ答ヘ、竹山氏ノ勧誘ハ他意ナキモ、之ヲ採用ニハ慎重ヲ要スト告ケタリ。会谈一時間半、六時半頃退館。赤木氏ト共ニ石黒氏ヲ神楽坂マテ送リテ別ル。

夜、杉山東一氏、石井英之助氏ノ命ニ依リテ来訪シ、石黒氏立候補ノ件ヲ問フ。矢張り荷見、竹山、石黒三氏ニ告ケタルト同一趣旨ノ答ヲナス。杉山氏ハ電話ニテ石井氏ト打合せヲナシ、明朝十時半、石井氏予ヲ会館ニ来訪スルコトトナル。二時、委員会室ニ至リ、警察ヨヒ隊令改正案ノ一点、建設局ノ

importanceニ付同隊木村武氏来訪。政府ノ立案ニ対シ憤懣ノ意ヲ述フ。

歳費八七、二五五円ヲ受ク。秘書給料一四、〇一八円（所得税地方税控除）ヲマス子ニ渡ス。

日航機木星号三原山腹ニ激突破壊、全員三十七名死亡。発見セラル。

横浜市西幸太郎氏へ発状、去五日ノ古島翁米寿祝賀園遊会ノコトヲ謝ス。弁天島同胞寮財団理事長堀江清一氏へはかきヲ贈リ、徳川、中山両顧問ニ二十日理事会開会ノ旨ヲ告ケタルコトヲ報告ス。

十一日（金）曇 冷 服薬 電気治療

朝、元海軍中將住山徳太郎氏来訪、就職ニ付依頼アリ。《出勤ノ時迫リ赤坂見付マテ同車ス。》

朝、小塩孫八氏使者来訪、安倍川餅二箱ヲ贈ラル。夕、謝状ヲ認ム。

十時半頃、石井英之助氏来訪、議員会館ニテ面会ス。石黒忠篤氏ノ静岡県ヨリ立候補ニ対スル予ノ意見ヲ求メラル。率直ナル見解ヲ述フ。

世界食糧局長官Sir John ボイド オア博士W. P. Nobel賞受賞者
今秋来訪ニ付、之ヲ歓迎ノコトヲ石井氏ト相談シ、中山福蔵氏ヨリノ紹介名刺ヲ石井氏ニ渡ス。

南富士開拓農協組長植松義忠氏（《事務所 北山村田宮篠坂、

住所 富士根村北栗倉》）北山村《農業委員、営林委員》、藤

卷宗吉氏、外四名来訪。会館ニテ面会ス。開拓地へ水道及道

路開設陳情ニ付テナリ。面会後院内参看ノ便ヲ供ス。

元陸軍少将石丸志都磨氏（《宇奈根町七九一》）来訪。軍人恩給

復活ノ件ニ付、多数同志ヲ代表シテ熱烈ナル要望ヲ陳述ス。

緑風会控室ニテ会見ス。

駿河鉱業株式会社取締役市岡邦友氏来訪。緑風会ニテ面談ス。

氏ハ会社ノ新改造ヲ説明シ、金融ヲ得ルタメ何人カニ紹介ヲ
求ム。之ヲ謝絶ス。

由比町地すべり地帯視察ニ付、県土木部長仁科太郎氏ニ書翰ヲ
呈シ意見ヲ開陳ス。

十二日（土）曇 暖 服薬 入浴

朝、中村幸八氏ヨリ電話アリ。(1) 齋藤美英氏ヲ候補者ニ推薦

スルコトヲ、自由党県支部全会一致ノ決議ニ基キ父君知一郎

氏ニ申入レタル処、知一郎氏ハ之ヲ辞退シタルコト（理由、

《倅ハ未熟ナルコト、及会社ノ利益低下セルコト》）ヲ報告ア

リ。(2) 適當ナル候補者ナキヤ。特ニ戸塚九一郎氏ヲ勧誘サレ

タキコトヲ要望セラル。予ハ(1)ハ自然ノ成行キナリ。自由党

ノ横暴力招ク所ナリ。正義ノ士ノ反省ヲ要ム。(2)ハ戸塚氏勸

誘ハ之ヲ為ス能ハス。又勧誘スルモ氏ノ決意ヲ動カス能ハサ

ルハ明白ニシテ、此事ハ去四日植樹行事ノ際、予ノ中村氏ニ
告ケタル所ナリト答へ、(3) 石黒忠篤氏ヨリ会見ヲ求メラレシ
顛末ヲ告ケ、氏ニシテ緑風会ニ入会スルナラハ予ハ氏ヲ応援
スルヲ辞セスト告ク。中村氏ハ之ニ對シテ、今夕静岡市ニ於
ケル支部役員会ニ於テ候補者選定ノ協議ヲ為ス由ヲ語レリ。

登院。赤木、楠見両氏ト会見シテ右ノ情勢ヲ報告ス。

荷見安氏ノ来訪ヲ求メ、会館ニテ会見シテ右ノコトヲ報告シ参
考ニ供シ、周密ナル取扱ヲ要望ス。荷見氏ハ、(1) 今朝廣川農

相ヲ訪ヒ、農相ヨリ石黒氏ノ出馬ヲ断念セシムルヤウ懇望セ

ラレタルコト《農相ハ新聞紙ニテ、荷見氏カ極力石黒氏ノ出

馬ヲ画策スト知レリト云フ》、之ニ對シ荷見氏ハ出馬ノ場合

ハ、農相ノ支持ヲ懇望シテ物別レトナリシコト、(2) 本日、沼

津ニ森田氏ヲ訪問シテ石黒氏支持ヲ要望スル筈ニテ、往訪ノ

打合セヲ遂ケタルモ、之ヲ延期スル旨ヲ通告シタルコト、(3)

静岡県ノ知人某氏ヨリ電話ニテ、若シ荷見氏カ森田氏ニ對シ

テ石黒氏出馬ニ付同意ヲ求ムルナラハ、森田氏ハ断然之ヲ拒

否スト知ラセ来リシコトヲ告ケラル（依之、森田氏往訪ハ石

黒氏出馬決定ノ上ナラデハ無意味トナレリ）。参議院食堂ニ

テ山崎恒氏ノ談アリ。曰ク、山崎氏昨日森田氏ヲ往訪セシニ、

遠藤代議士ハ東京ヨリ森田氏ニ電報ヲ以テ、石黒氏ノ出馬ニ

反対スルヤウ勧告シ来レリト。食後、杉田専門員ト内閣委員

会、今後ノ運営ニ関シテ協議ス。

本日一時ヨリ破壊行動防止法案反対ノゼネスト、全国ニ行ハルル予定ナリシモ、政府ノ同案修正発表ニ依リ、大ニ氣勢ヲ殺カレタル觀アリ。

桜花散リ初メ南風強シ。身体倦怠ニ付帰宅。三時ヨリ四時半マテ臥床ス。

十三日(日)曇 南西強風 暖 服薬

終日家居。読書ス。堀先生ヲ訪ヒ健康診断ヲ受ク。心臓異常ナシ。血圧一五四―八〇、尿ハ無蛋白、糖痕迹アリ。

朝、石井英之助氏ト電話ス。昨朝中村代議士トノ談話内容、昼荷見氏トノ談話要領及山崎恒氏ノ談話ヲ告ク。

午後三時、勝間田村長枝村藤次郎氏外有志四名、及技師浦上喜平氏来訪。三栗川下流防災工事費増額要求ニ付、建設省へ助勢ヲ求メラル。

三宅福馬氏(武蔵野市吉祥寺一、三〇一)ヨリ来書、坂野鉄次郎氏、来十九日東京二十三日マテ木挽町小松家旅館ニ滞在ノ旨ヲ報セラル。依テ直ニ謝状ヲ三宅氏ニ、又歓迎状ヲ坂野氏ニ呈シ、赤木氏ニ諮リテ二十二日又ハ二十三日同成会懇親会ヲ開クコトトシテ、坂野氏ニ対シ其何レヲ採ルヤヲ電照ス。

十四日(日)雨 冷 電気治療

本会議ニ出席ス。破壊活動防止法案ニ関シ、左派社会党椿氏及

共産党兼岩氏ヨリ緊急質問アリ。先是、村上運輸大臣ヨリ木星号墜落事件ニ付報告アリ。請願陳情ヲ採択シテ散会ス。緑風会総会アリ。予ハ石黒氏静岡県ノ立候補ニ付、交渉ヲ受ケタル顛末ヲ報告シタル上、予ノ態度ヲ明ニス。議事散会后、選挙対策委員会ニ於テ重ネテ報告シ、予ハ緑風会ノ決定ニ從テ行動スル旨ヲ明ニス。

一時ヨリ内閣委員会ヲ開ク。先ツ追放解除法案ヲ上程シ、全会一致之ヲ可決ス。次ニ海上保安庁法案ノ審議ニ入り、四時半散会ス。

建設省河川局治水課ニ技官川村満雄氏ヲ訪問シ、三栗川末流防災費ニ追加増加ノ要請ヲ為ス。枝村村長、浦上技師等同席ス。川村技官ハ考慮ヲ約セラレシモ、該費額ハ既ニ県ニ割当済ニシテ、県内操作ニ依ルノ外ナキニ拘ラス、片岡河川課長ガ一行ノ上京ヲ促シタルハ甚無責任ナリ。予ハ一行ニ対シ其旨ヲ課長ニ伝フヘキ旨ヲ要求ス。

七時過、後藤文夫氏、橋本清之助氏来訪。石黒氏立候補ニ決シタルヲ以テ、予ノ援助ヲ求メラル。予ハ選挙ノ最困難ナル事情ヲ詳述シテ参考ニ供ス。又予カ援助ヲナスト否トハ、石黒氏カ緑風会ニ入会スルコト、緑風会カ公認スルコトノ二条件ニ繋カルコトヲ答フ。

八時過、中村代議士ヨリ電話アリ。其中ニ、(1)県自由党支部ハ(美英) 齊藤重美氏ヲ推スコトヲ再認シタルコト、(2)小林武治氏ハ一

且立候補ヲ断念シタル処、神田、金原両氏ニ欺カレタリトテ断然出馬ヲ決意シタルコトヲ告ク。自由党ノ不信甚シト謂フヘシ。(3)中村氏ノ問ニ対シテ、予ハ石黒氏立候補ノ決意愈々鞏キ旨ヲ答へ、予ノ態度ハ氏ノ緑風会ニ入ルニ繋ルコトヲ明ニス。

右二件即、後藤氏等来訪ノコト、及中村代議士ノ報告ヲ赤木氏ニ電話報告シ、石黒氏入会ノ申出アリタル場合ハ、明日ニテモ緑風会ノ態度ヲ決スヘキ用意ヲ希望ス。

坂野鉄次郎氏ヨリ電報ニテ、二十三日都合ヨキ旨ヲ報セラル。依テ同夕同成会懇親会ヲ開クノ手配ヲ為ス。

夜十時半石黒忠篤氏来訪、石井英之助、竹山祐太郎両氏随伴ス。石黒氏ヨリ立候補ヲ決意シタルニ由リ、予ニ援助ヲ求メラル。而シテ緑風会ニ入会シタキ旨ヲ述へ、其手続ヲ執ルコトヲ希望セラル。予ハ緑風会カ入会ヲ承諾シ、予ヲシテ自由ニ同氏援助ヲナスコトヲ許容スルナラハ、犬馬ノ勞ヲ執ルヘキヲ約ス。而シテ予ハ

過刻、中村代議士ヨリ電話ノ要領ヲ伝へ、自由党側ノ結束破ルルノ兆アルモ、或ハ却テ鞏固ナラシムルコトアルヘキヲ告ケ、至難ノ大事ニ臨ムノ覚悟ヲ新ニセラレタシト要望シタリ。特ニ石井氏ニ対シテハ官僚臭ノ脱却ヲ、竹山氏ニ対シテハ民主党首推戴トノ誤解ヲ去ルヤウ勸告シタリ。十一時四十分辞去セラル。門外、寒雨瀟々タリ。

〔以下欄外〕小林氏ヲ欺キタルハ宮幡代議士ナリトノ説アリ(後記)。神田氏関係ノ程度不明ナリ。

十五日(火) 雨 冷

昨夜不眠、三時ヲ過ク。本日気分朦朧、睡眠ヲ催スコト屢次ナリ。

十時開会ノ予定ノ内閣委員会ハ、十一時ニ至リテ開会ス。行政キカン定員法改正案ニ付、一応政府ノ説明ヲ聴了ル。十二時ヨリ二時マテ休憩、四時散会。

一時頃ヨリ緑風会ノ緊急総会アリ、出席ス。石黒忠篤氏ノ緑風会入会ノ申出ヲ取次キ、且、今回静岡県ヨリ参議院補欠選挙ニ立候補スルヲ以テ、援助ヲ乞ヒタキ旨ヲ紹介ス。此二点ニ対シテハ全会一致ヲ以テ承認スルニ決定ス。緑風会ハ直ニ選挙対策委員会ヲ開キ、予ヲ選挙事務長ニ決定ス。次テ予ハ右ノ旨ヲ電話ニテ石黒氏ニ報告シ、入会申込書ノ提出ヲ求ム。又、会員諸氏ニ諮リテ吉田首相ヲ往訪シ、石黒氏ヲ援助スルヤウ懇請スルニ決ス。

菅野官房副長官ヲ訪ヒ、首相ニ面会ヲ申込ミシモ竟ニ回答ヲ得ス。仍テ四時過内閣委員会散会后、更メテ答ヲ促シタルニ、明朝電話スヘキ旨ノ答ヲ得タリ。

戸塚九一郎氏来訪、石黒氏ノ起否及予ノ態度ヲ問フ。甚好都合ナリ。事ノ経過及結果ヲ詳説ス。予ハ更ニ吉田首相往訪ノ意

ナルヲ告ク。又右ノ経過ヲ舎弟重一郎氏へ伝言ヲ頼ム。

五時頃中村幸八氏来訪、高橋通産相ノ来訪ヲ深謝シ、次ニ石黒氏緑風会ヨリ立候補セシ顛末ヲ問フ。予ハ之ニ対シテ詳細ナル説明ヲ為シ、官僚及民主派ノ推薦ト無関係ナル所以ヲ明ニス。而シテ予ハ吉田首相往訪ノ意向ヲ明ニシタルニ、中村氏ハ昨日静岡ニ於ケル県支部決定ノ内容ヲ告ケ、小林武治氏憤起ノ事情ヲ明ニシ、更ニ本日吉田首相カ益谷総務会長ニ告ケタル内容ヲ伝ヘラレ、結局予ノ吉田首相訪問ト同趣旨ナルヲ知レリ。依テ予ハ県下自由党ノ為ニ醜キ内紛ヲ止メ、石黒氏推薦ニ合流スルノ可ナルヲ強調シタリ。中村氏ハ竹山氏ノ先驅ヲ迷惑トスルモ、予ハ竹山氏及多数同志ノ推薦ヲ得ルコトヲ望ムト告ケタリ。

尚、相談ノ上神田代議士ト会見スルコトトス。

帰宅ノ後、神田代議士ニ電話セシニ不在ナリ。依テ速ナル会見ヲ申入ル。

梅地慎三先生ヨリ石黒氏応援ノ為、本日静岡へ赴ク由、電話アリ。

七時過重友ヨリ電話アリ。石黒氏立候補ニ付、予トノ関係ナト新聞記事ヲ賑シタルヲ以テ有志ノ電話問合多ク、且戸塚九一郎氏ノ選挙ニ不利ヲ与フルノ虞アルタメ、明日上京セント通シ来ル。予ハ事ノ真相ヲ明ニシ、決シテ九一郎氏ニ不利ヲ与フルノ理由ナシト告ケ、重一郎氏へモ諒解ヲ乞フタメ伝言ヲ

依頼ス。

十六日(水)晴 暖

石黒氏立候補ニ付、朝神田代議士ニ電話ヲ以テ挨拶ヲ述へ、緑風会ノ態勢ヲ報告ス。

朝、中村代議士ヨリ本日十一時、院内ニテ県出身両院議員ノ会合アリ。静岡ヨリ知事及森田議員ヲ喚寄セ、益谷総務会長出席シテ総裁ノ真意(石黒援助ノコト、自党候補引下ケノコト)ヲ伝フル由、電話報告ヲ受ク。

本会議ニ出席ス。追放令廃止法案ノ委員長報告ヲ為シ、可決セラル。

十一時、吉田自由党総才ニ首相室ニテ面会ス。廣川農相ト対談中ナリ。首相ニ対シテ石黒氏、静岡県ヨリ緑風会候補トシテ出馬スルニ付、自由党ノ援助ヲ懇請ス。総裁ハ之ヲ了シ、昨日益谷総務会長ヲ招キ、県自由党ヲシテ氏ヲ援助スルコトヲ求メタルニ、益谷会長ハ県自由党ノ意向ヲ参酌シテ決行セシト答ヘタル由ニシテ、総裁ハ是非トモ石黒氏ヲ援助スルヤウ強要シタリト答フ。予ハ其言ノ簡勁ニシテ意ノ率直ナルニ感シ、厚意ヲ謝セリ。初メ農相ハ予ニ対シテ、君等ハ兎角面倒ナル事ヲ起シテ困ルト言ヒシニ対シ、予ハ県自由党コソ昨年知事選挙以来面倒ヲ起シテ困ルト反駁シタリ。農相ハ又、石黒氏ノ為ニ他ノ候補者ヲ断念スルヤウ計画中ナリト告ケタ

ルニ対シ、其計画ヲ謝シ、之カ実現ヲ熱望スル旨ヲ答ヘタリ。
次ニ総才ト会谈シ了テ、農相ニ対シ廣川農政ハ畢竟石黒農政ナリ。故ニ政府モ自由党モ石黒ヲ落選セシムル能ハスト告ケ、更ニ石黒カ万一落選セハ、求ルヘキ総選挙ニ於テ自由党候補者ノ落選数夥多ナルヘシト擲^(楡)ユシテ退出シタリ。
右会见ノコトハ直チニ緑風会總會ニ報告シ、新谷選挙委員長ト打合セヲナシ、明朝帰県スルト決定ス。緑風会ニ対シテ選挙費金五万円ヲ寄付ス。

又、当分選挙ニ没頭スルヲ以テ、内閣委員長ノ辞任ヲ赤木氏ニ申出ツ(後刻在任ノマ、出陣スルヤウ勸メラル)。又、三浦安藏氏ニ依頼シ、不在中本會議欠席ノ届出ヲナサシム。

緑風会ハ直ニ徳川、新谷両氏ヲ代表トシテ自由党、改進黨、民主クラブ、社会党ヘ挨拶ス。

西村代議士来訪。静岡県出身両院議員会合(益谷会長出席、斎藤知事、森田議員参加)ノ状況ヲ報告セラル。(1)総才ノ意ヲ体シテ石黒ヲ援助スルコト、(2)現ニ立候補セル斎藤、小林両氏ノ候補取消等ニ関シテナリ。

中村代議士来訪。同様ノ報告ヲ受ク。又、竹山代議士ノ拔擢功名ヲ怖ルル模様強シ。

予ハ石黒氏カ緑風会ニ入りシヲ以テ、其心配ナシト告ク。中村氏容易ニ了解セス。

全国治水砂防協会有志会アリ。徳川会長、次田氏、田中氏、赤

木氏、河井出席ス。

内閣委員会ノ懇親会ヲ六時ヨリ議長公舎ニ開会ス。出席議員ハ鈴木、竹下、三好、成瀬諸氏ナリ。専門員以下、及事務局関係諸氏モ加ハル。

三好委員カラ、改進黨ハ三木幹事長ヨリ石黒氏ニ対シ、厚意アル援助ヲナス方針ナリト總會ニ告ケタル由ヲ聞ク。

夜、石井英之助氏、坂田英一氏、来訪シテ打合セヲ為ス。

十七日(木)晴 薄暑

静岡ヘ赴ク。石黒候補ノ為、知事ニ挨拶ヲ為シ、選挙ニ関シ打合セヲ為ス為ナリ。

品川ヨリ乗車ス(八時十一分)。益谷会長ト列坐シテ打合セヲ為ス。了テ、神田、中村、遠藤諸氏ト打合ヲナス。畠山氏ハ

熱海ヨリ同車ス。一行ハ知事公舎ニ赴キ、二時開会ノ県支部会ニ出席ス。

予ハ選挙事務所(浜松屋旅館)ニ入り、小平権一氏ニ面会シ、昨日立候補届出ヲナシタルヲ聴キ、各種協議ヲ行フ。

一時、斎藤知事ヲ県庁ニ訪ヒテ挨拶ヲ述フ。高見副知事同席。各種ノ注意ヲ与フ。其中ニ事務所ヲ県信連ニ移スヘキヲ勸メラル。之ヲ辞退ス。

鈴木選挙管理委員長ヲ訪フ。不在ナリ。地方課ニ至リ、来訪ノ意ヲ伝フルコトヲ頼ム。

帰途。平喜酒店、静岡新聞社ヲ訪フ。又増田市長ヲ訪ヒシニ不在ナリ。稲森氏へ電話ス。

徳川公ハ久能山祭典ニ列シテ大平館ニ泊セラルルヲ以テ往訪ス。

自由党県支部会ハ一時半ヨリ開会（県庁内）、益谷氏ヨリ総才ノ意ヲ伝フ。紛糾連続八時半ニ為ル。依テ東部、中部及西部ニ分レテ、本部ノ要求ニ対シテ態度ヲ決スルコトトス。中部、先ツ総才ヲ支持シ、東西両部ハ大体同調ニ向フ。

齊藤氏ハ知事ノ斡旋ニ依リ候補ヲ辞退ス。

予ハ支部ニ至リ、挨拶スルノ機ヲ得ント欲シタルモ、未其時ニ非サルヲ以テ、六時四十二分発ニテ掛川ニ帰ル。不在中森田豊寿氏、予ヲ浜松屋ニ訪問ス。

十八日（金）朝突風 大雷 大雨 午後晴 静岡へ往復八、三三
一七、五一

朝、川上嘉市氏へ電話ス。夫人ト對話、石黒氏立候補ノ報告ヲ為シ、日本楽器関係ヲ中心トシテ強力ナル応援アランコトヲ依頼ス。

静岡事務所ニ出頭。石黒氏十一時十四分静岡著。洪澤敬三、石井英之助、小濱八弥諸氏同伴ス。之ヲ駅頭ニ迎へ、駅長室ニテ少憩中、街頭演説ノ手筈ヲ打合セ、松坂屋前澤野果実店へ立看板ヲ掲ク。前ニ truck ヲ停メ、第一声ヲ掲ク。予、先ツ紹

介ヲナシ、石黒氏、洪澤氏、小濱氏演説ス。

ソレヨリ事務所浜松屋旅館ニ入り中食ス。

石黒氏ト共ニ先ツ新聞通信社（六社）支社トモニテ訪問、挨拶ヲ述へ、次テ知事ヲ訪ヒテ挨拶シ、知事室ニテ記者ト会見ス。了テ街頭演説ニ出ツ。

予ハ石黒氏ト別レ、宮崎通之助氏ヲ訪問ス。氏ハ小林候補ノ為、事務長トナリ、予ハ石黒候補ノ事務長タルヲ以テ、互ニ立場ヲ異ニスルモ小林氏ニ対スル感情ハ同一ナリ。如何ニシテ小林氏ノ傷カサルコトヲ考ヘタルモ、其反感昂激ヲ極メ、如何ナル厚意モ之ヲ享ケサルヲ遺憾トス。而シテ予ハ又石黒氏立候補ニ至レル経過ヲ徹底的ニ説明ス。対談ニ時間ニ及フ。

自由党県支部会ハ昨日、東、中、西ノ三部会ヲ開キ、中部ハ本部ノ勧告ニ応スルノ態度ヲ定メタルモ、東西二部ハ之ヲ肯ンセス。辛ウシテ、(1)本部ニ於テ小林候補ヲ辞退セシムルコト、(2)選挙ノ全権ヲ支部ニ委任セシムルコト、ノ二条件要求ノ下ニ同調スルニ決定シタリ。ソノ(2)ハ予ノ事務長ヲ退カシムルモノニシテ、実ハ改進黨ノ援助ヲ拒否スルモノナリ。予ハ之ニ対シテ緑風会ノ立場ヲ説明シ、石黒氏立脚地ヲ喪失セシムルモノトシテ之ヲ拒否シタリ。支部ハ竟ニ予ノ意ヲ諒シタルモノノ如ク、強キ要求ヲ為サス。

自由党諸代議士ノ地位ハ最困難ニ陥リ、昨日帰京セシママ在県セス。選挙運動ハ完全ニ梗塞ス。予ハ小塩、廣瀬、稲森、細

井諸氏ニ電話セシニ、或ハ不在、或ハ小林派ニ属シ在リ、形勢不利、前進ノ基盤ナシ。憂愁掛川へ還ル。

夜、戸塚、葛ヶ谷、中山、小野四氏来訪ス。予ハ四氏ノ協力ヲ深謝シ重友モ加ハリ、本日ノ情勢ニ基キテ協議ス。其結果、自由党各代議士ニ対シテ急遽帰県、夫々ノ選挙区ヲ中心トシテ運動ヲ促進スルヤウ懇請スルニ決シ、重友ヲ予ノ代理トシテ上京セシメ、各代議士ヲ訪問セシム。重友十一時五十一分發ニ乗ル。

十九日(土)晴

朝、県議大石武雄氏及水野政治氏へ電話ス。大石氏ニハ少シク未決ノ態度アリ。水野氏ハ明快ナリ。自由党両支部ノ態度未タ定ラス。

十時報徳社ニ出頭、会マ開会中ノ小笠郡町村議會議員大会ニ出席シテ、地方自治ノ将来ニ対スル希望ヲ述ヘテ挨拶ス。《選挙ニハ触レス。》

十一時七分發ニテ出岡、選挙事務所ニテ執務ス。廣瀬修道、小塩孫八両氏ニ会见ヲ求メタルモ果サス。在京自由党両院議員諸氏ニ挨拶状ヲ認メ、急速諸氏ノ選挙地ニ還リ、運動ヲ促進セラレンコトヲ要望ス。

遺家族及元軍人生活擁護連盟結成大会ハ、明日静岡市ニ開会セラルルニ付、元海軍中佐鈴木新一郎ノ報徳社来訪ヲ求メ、欠

席スル旨ノ了解ヲ請ヒ、且予ノ尽力スヘキ意見ヲ説明ス。鈴木氏明日出席、報告ヲナスト答フ。

石黒候補、一時一分發帰京ス。明日来県ノヨテイナリ。橋本伝左衛門博士来援ス。坂野鉄次郎氏上京、通信功労者トシテ表彰セラルト云フ。廿三日、同成会懇親会ニ出席スル予定ナリ。

二十日(日)晴

朝、静岡事務所ニ出頭執務ス、自由党県支部ノ態度変ラス。石黒候補十一時十四分静岡駅通過、浜松へ向フ。又神田、西村両代議士来岡、駅所ニ迎送ス。両代議士ニ対シテ市内運動中心者ノ決定ヲ求ム。進捗セス。

応援者多数来著。坪上、鍋島、古野、三浦、英人ブース諸氏ナリ。静岡公会堂ニテ学術演説会ヲ催ス。予ハ第一声ヲ挙ケ石黒ヲ推称ス。

遺家族及元軍人生活擁護連盟委員長細井篤郎氏ニ電話シテ、本日ノ連盟結成式ニ欠席スル旨ヲ告ケ、本件ニ対スル予ノ態度ヲ説明ス。

一時四十二分静岡發ニテ浜松ニ至リ(三時二十五分著)、石黒事務所ヲ搜索シ漸クニシテ栄町九五、藤田久四郎氏方ニ達ス。竹山代議士横光吉規氏等アリ。石黒候補ハ引佐郡へ赴ケル由、依テ直ニ石黒氏ヲ追ウテ出發。三ケ日ヨリノ帰途ニテ出會フ。

車上東京人ヲ満載シ、只一人高平勇氏ノ地方人ヲ認ムルノミ。

又田中長茂氏ノ来援ハ大ニ県民ノ注目ヲ惹ケリ。

気賀町吉野屋ニテ農業有志十五六人、満洲婆モ之ニ加ハルア

リ。食後紹介ノ演説ヲ為シ、候補ト別レ、单独浜松事務所ニ還ル。

浜松公会堂ニハ時局講演会アリ。東京ヨリ有名弁士多数出席セ

シモ、聴衆ハ四五十名ノミ。

事務所ニテ浜松方面ノ状況ヲ見ルニ、代議士ハ県議ニ押ヘラレテ出動セス。県議ハ本部ノ措置成ルマテ傍觀スルノミ。依テ

木全大孝氏ノ来訪ヲ得テ、市会ノ援助ヲ求メシモ、木全氏ハ

近藤議長ニ相談ストノミニテ動かズ。深夜、中村代議士宅ニ

電話シテ、氏ト通話セシノミ。形勢混沌甚不利ナリ。

掛川へ帰宅ノ終列車ニ乗遅レ、藤田氏方ニ泊ル。石黒氏ト同室

ナリ。終夜眠ル能ハス。黎明ヲ待ツノミ。

一円融合会創立總會ニハ出席スル能ハス。本社ヨリ小野仁輔氏

出席ス。

予ノ会費金六百円ヲ同氏ニ託ス。

二十一日(日)晴 昨夜悒悶不眠ノ為 神経痛アリ

六時、藤田氏方ヲ辞ス。上京ノ意ヲ決ス。

石津浪次郎氏ヲ訪ヒ、川上嘉市氏往訪。楽器会社員ノ支援ヲ請

ハシム。

浜松七時二分發、掛川ニ下車。駅前平喜卸売店ニテ戸塚重一郎

氏及重友ノ来訪ヲ求メ、情勢ヲ報告シ、現状打破ノ為、上京ノ決意ヲ告ク。戸塚氏ヨリ選挙ノ主導権ヲ自由党ニ委任スル

ノ論アリ。重友モ亦郡下主動者ノ態度ヲ報告ス。

列車故障ノ為一時間計リ遅發。静岡へ赴ク。重友同車ス。

森田豊寿氏ヲ農協ニ往訪ス。氏ハ其組織ヲ挙ケテ石黒氏ヲ応援

スル旨ヲ答フ。石井、小平両氏同行、森田氏ト推進方法ニ付

協議ス。森田氏ノ此態度ハ、西遠農協及賀茂農協ハ氏ノ態度

決定ニ先チテ石黒応援ノ決議ヲナシタルニ関連アリ。茲ニ於

テ一大好転ヲ見ントス。

森田氏ハ又自由党県支部役員会ニ予ノ出席ヲ求メラレ、予ノ態

度ニ付テ緊要ナル注意ヲ与ヘラル。

二時頃、自由党県議集会ニ臨ミ挨拶ヲ述フ。知事及森田氏モ出

席シ在リ。一二質疑アリタルモ、大体ニ於テ予ノ依頼ヲ了承

セシモノノ如ク、是亦一大好転ナリ。

先是、県漁連ニ佐野会長ヲ訪フ。一諾ヲ得タリ。千鈞ノ重キヲ

感ス。

静銀ニ平賀頭取ヲ訪フ。不在ナリ。静岡俱樂部ニテ面会ス。又

三橋四郎次氏ニモ面会ス。三橋氏ハ小林氏ヲ援助スト云フ。

森下夫人同伴。静岡市会ニ至リ、廣瀬議長ヲ訪ヒ、選挙ノ静岡

ニ於ケル中心トナランコトヲ求メシニ謝絶セラル。又河野辺

女医ニ面会シ、全面的ノ賛同ヲ得タリ。之ニテ県婦人連盟ノ

支持ヲ受クル見込確定ス。森下夫人及藤原夫人ノ斡旋ヲ多トス。石黒夫人ノ来静ヲ乞フコトニ決ス。

夜上京ス。静ニ思フ。本日ハ真ニ勝敗分岐ノ日ナリ、森田氏トノ会見、佐野氏ノ支援、自由党県議集会ニ於ケル挨拶、及河野辺連盟長ノ支持ハ、時速百キロヘノ初秒ノ微動ナリ。猶ホ重畳ノ暗黒雲ヲ透シテ数条ノ光線ノ漏レ来レルカ如シ。而シテ自党支部ノ要求タル小林候補引下ゲ処理ノ一事ハ、急速解決ヲ要スルモノナリ。県議代表ハコレカ為メ明日上京、本部ニ要求ヲ提出ス。

二十二日（火）晴

内閣委員会ニ出席ス。海上保安庁法案ヲ修正可決ス。

九時四十分、院内ニテ益谷自由党総務会長ト会見シテ、急速善処ヲ要請ス。県議代表ハ三時三十分、益谷会長ト会見シ、強硬ナル申入ヲ為ス（要件ハ小林氏処理ト運動必要費支出トナリ）。

十二時、緑風会總會ニ出席シ、県ノ情勢ヲ報告シ、益谷総務会長ト会見ノ内容ヲ述ヘ、更ニ会員諸君ノ来県応援ヲ懇請ス。一時三十分、会館三二号ニ小平権一、石井英之助、湯河元威、笹山茂太郎、四氏来訪ス。四氏ニ対シテ県ノ実情ヲ報告ス。四時三十分、石黒氏方訪問。令夫人ニ挨拶ス。後藤文夫氏、石井英之助氏ト会見ス。又改進黨代議士内藤友明氏ニ出会フ。

内藤氏ハ石黒氏ノ緑風会入りニ付、不平ヲ鳴ラセリ。

夜、中村代議士ヨリ電話ヲ以テ、自由党県議代表ト益谷会長トノ会見要領ヲ報告アリ。小林氏辞退勧告ノ為、総才ノ代理トシテ特ニ増田幹事長ヲ派遣スルニ決シ、増田氏ハ明日静岡ヘ赴ク由ヲ告ケラル。而シテ小林氏カ若シ辞退セサレハ、党ハ離党ノ勧告ヲ為スニ決定シタリト報告セラル。

中村氏ヨリ夜中電話アリ。増田氏ハ頃日ノ肺炎癒エタルモ、旅行ヲ禁セラレタルニ付、堀官房長官、外一名（坪川信三氏副幹事長）代テ静岡ヘ赴ク由ヲ告ケラル。自由党ノ態度一決ス。憂雲漸ク払ハレントス。

二十三日（水）晴

本会議ニ出席ス。海上保安庁改正案ヲ報告シ、委員会修正案ノ通り可決セラル。

九時半、益谷総務会長ヲ自由党総務室ニ訪ヒ、吉田首相ニ会見ヲ申入ル。十時前首相登院。直ニ其室ニ入り面会ス。県情勢ヲ報告シ、自党支部力総才ノ意ヲ体シツ、モ行動ニ入ラサル事由ヲ説明シ、総裁ノ決断ヲ求ム。流石ノOneman顔色ヲ変シ、静岡県ハ困ツタモノダト歎声ヲ発ス。益谷会長、予ノ言ヲ補ヒ、推進策ヲ進言スルニ及ヒ予ハ辞去ス。

午前中ニ自由党両院議員会合開カルル予定ナリシモ、其必要消失シ中止トナル。

自由党控室ニ増田幹事長ヲ訪ヒ、同党ノ援助ヲ深謝ス。而シテ援助ノ為メ、必要ナル経費ハ総テ同党ノ負担ト為スコトヲ承諾セラル。幹事長ハ又病氣再発ノ虞アルヲ以テ、医戒ヲ守リ明日静岡へ赴カス。堀官房長官代理セラルル由ヲ告ク。

五時、附属公舎ニ於テ同成会懇親会ヲ開ク。坂野鉄次郎氏上京セラレシヲ以テナリ。出席者ハ同氏ノ外、入江貫一、下條康麿、丸山鶴吉、金森徳次郎、大谷正男、小汀利得、赤木正雄ノ諸氏ナリ。三宅福馬氏ニ坂野氏同伴、来会セシヲ以テ特ニ出席ス。

会后、自動車ニテ坂野氏ヲ旅館木挽町小松屋ニ送り、入江氏ヲ玉川奥沢町へ送ル。

二十四日(木)雨

東京ニ於ケル中央工作成功シ、保利官房長官ノ派遣トナリ、緑風会モ亦大挙応援ト決定シタルヲ以テ、八時十一分品川ヨリ急行列車ニ乗シ静岡へ還リ、事務所ニ入ル。

保利長官ハ坪川副幹事長ト共ニ、十時発急行ニテ静岡ニ来ル。神田、西村、中村三代議士同行ス。予ハ石黒候補ト共ニ県庁ニ至リ、二時、保利長官、坪川副幹事長ニ挨拶ス。石井英之助氏同席ス。

先是、予ハ高見副知事ヲ訪ヒ《十一時三十分》テ打合セヲ為シ、又齊藤知事へ挨拶ス《石井氏同席》。保利長官ハ小林候補ニ

面会ヲ求メシモ、小林氏出先ニ在リテ帰来セス。面会ヲ断レルヲ以テ使命ヲ三上県支部幹事長ニ託シ、二時三十四分発急行ニ乗テ帰京ス。

本日、天竜川綜合開発促進同盟諸氏、来京セシモ不在ナリ(昨日不在ノ旨電報ス)。

二十五日(金)晴

朝、三島大社矢田部盛枝氏ニ電話シテ支援ヲ申入ル。神社庁ノ援助決定ス。八時三十三分発ニテ静岡事務所ニ出勤ス。井川村議長瀧川一栄氏等来訪ス。

四時半、掛川著、報徳社ニ於テ執務ス。(1)小笠郡農協役員会ニ臨ミ挨拶ヲ述フ。(2)加藤正人氏代理阿部孝太郎氏五時来社。運動ノ状況ヲ報告セラル。大和浜松出張所長野末菊之助氏同席ス。

二十六日(土)晴 暖

九時、地方事務所ニ小笠郡町村長会アリ、出席ス。丸尾、大石、赤堀、中山四県議モ出席ス。予ハ会長ノ紹介ニ依リ、石黒候補ヲ推薦スル理由ヲ陳述シ、満場ノ拍手ヲ得タリ。丸尾、大石、赤堀、中山四氏モ交モ熱烈ナル支持ヲ約セラル。

十一時七分発ニテ静岡へ赴キ事務所ニテ執務ス。戸塚重一郎氏ノ勸ニ依リ同氏ト同車。増田市長、松木金蔵、西村直己、海

野數馬、近藤伊平諸氏ヲ歴訪ス。近藤氏ノ勸ニ依リ、県庁内自由党控室ニ安静地区選挙委員長梅原統一氏、副委員長田中《空白》氏ヲ訪ヒ挨拶ヲ述フ。村本氏モ同席ス。

五時五十二分發ニテ浜松ニ至リ、高砂旅館ニ小野近義氏ヲ訪ヒシモ不在ナリ。而シテ所在不明ナリシヲ以テ浜松八時三十二分發ニテ掛川ニ歸ル。

松阪屋ニテ Boy Scout 制服ノ仮縫ヲ為ス。伊東市 B.S. 会 pm³ 開会ノ由、主催者山田義郎氏ヨリ通告アリシモ出席スル能ハス。

二十七日(日) 晴 暖

六時二七分掛川發ニテ磐田ニ至ル。竹山代議士、駅ニ出迎フ。依テ大塚屋ニ至リテ協議シ、本日ノ行動ヲ定ム。

先ツ自動車ニテ見付ニ水野政治氏ヲ訪ヒ、十時ヨリ中泉町所在大石県議ノ事務所ニ、郡下自由党町村長会合ニ出席スルコトヲ約シ、其間ヲ利用シテ森町城下ニ県議藤江喜重氏ヲ訪問シテ挨拶ヲ述フ。藤江氏ハ来三十日、森町ニ周智郡下町村長及農協会長ノ連合会ヲ開クヲ以テ出席ヲ求メラル。還ツテ、〔行替え〕

十時、大石氏ノ事務所ニ出頭ス。水野、大石両県議ノ配慮ニ依リ、二十余名町村長ニ対シテ石黒氏推薦ノ経緯ヲ説明シ、支援ヲ請ヒタル上賛同ヲ感謝ス。帰途、神谷家ヲ訪フ。母堂ニ面会ス。文吉氏不在ナリ。

十二時二十六分發磐田ヨリ静岡ニ出頭ス。事務所ニテ駿東郡及沼津方面ノ状況ヲ聴ク。形勢未利アラス。遠藤代議士ヨリ今夕、沼津市會議員ノ会合アルヲ以テ出席ヲ求メラル。依テ沼津行ニ決定ス。

事務所ニテ石黒令夫人出動ノ由ヲ聞キ、甚心強ク感シタリ。又高橋通産大臣ニ打電シ、浜松、静岡へ出動ヲ依頼ス。

静岡發三、三四ノ急行ニテ沼津へ赴ク。常岡一郎氏ト同車、高橋大臣、村上大臣へ伝言ヲ依頼ス。

沼津ニテハ会場不明ナリシヲ以テ名取栄一氏ヲ訪問ス。氏ハ小林氏ノ為ニ選挙事務長ヲ承諾セシモ之ヲ辞退シタル關係ニ在リ。氏ニ面会中、県議矢野久太郎氏來訪シテ予ニ会場ノ商工会議所ナルヲ告ク。又勝又春一氏來訪、予ノ説明ヲ聴キテ態度ヲ明確ニシ、且次回ノ改選時ニ於ケル予ノ立場ヲ心配セラル。更ニ又勝亦干城氏ヨリ春一氏へ電話アリ。予モ亦通話セシニ、県自由党首脳者ノ悪弊ヲ一掃センコトヲ求メテ石黒氏ニ同調ノ意ヲ表セラル。

辞シテ商工会議所ニ至リシニ集会者少シ。依テ少時ヲ利用シテ一杉藤平氏ヲ訪フ。一杉氏ハ直ニ大野虎雄氏ヲ喚寄セテ予ノ説明ヲ聴タリ。

商工会議所ニ來会セシ市議ハ二十名内外ナリ。遠藤代議士ノ紹介ニテ予ハ石黒推薦ノ経緯ヲ説明ス。一同之ヲ諒承ス。只一人田中保氏ハ説明ヲ解セス。盛ニ質問ヲ繰返シタリ。

駆足ニテ八時発沼津ノ列車ニ乗り、十時四十七分掛川ニ還ル。
誠ノ誕生日ナリ。健康ヲ祈ル。

二十八日(月)晴

昨朝、小野県議ヨリ電話アリ。本日商工会議所ニ於テ(1)自由党
浜名支部役員会、(2)浜名郡町村長会、(3)自由党浜松支部役員
会アルヲ以テ、出席ヲ求メラレシヲ以テ、八、三〇掛川発ニ
テ浜松ニ至リ商工会議所ニ入ル。閑ヲ利シテ藤田久四郎氏ヲ
訪フ。不在ナリ。事務所ニ付、厚キ配慮ヲ謝シ、新事務所設
置ニ付、了解ヲ求ム。次ニ夫人ニ面会シテ内藤惣一氏ヲ訪シ
ニ不在ナリ。更ニ市役所ニ岩崎市長ヲ訪ヒ面談ス。

夕刻マテニ上記三種ノ会合ニ出席シテ挨拶ヲ述へ、石黒氏推薦
ノ理由及政治的立場ヲ説明ス。何レモ全会一致ノ支持ヲ得タ
リ。

石津浪次郎氏ヲ訪ヒ、五時五十分発ニテ掛川ニ還ル。

平和条約及日米安全保障条約効力ヲ發生ス。午後十時三十分。

二十九日(火)午後雨 冷 天長節ナルモ御喪中ナリ

八、三三發静岡ニ至リ、事務所ニテ執務ス。

県庁自由党総務室ニ出頭。神田、三上、村本三氏ニ面会ス。

一〇、一二発ニテ藤枝ニ至リ、山口忠五郎氏ヲ訪フ。不在ナリ。

夫人ニ面会シテ挨拶ヲ述フ。片柳眞吉氏ト同車、氏ハ掛川ニ

至リ報徳社ニ出頭、集会ニ臨席ス。

藤枝駅ニテ列車待合中、山田繁夫氏ヲ訪フ。一家不在ナリ。

石黒候補ハ今夕龍山村泊。明日水窪ニ至リ、引返シテ磐田、浜
名ノ平原ニ出ツルノヨテイニシテ、不利ナルヲ認メタルヲ以
テ予ハ奥地ヲ代行シ、龍山ヨリ平原ニ出ツルヲ勸ムル為龍山

ニ向フ。藤枝三、五二一五、〇五浜松五、三〇一六、二五

雨 鹿島六、三〇一舩明(夕食) 一横山、止。青山秀一氏方

醬油屋旅館ニ投ス。

電話ニテ石黒候補ノ所在ヲ搜索シ、下阿多古村松野氏方ニ投宿
(ヨテイ変更)ノコトヲ知り、明日ノcourse変更ヲ決定ス。

又本部ヨリノ電話、竹山代議士ヨリノ電話ニテ、明日ノ経路
ニモ両党ノ駆引深刻ナルモノアルヲ知り、竹山代議士ノ周到
ナル考慮ヲ求ム。大体ニ於テ我意ヲ得タリ。依テ水窪町鈴木
直人氏ニ電話シテ明日往訪ノコトヲ告ク。

石黒候補ハ明日山香村マテ赴クコトトナル。已ムヲ得サルコト
ナリ。夜十二時就寝ス。

三十日(水)晴

愁雲霽シテ新緑爽快ナリ。青山氏ニ謝シテ發ス。バス、横山七、

四〇一八、四〇水窪(峯の沢マテ満員、ソレヨリ座席ヲ得)。

鈴木直人先生ヲ訪フ。先生ハ小林氏側ニシテ、石黒派守屋利

一氏ト対立ス、両氏共々厚意ヲ以テ予ヲ迎ヘラル。守屋氏ハ

病臥中ナリ。慰問ノ上、速ニ抗争ヲ忘ルヘシト勸告ス。もろくづやニテ有志七八名ト会談説明ス。営林署長《木村武雄氏》ニハ面会ヲ得ス。伝言ヲ鈴木氏ニ頼ム。

バスニテ城西村ニ来リ、農協事務所ニ入り常務理事《空白》氏ノ配慮ニ依リ有志七八名ト会見ス。

農協ノ好意ニ依リTruckノ使用ヲ許サル。井通村長伊藤佐一氏同車世話セラル。龍山村長宮澤干亟氏方ニ至リシニ、役場ニ出勤セシ由ナリ。夫人ヨリ中食トシテ寿司ヲ饗セラル。須臾ニシテ干亟氏帰來同車、山香村へ案内セラル。

山香村役場ニ出頭、農協長兼村長坂中建市氏ニ面会ス。コレニテ宮澤氏ト別レ、佐久間村地内ニテTruckヲ降り（道路修繕中）、徒歩佐久間村役場ニ出頭ス。村長北井二三夫氏不在ナリ。依テ農協ニ会長《空白》氏ヲ訪フ。

電車ニテ浦川町ニ至リ、農協ニ出頭ス。会長矢部和作氏不在。役場ニ出頭セシニ町会開会中ナリ。町長武田茂六氏ノ配慮ニテ、散会后ノ町会議員諸氏ニ面会シテ挨拶ヲ為ス。

熊村長熊村昌一郎氏へハ横山、青山秀一氏ヨリ電話ヲ頼ム。電車ニテ豊橋ニ出テ、伊藤氏ト磐田ニテ別レ、九時七分掛川著、帰宅ス。《疲労ノ為沼津行キ中止ス。》

五月一日（木）晴 mayday 浜松ハ風揚初日ニテ沸立ツ

掛川九、三〇一〇、〇六浜松一一、五三一一二、〇九静岡六、

四二一八、二六浜松一一、一四一一一、五一掛川

浜松事務所及静岡事務所ニ出頭ス。浜松ハ中村氏義弟在リ。県議ノ不熱心ヲ愬フ。市議ハ熱心ナリト云フ。Mayday及風揚祭ニテ市中混雑ヲ極ム。

静岡ニテハ七間町ニテ二回街頭演説ヲ行フ。漸次透徹ノ兆現ハル。

九時ヨリ九時半マテ、浜松市公会堂ノ立会演説会ニテ石黒候補ノ為、代理演説ヲナス。弥次ノ飛フコト烈シク低劣ヲ極ム。適當ナル反撃ヲ加へ、最後ニハ平静トナル。

弥次ハ小林派鈴木甚一氏《商工会議所副会頭》ノ所属ナリト云フ。

小野近義氏ノ好意ニ依リ旅館高砂ニ休息ス。十二時過帰宅ス。

二日（金）晴麗

午前中掛川ヲ中心トシテ活動ス。

(1) 九時半天理教会ニ柏木庫治氏ヲ訪ヒ、全員ノ援助ヲ謝ス。氏ハ袋井へ赴ク。

(2) 小笠郡農協婦人役員会（会長佐倉村原川夫人）ニ出席、石黒立候補ニ付説明ス《出席者三十余名》。

(3) 小笠郡部落中心人物養成講習会ニ出席、同上ノ説明ノ為ス《出席二百人》。

(4) 郡酪農組合協議会ニ出席、日本農業ノ将来行クヘキ道ニ付

講話ス。

一二、四六発静岡へ赴キ、事務所ニテ執務ス。各地ノ形勢、漸次好転ス。九時五分掛川著、帰宅ス。

藤井静一氏岡山市ニテ逝去ス。(嗣)孫、照二氏、岡山市浜番

地〔二字空白〕(後記)

三日(土)晴爽

昨日、静岡事務所ニ於テ北遠周智ノ形勢甚非ナルヲ聞キ、時期既ニ晩キノ憾アルモ、犬居、気多、熊切へ出動スルニ決ス。

斎藤知事ノ配慮ナリ。

九時三十分掛川発磐田へ赴ク。飯島連次郎氏(参議群馬)静岡ヨリ来リ、加勢セラル。終日自動車旅行ナリ。

磐田地方事務所(水野県議ト打合ノ上、十一時出發)一森(藤

江県議ト打合ヲナス)一三倉(田辺先生ト打合、中食ヲ頂ク)一犬居(役場ニテ助役平塚三四郎氏ト会見、町長石黒

仁氏不在ト云フ、秋葉神社宮司河村実氏訪問)一気多(村長

農協長渡辺文作氏ト会見、営林署長奈良英二氏訪問)一熊切

(農協長山下陽一郎氏ト会見、氏ノ紹介ニテ村長杉本恒夫、

議長大畑團平、助役酒川達雄三氏ト会見、父君へ伝言ヲ頼ム)車行二十里、頗疲勞ス。効果ハ十分二期待シ得サルモ、全然無

効ナリシトハ考ヘス。帰途田辺先生、藤江県議ニ挨拶ス。八

時四十七分磐田発ニテ帰ル。飯島氏ハ静岡へ赴ク。

昇三郎来訪ス。

四日(日)風雨

八、三三発ニテ静岡へ赴キ、事務所ニテ執務ス。

十一時ヨリ静岡県Boy Scoutノ仕事ニ関係ス。大東館ニ入り、川井健太郎氏、尾崎忠治氏外諸氏ト今明両日ノ行事ニ付協議

ス。新製ノ制服美彩ヲ放ツ。

十一時半、三島総才、岡本事務局長ハ、山中ノcamp EリCaptai n Walliノ操縦スルjeepニテLieut Baseト共ニ来著ス。中食ノ

後、公会堂ナル演奏映画講演会ニ臨ム。

此会合ハ市内中小学校生徒ヲ対象トシ三交代ニテ行ハル。頗盛

会ナリ。三島総才、Walli大尉講演ス。演奏ハ東京市大田区ノ

某中学校ノBrassbandニ依リテ行ハレタリ。夕食ハ栄屋旅館ニ於テ催サレ、総才等ヲ招ク。食後公会堂ニテ

三回目ノ公開アリ。風雨強キタメ出席者減少ス。朝松坂屋ニテB.S.制服仕立料四、七〇〇円ヲ支払フ。

五日(月)曇 少雨 冷

選挙戦最終日ナリ。静岡事務所ニハ朝夕三四十分ツ、出勤セシ

ノミ。他ハB.S.ニ出動ス。

七、四〇掛川発ニ乗車ス。先頭ノ車中ニScoutBoys+girls多数乗込メリ。即ち之ニ同車ス。自ラ生氣潑刺タルヲ覚ユ。静岡

駅下車ノ時十時マテニ出頭ノ通告ヲ託ス。

九、四〇旧城内ナルB.S. 県連盟推戴式場ニ到ル。川井、尾崎、戸巻、其他幹部諸氏ト打合セ行事ヲ進ム。三島総才、MIMI大尉、Base少尉、岡本事務局長モ来集ス。

県内各地ノScoutハ隊伍ヲ整ヘ所定ノ位地ニ就ク。参加セシ女子スカウト隊、静岡子供ノ会隊ニモ整列ス。推戴式ハ尾崎C.O. missionaryノ紹介ニ依リ、予ハ壇上ヨリ挨拶ヲ為ス。次ニ表彰式アリ。十二時休憩中食ヲ為ス。

一時市内行進ヲ開始ス。楽隊、国旗、隊旗、連盟長役員米国代表、各隊ノ順序ニテ総員二千余名、堂々市中ヲ行進ス。三ヶ所ニテ花束ヲ贈ラル。三時半旧城内練兵場ニ帰還ス。

此日天気次第ニ悪シク、夕刻降雨ヲ予想セラレシヲ以テCampfireノ行事ヲ中止シ、五時、国旗卸ノ式ヲ行ヒテ散会ス。異様ノ大会ニシテ壮気腹ニ満ツルノ概アリ。

三島総才一行ハ二時頃出發、Jeepニテ沼津ニ向フ。今夕箱根一泊、明日帰京ノヨテイナリ。

各隊ハ夫々帰郷ス。四時五十分臨時列車ニテ帰京スルBrassBandヲ見送り、所贈ノ花束ト予ニ与ヘラレタルRayヲ呈ス。出發ノ際「告別ノ音楽」莊麗ナリ。

高松宮殿下、昨夕ヨリ来著（興津御泊）。本日藤枝ニテ行ハレタルThacker仕合ニ台臨セラレ、五時大東館ニ御少憩アラセラレタルニ依リ伺候ス（B.S. 制服着用ノマ、ナリ）。種々御

言葉アリ、知事、副知事、教育長、教育委員等十二三名同席ス。五時五十分、静岡駅御出發ヲ歩廊ニ奉送ス。《甘露寺掌典長ノ伊勢ヨリ帰途、車中挨拶ヲナス。》

高橋通産大臣モ同車帰京ス。挨拶ヲ為ス。

昨今両日各村駆虫部隊ノ活躍著シ。大勢既ニ優勝ヲ示ス。

六日（火）晴 穏

八、三三發静岡ニ到リ、事務所ニ出頭ス。石井、伊藤両氏ト打合セヲ為ス。三上幹事長來訪、挨拶ヲ述フ。

県庁ニ出頭、知事、副知事及土木部長ト会谈ス。鈴木選挙管理委員長、田口出納長ハ訪問セシモ不在ナリ。又自由党本部ニテ三上幹事長、村本氏、外一名ニ面会シテ挨拶ス。

帰途、澤野太郎氏ヲ訪ヒ謝意ヲ表ス。中山吉平氏事務所ニ來訪アリ。

静岡發一、〇一發急行ニテ上京帰宅ス。久シ振ニテ我家ニ帰レリ。

相良町長長野宇恵茂氏來訪。地域給引上ニ付謝意ヲ述フ。夕、赤木氏來訪。夜、昇三郎來訪ス。

七日（水）晴

登院ノ時昇三郎來宅、同車ス。本會議アリ、出席ス。

内閣委員会（十時）ニモ出席ス。十一時過静岡県ニ於ケル開票ノ結果、石黒氏当選確実トノ報告ヲ得テ安堵ス。小林候補ノ得票意外ニ多シ。県民ノ批判正シキヲ認ム。

石黒氏当選ニ付、院内ニテ吉田首相ト会见シ、深甚ナル謝意ヲ表ス。又閣議終了後ノ閣僚室ニ至リ感謝ス。尚、益谷総務会長、西村次官ニ面会シテ感謝シ、増田幹事長及神田代議士ニハ訪問感謝ス。両氏不在、増田令夫人ニ面会ス。

正午、全国治水砂防協会有志会ニ出席ス。徳川公、勝、次田、田中、赤木諸氏出席ス。

夜、中村幸八氏ニ電話ニテ挨拶ス。開票ノ結果。

石黒三七〇、三四〇 小林三二七、〇〇五

橋本一二八、五五六 小田 二三、七九八

八日（木）晴 小暑

静岡へ往復、石黒氏ト出会ヒ、各所歴訪挨拶ヲナス。

帰途沼津ニ下車、名取栄一氏ヲ訪フ。不在ナリ。直ニ三島ニ至リ、矢田部氏ヲ訪フ。静霊神社大祭ノ為、静岡ニ在リテ不在ナリ。昌子夫人ニ挨拶ス。去月四日、植樹行事ノ時撮影セル写真二種二葉ヲ恵与セラル。

三島ヨリ五時二十八分発電車ニ乗ル。石黒御夫妻、石井、伊藤、小濱、其他諸氏ト同車シ甚賑カナリ。又鈴木寛氏モ同乗ス。

品川ニテ乗換へ八時半頃帰宅ス。

九日（金）晴

本会議ニ出席ス。

内閣委員会ハ午後一時、文部委員会ト連合シテ開会ス。文部省設置法ニ付質疑ス。

石黒忠篤氏緑風会ニ来リ、挨拶ヲ述フ。

矢富義児氏ハ此度石黒氏応援ノ為静岡ニ来リシ序ヲ以テ上京、参議院ニテ面会ス。氏ノ需ニ依リ、安楽城農林専門員及猶原恭爾氏ニ紹介ス。夜同氏来訪、安田村農業経営ニ付意見及援助ヲ求メラル。

夕、伊林初次郎氏来訪ス。昨日昌子夫人所贈ノ植樹奉仕ノ写真ヲ貸与ス。夕食ヲ共ニス。氏ハ今夕神楽坂ニ泊ル。

パーカーペン二本ノ修理成ル。代四二〇円ナリ。

十日（土）晴

十時法務委員会トノ連合委員会ニ出席ス。此委員会ハ地方行政及労働両委員会トモ連合ナリ。破壊活動防止法案、公安委員会設置法案及公安調査庁設置法案ヲ議題トスルモノニシテ、木村法務総才ノ提案理由（空白）政務次官ノ案ノ逐条説明ヲ聴取セリ。歳費八五、五四三円ヲ受ク。

二時二十八分東京発ノ列車ニ乗り帰宅ス。

十一日(日)晴

朝、戸塚重一郎氏ヲ訪フ、不在ナリ。夫人ニ面会シテ謝意ヲ述フ。原川角太郎氏ヲ訪ヒ謝辞ヲ述フ。蔦ヶ谷龍太郎氏ヲ訪ヒシニ未タ起キス。最後ニ浦上喜平氏ヲ訪ヒシニ上京中ニテ不在ナリ。

八、三三發ニテ静岡へ赴ク。大東館ニ居ヲ定ム。B.S.カーネーション造花ヲ街頭ニテ売ル。

松坂屋ニテB.S.帽子press料ヲ支払フ。又時計紐、Pen差シヲ求ム。

十一時十四分、石黒氏ヲ駅頭ニ出迎へ、大東館へ同伴ス。竹山、水野両氏同車ナリ。

十一時半、浜松屋別館ニ於ケル改進黨役員会及畜産組合幹部会連合会ニ出席シ、石黒氏ト共ニ謝意ヲ表ス。

大東館ニ還リテ中食ヲナシ休憩ス。藤原副知事同伴セラル。自由党県支部長三上氏ノ電話ニ依リ、三時中島屋ニ赴キ、石黒氏ト共ニ自由党県議有志会ニテ挨拶ス。(齊藤^憲知事大東館ニ来訪、中島屋へ同車ス。)

大東館ニ帰り、三時三十四分發急行列車ニテ帰京ス。

二時、国立ナル商大講堂ニテ故学長佐野善作博士ノ葬儀アリシモ欠席ス。名刺ヲ高瀬莊太郎氏ニ依頼ス。

十二日(月)晴 頸部電気治療

本会議アリ、出席ス。

内閣委員会十時開会、行政機構改革ニ関スル一般の説明ヲ中西長官ヨリ聴取ス。又文部省設置法改正案、法制局設置法案、行政管理庁設置法一部改正案ニ付、提案ノ理由ヲ聴取ス。

十三日(火)晴

十時ヨリ内閣地方行政両委員連合会アリ。警察予備隊令改正案ニ付質疑ヲ為ス。了テ連合委員会ヲ解ク。

一時半ヨリ内閣委員会ヲ開会シ、調達庁、文部省、(旧)総理府、厚生省及行政組織法各改正案ニ付、提案理由ヲ聴取ス。

調達庁長官根道氏ニ対シ、渡辺忠雄氏ノコトヲ告ケ就職ノ依頼ヲ為ス。渡辺氏へ其旨ヲ通告シ来院ヲ求ム。

町田徳之助氏逝去ノ由、新聞紙ニテ承知ス。依テ其邸ニ弔問ス。同盟通信社静岡支局長植松一氏ヲ農林中金湯河理事長ニ紹介ス。

夕、杉山東一氏来訪。尾之道市所在天主教会学校設立資金募集ノ為、仏国ヨリ送付セラレタル貨物カ神戸税関ニテ課税セラルルコトトナリタルニ付、之カ特免ノ交渉ヲ大蔵省へ為スヤウ依頼セラル。同教会ハ榛葉康子在勤ス。

夜、赤木博士ノ砂防史稿ヲ読了ス。十二時半ニ至ル。

昨今両日、戸塚重一郎氏出入ノ大工ヲ頼ミ、門内ニ板塀ヲ作り

物置ノ戸ヲ修繕シ金網戸ヲ張替フ。手間賃二、三〇〇円(手間四人三分)ヲ鈴木邦三氏ニ払フ。

十四日(水)晴 涼

十時、本会議ニ出席ス。

一時半ヨリ内閣委員会ヲ開キ、建設省、労働省、大蔵省外一件、

文部省各設置法改正案ニ付、政府カラ提案ノ理由ヲ聴取ス。

林業議員懇話会ヲ開キシモ出席セス。林野庁所属問題ニ付意見

ヲ交換セシヲ以テナリ。森浩太郎氏司会ス。

大野よし子一週忌日ナルヲ以テ染井ニ墓参ス。

全国治水砂防協会有志会ニ出席ス。牧野良三氏、赤木正雄氏出席ス。

運輸委員会ニ於テ、熊村村長等ノ提出セル国鉄循環バス運転開

始ノ請願審議セラルルヲ以テ、紹介議員トシテ出席ス。然ル

ニ他ノ議案ノ都合上、本日ハ審議セラルルヤ否ヤ未定ナリト

ノコトナルヲ以テ、専門員ニ予ノ紹介意見ヲ伝ヘ発表ヲ求

ム。後刻右請願採択ノ報ニ接ス。

軍人恩給法ノ取扱ニ関シ、三橋恩給局長ト二回会见ス。其結果

保利官房長官ニ予ノ意ヲ伝フルコトヲ依頼ス。

五時、南甫園ニテ石黒氏当選祝賀ヲ兼ネ、緑風会ノ懇親会ヲ開

キ出席ス。石黒氏ヨリ酒及麦酒ヲ寄贈セラル。頗盛会ナリ。

Free Mason club bldg 買受資金債応募額払込九、〇〇〇円ヲ

託ス。《之ニテ第三回払込ヲ終了ス。》

重友ヨリ来十七日、小笠郡有志ノ集会アルヲ以テ予ノ出席ヲ要望シ来ル。予ハ事務ノ都合上、十八日十二時半著、三時発ニテ上京スルナラハ出席可能ト返書ス。

十五日(木)晴 暖 下痢

十時内閣委員会ヲ開会ス。機構改革案各府省内容ニ付説明ヲ聴

取ス。午後警察ヨビ隊令ノ一部改正案ヲ修正議決シ、統計報

告調整法案ヲ可決ス。了テ恩給法制処理ニ付協議ス。自由党

控室ニ至リ、委員出席ノ少キヲ警告ス。

石黒忠篤氏、来十七日静岡県ヘ赴クニ付、往訪先ニ関シテ協議シ、来十八日小笠郡有志会ニ出席ヲ乞フコトトシ、其旨重友

ヘ打電ス。

四時頃、保利官房長官ト会见シ、軍人恩給法ノ特例ノ処置法案

ノ審議ニ関シテ打合せヲナス。明日ノ委員会ニ大蔵大臣ト共

ニ出席スルコトヲ求ム。

朝、朝倉眼鏡店ニ至リ、修理成レル眼鏡ヲ受取ル。代金一五〇

円ナリ。又眼鏡 sack ヲ求ム。代二百円ナリ。

予ノ室ニ備附ケアル Radio ノ修繕成ル(代五〇〇円ナリ)。早

速放送ヲ聴取セシニ、衆議院ニ於ケル破壊活動防止案上程ノ

模様ヲ報告シ、且同案ノ不当暴戻ニシテ憲法違反ナル旨ヲ宣

伝ス。甚奇怪ナリ。

本日渴ヲ覺ユルコト甚シク lemonade ヲ飲ミ、又中食ノ時牛乳
ヲ飲用セリ。夜十一時マテ研究ス。

渡辺忠雄氏来院ス。依テ氏ヲ根道調査庁長官へ紹介ス(手紙)。

十六日(金) 晴 爽 Diosin 及 Ebios 服用

十時、本会議アリ、出席ス。警察予備隊令改正案及統計報告調
整法案ニ付、委員長報告ヲ為ス。前者ハ反対討論三名アリ。

修正可決。後者モ可決ス。又熊村長ノ提出セシ国営自動車天
龍線遠江横山路線延長ニ関スル請願ハ全会一致採択シ、内閣
へ送付スルコトニ議決セリ。其旨熊村長へ打電ス。

内閣委員会ハ午前中ハ開会ニ至ラス。午後一時厚生委員会ト連
合委員会ヲ開キ、恩給法の特例に関する件の措置に関する法
律案ヲ議題トシ、質疑ヲ続行ス。山下義信、深川たまエ、松
原一彦諸氏ノ質問ニ対シ、保利内閣官房長官、池田大蔵大臣
及三橋恩給局長ノ説明アリ。厚生委員トノ連合会ヲ解消シテ
四時散会ス。

元 G. H. Q. 民政局長リゾー氏任務終了帰米ニ付、挨拶ノ為
来院ス。佐藤議長ノ配慮ニ依リ、副議長及常任委員長ヲ集メ、
送別ノ茶会ヲ二時議長応接室ニテ催サレ出席ス。議長ノ送別
辞、リゾー氏ノ謝辞アリ。二時半散会ス。

暁来、下痢四回アリ。体力消耗甚シカリシヲ以テ医務室ニテ投
薬ヲ請ヒ服用ス。

三時ヨリ緑風会政務調査会ニテ、破壊活動防止法案ニ関スル法
務府特審局長ノ説明ヲ聴ク。遅レテ出席ス。次ニ五月一日ノ
騒擾事件、共産党ノ計画書ニ付説明アリ。又五月三十日ノ示
威運動計画ニ付概要ヲ聴ク。

鎮玉村澤野栄太郎氏来訪ス。国有林地払下ニ付、林野庁長官ト
会见セシ結果ヲ告ク。

米人 Finnele 氏今夏来日。B.S. Administration ニ付指導ス。
而シテ静岡岡県ニテハ一泊ノ予定ニシテ、成ルヘク市内素封家
ニ宿泊シタキ由、去十三日三島総裁来院談話アリシヲ以テ、
念ノ為久保田養一氏へ通知ス。

弁天島同胞寮理事長堀江清一氏ヨリ、二十五日ニハ役員会ヲ開
催シ難シトノ通知アリ。之ニ対シ六月中旬頃、国会終了後ニ
開会セラルルヲ希望スル旨ノ返書ヲ認ム。

十七日(土) 晴 爽 Ebios 服薬 下痢止ム

十時三十分ヨリ内閣地方行政両委員会連合会ヲ開キ、地方自治
庁法外一件ヲ議題トシ、政府委員ヨリ提案理由並逐条ノ説明
ヲ聴キ、質問ニ入り十二時過散会ス。

貞明皇后ノ御一年祭ニ当ルヲ以テ、侍従職ニ至リ記帳ヲ為シ、
三谷侍従長ニ面会挨拶ヲ述フ。岡本愛祐氏ト同車ス。

石井英之助氏来院面会ス。選挙後ノ挨拶ニ関シテ打合せヲ為
ス。

一時過ヨリ映画ヲ看覽ス。(1)時事ニュース、(2)結核ノ一生(衛
生試験場)、(3)井戸、(4)羅生門ナリ。

十八日(日) 晴 注射 *Phios* 及下痢留服用、入浴

掛川行。八、一品川一、一四静岡一、二〇一、二、二
九掛川三、〇五、一七、四五品川

掛川駅ニテ桑田良太郎氏ノ出迎ヲ受ケ徒歩、報徳社ニ到ル。石
黒氏ハ既ニ到著シ、葛ヶ谷町長ノ案内ニテ町内外数所ヲ歴訪
ス。

小笠郡選出県議會議員、興農連盟、農業委員、報徳社幹部等二
十数名集会、会食ス。中山県議ノ挨拶、石黒議員ノ謝辞及抱
負ノ開陳アリ。予モ謝辞ヲ述フ。

三時三分発湘南電車ニテ石黒氏ト共ニ帰京ス。車中太田正孝
氏、稻勝正太郎氏、鱸正太郎氏、同母堂、鈴木寛氏及夫人小
児等ト同行ス。頗賑カナリ。静岡ニテ稻勝氏、鱸氏等下車シ、
代テ内田裁判所長、緒明太郎氏同車ス。

往路、大阪市議伊藤勇次郎氏ヨリ天竜川発電計画書ヲ贈ラル。
又車中ニ於テ文部省設置法ノ一部改正案、恩給法ノ特例ニ関
スル法令ノ措置ニ関スル法律案ヲ讀ム。

館林三喜男、夜九時過上京来著ス。葉子ハ伊勢京阪神方面ニ修
学旅行ニ赴ク。

十九日(月) 曇 注射 両薬服用
朝、保住きね子夫人へ発信ス。

本会議ニ出席ス。十一時ヨリ内閣委員会ニ出席ス。午前中ハ恩
給法ノ特例ニ関スル措置案ニ付テ協議ス。

午後二時ヨリ委員会ヲ欠席シ、静岡育英会理事会及評議員会ニ
出席ス。評議員ハ一名モ出席セサルモ委任状ニテ定足数ヲ得
タリ。理事ハ緒明副会長、中山、松井、三氏ナリ。《一木監
事モ出席ス。》

二十六年年度決算ヲ承認シ、事務所ノ移転ヲ可決ス。又視覚教育
推進事業ノ決算ヲ確定スルタメ、故杉山甕男理事ノ令嗣茂氏
ノ出京ヲ求ムルコトヲ決定ス。

朝、登院ニ先チ慶応病院 No. 217 ニ中井光次氏ヲ見舞フ。狭心
症ノ疑アリシモ殆快癒セリト云フ。河津黒田家ノ為ニ相続
税、所得税等ニ付援助ヲ約ス。

議員会館ニテ短靴ノかゝと革ヲ取換フ。代 200 円。又道玄坂
ニテ革囊ノ革紐ヲ注文ス。
家政婦小林夫人来援ス。甚好都合ナリ。

二十日(火) 午後雨 薄暑 注射 両薬服用 入浴

内閣安本両委員連合会ヲ開キ、提案理由並議案内容ノ説明ヲ聴
ク。午後二時、通産委員会トノ連合会ヲ開キ、提案理由及内
容ノ説明ヲ聴取シタル上、四時マテ質疑ヲ為ス。

野村儀平氏ニ院内ニテ出会フ。氏ハ真正ノ理想選挙ヲ以テ諫早市長ニ当選セリ。祝詞ヲ述フ。次テ氏ノ用件ハ地域給ノ引上ニ在リト聞キ、カニエ人事委員長ニ面会シテ好意アル取扱ヲ〔依脱力〕頼ス。委員長ノ健康回復ノ為ニ、湯の家渡辺鋭氏宛紹介名刺ヲ渡ス。

二十一日（水）曇 夕晴 薄暑 注射 両葉服用

内閣委員会ヲ開ク。文部省設置法ノ一部改正案ハ審議進マテ明日マテ持越ス。又恩給法ノ特例ニ関スル件ノ措置法案モ容易ニ進涉セス。

全国治水砂防協会有志会ニ出席ス。赤木、田中両氏出席。尾根樋ノ見積ヲ為サシム。金五二、八六〇円ナリ。

浜名郡自由党支部長梶中村竹次郎氏急逝。弔電ヲ呈ス（嗣子正雄氏）。

野村儀平氏、夕刻館林ヲ来訪ス。面会ス。昨日カニエ委員長ニ依頼セシコトヲ告ク。

石黒忠篤氏、夫人及令嬢ヲ伴ヒ来訪シ、補欠選挙ニ尽力セリトテ謝意ヲ表セラル。神津バタニIBSヲ贈ラル。

二十二日（木）晴 薄暑 注射 Ebios 服用 頸部電気治療
内閣委員会ヲ開キ、文部省設置法一部改正案ヲ修正議決ス。
午後、恩給法ノ特例ノ措置ニ関スル法律案ハ、大臣ノ出席ナク

シテ審議セス。労働省設置法改正案ニ付審議ス。

又、野田行政管理庁長官ヨリ部廃止監設置ニ付説明ヲ聴ク。恩給法ノ特例措置法案ハ、衆議院ヨリ参議院ニ送付シタル日ヨリ六十日ニ当ルモ、今尚審議中ナルヲ以テ、憲法第五十九条第四項ニ依ル取扱ヲ為ササルヤウ衆議院へ交渉スルコトトシ、議長ヲ訪ヒシニ不在ナリシヲ以テ事務総長ニ依頼シ、総長ヨリ大池事務総長ニ電話ニテ了解ヲ求メタリ。

予ハ衆議院内閣委員長八木一郎氏ヲ訪問セントセシニ不在ナリシヲ以テ、明朝十時ニ会见スルコトトセリ。

五時、南甫園ニテ大橋国務大臣ヨリ内閣委員一同夕食ヲ饗セラシ。委員ノ出席者ハ自由党山田、鈴木、石原、中川四氏、緑風会竹下氏、改進黨三好氏、第一クラブ松平氏ナリ。

亜鉛板製樋架設前渡金二万円ヲ渡ス。
道玄坂ノ鞆店ニテ凶囊ニ提革ヲ作ラシメ、金百五十円ヲ渡ス。

二十三日（金）朝雨 午後晴 注射 服薬 入浴

本会議ニ於テ文部省設置法ノ一部改正案ニ付、修正議決報告ヲナシ可決セラル。食糧管理法ノ一部改正案ハ可決セラル。之ニテ麦ノ統制撤廃力実現セラレタリ。

内閣委員会ハ一時半ニ変更、開会ス。恩給法の特例に関する件の措置に関する法律案ニ付、奥野法制局長及三橋恩給局長ヨリ説明ヲ聴取シテ散会ス。明日ノ委員会ニハ保利官房長官及

池田蔵相ノ出席ヲ求メル必要ヲ感シ、内閣ニ官房長官ヲ訪ヒテ交渉シ、十一時出席ノ旨確答ヲ得タリ。

十時、衆議院ヨサン委員室ニ於テ八木内閣委員長ト会见シ、恩給法の特例に関する件の措置に関する法律案ハ、参議院カ議案ヲ受領シタル後、六十日ヲ経過シタル事情ヲ述ヘテ、同案ニ対シテハ衆議院ニ於テ憲法第五十九条第四項ニ依ル措置ヲ執ラサルヤウ依頼シタリ。

秋田市栗林千鶴子、母堂ニ伴ハレテ来訪ス。マス子及興三接待ス。

(葉子ハ今朝、関西修学旅行ヨリ帰京ス。三島甫ヨリ書状、ハんぺんヲ託セラル。)

二十四日(土) 晴 午後ヨリ曇 冷 注射服薬

九時半、皇居へ参内。三谷侍従長ヲ訪問シテ、厚子内親王様ノ御納采ニ付祝辞ヲ述ヘ、本日ハ委員会ノ為出席スル能ハサル旨ヲ告ク。又、侍従職ニ永積、徳川両侍従ヲ訪ヒ、同様ノコトヲ告ク。

帰院後、侍従長ニ対シ、電話ヲ以テ来五月三十日セネストノ場合、皇居ノ警衛ヲ厳ニスヘキコトヲ警告ス。

十時、内閣委員会ヲ開キ、恩給法の特例に関する件の措置に関する法律案ノ審議ヲ継続ス。保利官房長官、三橋恩給局長出席。各員ヨリ質疑ヲ為シ、了テ長官局長在席ノマ、懇談会ヲ

催シ、隔意ナキ意見ヲ交換シタル上、結論ヲ得、原案ヲ修正議決シタリ。重任ヲ解除セラレタルカ如キ感アリ。

元陸軍少将原田次郎氏来院セシニ付、委員会ノ結論ニ付説明ヲ与フ。

内閣常任委員室ニ於テ委員長報告ノ作成ニ付、杉田専門員ト協議ス。

館林ハ夜十一時半ノ急行列車ニテ大阪へ赴キ、ソレヨリ帰任スルヲ以テ、マス子、一也、葉子、成也ハ夕外出ス。帰任ヲ送りテ帰ル筈ナリ。

七時過、昇三郎来訪ス。藤波氏長男^(次男)ト中村円一郎氏令嬢トノ結婚式ニ列シタリト云フ。八時半公ニ方へ赴ク。《今朝、昇三郎、公ニ来訪セシモ、予ノ出勤後ニテ氣ノ毒ナコトヲ為シタリ。》

西村大蔵政務次官緑風会ニ来訪。大蔵省設置法中改正案ニ対スル修正反対意見ヲ陳述ス。又、富士山本宮浅間神社境内地ノ返還処分ニ付テハ、県庁ニテハ信仰ノ尊嚴ヲ害セサル程度ニ於テ決定スヘシトノ意見ナルニ依リ、近ク其方針ニ基イテ処理セラルヘシト告ケラル。依テ直チニ高瀬莊太郎氏ニ報告ス。

田中長茂氏ニ参議院ニテ面会ス。石黒氏ノ選挙応援ニ付、感謝ノ意ヲ表ス。

徳田政信氏来訪ス。吉原市高等学校ニ於テ国語科ヲ担任シ同市

昭和通ニ居住スト云フ。

二十五日(日) 快晴 冷 注射 服薬(ペニシリン服用、プロ
バリン服用) 血圧 170-80 糖 0.5/100 蛋ナシ
昨夜ヨリ歯痛アリ。睡眠足ラス。朝、堀先生ノ診察ヲ受ク。血
圧高シ。糖尿痕迹、蛋白ナシ。心臓正常、血圧高キハ疲労ノ
為ナルヘシト云フ。

戸田齒医ヲ訪ヒシモ不在ナリシヲ以テ、ペニシリン錠ヲ求メ服
用ス(ペニシリン四百二十円プロバリン六十円)。

夜、戸田齒医ノ診察ヲ受ク。右上臼齒ノ根ノ腫レタルナリ。簡
単ナル手当ヲ受ク。料金百円。

終日、恩給法ノ特例ニ関スル件ノ措置ニ関スル法律案ニ付、委
員長報告ノ用意ヲ為ス。

友田元效氏、稻玉母上、重友、矢田部盛枝氏、中村与資平氏へ
発状ス。

夕、石和田靖章氏新夫人ヲ伴ヒ来訪ス。興三ノ客ナリ。予モ面
会挨拶ス。

二十六日(月) 晴 涼 齒治療 注射 服薬 入浴

本会議ニ出席ス。恩給法ノ特例ノ措置ニ関スル法律案ニ付、委
員長報告ヲ為シ、全会一致修正議決ス。

内閣委員会ヲ開キ、国家行政組織法ノ一部改正案ヲ發議スルコ

トトシ、出席各派委員提案者トナリ議長ニ提出ス。本件ニ関
シテハ開会前、衆議院内閣委員長八木一郎氏ト打合セヲナ
ス。

次ニ国家行政組織法ノ一部改正案、法制局設置法案、総理府設
置法ノ一部改正案、及行政管理庁設置法ノ一部改正案ノ内容
ニ付、政府委員ヨリ説明ヲ聴取ス。

齒痛ニ対シ昨夜二回、今朝一回ペニシリン錠ヲ服用ス、今朝ハ
疼痛咽喉ニ及ヒ扁桃腺腫脹セシ感アリ、朝食ヲ節シ頭痛ヲ押
シテ登院ス。

委員長報告ノ後、御茶の水医科歯科大学ノ齒科治療室ニ桜井先
生ヲ訪ヒ、診察ヲ求ム。応急処理ヲ受ケテ帰院ス。疼痛漸次
軽減ス。桜井先生ノ指示ニ依リ、医務室ニテ沃度丁義液ヲ受
ク。就褥前ニ之ヲ患部ニ施シタルニ強烈ニシテ皮膚爛ル。

文官恩給不均衡是正陳情有志代表ト会见ス。
軍人恩給復活期成会代表石丸、田中諸氏来訪、謝意ヲ表ス。

松永安左衛門氏来院、会见ス。
故田中館愛橘博士ノ葬儀(一時、東大講堂)アリ。興三ヲ代理
トシテ会葬セシム。(儀、簡素静肅)ト云フ。

二十七日(火) 雨 冷 注射 服薬

昨夜睡眠困難。睡薬ヲ服用シテ眠ル。七時半起床ス。

八時、赤木氏ヨリ電話アリ。古島一雄氏、昨夜湯河原ニテ逝去。

今朝、遺骸帰邸スト云フ。依テ九時四十分頃弔問ス。増田幹事長、廣川農相、橋本龍伍氏、赤木氏等在リ。若宮氏未亡人モ同席ス。約二十分ニシテ辞去。赤木氏ト同車。参議院ニ出席ス。

内閣委員会ヲ開ク。午前中、厚生省設置法一部改正案、午後ハ大蔵省設置法改正案外一件ヲ審議未了ノマ、中止ス。最後ニ内閣委員提出ノ国家行政組織法中一部改正案ヲ可決ス。

富士本宮浅間神社宮司佐藤東氏来訪ス。西村政務次官、宮幡靖氏ニ会见セシム。又県知事ノ意向ヲ明ニスルコトヲ勸ム。

清水市有志ニ面会ス。同市所在ノ商船学校移転反対ノ陳情ナリ。

佐藤議長ノ需ニ依リ会见ス。議長公邸ヲ朝鮮政府ヘ売却スルタメ、李垠殿下ヨリ明年二月ヲ限り退去ヲ求メラレタル由ニ付テナリ。丸山鶴吉氏ニ会见シテ対策ヲ報告スルコトヲ約ス。

丸山氏本日不在ナリ。

歯痛殆歇ミタルモ軽キ頭痛アリ。気分重シ。

二十八日(水)曇　夕ヨリ晴　薄暑　服薬　注射《歯痛頭痛》止ム

本会議ニ出席。国家行政組織法ノ一部改正案(第二四条ノ二項改正)ニ付、委員長報告ヲ為シ、可決セラル。

十一時ヨリ法務委員会トノ連合委員会ニ出席ス。破壊活動防止

法案外二件ニ関シテナリ。楠見、成瀬、和田三氏質問シ、三時過連合会ヲ解ク。依之、内閣委員会ハ開会ニ至ラズ。

内閣委員会ノ審議ニ当リ、各省大臣ハ必ス出席スルヤウ野田行政管理庁長官、増田幹事長ニ面会シテ強キ警告ヲ与フ。又大野木秀次郎〔以下空白〕

全国治水砂防協会有志会ニ出席ス。本日ノ出席ハ徳川会長一人ノミ。

衆議院内閣委員会ヨリ、本日参議院ヲ通過セル国家行政組織法ノ一部改正案ニ付、提案ノ理由ノ説明ヲ求メラレタルモ、外出ノ為中川委員ニ此事ヲ託ス。

三時半頃、静岡育英会理事会ニ出席ス。故理事杉山甕男氏ノ専任配慮セラレタル映画教育事業ノ収支計算ヲ検討スル為、杉山氏ノ令息茂氏ノ出席ヲ求メタルニ由ル。予ノ出席前、中山、小塩両理事及緒明副会長出席セラレ、杉山氏ノ説明ヲ聴キ取扱方ヲ協議セラレタリ。其結果、債務トシテハ静岡借入一〇、〇〇〇円、英洋行未払一三、三〇〇円、(代)杉山氏立替八、七九六円、計一三三、〇九六円ナリ。資産トシテハ銀行預金三、三七九円、電話《藤枝一四四番》三〇、〇〇〇〜三五、〇〇〇円、暗幕三二、〇〇〇円ノ半価、フィルム二本即ち《山のちかい劇七卷三六、〇〇〇円、漫遊ガリバー旅行記一卷二〇、〇〇〇円》アリ。

之カ処置トシテハ電話、暗幕、フィルムハ一応買取リタル上、

用済ニ付売却スルコトトシ、不足分ハ資産ノ正常価見積ニ依リテ填補スルニ決シタリ。尚、電話売却ハ主トシテ杉山氏ニ託シ、暗幕及フィルム処分ハ県教育会及知事ノ配慮ヲ乞フコトニ決シタリ。

本事業ニ関シテハ、既ニ収入一二六、〇〇〇円ヲ得タルヲ以テ全損ニ非ス。杉山理事ノ努力ヲ多謝スヘキモノト認めタリ。次ニ貸借対照表ノ作成ニ関シ、中山理事ヨリ正当ナル調製ニヨル表ノ提示アリ。理事会ハ之ヲ採用シ、評議員会ノ議決ヲ経タルモノトシテ役員ニ送付スルヲ決定シタリ。

静岡県東京事務所ニテ、富士山本宮浅間神社神体地下戻ノ件ニ付、西村政務次官内話ノ要領ヲ告ケ、知事又ハ副知事ニ於テ前言ヲ翻シタルコトナキヤヲ警告セシム。

夜七時半、故古島一雄氏邸ヲ訪ヒ、九時マテ通夜ス。香料千円ヲ奠ス。

伊林初次郎氏ヨリ書留速達郵便ヲ以テ、四月四日天皇陛下御植樹ノ写真ヲ返送セラル。夜十時受領ス。仍テ其旨、通知状ヲ認ム。

重友ヨリ病氣経過ノ報告アリ。口中炎ニシテ快癒ニ近シト云フ。

東海自動車会社ヨリ贈与セラレタル、バス全線優待証第三一號ヲ受領ス。乃、謝状ヲ認メ旧券ヲ返送ス。

二十九日(木) 晴 薄暑 服薬 注射

歯痛全ク止ミ、心身軽快ヲ覚ユ。登院、内閣委員会ヲ開キ、理事互選ヲ行ヒ成瀬幡治君ヲ指名ス。農業省設置法ノ一部改正案ニ入り、質疑ヲ開始ス。

午後ハ郵政及電通委員ト連合審査会ヲ開ク。五時過散会。尚、連合委員会ヲ解クニ至ラス。電波監理委員会ノ内局移管ニ集中ス。

古島一雄翁ノ葬儀ニ列ス。一時ヨリ二時ニ至ル。谷中天王寺、質素ニシテ高風仰クヘシ。陛下ヨリ銀盃三組ヲ賜ハル。(寄贈ノ生花、花輪等ハ赤木氏ノ計ラヒニテ悉ク式場ヨリ撤去セラレタリ。翁ノ意ニ適フモノト云フヘシ。)

朝、石井英之助氏ヨリ電話ヲ以テ本日出発、静岡県庁ヲ始メトシ各地ニ至ル由ヲ通知セラル。依テ三十一日、石井氏出頭ノ旨ヲ報徳社ヘ打電ス。尚、杉山昌作氏一日常会ニ出席ノコトヲモ同時打電ス。

マス子、淡島郵便局ニ至リ、四月分恩給三〇、六八七円(給与三七、八二七円税七、一四〇円)残三〇、六八七円ヲ受ク。

敏子ヨリ書状到着。重友ノ口内炎重患ノ状ヲ報シ来ル。氣ノ毒ニ堪ヘス。

昨日、静岡育英会理事会ノ決定ニ基キ、^(書)齊藤知事、岡野教育長ヘ依頼書ヲ認ム。又杉山喜美子夫人ヘ挨拶状ヲ、中村与資平氏ヘ知事ヘ推薦シタル旨ノ通知状ヲ認ム。

加藤仁平氏、静大講師就任ノ由ニ付祝状ヲ認ム。

三十日(金) 雨 曇 冷 服薬 注射

本会議ニ出席ス。電波管理委員ノ任命ニ付テハ起立賛成ス。
内閣委員会ヲ開キ、山田佐一氏理事ヲ辞任シタルヲ以テ其補欠
選挙ヲ行ヒ、中川幸平氏ヲ指名ス。

農林省設置法改正案ニ付質疑ヲ続行ス。次ニ建設省設置法ノ一
部改正案ヲ議題トシ、建設委員会理事赤木正雄君、同田中一
君ヨリ建設委員会ノ意見ヲ聴ク。次テ両君ニ対スル質疑応答
ニ入りタル上、更ニ原案ニ付、政府側ヨリ詳細ナル説明ヲ求
メ質疑ヲ為シ、五時散会ス。

早朝、大阪市議伊藤勇次郎氏来訪。天龍川電力開発意見書ヲ贈
ラル。《渋谷マテ同車ス。》

本日ハ共産党ノ指令ニ依リ全国各都市ニ騷擾紛起ノ危険アリ。
警察側ノ警戒ハ議院附近ニテモ嚴重ナルヲ認メタリ。然ルニ
案外平穩ナリシモノノ如シ。

十二時半、常任委員長懇談会アリ、出席ス。内閣委員会ニ於ケ
ル議案審査ノ状況ヲ報告シ、会期延長ノ必要ヲ認ムルモ、其
期限ハ予メ明言シ難キヲ述ヘ、少クトモ二週間ノ延長ハ絶対
ニ必要ナリト陳述シタリ。

院内ニテ種々ノ訪問者ニ会见ス。労働省関係ニテ佐竹義栄氏紹
介ノ孫田良平、佐々木孝男二氏ニ、調達庁関係ニテ全国八調

達局代表諸氏ニ、又建設省関係ニテ各府県代表谷口三郎氏、
外六名ノ意見ヲ聴取ス。

三十一日(土) 晴 薄暑 注射 服薬 入浴

内閣委員会ヲ開キ、調達庁設置法ノ一部改正案ニ付質問ヲ為ス
(十一時—一時)。

内閣委員室職員及委員部ノ関係諸氏ヲ招キ食堂ニテ会食ス。
恩給法特例措置法案本会議速記録ヲ柴山重一、鈴木新一郎、細
井篤郎、山梨勝之進、石丸志都磨、原田二郎ノ諸氏ヘ転送ス。
夕、泰治来宿ス。釜石製鉄所出張ノ帰途ナリト云フ。直子ノ近
状ヲ聴ク。

静岡市囑託原大平氏来院。電気設備等ノ復元ニ関スル陳情ヲ為
ス。《原氏ハ工学士、飯田英作氏令弟ナリ。》

朝、亜鉛板製雨樋架設費前渡金一万二千元ヲ渡ス(二十一日、
二十二日記事参照)。

心身ヲ勞シ財力ヲ傾ケタル四五両月ヲ顧ミ、正義ト人和ノ齎ス
所、偉大ナルヲ痛感シ、天地衆生ノ洪恩ヲ思フ。

六月一日(日) 曇 冷 服薬 注射《抹消》 如例

健康殆ト旧ニ復ス。終日家居。委員会ニ附託セラレタル諸案ノ
文書ヲ整理シ、各案ニ付テ検討ヲ開始ス。

報徳社ノ常会ナルモ欠席ス。疲労ヲ再ヒセンコトヲ惧レテナ

リ。

十一時鈴木千尋氏《杉並区成宗》令妹ト共ニ來訪ス。就職ニ関シテナリ。現ニP.X在勤中。

午後女子大学栗林千鶴子单独來訪、興三ト會談ス。自製洋菓ヲ持來ル。

夜十一時半マテ議案ノ檢討ヲ為ス。コレカ為ニ外皮頭痛ヲ發ス。毛髮ニ触ルルモ不快甚シ。

小柳直吉氏ヨリ書狀到著。板沢角皆源一氏ヨリ短冊ニ認メタル發句ヲ贈ラル。依テ角皆氏ヘ謝狀ヲ呈ス。

泰治滯泊。

〔以下欄外〕厚大の樹徳偲ひて緑の日 笠東（三月二十八日記 事参照）

二日（月）雨 冷 朝注射 服薬

輕微ナル頭痛アリ、心身疲労ヲ感ス。

本會議ニハ出席セシモ直チニ退席シテ、委員会ニ出席ス。

午前、内閣地方行政兩委員連合會ヲ開キ、保安庁法案及海上公安局法案ヲ議題トシ、提案理由及内容ニ付説明ヲ聴取シタル

後質疑ニ入り、四時半マテ繼續ス（昼食ノ為休憩一時間）。

岡本、若木兩委員ノ質疑アリ。

散會後、内閣委員長理事打合會ヲ開キ、來十一日開會スヘキ聴

聞會ニ於テ來會ヲ求ムヘキ人士七名ノ選定ヲ為シ、其手續ヲ

運行スルニ決ス。

五時ヨリ緑風會ニテ開會中ノ破壊防止法案ニ關スル吉河特審局長等ノ説明ヲ聴ク。七時マテカ、ル。

富士山本宮淺間神社神体地返還陳情ノ為、小室富士宮市長、村瀬議長等來院面會ス。高瀬議員ニ面會ヲ讓ル。委員会多忙ノ為ナリ。

伊東温泉地域ニ於テ金鉞採掘出願アリ。太田市長令息外三氏來院面會ス。問題ヲ赤木氏ニ移シ、目的ノ貫徹ニ努力セラレンコトヲ乞フ。

泰治ハ夜八時半發急行ニテ大阪ヘ返ル。《今朝渋谷マテ同車、ソレヨリ杉並区ノ通産省機械試験所ヘ赴ク。》

井川村長栗山徳太郎氏ヨリ、堰堤建設ノ為水没トナル土地家屋等ニ対スル補償問題ニ付、五月二十五日附ヲ以テ照會アリシニ對シ回答ヲ發ス。

〔以下欄外〕天皇陛下伊勢へ行幸。

三日（火）晴 冷 注射 服薬

十時、内閣法務連合委員會ヲ開ク。法務府設置法等ノ改正案ニ付、提案理由及ヒ内容ニ付説明ヲ聴キタル上質疑ニ入ル。左

藤氏ノ發言ニ続イテ、一松、伊藤、栗栖諸氏ヨリ関連質問アリ。法務職員ノ偽造印紙使用事件ニ入り緊張ス。

午後一時半ヨリ内閣委員會ヲ開ク。文部省設置法案内容ノ説明

ヲ聴キ質疑ヲ為ス。了テ運輸省設置法改正案ニ付、同一ノ取扱ヲナス。四時半散会ス。

原田二郎氏ト食堂ニテ会谈ス。今村信次郎氏午後來訪、会見ス。孰レモ軍人恩給特例ノ措置ニ関シテナリ。十分説明ヲ為ス。

浅間神社宮司佐藤氏、富士宮市長小室氏、議長村瀬氏、商工會議所副会頭木村久蔵氏來訪ス。神社神体地返還要求ニ関シ西村政務次官ト会見、了解ヲ得タル旨報告アリ。

田原村報徳青年會長鈴木八郎氏ヨリ寄稿ヲ求メラルルノ書状、報徳社ヨリ回送セラル。依テ更ニ報徳社ヘ返送シ、中山、太田両氏ノ中ニテ代作サレンコトヲ依頼ス。

朝、公二君ヲ院内政府委員室ニ訪ヒ、Edios一罐ノ配慮ヲ頼ム。代金六〇〇円ヲ渡ス。

三島直子ヨリはかき到着。過般來、川辺郡花屋敷精常園ニ滞在シ、心身ノ鍛鍊ニ努メ、大ニ健康ト自信ヲ恢復セリト云フ。〔以下欄外〕天皇陛下、神宮ニ平和回復ヲ御奉告アラセラル。

四日(水) 雨 冷 服薬 注射 左膝電波治療

昨夜睡眠不良、本日気分重シ。又左膝屈伸不如意ニ付治療ヲ受ク。

本會議ニ出席セシモ、委員會開会ノ為直ニ退席ス。

十時(十一時半)内閣通産連合委員會ヲ開ク。中小企業庁ヲ内

局トスルニ反対ノ質問ヲ、中川以良、松本昇諸氏ヨリ連発ス。十二時五十分散会ス。

一時半(二時)安本ト連合委員會ヲ開ク。安本廃止及關係法令整理案、經濟審議庁設置案、資源調査法案、總理府設置改正、行政管理庁改正、定員法改正案ニ付、佐々木安本委員長及永井純一郎氏ヨリ質問アリ。楠見委員ノ動議ニ依リ散会ス。

右委員會開会ノ間、川村議院委員長ヨリ会見ヲ求メラル。用件ハ会期延長ヲ何日マテトスヘキカニ付テナリ。予ハ(1)議院決定ノ日限内ニテ審議ヲ尽スヘキコト、(2)最近ノ委員會進行ノ狀況ヨリ判断スレハ、二週間ノ延長ニテハ審議終了至難ナルコトヲ告ク。尚、参考トシテ議案日割表ヲ高橋理事ニ交付ス。

野田國務大臣ヲ訪ヒ、議員モ政府モ審議ニ熱意ヲ欠キ、衆議院ハ各案ニ修正ヲ差控フルニ拘ラス、參議院ヲ動カシテ修正ヲ遂ケントシ、態度陋劣、見ルニ堪ヘサルヲ告ケ、政府ノ猛省ヲ促シタリ。

佐久間線敷設促進陳情者藤森氏、外五名來院ス。依テ運輸省政府委員室ニ伴ヒ、關係官ノ來院ヲ求メ陳情セシム。又県知事ニ伝言セシム。

鈴木寛氏來院ス。夕刻宅訪、醸造会社顧問謝金五千円ヲ与ヘラル。

夕、杉山東一氏來訪ス。尾之道修道院學校建築費ニ充ツルタメ、仏国ヨリ寄贈品関稅免除ノコトニ付配慮ヲ求メラル。

夜、自由党幹事長増田甲子七氏ヨリ、電話ニテ議案審査ノ促進ヲ求メラル。予ノ態度ヲ説明シ、政府及与党ノ熱誠ナキヲ批判ス。

夜、徳川家正公へ電話シ、水難救護会ノコトヲ問フ。本日、約

ニ背キテ予ハ砂防協会ニ出席セサリシヲ以テナリ。

熊村昌一郎氏へ返書ヲ認ム。知事ヲ訪問シテ積極的援助ヲ求ム

ヘシト告ク。

原田二郎氏及今村信次郎氏へ恩給関係委員長報告速記録ヲ送ル。

図書館ニテ「社寺等ニ無償テ貸付ケテアル国有財産ノ処分ニ関スル法律」ニ付研究ヲ為ス。

五日(木)晴 薄暑 服薬 注射 電波治療 入浴 昨夜不眠

甚シ 本日身体倦怠

朝、塩島金一郎氏来訪、育英会事務ヲ処理ス。

九時、寛永寺ニテ顕徳院殿十三回忌御法会ヲ行ハルルニ付参会ス。家正公ノ特別ノ御計ヒニテ御式前ニ焼香拝礼ヲ許サル。

乃チ松平康昌氏ト礼拝シテ退出シ墓参ヲ為ス。康昌氏ト別レテ登院ス。《香料五百円ヲ上ル。》

十時ヨリ内閣地方行政両委員連合会ヲ開キ、自治庁設置法案ニ付質疑ヲ行フ。吉川、岡本、若木、中田諸氏ノ質疑アリ。何レモ地方財政委員会ノ廃止ニ反対ス。最後ニ神戸地財委員長

長ノ発言アリ。一時連合ヲ解キテ散会ス。

二時ヨリ内閣郵政電通連合委員会ヲ開ク。電波管理委員会廃止反対ニ付、水橋、波多野、山田節、成瀬諸氏ノ質疑アリ。四

時連合会ヲ解キ散会ス。

五時ヨリ緑風会総会ニ出席ス。破壊活動防止法案修正ニ付検討ニ与ル。七時半散会ス。

夜、仁科村長堤傳平氏、上狩野村長城所啓氏、上大見村長荻原

文清氏来訪ス。仁科ヨリ上大見ニ至ル林道建設ニ付、林野側ト交渉ノ結果ヲ報告ス。明日横川長官ヲ訪問スル予定ナリト云フ。

公二君ノ配慮ニ依リ粉末 *Fluors* 一盞ヲ得、夕食後服用ス(代

六〇〇円三日渡)

屋根とひノ架替始マル。

〔以下欄外〕天皇陛下還幸。

六日(金)晴 夕曇南風強 蒸暑 服薬 注射

朝木村武氏来訪ス。経済調査庁ノセイリニ付、意見ヲ述フ。

登院。本会議八十一時四十分頃ヨリ出席ス。

内閣委員会八午前中、行政機関職員定員法案ノ改正ニ付附表ニ付、内容ヲ検討ス。

午後ノ委員会ニテハ、保安庁法案海上公安局案ニ付質疑ヲ為ス。三好、松原両委員ト大橋長官トノ発言ニ終始ス。

小笠郡司法保コ司有志二十六名、参議院ノ傍聴ニ來ル。南山村正林寺住職田中靈鑑氏中心ナリ。一同ハ衆議院参看ノ後、参議院ヲ傍聴ス。

菅谷村ノ砂防堰堤完成ニ付、浦上敏夫氏、元村長樽林良一氏、外二名來院、挨拶ヲ述フ、依テ参議院ヲ傍聴セシム。

堀之内町長有海寿三郎氏、郵便局長山内四郎次氏、中学校長中島清市氏(朝比奈村上朝比奈)來訪ス。地域給支給地域指定要望書ヲ提出ス。依テカニエ人事委員長ヲ訪ヒシモ不在ナルヲ以テ、書類ヲ提出スルコトヲ約ス。次テ大蔵省政府委員室ニ西村政務次官ヲ訪ヒシモ不在ナリ。依テ來室スルマテ待居ルコトトシタリ。

樽林元村長及有海町長ヨリ夫々新茶ヲ贈ラル。依テ其一ツ藤野繁雄氏ニ呈ス。

倉田専門員ヨリ天城山地上権地ノ残地買受及部分林設定願ニ付、当局ノ適當ナル了解ヲ得タル由ヲ以テ、具体案ヲ示シテ急速進行ヲ勸メラル。依テ直ニ電話ヲ以テ戸塚重一郎氏ニ面会ヲ求メシニ、掛川町ニ滞在中ナリト云フ。依テ夜、書面ヲ認メ、照会スルコトトス。

返書、緒明太郎氏、仙石久英氏、三橋四郎次氏。發書。重友。
〔以下欄外〕天皇陛下多摩陵御参拝。

七日(土)晴 暑 注射 服薬

内閣委員会ヲ開キ、南方連絡事務所設置法案、恩給不均衡是正措置法案ニ付、提案ノ理由及案ノ内容ニ付説明ヲ聴取シ、次テ調達庁設置法案ノ質疑ヲ行ヒ、十二時過散会ス。

午後二時、内閣及地方行政連合委員会ヲ開キ、保安庁法案及海上公安局法案ヲ議題トシテ質疑ヲ続行ス。三好、吉川、栗栖、松原諸氏ノ發言ニ対シ、大橋、岡崎両大臣、柳澤保安庁長官等ノ答弁アリ。五時散会ス。而シテ地方行政委員会トノ連合会ヲ終了ス。

緑風会總會ニテハ、破壊活動防止案ニ対スル修正案ヲ決定ス。予ハ委員会ニ出席中ノタメ欠席ス。

昼食ノ時、藤野議員ノ案内ニ依リ、長崎県ヨリ上京セル農村代表十五六氏ト食堂ニテ会食ス。議員側ハ羽生農林委員長、楠見、森三氏ト予ナリ。

榎本重治氏ヨリ軍人恩給ノ特別措置ニ対スル意見書ヲ寄セラリ。依テ電話ニテ謝意ヲ表ス。氏不在ナリ。夜、氏ヨリ電話アリ。依テ予ノ意見ヲ告ケ、更ニ近ク設置セラルヘキ審議會ノ委員ニ推薦セラルヘキ人物ニ付テ勸告ヲ為ス。

鈴木二平ヨリ土肥枇杷二箱ヲ贈ラル。甚佳味ナリ。但シ運送ノタメ損傷甚シキヲ遺憾トス。改善ヲ加フヘキ要事ナリ。

破壊活動防止法案反対ノ大デモ行ハル。全国ニテ之ニ参加セシ者百二十万ニ達スト云フ。東京ニテハ国会へ集来リシモノ若干アルモ、全体ニ於テ平穩ナリ。

八日(日) 午後ヨリ雨 冷 注射 服薬

終日家居、各種法律案ノ研究ヲ為ス。

十一時、後藤文夫氏来訪ス。(1)政界革新ノ方法如何、(2)電源力開発ヲ如何ナル組織ニ依テ正当ニ実行スヘキカ等ニ付、隔意ナキ意見ヲ交換ス。簡單ナル中食ヲ共ニス。一時半マデ談話ス。

佐々井信太郎先生ヨリ来書。五月十八日ノ一円融合会ノ決定ヲ報セラレ、予ハ顧問ニ、先生ハ理事長ニ選任セラレタルコト、会長副会長ノ選任ハ他日ニ譲リタルコト、及ヒ理事一名又ハ二名ヲ報徳社ニテ推薦スルコトヲ以テセラル。依テ直ニ先生ヘ挨拶状ヲ認メ、又中山常務理事ヘ神谷、小野両氏推薦ニ付意見ヲ述ヘラルルヤウ照会ス。

重友ヨリ来書。成滝ノ人、平岩よしえト云フ婦人ヲ推薦シ来ル。マス子ト相談ノ上雇入ルルニ決定シ、至急実現スルヤウ重友ヘ依頼書ヲ認ム。舟木先生ノ令嬢ノコト、簡單ナル報告アリ。

九日(月) 雨 冷 注射 服薬

登院ノ途次、榎本重治氏ヲ訪ヒ、意見書ヲ贈ラレタルヲ謝シ、

恩給法特例措置法案ノ委員長報告ヲ登載シタル参議院議事録ヲ呈ス。

本会議ニ出席ス。戦犯処刑者ノ釈放ニ関スル決議案ノ会議ア

リ、可決セラル。

内閣厚生連合委員会八十時開会ノ予定ナリシモ、厚生大臣ノ議場出席ノ為、十二時過開会ス。谷口、山下、松原三氏ノ發言アリ。吉武、野田両大臣、大野木次長ノ説明アリ。一時十五分頃散会ス。議題ハ厚生省設置法ノ一部改正案ナリ。

野田行政管理庁長官ヨリ午餐ニ招カレ、内閣委員諸氏ト共ニ出席ス。鈴木、中川、竹下、和田、松原諸氏ノ外ニ、杉田、藤

田両専門員外諸氏出席ス。《一時半開会三時散会》南甫園。三時四十分、内閣委員会ヲ開ク。行政管理庁組織法改正、総理府設置法ノ一部改正、法制局設置ノ各法案ヲ審査シ、五時過散会ス。

坂野鉄次郎氏ノ訃報ハ、三浦安蔵氏ヲ煩ハシ、同成会員ヘ通知ス。

大蔵政務次官西村直巳氏、事務次官舟山正吉氏来室、經濟審議会ノ設置ニ関シ、旧安本ノ機構ヲ復活スル修正計画アリト告ケ、之カ否決ヲ求メラル。

静岡県芙蓉会委員長細井篤郎氏、外四名、来院面会ス。恩給法特例措置法案通過ニ関シ、深甚ノ謝意ヲ表セラル。之ニ対シ財源問題審議会委員選任問題ノ重要性ヲ説明ス。

十日(火) 雨 午後晴 冷 注射 服薬

関屋貞三郎氏命日ニ当ルヲ以テ、登院ノ途次御宅ヲ見舞フ。夫

人及正彦氏ニ面会ス。

内閣委員会ヲ開ク。大蔵省設置法改正案外一件ハ、大臣ノ出席ナキヲ以テ後廻シト為シ、午前中ニ運輸省及建設省ノセイリ案ヲ審議ス。午後ハ農林省設置法改正案ヲ審議シ、廣川農相ノ出席ヲ得テ活発ナル質疑応答ヲ為ス。

大蔵委員会ヨリ連合委員会開催ノ申入アリ、委員長ト会見ス。文部省ニ付テハ委員長ト会見ノ機ヲ得ス。

日本弁ゴ士連合会ヨリ明十一日、夕食ノ招待ヲ受ケタルモ前約アリ。之ヲ断ル。

石丸志都磨氏ト食堂ニテ食事ス。

榎本重治氏ヨリ〔以下空白〕

庵原村青年団皇居拝観願ニ付、高尾文書課長ヨリノ指示ヲ受ケタルヲ以テ、其手続ヲ藤田訓二氏へ通報ス。

歳費八、一〇五円ヲ受ク。マス子ノ給料ハ、マス子ニ渡ス。

十一日(水) 晴 薄暑 服薬 注射 入浴

朝、松本勝太郎氏来訪ス。令息、今回英大使トシテ赴任ニ付、来京セシ由ナリ。銘酒酔心一瓶ヲ贈ラル。参議院へ同車ス。

其後ハ一切ヲ三浦安蔵氏ニ頼ム。

十時ヨリ内閣委員会ヲ開キ、保安庁法案海上公安局法案ニ付、参考人ノ意見ヲ聴取ス。出席参考人ハ京大法学部教授大石義雄氏、次田大三郎氏、東大法学部教授田中二郎氏及弁コ士村

瀬直養氏ナリ。順次意見ヲ述ヘラル。之ニ対シ三好、楠見、成瀬各委員ヨリ質問アリ。中食ヲ共ニシ三時散会ス。

三時半ヨリ大蔵省設置法ノ一部改正案及関係法令ノ整理ニ関スル法律案ヲ議題トシ、池田大蔵大臣及木内外国為替委員会委員長ノ出席ヲ求メ、外為委員会廃止問題ニ付質疑ヲ為ス。発言者ハ栗栖、波多野両委員ナリ。五時過散会ス。

村上運輸大臣ヨリ鉄道ホテルニ招カレ晚餐ヲ饗セラル。七時過散会ス。

松崎運転士ニ六月分手当金千円ヲ渡ス。

十二日(木) 晴 涼 服薬 注射 水浴

朝、戸塚重一郎氏来訪。天城山地上権地権利譲受ノ件ニ付相談ス。其結果、倉田吉雄氏ニ面会スルニ決ス。三時、農林常任

委員会ニ於テスルコトニ打合ハス。

朝、宇都宮登氏来訪ス。需ニ応シ館林三喜男へ紹介名刺ヲ渡ス。十時ヨリ内談室ニテ内閣委員打合会ヲ開ク。午後ハ七号室ニテ

続行ス。行政セイリ各案及共通点ニ付、議論アル点ヲ挙ケ意見ヲ門ハス。頗困難ナル会合ナルモ、終始和暢、効果多シ。

六時散会ス。コレカ為、議案ノ審査ニ入ル能ハス。委員ニ対シテハ、明日ヨリ問題点ヲ主トシテ審議シ、急速進行スヘキ旨ヲ告ク。又連合ヲ申入レタル委員会側ノ発言処理ノ方法ヲ告ケ、了解ヲ求ム。

溝口三郎氏ヨリ、大倉山国会図書館所在ノ二宮先生文書ニ付、
農林省ヨリ有志ヲ派シテ研究セシメタキニ付、助言ヲ求メラ
ル。依テ神谷教授ヲ中心トシテ開始スヘキ旨ヲ告ク。

浜松市議会議長徳田由太郎氏来院。新任ノ挨拶ヲ述ヘ、且、佐
久間線鉄道促進ノ要求ヲ為ス。之ニ対シテ最近ノ実情ヲ説明
シ、県庁ノ処置ヲ求ム。

飼料需給調整法即時実施要望ノタメ、県酪農協連専務理事仁藤
新作氏、外一名来訪、面会ス。石黒氏ニ取次クコトヲ約ス。
夕、二俣町長勾坂佐一氏来訪、国鉄二俣線輸送力強化促進期成
会ノ決算、予算案及事業報告書案ヲ示シテ承認ヲ求ム。之ヲ
快諾ス。予ハ佐久間線急設問題ノ現状及熊村へ国鉄バス循環
運転問題ノ実情ヲ説明ス。

十三日(金) 晴 暑 服薬 注射 水浴

朝、戸塚重一郎氏ヨリ電話アリ。昨午後、倉田吉雄氏ト会谈セ
シ由ヲ報セラル。

八時四十分頃藤波収氏来訪ス。日本ノ発電計画ニ付談話セラ
ル。氏ハ松永安左衛門氏ノ命ニ依リ来訪シタル由ナルモ、開
発方針ニ付テハ松永氏ト意見一致セス。

登院、内閣安本連合委員会ヲ開キタルモ、安本委員長佐々木氏
ノ出席遅レシヲ以テ議席ニ就キ、公務員夏季手当案ノ記名投
票ニ加ハル。

連合委員会ハ十一時四十分ヨリ一時マテ開会。佐々木委員長ノ
質疑ヲ以テ終了ス。

内閣委員会ハ、二時ヨリ四時マテ開会。通産省設置法案外二件
ニ付、質疑ヲ為ス。

秋田県大館市高村禪雄先生来訪ス、中食ヲ共ニス。

四時、神谷慶治氏ヲ東大ヨリ迎ヘ、食堂ニテ溝口三郎氏及三浦
善郎氏へ農林事ム官農地局経済課ヲ紹介ス。二宮先生ノ事
蹟調査ニ付、神谷氏ヲ中心トシテ推進スル為ナリ。

三時、首相官邸ニテ植樹行事映画会アリシモ、多忙ノタメ欠席
ス。

大井川用水組合代表平田村長戸塚民平氏、外十名許リ来院ス。
一切ヲ石黒氏ニ託ス。

Masonic Bldg. 債九千円ヲ払込ム、之ニテ全額払込ヲ了シ、三
万六千円ノ証券ヲ受取ル。

昨日、雨樋架替終了ス。代金残額ハ、マス子ヨリ昨日支払ヲ了
ス。

十四日(土) 曇 冷 服薬 注射

昨夜就褥後、伊藤敏氏来訪セシモ面会セス。一時頃来院、井川
村某金山ニ投資者ヲ求メラル。方法ヲ知ラス、之ヲ断ル。

内閣委員会ヲ開ク。午前中調達庁設置法案ノ審査ヲ行ヒ、一時
ニ至ル。午後、人事委員会トノ連合会散会後続行、七時過散

会ス。

二時、人事委員会ト連合会ヲ開キ、保安庁設置法案ヲ審査ス。人事委員会側ハ千葉信氏ノ質疑アリシノミニテ、木下氏ハ發言ヲ取消シタリ。依テ連合会ヲ打切り、内閣委員会に於テ保安庁法案ヲ審議ス。

名古屋市長塚本三氏來訪。都市庁設置ノコトヲ要望セラル。又姫路市長石見元秀氏ヨリモ同一ノ要望アリ。

五月分電話料金七百七十円ヲ納付ス（国会内郵便局）。昨日ヨリ蚊帳ヲ用フ。

十五日（日）曇 薄暑 服薬 注射

早曉三時ヨリ下痢三回、少量ノ粘液ヲ下ス。腹痛發熱ナキモ不快ニシテ元氣ナシ。原因ハ不明ナルモ、連日ノ疲労ト、昨夜就床時ニ飲用シタル牛乳ノ崇リナランカ。依テ節食ヲ為シ、平臥ニ勉ム。夕刻、平常ニ復セルカ如シ。

内閣委員会ノ運営ニ関シ構想ヲ練ル。又行政整理ノ大綱ニ関シ、要目ヲ検討ス。

夕、佐藤助九郎氏來訪。(1)瑞西ニ於ケル水力發電ダム Zentrale Inmert-Kirchen 三万 Kw 發力、1940 - 42 成ル、最上流一萬 ft ノ地点ニ在ル Jung-Frau-Glimser dam、写真ニテ説明、(2)仏国ニ於ケル Rhone 川ニ実施セル Marshall Plan、及ヒ、(3)伊国ノ Sofione 即チ地熱發電 (Hot air) turbine ニ

移スモノ)ニ付テ説明セラレ、現ニ国会ニテ検討中ノ水力發電計画ノ変更ヲ申出テラル。赤木氏ニ電話ヲ以テ相談ノ上、一週日ノ後、緑風会ニテ意見發表ヲ乞フコトトス。

瑞西ニ於ケル dam 建設ノ様式ハ德利ヲ並列セルカ如キ型ヲ有シ、建造費ハ從來ニ比シテ 1/2 ヲ以テ足ルト云フ。瑞西ニテ偶然 Zentrale Inmert-Kirchen ニ同行セル米国土木技師 Stuart 氏ハ、此德利型 dam ヲ南亞ノ Churchill-hill ニ築キ dam ニ地名ヲ冠セリト云フ。

曾我村長松浦久治氏ヨリ來信アリ。東山沢川上流ニ施工セル県ノ道路ハ、土砂ノ流出量ヲ無限ニ増大シ、災害ノ虞多キヲ以テ県庁ニ至リ、防災 dam ノ急設ヲ要求セシニ、係員ノ激怒ヲ買ヒタリト云フ。依テ返書ヲ送り、此ノ如キ災害必至ナルハ、去ル一月五日实地視察ノ際予ノ予言セル所ニシテ、當時予ハ^(著)藤知事ニ書状ヲ送リテ善処ヲ促シタリ。而シテ其後何等ノ措置ヲ執ラサリシハ当局ノ責任ナリ。依テ知事ニ面会シテ实地ヲ視察セシメ、其責任ヲ果スヤウ要求セラレタシ。尚、差当リノ方法トシテハ、土木部長及林務部長ノ同時視察ヲ求メ、青山氏ノ臨場ヲ乞ヒ、中山県議モ立会ノ上ニテ具體的対策ヲ建テ、之カ推進ヲ県庁ニ向テ要請セラルヘシ。防災 dam 建造ノ如キハ、未熟ナル技術ヲ以テシテハ最有害ナレハ、村長ヨリ之ヲ要求スルハ不可ナル旨ヲ返書セリ。県庁内ノ Sectionalism ト官僚的態度ノ甚シキハ強力排除ヲ要シ、

村長ノ自治心ノ發揮ハ最モ切要ナリト感ス。

仁科県土木部長ニ書面ヲ送り、右件ニ関シ、上京ノ節面会ヲ求ム。

十六日(月) 雨 冷 服薬 注射

熊村長熊村昌一郎氏来院。同村へ国鉄循環バス運転ニ付、名古屋営業所へ交渉セル経過ヲ報告ス。依テ氏ヲ伴ヒ、運輸省政務委員室ニ自動車局長ヲ訪ヒシニ出張中ナリト聞ク。熊村氏ハ帰途ニ就キシモ、自動車局営業部長眞田登氏ノ登院ヲ求め面会依頼ス。又、村上運輸大臣ニモ其事ヲ依頼ス。尋イテ右交渉ノ大要ヲ熊村村長へ報告ス。

国鉄ニテハ県庁へ道路ニ関スル照会ヲ発シ、未回答ニ接セスト云フ。依テ村長ハ至急知事ニ面会シテ督促スルヤウ申添フ。内田重成氏来院セラレシ由ニテ心当リヲ捜シタルモ、面会ヲ得ス。

本会議アリシモ、席札ヲ返シタルノミテ委員会ニ専念ス。午前十時、内閣大蔵両委員連合会ヲ開キ、大蔵省設置法中改正案外一件ヲ審議ス。三時連合会ヲ解キ、六時半マテ内閣委員会ニテ審議ス。了テ懇談会ヲ開キ、外国為替委員会廃止ニ付、参考人三名ノ意見ヲ聴クコトヲ定メ、次ニ今後ノ委員会ノ運営ニ付協議ス。七時過散会ス。

倉田吉雄氏ヨリ天城山林業研究所ノ創設ニ付報告ヲ受ク。

夏手当金一二、九一〇円ヲ受ク(内訳歳費割二八、五〇〇)《税

一二、一五〇 手当三、四四〇》 差引一二、九一〇)、マ
ス子分六、四八〇(内訳七五〇〇税一〇二〇差引六四八〇)。
雨樋架替ノ不足ヲ修補ス。

故鳥居政幸氏所有ノ帝國議會史紙型ノ買入ヲ、内田明氏ヲ通シテ国会図書館へ申入ル。

十七日(火) 晴 暑 服薬 注射 入浴

内田重成氏、昨日来院セラレシモ面会ヲ得サリシヲ以テ、電話挨拶ヲナス。

内閣委員会ヲ開ク。十時過ヨリ六時半マテニ法務府設置法、労働省設置法、安本廃止、経済審議庁、資源調査会法案ニ付、審査ス。

吉田首相ノ要求ニ依リ、十時半首相室ニテ会见ス。行政セイリ各案審査ノ状況ヲ報告シ、若干ノ修正ハ免レサルコト及修正点ノ大要ヲ説明ス。尚、各案ニ対スル各省大臣ノ態度及自由党员ノ挙動ヲモ説明ス。首相ハ予ノ需ニ応シテ十八、十九兩日ノ中ニ内閣委員会ニ出席スル由ヲ答フ。十一時二十分退出ス。

内閣委員ノ懇談会ヲ開キ、明日午後吉田首相出席ニ付、質疑者ノ發言事項及順位ヲ協定ス。次ニ来二十日午前中、参考人一万田日銀総才、佐藤、向井、三氏出席(一万田氏来室)ニ付

聴聞会ノ順序ヲ相談シ、最後ニ各案審議日程ニ付協議シ、二

十二日マテニ質問終了ノ予定ヲ為ス。七時散会ス。

緑風会ノ總會ニ出席シ、破防法案修正意見ノ交換ヲ聴ク。九時
帰宅ス。

三島甫ヨリ、要靈前供物トシテ昆布一箱ヲ贈ラル。

十八日(水) 小雨 曇 冷 服薬 注射

昨夜快眠、本日気分佳良。

本会議ニ出席、直ニ退席。委員会ニ出ツ。

内閣委員会ハ農林省設置法改正案、郵政省設置法改正案外一

件、調達庁法改正案、保安庁設置法案外一件ニ付質疑ヲ進ム。

保安庁設置法案ノ委員会ニハ吉田首相出席シ、一時間ニ互リ

委員ノ質疑ニ対シテ説明ヲ為ス(二時半ヨリ三時半マテ)。

《法務、通産及厚生ヨリ申入レノ連合会ハ、夫々委員長ト交

渉シテ連合ヲヤメルニ決定ス。》南方連絡事務局設置法案ニ

付審議シ、定員規定ヲ削除シテ可決ス。(定員ノ規定ハ定員

法修正ニ依ルヲ正当ト認メタルニ由ル。)

保利官房長官ヨリ面会ヲ求メラル。依テ来訪ヲ謝絶シ、大臣閣

議室ニ到リテ面会ス。委員会審査状況ニ付報告ス。吉田首相

ノ手紙ト伝言ヲ聴ク。会期延長ノ日数ニ付進言ス。

全国治水砂防協会有志会ニ出席ス。徳川会長、次田、田中、赤

木諸氏出席ス、熊本県砂防協会支部長阿蘇郡宮地町長指形重

吉氏来会。九州出張ニ付、打合ハス。

徳川公ヨリ水難救済会援助ニ関スル意見書ヲ受取り、之ヲ大橋

國務大臣ニ渡ス。

中村幸八氏来訪。近ク県議補選ノタメ帰郷スルニ付、後事ヲ託

セラル。

杉山甕男氏ノ未亡人ヨリ来書。同家へ架設セル電話譲渡ノ為、

予ノ印章ヲ要スト云フ。依テ其書状ヲ速達ニテ塩島主事へ送

付ス。

原田武雄氏ヨリ来書。浜名町P・T・A会ニテ、十月中ニ坂西

志保子女子ヲ招キ講話ヲ聴キタシト云フ。依テ書状ヲ坂西氏

ニ渡シタリ。又、原田氏二十一日国会ヲ傍聴シタシト云フ。

依テ衆議院傍聴券用意ヲ頼ミ、其旨電報及はかきヲ発ス。

破防法ハ本日、法務委員会ニ於テ採決マテ進行ノ予定ナリ。緑

風会ハ自由党ノ要求ニ依リ、昨夜ノ修正案ニ少許ノ修正ヲ施

スコトヲ總會ニ於テ決定ス。

保安庁法案中、衆議院ニテ加ヘタル修正点ニ付、松原委員ヨリ

衆議院内閣委員会代表ノ説明ヲ求ム。依テ夜、八木委員長ニ

電話ヲ以テ其旨ヲ通シタルニ、之カ処理ヲ託セラル。

要、臨終ノ夜ナリ、夕食ノ時粗羞ヲ供ス。

十九日(木) 曇 薄暑 下痢アリ服薬 服薬 Ebios 注射

昨夜、内閣委員会ノ結論トスヘキ事項ニ付検討シ、二時マテ眠

ラス。要ノ病氣ヲ思フ。

朝、塩島氏夫人来訪。杉山茂氏へ送付スヘキ書類ニ捺印ス。要命日ニ付、大森しづ子、角皆文子来訪ス。夫々供物ヲ受ク。

マス子ハ、夕寿司ヲ作りテ供ス。

登院。内閣委員会ニ専念ス。文部省設置法改正案ニ付テハ、文部委員矢嶋三義氏ノ質疑ヲ許ス。自治庁設置法案及関係法律ノ整理法案、保安庁法案及海上公安局法案等ヲ審議ス。夜九時過マテ委員会ヲ続行ス。夕食ノ時、委員及関係職員ヲ招キシニ、野田行政管理庁長官ノ御馳走ニ預カル。

十二時半、議長ノ召集ニ係ル常任委員長懇談会ニ出席シ、受託案件審査ノ状況ヲ報告シ、会期ノ延長ハ十日間ヲ必要トスル旨ヲ陳述ス。

秋田大学教授藤岡一男氏（秋田市手形新町下丁）ヨリ、□□□

□嬢ニ関スル釣書ヲ贈ラル。

半井清氏ヨリ来書。故柴田善二郎氏ノ記念事業引継ノ件ヲ申入レラル。

法務委員会ハ深更マテ会議ヲ続ケ、破壊活動防止法案外二件ヲ

否決シタリ。

二十日（金）曇 冷 午後薄暑 服薬 下痢止ム

登院。内閣委員会ニ専念ス。

朝、外国為替存廃問題ニ関シ参考人、日銀総裁一万田尚登氏、

経済安定本部顧問向井忠晴氏及帝国銀行社長佐藤喜一郎氏ノ意見ヲ聴取ス。栗栖、三好、楠見、竹下、楠瀬各委員ヨリ若干ノ質問アリ。

午後八昭和二十三年六月三十日以前に給与事由の生じた恩給の特別措置に関する法律案（恩給不均衡是正法案）ニ付審議シ、發議者青木正代議士ヨリ提案理由ノ説明ヲ聴キ、同代議士及河野大蔵主計局長ニ対シ質疑ヲ行ヒタル上、各員賛成意見ヲ述ヘ、全会一致可決スヘキモノト議決シタリ。尚、懇談会ヲ開キ、明日以後ノ日程ヲ相談ス。

本会議ニ出席シ、南方連絡事務局設置法案ニ付委員長報告ヲ為シ、可決セラレタリ。

本会議開会前、中村、竹山両代議士来会。浜松市都市計画ニ反對ノ請願力採択セラレ、本日ノ日程ニ上リタルモ、此請願ノ可決ハ甚有害ニシテ、此請願ハ既ニ参議院ニテ採択セラレシ由、社会党ハ市内ニ貼紙宣伝ヲナシタリト告ク。依テ取敢ヘス赤木氏ニ依頼シテ、之ヲ日程ヨリ削除スルコトトシタリ。後刻廣瀬建設委員長来訪シテ、之カ措置ニ付相談ス。之カ為ニ浜松市會議員数名来京セシニ付会见ス。

夕、建設委員長廣瀬与兵衛氏来訪。本件ノ処理ニ付意見ヲ問ハル、乃チ本会議ニ上程シテ否決スヘシト答フ。

議院運営委員会ニテハ、会期延長ノ可否及延長日数ノ取扱ニ関シテ議論紛糾ス。其主要ナル原因ハ、自由党木村尚江氏發言

ノ不当ナルニ在リ。之カ為ニ本会議ヲ開クヲ得ス。竟二十一時五十九分開会シ、直ニ散会セラル。衆議院ニテハ十日間ノ延長ヲ議決シタルヲ以テ、六月三十日マテ延期ノコト確定セリ。而シテ野党側ハ、議長不信任ノ決議案ヲ提出シタリト伝ヘラル。十二時十分頃発車、同三十分帰宅、一時就褥ス。

二十一日(土) 曇 薄暑 服薬 注射 斬髪

登院、赤木氏、公二君同車ス。

午前中、内閣安本連合委員会ヲ開ク。佐々木安本委員長ノ意見ヲ聴キ了テ連合ヲ解除ス。

午後内閣委員会ヲ開キ、通商産業省設置法案外一件、海上保安庁法案外一件ニ付質疑ヲ行フ。三時半一応終了。乃チ各案ニ付大体質疑ヲ終了シタルモノト認め、請願陳請ノ審議ニ入り、之ヲ了ス。

会期延長ノ効果ニ付テハ社会党其他野党側ニ否認論アリ。議院運営委員会ノ決定ヲ求ムルノ態度強硬ニシテ会議ニ出席セス。殊ニ上條、成瀬両委員ハ委員会ノ中止ヲ求メ来レリ。依テ予ハ、会期延長ハ国会ノ定ムル所ナルニ依リ委員会ヲ開ケルコト、及ヒ本日ノ委員会ハ昨日ノ協議ニ基イテ之ヲ行フモノナルヲ告ケ、野党側ハ発言ノ機会ヲ失フコトナカラシメテ警告シタリ。本日参議院ニテ委員会ヲ開会シタルハ、独リ内閣委員会アルノミ。《昨日ノ委員打合会ニ基キテ作成セル今後

ノ委員会運営表ヲ、委員会ニ諮リ確認ヲ得、之ヲ欠席ノ諸委員及野田大臣ニ送付ス。》

昨日、佐藤工業株式会社ヨリ、佐藤助九郎氏ノ好意ニ依ル瑞西及南亜ノ発電施設写真ト、Phone 川発電設計図ヲ贈ラル。依テ高瀬政務調査会長ニ之ヲ渡シ、佐藤氏ノ説明ヲ聴ク為、二十四日ニ来院ヲ求ムルコトトシ、其旨ヲ会社ヘ電話セシメ、富山佐藤氏ヘ電話シタリ。

夜、石井英之助氏来訪ス。石黒氏ノ選挙アトアジに關シ、県内各地ヘ出張シタル由ヲ報告セラル。要スルニ後味悪キコト一点モナシト云フ。寔ニ理想的模範選挙ト謂フヘシ。氏ハ予ニ對シテ失費ヲ償フノ意味ニ於テ金若干ヲ贈ラレシニ由リ、之ヲ固辞シテ受ケス。氏ハ困惑ヲ感シタルカ如クナリシモ、我意ヲ貫徹ス。

昼食ノ後、寸閑ヲ利シテ斬髪ス。所要十分ニ足ラス。予ハ近來時々下痢ヲ催シ、又、屢次睡眠ニ欠クル所アルヲ以テ体力消耗ノ感アリ。昨日、委員会ニ於テ楠見委員ヨリ健康ヲ注意セラレ、又、控室ニ於テ岡本愛祐氏ヨリ親切ナル注アツ告ヲ受ケタルヲ以テ、蓬頭乱髪ヲ修整セント試ミシナリ。窃ニ思フ、形容枯槁、顔色憔悴免レ難シト雖モ、志氣愈々軒昂、何物モ能ク奪フコトナシト。艱亦樂ト云フヘシ。

二十二日(日) 半晴半曇 薄暑 服薬 注射 入浴

午前中家居、恩給不均衡是正法案ノ委員長報告ノ用意ヲ為ス。

夏服ヲ求ムル為、マス子同伴ニテ三越、白木屋、高島屋ニテ物色セシモ、意ニ適スルモノナシ。高島屋ニテマス子ト別レバ、ス及省電ニテ帰宅ス。疲労ス。

白潟町《片岡七藏氏》娘ハル子来泊ス。四時過著、葉子市中ヲ案内ス。

夜、議案ノ整理ヲ為ス。

二十三日(月) 雨 夜大雨強風 服薬

本会議及委員会ハ、(1)国会法第十三条ニ依リ、衆議院ノ議決ノミヲ以テ会期ノ延長ヲナスノ効力如何、(2)会期延長ニ関スル参議院運営委員会ノ措置ハ適當ニ非ス、トノ二問ヲ解決ストノ理由ヲ以テ、社会党二派、改進黨、老農党、第一クラブ等結束シテ、運営委員会及議長ノ招集セル各派代表会ハ意見一致ヲ見ス。深更一時半マテ在院ノ上、帰宅ス。

右ノ結果、内閣委員会ハ開会ニ至ラス。閑ヲ得テ名刺ヲ注文シ、靴下ヲ買フ。

内閣委員会ハ畢ニ開会スル能ハス。四時頃散会ヲ宣シタリ。

二十四日(火) 晴 夜来強風暴雨 午前中暑気甚シ 夕曇冷

服薬 注射

十時登院ス。昨夜来ノ紛紜未夕解ケス。内閣委員会ハ五時半散

会ス。

昨夜来ノ風雨ノ被害ニ付、建設省防災課長ヨリ各地ノ報告ヲ聴取ス。又由比町所在治山事務所長富永技官及曾我村長松浦久治氏へ見舞状ヲ呈ス。

浜松市会有志来院。国道線第一号施工中止請願取扱ニ付、希望ヲ述フ。

泰治、今朝来京。夕来訪、夜行列車ニテ帰阪ス。

松本堅三郎氏来院面会ス。氏ヲ石黒忠篤氏ニ紹介ス。

長崎県主事酒井勝一氏来院。石黒氏ノ対馬視察日程ヲ協議ス。

石黒氏ノ紹介ニヨリ其協議ニ加ハリ、予モ亦対馬視察ヲ行フコトトシ、砂防協会旅行ハ半途ニシテ一行ト別ルルニ決ス。

此旨ヲ赤木氏ニ告ケ、同時ニ赤木氏モ他日対馬旅行ノコトヲ要望ス。

二十五日(水) 窓外晴雨不閑 服薬

本会議ハ夜十一時五十分開会。国会法改正案ヲ上程シ、赤木正雄氏提案ノ理由ヲ説明シタルノミ。議場喧囂ヲ極メ、恰モMobノ集会ノ如シ。議長ノ宣告ハ不明。議場ノセイリ出来ス。法務委員長登壇、破防法ニ付委員会ノ審査ノ経過報告ヲ始メタルモ、十二時ニ至リ散会トナル。

終日議院運営委員会ニ於テ議事妨害ニ熱中ス。fair play心ナキコト甚シ。緑風会總會ニ於テ予ハ運営委員会ノ議ヲ経ス、

多数ヲ以テ議長ヲ応援シ、凡テノ妨害的発言ヲ否決シテ議事ヲ進ムヘシト發言ス。大体議長職權ヲ以テ議事推進ノ方向ニ決ス。

夜十時頃、木村法務総才来室。朝鮮人ノ不法集会及行動ニ付報告アリ。

内閣委員会ハ十一時五十分開会。各案審議ノ予定表ニ付協議シ、保安庁法關係及調達庁法等ニ付、若干ノ質疑ヲ残シテ質疑ノ大体終了ヲ議決ス。

午後二時ヨリ六時マテ秘密懇談会トシ、法案中論議点ニ付各員ノ賛否修正等ノ意見交換ヲ行フ。六時散会ス。

十二時半、帰宅ス。赤木氏ノ尽瘁最モ多謝スヘシ。

二十六日(木) 晴曇 暖冷 服薬 注射

本会議、流会トナル。各派ノ態度ハ共產党、労農党、第一クラブ、社左派、民主党ハ相提携呼応シテ悪質執拗ヲ極ム。乱暴無恥ノ徒ナリ。社右党ハ之ヲ慨シ、緑風会ニ同調シ来レリ。

緑風会總會ハ随時開会セラレ、二十七日一時マテ明日以後ノ態度ヲ協議ス。

内閣委員会ハ、主要各法案要点ニ付、懇談的ニ意見ノ交換ヲ行ヒ、午後四時及夜九時ヨリ外務、運輸、法務総才出席、大体ノ質疑ヲ了ス。

佐藤助九郎氏来院。緑風会政調会ニ於テ、瑞西ノ發電事業、伊

太利ノ地熱利用發電並ニ仏国 Rhone 上流ノ發電計画ニ付説明アリシモ、予ハ委員会ニ専念セシヲ以テ聴問セス。

二十七日(金) 雷雨 蒸暑 服薬 注射

本会議ハ議長職權ニ依リテ遂行スルニ決シタルモ、尚容易ニ進捗セス。四時開会ス。先ツ議長不信任案ヲ否決シ、国会法改正案ニ付發議者ニ対シテ質疑アリ。尋イテ之ヲ否決ス。休憩ノママ、散会ス。夜十二時過帰宅。

内閣委員会ハ十一時半ヨリ開会。各案ノ審議ニ入ル(懇談会ニシテ外来者政府委員ヲ入レス)。法制局及文部省設置法ヲ決定ス。十二時十五分休憩。午後ハ各派ニ集会アリ、出席委員少ク、開会ニ至ラス。散会ス。

朝、四国林業社長植村実氏来訪。氏ヲ横川林野長官及倉田専門員ニ紹介ス。

菰田康一氏来訪。甘藷生切干ノ買入ニ付、意見ヲ求メラル。依テ石川静岡県經濟部長ニ紹介ス。

二十八日(土) 雷雨 服薬

本会議ハ十時過開会。先ツ小野法務委員長不信任ノ決議案ヲ上程、討論ノ上記名投票ニ依リ之ヲ否決ス。議場ニハ塵埃ノ悪臭肆ヒタル為、休憩シタルノ椿事アリ。夜十時四十分、万難ヲ排シテ、議事進行ヲ阻止スル決議ヲ認メス、優先的ニ破防

法案ノ審議ニ入ルヘシトノ動議ヲ可決(議長席前ニ多数殺到シ、水橋藤作氏ハ泥酔シテ階段上ニ横臥シ、記名投票ヲ終リタル議員ノ降壇ヲ阻止シ、多数殺到議員ト相俟テ完全ナル議事妨害ヲ敢行シタリ)シテ其日程ニ入り、委員長報告ヲ終ル。此時議長ハ議長不信任ノ決議案ヲ受取リタルヲ以テ席ヲ副議長ニ譲リ、三木副議長ハ著席シ、直チニ延会ヲ諮リ散会ヲ宣告ス。

先是、衆議院ハ会期延長ヲ三十日間ト議決シ、十一時本院ニ通知ス。

議長及副議長ヲ議長室ニ訪ヒテ大ニ其勞ヲ謝ス。自由党参議院会長大屋晋三氏等モ来テ議長ヲ犒ヒシニ、議長ハ大屋氏ニ對シテ大ニ其不信ヲ詰ル。大屋氏陳弁是レカメシモ、予ハ連絡不全ノ非、自由党側ニ在ルヲ以テ謝宥ノ意ヲ表セシメ、急キ退室セシム。十二時過、赤木、森両氏及公二君ト同車、十二時半帰宅ス。

常任委員長懇談会(十二時半議長応接室)ニ出席シ、内閣委員会ニ於ケル議案審査ノ状況ヲ報告シ、去十九日懇談会ニ於テ要求セシ十日ノ延長ハ、爾來院内ノ実情ニ関連シテ審査ノ進捗ヲ見ル能ハス。殆其効果ヲ挙クル能ハサリシニ由リ、会期ノ延長ハ何日ヲ適當トスルカ予想シ難シト述ヘ、内閣委員会ハ延長期間ノ長短如何ニ拘ラス、懈怠ナク審査ヲ強行スルノ意向ナリト表言ス。

内閣委員会ヲ開キ、(1)会期切迫セルモ審査不進ノ実情ニ鑑ミ、明日ハ日曜日ナルモ委員会ヲ開クヘキコトヲ諮リ、(2)行政組織法第二十四条第二項ヲ改正シ、三十日マテニ兩院ヲ通過セシムル件ヲ諮リ、案文ヲ議題ニ供ス。各員ハ其必要ヲ認めタルモ、期限ノ定メ方ニ關シ意見分レタルヲ以テ、後刻再開ヲ約シテ休憩ス。

衆議院内閣委員長八木一郎氏ヲ訪ヒ、右(2)ノ件ニ付、参議院案ヲ送付スヘキニ依リ、之カ取扱方ニ付希望ヲ述ヘテ了解ヲ得タリ。

野田行政管理庁長官ヨリ、右案ハ政府案トシテ提出シ、衆議院ヲ先議院トスヘキヤノ交渉アリ。之ヲ即諾ス。其時、長官ハ又衆議院自由党ハ会期延長期間ヲ二十日又ハ三十日トスルノ二説アリ。二十日ト決スル見込ナルモ、情勢ニ依リテハ三十日トスルナラント内話アリタリ。予ハ昨日増田幹事長ノ電話ニ對シテ、会期ノ無謀ナル大幅延長ハ不可ナルモ、小刻之延長ハ有害ナリト述ヘ、解散性ナキ参議院ノ横暴ヲ阻止スルタメ、衆議院ノ特權ヲ行使スヘキコトヲ警告セシ旨ヲ告ケタリ。

内閣委員会ハ午後六時散会(休憩ノマ)シ、八時半「明日ハ開会セス、月曜日開会ス」ト決定ス。

緑風会總會ハ常時開会セラレ、緊要事項ノ決定ニ全力ヲ尽シタリ、予ハ屢々委員会ニ出席シ、之ニ関与スル能ハサリシモ、

夕刻ノ会合ニハ破防法ノ審議ヲ円滑ナラシムルタメ、政府原案及緑風会修正案ヲ再ヒ法務委員会ノ審査ニ委スヘシ、而シテ其審査期間ヲ一日トストノ妥協意見圧倒的ナリ。依テ予ハ、(1)本会議ニ上程シテ審査ヲ進メタル上ナラデハ之ヲ為スベカラス、(2)特定ノ問題ヲ限り審査ノ不十分ナルヲ認メサル限り之ヲ為スヘカラス、(3)全法務委員改任ノ決意ナクハ之ヲ行フヘカラストノ意見ヲ述ヘテ、其不可ナルヲ極論シタリ。

三十日ノ本会議ハ破防法案ノ論戦ニ努ムルモ、容易ニ之ヲ議スル能ハサルヲ以テ、寧ロ他ノ諸法案ヲ上程シテ之ヲ通過セシメタル後、破防法ノ審議ニ入ルヘシ、トノ松原一彦氏ノ意見ハ大ニ聴従スヘキモノアリト認メ、之ヲ總會ニ発表シタルニ、破防法ノ措置ニ関シ他ト交渉ニ努メタル諸氏ハ其不能ナルヲ認メ、極力之ヲ排撃シタリ。只、赤木氏ノミハ、三十日朝ノ議院運営委員会ニテ之ヲ發議セント答ヘタリ。

中村幸八氏來院。石黒氏ヲ訪ヒ、県議戦^マニ於テ松島舜治氏ノ推薦取消ニ代ヘテ、馬淵、竹村両氏ノ為、一日間演説会ニ出席スルヲ求メラル。予モ同席シテ事情ヲ聴取シ、石黒氏ハ參議院ヲ欠席スヘカラサルコト、馬淵、竹村両氏ノ為ニ応援演説ヲ為ストキハ、松島氏ノ為ニモ亦応援演説ヲナスヘキニ至ルコトヲ了解セシメ、結局右両氏ヲモ推薦スルコトヲ明ニスルノ外ナシト述フ。已ムヲ得サルコトナルモ他ニ良法ナシ。

中村氏ニ對シテ、予ハ氏ノ為ニ増田幹事長ニ再三要求シタル旨

ヲ告ク。

去二十三日、夜來ノ強風豪雨ノ被害ハ静岡、岐阜両県ニ甚シ。而シテ曾我村村長、由比町治山事ム所ノ狀況ハ夫々報告ニ接シタリ。何レモ大ナル被害ナシ。反之、由比町長、庵原村長、金谷町長ハ電報ヲ以テ善後措置ノ要請アリ。依テ野田建設大臣ニソレ等ノ電報ヲ渡シ、技官ヲ特派セラレンコトヲ求メタリ。

二十九日(日)晴、曇 不常

昨夜睡眠剤ヲ服用ス。終日家居。静養ス。堀先生ニ就キ健康診断ヲ受ケタルニ心臓平常。血圧一八〇―一八〇。尿、無蛋。糖、百分ノ一程度ニシテ静養ヲ要スト診断セラル。然レトモ国会ノ現状ニテハ良法ナシ。昼食後、睡眠一時間半。気分爽ナリ。十時半頃、佐藤助九郎氏來訪。對談一時間。予ハ明年ノ參議院ニ立候補ヲ薦ム。明日、富山ニ向ヒ歸ルト云フ。

秋田大学教授藤岡一男氏(秋田市手形新町下丁)ニ書状ヲ認ム。興三ノ為、□□□□嬢ヲ紹介セラレシニ由ル。山形春人氏未亡人さだ子刀自ノ書翰、重友ヨリ回送アリ。同情ニ堪ヘサルモ、弁天寮ノ會計經理ニ関スル事項ナルヲ以テ、直チニ返書ヲ呈シ難シ。依テ其書翰ヲ中山均氏ヘ転送シテ意見ヲ求ム。

重友へ当分帰郷出来サルコト、土方村長、溝口謹一氏へ災害見

舞ヲ発ス。

三十日(月)雨

本会議八午後十一時十分開会。同五十分散会ス。破防法案ハ上程ニ至ラス。

会期延長十日ヲ議決シ、又衆議院ニ対シ参議院ヲ尊重シテ、独自会期延長ヲ議決スルナカランノ決議案ヲ可決ス(予ハ反對)。最後ニ国家行政組織法ノ一部改正案ヲ上程、委員長報告ノ後、之ヲ可決ス。

内閣委員会、衆議院ヨリ送付シタル政府提出ノ国家行政組織法中改正案ヲ可決ス。予ハ之ヲ緊急上程スルコトヲ、事務局、議院運営委員長及赤木委員ニ依頼シテ、竟ニ目的ヲ達シタリ。欣快ナリ。

会期ハ衆議院ノ議決ヲ以テ三十日間延期セラル。

緑風会ハ終日総会ヲ開ケリ。社党左派右派ノ向背變転常ナシ。

何レモ是レ悪質ナル駆引ノミ。党派心ノ偏狭、竟ニ是ニ至ル。

国家ヲ憶フ者、宜シク決意スヘシ。自由党、改進黨亦巨人ナシ。

佐藤議長ヲ訪ヒ、断然議長職權ヲ以テ議事ヲ進行セラレンコトヲ乞フ。緑風会、自由党、民主クラブハ一致シテ後援スル旨ヲ告ケ、河野部長ノ言ヲ採ラレンコトヲ求ム。議長ノ位地孤立トナリ、連絡取レス。憂フヘシ。依テ予ハ進テ面会セシナ

リ。

石間尚来泊ス。一同無事ナリト云フ。

七月一日(火)雨 服薬 注射 眼治療 昨夜不眠甚シ

本会議八十一時開会セラル。劈頭佐藤議長不信任ノ動議ニ入ル。記名投票ヲ以テ之ヲ否決ス。午後破防法案ノ審議ニ入り、説明ノ後質疑ヲナス。十一時散会。議事ハ漸クニシテ軌道ニ復ス。今後一致進行力大切ナリ。

十一時、佐藤議長ヲ訪問ス。重大ナル決意ヲ内話セラル。予ハ、其衷情ヲ諒トスルモ、大義ハ之ヲ許サスト述ヘ、互ニ心情ヲ披瀝シテ別ル。

内閣委員会ハ開会ニ至ラス。

松本堅三郎氏来訪。明日大阪府へ帰ルト云フ。丸山方作氏ヲ往訪スルコトヲ勸ム。

庵原村青年七十名来訪ス。一部ハ傍聴ヲ取計ヒ、他ハ国会図書館及衆議院參觀ヲ勸ム。

植村実氏来訪ス。倉田博士ト十分連絡ヲ取ランコトヲ勸ム。

県東京事務所ヲ訪ヒ、風水害被害ノコトヲ問フ。又、石崎書店ヲ訪ヒ、名刺代ヲ払ヒ一部ノ取替ヲ問フ。

二日(水)雨 服薬 注射 眼治療

本会議八十時ヨリ開会セラル。破防法案ノ緑風会修正案ニ対シ

テ各派代表ノ質疑アリ。了テ議案ヲ法務委員会ニ再附託スヘシトノ動議アリ。之ヲ否決シ七時散会ス。

對馬ニ関スル文献ヲ耽読ス。

内閣委員会ハ開会セス。

七時、佐藤議長ヲ訪問ス。議長ヨリ再ヒ辞任ノ意ヲ漏サル。之ニ對シテ政局安定ノ絶対必要ナル今日、衆議院ノ動搖及解散ヲ目睫ノ間ニ控ヘツ、參議院ノ中枢者ノ異動ハ最不可ナル所以ヲ力説シテ断念ヲ求ム。議長モ竟ニ之ヲ諾ス。

赤木氏ト全国治水砂防協会有志会ニ至リ中食ス。他ニ來会者ナシ。

島田市會議長八木芳男氏、前議長森昌也氏來訪ス。千頭營林署ヲ島田市ヘ移轉ノ件ニ付、協力ヲ求メラル。此事ハ我国林政ノ為、最憂フヘキコトナルヲ告ク。

両氏ニ傍聴券ヲ呈ス。

掛川町長蔦ヶ谷龍太郎氏、外ニ名來訪ス。掛川御前崎間鐵道布設ノ件ニ付報告アリ。当局ヘ要請ノコトヲ求メラル。依テ運輸省政府委員室ニ諸氏ヲ伴ヒ、國鉄調査官佐藤照雄氏ニ電話ニテ面会ヲ申入ル。

松屋売店ニテ Suntory whiskey ヲ求ム。代一、六〇〇円ナリ。泰治、夕來訪。夕食ヲ共ニス。夜九時半迄ニテ大阪ヘ帰ル。

三日(木) 雨 晴 薄暑 注射 洗眼 服藥 入浴

本會議ハ破防法外ニ件ノ討議ニ入ル。六時終了。記名投票ニテ各案ヲ修正議決ス。

二時、内閣委員会ヲ開キ、明日以後ノ内閣委員会ノ審査計畫ヲ諮ル。

曾我村長松浦久治氏、外三名來院面会ス。東山沢川尻附留ノ件ニ付要請アリ。之ニ對シ上流ノ土砂止メノ重要ナルヲ力説シ、赤木氏ノ説ヲ聴カシム。

浜松市會議長濱田由太郎氏外ニ氏來訪ス。國道線一号工事中止請願ニ付説明ス。予ハ本會議ニテ此請願ニ反對スヘキ旨ヲ告ク。

夕、小塩孫八氏上京セシ由ニテ使ヲ以テ枇杷一籠ヲ贈ラル。

四日(金) 曇 雨 不常 注射 洗眼 服藥

本會議ハ議院運営委員会ニテ手間取リシタメ、午後一時半ヨリ開会セラル。

先ツ大屋晋三氏ニ對スル懲罰動議ヲ否決シ、溝渕春次氏提出ノ、共産、社左、社右十七氏ニ對スル懲罰動議ニ入り、各員ヨリ質疑ノ後、十三氏ヨリ一身上ノ弁明アリ。之ヲ懲罰委員ニ附託スルコトヲ議決シ、七時頃散会ス。

内閣委員会ハ十一時四十五分開会。懇談会ニ入り、一時ヨリ二時マテ休憩。更ニ六時三十分マテ各省設置法改正案ニ付意見ヲ交換ス。

米國獨立記念日ナルヲ以テ米大使同夫人ヨリ招カレ、七時 reception 一出席ス。來客千數百名。大使館ヘノ通路狭ク、八時二十分頃參議院ニ歸ル。本會議ハ既ニ散會後ナリ。直チニ帰宅ス。

朝、小塩孫八氏ニ電話ヲ以テ昨夕ノ厚意ヲ謝シ、且同氏ヨリノ用件ヲ問ヒ、又弁天島同胞寮關係山形未亡人ヨリノ手紙ニ付、中山氏ト協議セラレンコトヲ乞フ。

いも通信月刊誌編輯、石井義勝氏坂田英一氏ノ紹介ニテ來訪。同誌第二号ニ予ノ卷頭語ヲ掲ケンコトヲ求メラル。之ヲ諾ス。

五日(土) 晴 涼 服藥 注射 眼治療

本會議ニ出席ス。日華平和條約、日印平和條約及漁業《北太平洋公海》國際條約ニ付、承認ヲ与フルノ決議ヲ為ス。又アジア諸國トノ友好促進ニ関スル決議案ヲ可決シ、五時三十分散會ス。

内閣委員會ハ開會セシモ本會議ノ為審議ニ入ラス。三時散會ス。

高瀬緑風會政務調查會長及野田行政管理厅长官ニ面會シテ、行政機構改革ニ付強キ態度ヲ執ルコトヲ強調ス。

土方村助役及議長來院。同村ノ災害ニ付報告ス。傍聴ヲ取計フ。八木島田市議會議長來院シ、千頭宮林署ノ移轉ハ事實ニ非スト

報告シ、同時ニ木材置場ヲ島田市ニ設置スルコトヲ強調ス。祖父ノ命日ナリ。夕いなりすしヲ供ス。

六日(日) 曇 雨 冷 服藥 注射 眼冷菴包硼酸水

家居。朝五時半ヨリ、行政機構改革各省設置案ニ付調査ヲ始ム。中食及朝食ノ後、少時睡眠ス。夜十一時ニ至リテ止ム。

朝、宮崎県知事田中長茂氏來訪ス。県議會解散ノ場合ヲ拡大セヨト要望セラル。蓋シ苦キ經驗ニ因ル意見ナリ。明日發途歸任スト云フ。

午後、相良町長長野宇恵茂氏來訪ス。地域給引上ニ付要望セラル。又、同町鬼女新田ナル戦死者某氏ノ為、記念碑ニ題字揮毫ヲ求メラル。

夕、鈴木俊一氏來訪ス。丸山 dan ノ視察ヲ勸メラル。

川崎町公務員有志ヨリ茶ヲ贈ラル。謝状ヲ呈ス。重友ヘ發状ス。

七日(月) 雨 午後曇 服藥 注射 眼手当 入浴

朝、富山市佐藤助九郎氏ヨリ電話ニテ、県營電力復元ニ付要求アリ。館議員ト打合セノ旨返事ス。館氏今朝富山市ヨリ帰京ス。明日再ヒ富山ヘ赴クニ付、佐藤氏ヘ報告スト云フ。佐藤氏ハ又電力開發促進法案ノ否決ヲ求ム。同感ノ旨ヲ答フ。

本會議ニ出席ス。昭和二十三年六月三十日以前ニ給与事由ノ生シタル恩給ノ特別措置ニ関スル法律案ニ付、委員長報告ヲ為

シ、可決セラル。

本会議ハ終日断続開会セラル。電源開発促進法案ニ対シテ、予ハ適當ナル案ヲ得ルマテ延期スルヲ必要ト認メタルヲ以テ、奥修正案、杉山修正案、委員会修正案及原案ニ対シテ反対ス。然ルニ原案ハ杉山修正ヲ容レテ可決ス。

内閣委員会ハ本会議ノ影響ヲ受ケテ進捗セズ。午後開会。保安庁法案及海上公安局法案ニ付、大橋國務大臣ニ質疑ヲ為シ、散会ス。

静岡県議會ノ諸氏、大挙來訪。傾斜地利用率増加ニ付運動ス。水野代議士ハ小笠郡南部町村代表七八名ヲ率キテ來訪。ダイナ台風被害対策ニ付、政府ニ陳情ヲ行フ。予ハ県庁ヨリ政府ニ提出シタル要求ノ貫徹ニ付、協カスヘキ旨ヲ答フ。

八時頃帰宅ス。疲労甚シキヲ以テ夕食後臥床ス。館林三喜男六時頃帰京。直チニ千葉ヘ赴キ十二時頃帰着ス。興三八昨午後東大工学部ヘ赴キ同所ニ宿泊ス。

八日(火)曇 半晴 薄暑 服薬 注射 眼手当

胃幽門ノ付近ニ小塊アルカ如ク、数日来食欲不振ナリ。医務局ニ至リ此事ヲ述ヘ、尿ノ検査ヲ行ヒシニ、肝臓及胆嚢ニハ異状ナシト云フ。中食晩食ヲ節ス。

内閣委員会ハ十一時過ヨリ開会。大橋國務大臣ニ対シ質疑ヲ行フ。ソレヨリ二時マテ保安庁ノ警備配置及裝備ニ付秘密会ヲ

開キ、大橋國務大臣ノ説明ヲ聴ク。詳細ナル説明ニ対シ、各種有益ナル質疑ヲ為ス。

三時半ヨリ大蔵省関係ニ付、森永官房長ニ対シテ質疑ヲ為ス。終テ自治庁設置法案、法務府設置法案及運輸省設置法案ニ付懇談会ヲ開ク。六時散会ス。

内閣委員会ノ審査ハ大体今週ヲ以テ終了スルコトトシ、其旨ヲ河野議事部長ニ通告シ、本會議上程ノ用意ヲ依頼ス。十四、十五両日ニ互ルコトヲ予定ス。

野田行政管理庁長官ノ需ニ依リテ会見。委員会進行計画ヲ報告ス。

朝、徳川家正公ヨリ中元手当金千円ヲ贈ラル。

原田武雄氏ヨリ綿靴下半打ヲ贈ラル。

鈴木二平夫妻來訪。《洋子ヲ女子大寄宿舎退寮、大森方ヘ転出ノ為ナリ。》なまり節ヲ贈ラル。

マス子夜重友ヘ電話。急速女中ノ來京ヲ求メ打合ヲ為ス。

九日(水)雨 冷 服薬 注射 胆嚢炎手当 眼洗滌

本會議ニ出席ス。自治法改正案ニ付、岡本氏ト共ニ修正案ニ賛成セシモ否決セラル。依テ本案ニモ反対セシニ可決セラル。国道第一号線浜松市内道幅計画縮小ノ請願上程セラルルニ依

リ、反対演説ノ通告ヲ為ス。然ルニ賛成者田中一氏ハ賛成演説ヲ為スノ通告ヲナシタルタメ、日程ヨリ削除セラレタリ。

依テ浜松市長ニ対シ、電報ヲ以テ之ト反対ノ請願ヲ至急提出スルコトヲ要望シ、且葉書ヲ以テ其事由ヲ説明シタリ。

内閣委員会ハ午前中ハ審議進行セサリシモ、午後ハ進行ヲ始ム。

午後九時マテ懇談会ヲ続行ス。

緑風会政務調査会ニ出席シ、四時ヨリ五時半マテ行政セイリ案ノ処理ニ付報告ヲ為ス。又、午前ノ総会ニ於テ懇親会開催ノコトヲ發議ス。

先是三時頃、議院運営委員会ニ招カレ、委員会ノ審査進行状況ニ付説明ヲ為ス。即チ十二日マテニ審査終了スヘキニ依リ、十四日本会議ヲ開キ、各案ヲ上程セラレンコトヲ要望ス。委員ヨリノ質問ニ依レハ、議員ノ多数ハ自然休会ヲ希望シ、既ニ帰郷シタル者多シトノコトナリシヲ以テ、予ハ議長ハ電報ヲ以テ是等議員ノ即時上京ヲ促サレタシト要望シタリ。

全国治水砂防協会例会ニハ赤木氏ノ外出席者ナシ。腹部ノ小患ハ胆嚢炎ナルカ如ク、医務室ノ「二字空白」博士ノ診察ヲ受ケ、クルクロンヲ与ヘラル。食餌減少シ疲労ヲ覚ユ。帰途中、自動車ノ振動力患部ニ刺撃ヲ与ヘ、鈍痛ヲ発ス。依テ腹皮ヲ摘ミテ其部位ノ腹圧ヲ減却スルニ努ム。帰宅後速ニ就褥ス。

十日(木) 雨 冷 服薬 注射 尿検査 眼洗滌

終日内閣委員会ヲ強行。五時過散会ス。各案ニ対スル修正点等ニ関シ懇談会ヲ終了ス。

野田行政管理局長官ヲ訪問シ、大野木、中川両政府委員ヲ懇談会事務ニ参加セシムルコトヲ要望シ、委員会ノ同意ヲ経テ両氏出席ス。

議院運営委員会ニテハ、十二日ヨリ二十日マテ自然休会ニ入ルコトヲ決定シタル旨ニテ、事務局ヨリ通知アリ。内閣委員会ハ予定ノ如ク十二日委員会終了ノ豫定ニハ変化ナシ。胆嚢部ノ故障前日ノ如シ。尿ノ検査ヲ求メシニ糖分ハ増加セリ。

緑風会政務調査会ニテ行政セイリ各案ニ対スル報告ヲ為ス。竹下、楠見両委員モ出席、説明セラレ、明日態度決定ノ段階ニ進ム。

高平勇氏来訪ス(院内)。興三八大多喜ヘ赴ク。山崎昇二郎氏来泊ス。白波瀬米吉氏ヨリメロン二箇ヲ贈ラル。松崎運転士ヘ六月分超過勤務手当一、一五八円ヲ渡ス。

十一日(金) 雨 晴 薄暑 注射 服薬(エビオス、クルクロン) 洗眼 入浴
本会議ニ出席ス。労働法ノ改正案ハ修正可決セラル。

内閣委員会(十一時—七時)。一時半マテ保安庁法案ニ付質疑

ヲナス。政府ノ説明、明瞭ヲ欠キ、且前回ト矛盾アリ。午後、大蔵省設置法案ニ付栗栖委員ヨリ森永官房長ニ説明ヲ聴ク。四時半ヨリ懇談会ニ入り、政府案ノ各二付、表出セラレタル論点ヲ検討シ、夫々賛否ヲ決ス。賛否ヲ決シ難キモノハ次回ノ表決ニ譲ル。一応ノ検討ヲ終リ七時散会ス。

緑風会ハ十二時半ヨリ政務調査会ヲ開キ、行政機構セイリ案ニ付昨夕ノ決定ヲ再認ス。

緑風会ノ懇親会ニ出席ス。青山北町六丁目ノ中心社ニテ催サル。コレハ常岡一郎氏ノ厚意ニ依ルモノナリ。

歳費八四、四二五円ヲ受取ル。松崎運転士へ七月分手当千円ヲ渡ス。

山崎昇二郎ハ朝同車、渋谷ニテ別ル。本日国会及農林当局へ陳情ノ上帰途ニ就クト云フ。

昇三郎夜来泊ス。公ニモ来訪。十時頃帰宅ス。

十二日(土) 雨

夕晴 薄暑 注射 服薬(エビオス、クルク

ロン) 洗眼
内閣委員会ハ午後二時ニ至リテ開会ス。十時ヨリ開会ノ予定ナリ。此間修正点ニ関シ各派ノ態度決定ノ為ナリ。自由党ハ党議原案固守ニ在ルモ、内閣委員ハ夫々私ヲ挟ミ他党ノ修正ニ便乗シ、又多数議員ノ帰国ノタメ、重要議案ノ審査ヲ他日ニ延期スルノ態度ニ出テ、甚不当ナリ。

二時ヨリ六時マテ保安庁法案、海上公安局法案ニ付、大橋國務大臣、奥野法制局長、大野木管理庁次長ト質疑論戦ヲ鬥ハス。七時ヨリ再ヒ懇談会ニ入り、昨日ノ懇談会ノ結果ヲ再認シ、且留保トナリタル諸点ニ付決定ヲ為ス。予ノ主張タル砂防局設置ノ問題ハ、他日政府ヲシテ提案セシムルコトニ決シ、修正案提出ニ至ラス。斯クテ留保セラレタルハ、保安庁法案、海上公安局法案、經濟審議会法案、行政組織法、定員法案トナレリ、八時半散会ス。

朝、公ニ来訪。燻製鮭ヲ贈ラル。昇三郎公ニト同車、内幸町ニテ昇三郎下車。今夕ハ辻堂ニ泊ルト云フ。

西山口成瀧、平岩美江ト云フ婦人、十時三十分品川著ニテ来ル。家事手伝ヲナス為ナリ。

胆嚢故障依然治ラス。悪化ノ兆ナキハ幸ナリ。

十三日(日) 曇 小雨 十一時頃ヨリ晴 薄暑 服薬兩種 注

射 入浴 体温夜十時三六・八

胆嚢部膨脹感アリテ不快ナリ。家居。起臥ヲ自由ニス。十一時半、堀先生ヲ訪ヒ診察ヲ求ム。胆嚢炎ハ輕微ナルモ食餌ヲ謹ミ、成ルヘク臥床スルコトナドヲ指示セラル。心臟異常ナシ。血圧一五〇—八〇ト云フ。

小林次郎氏来訪セラル。水蜜桃一箱及手漉用箋ヲ贈ラル。

新谷寅三郎氏岩渕辰雄氏ヨリ電話アリ。機構改革ニ関スルモノ

ナリ。新谷氏ニ対シテハ来訪ヲ断ル。

赤木氏ニ電話ヲ以テ砂防局設置ノ為、修正案ノ提出ヲ見合セタル旨ヲ報告ス。

白波瀬米吉氏ニ電話ヲ以テ、明日ノ内閣委員会ニ於ケル議案取扱ノ方針ヲ告ク。

農林省設置法等ノ一部改正案ヲ検討ス。

十四日(月)雨 陰晴不定 服薬二種 注射 眼治療

胆嚢炎少シツ、治癒ニ向フカ如キモ、局部ニ腫脹感去ラス。

内閣委員会ハ一時開会ノヨテイナリシモ、二時半開会ス。其間

各派ニ於テ各案ニ対スル態度ヲ協議セシタメナリ。法制局設

置法案、調達庁設置法一部改正案、文部省設置法一部改正案、

厚生省設置法同上、労働省同上、建設省同上、資源調査会設

置法案、法務府設置法等ノ一部改正案及行政管理庁設置法ノ

一部改正案ハ、何レモ修正議決セラル。

四時休憩ニ入ル。七時再開ノ予定ナリ。

右九件ハ何レモ法制局ニ於テ修正案ノ完成シタルモノナリ。

七時半再開八時半ニ至ルモ、修正案ハ自治庁設置法案外一件ニ

付テノミナリ。而シテ行政管理庁設置法中修正案ニ重大ナル

脱落アリシヲ以テ、正誤トシテ之ヲ訂正スルコトヲ議決シ、

八時三十分散会ス。

四時半ヨリ七時マテ映画ヲ看ル。題名ハ「長崎の唄(歌)は忘れじ」

ナリ。

十五日(火)陰晴不定 小暑 服薬二種 洗眼 入浴

参議院内閣委員室ニテ執務ス。修正各案ハ十六日中ニハ完成スル予定ナリ。

帰国。一時発静岡ニテ乗換へ、五時五十六分掛川著。自動車ニ

テ帰宅。重友出迎フ。

盆祭ノ最終日ナリ。ふき子、耳下腺炎ニテ臥床ス。其他健全。

十六日(水)晴陰不定 東京晴 服薬二種 注射 入浴

上京。掛川八、三三一〇、一四由比三、四三一一九、二六

品川―渋谷―池ノ上

由比駅ニテ県河港(川)課長片岡紀一氏、由比治山事務所長清水敏

治氏、議長川島恆氏、町長平野敏氏及志田収氏等出迎フ。

徒歩、中ノ沢上方崩壊地新生三ヶ所(林内80m×16m)同小崩壊。工

事頂端ヨリ上40×40、寺尾沢上部(中ノ沢工事頂端ヨリ決

裂著増)。

今宿平、新生崩落及どぶリリ移動。

西山寺部落、北条崩壊1.5h。和瀬川へなだれ落ヲ見、駅前某店

ニテ中食。

食後にゴリ沢上流ノ新生崩壊地3h5(3.5h)ヲ視察ス。更ニ国鉄

実施工事及国道開設ニ基ク危険箇所崩落一、山沢ニ(暗渠設

計極小シヲ視察シタリ。

結論トシテ県カ主働力ヲ持チ、関係官庁代表会議ヲ開キ、応急対策及恒久施策ヲ作り、中央官庁ノ発動ヲ促スヘキコトヲ片岡技師ニ強ク要求シ、又町当局ニモ明確ニ了解セシメタリ。東上ノ車中ニテ由比治山事業概要ヲ読了ス。学者ノ検討力実地施策ヲ見ルマテニ距離アリ。望洋ノ歎ニ堪ヘス。車中又陶山鈍翁ノ事績ヲ読ム。

十七日(木) 晴 暑 服薬二種 洗眼 血圧一六〇—九二 健康遽ニ回復ス。心身爽快ナリ。山野跋涉ノ効ナリ。各部疲痛ナシ。

朝六時頃□□□氏来訪ス。長男□□氏ノ税務署勤務中、不正取得事件ニ付、高橋国税庁長官ニ了解ヲ求メラル。同人ハ昨年六月辞職シ、本年四月静岡警察学校ニ在リ、六月一日事犯発覚、戸塚重一郎氏ノ好意ニ依リ元利立換弁償セラルト云フ。

登院。内閣委員室ヨリ高橋長官ニ面会ヲ求メシニ不在ナリ。□□氏十二時頃来院セシニ、明日会見ノ由ヲ告ケ帰国セシム。朝日麦酒ニテエビオス一缶¥645ヲ、鳩居堂ニテ線香五箱¥500ヲ求ム。

内閣委員室ニテ各案修正案進行状況ヲ質シ、又二十一日以後委員会ノ計画ヲ立ツ。慰勞ノ為一万円ヲ杉田氏ニ呈シ、長岡行

ヲ勸ム。

野田行政管理庁長官ノ需ニ応シ建設省ヲ訪ヒシニ、閣議ノ内容ヲ告ケ、之カ実現ヲ希望セラル。《原案修正ケ所、外局五ヲ内局ニ戻ス件ニナリ。予ハ殆其不可能ナル所以ヲ説明ス。又、栗栖委員考察ノ經濟審議庁案修正ヲ示シ、速ニ適當ナル措置ヲ執ルヤウ注告ス。

議員会館ニ赤木氏ヲ訪ヒ同車。古島家ヲ訪ヒ焼香ス。ソレヨリ東久世家ヲ訪ヒ夫人ニ面シテ焼香ス。近ク此家ヲ処分シテ駒場ナル令息ノ家ニ移ルト云フ。夕食ノ時、館林ト同卓。麦酒ヲ飲ミ睡氣ヲ催シ夙ク寝ヌ。

十八日(金) 雨 冷 服薬 Ebios 洗眼 注射 四時半起床。由比町長平野敏氏、議長川島恆氏、志田収氏、治山事業所長清水敏治氏、県土木部長仁科太郎氏へ挨拶ヲ兼ネ意見書(はかき)ヲ認メ投函ス。

九時半、国税庁ニ高橋長官ヲ訪問シ、□□□氏ノコトヲ懇談ス。長官ハ取調ノ上処理スル旨ヲ答フ。参議院ニ帰リテ書状ヲ認メ□□□氏へ送ル。又同氏ニ電報ヲ発ス。米商 Shriro 方(富国ビル方)ニテ Super Chrome ink ヲ買フ。代金百八十円ナリ。

参議院ニテ赤木氏ヲ訪問シタル岩崎浜松市長、外四名ト会見ス。国道第一号幅員縮小請願ニ関シテナリ。

宅ヨリ電話アリ。マス子出発ノ際、金員ヲ遺忘セリト云フ。依テ松崎運転士ヲシテ取来ラシメ、三越ニ至リ、マス子ト合シ、シャツ二、ニツカー用麻靴下等ヲ求ム。其中開衿シャツ一枚ハ緑化推進委員会贈与ノ分ナリ。

参議院図書館ニ帰り調査ヲ為シ、四時半発車帰宅ス。赤木、内田両氏同乗ス。

三浦安蔵氏ヨリ二二年再版《生理応用》甘藷ノ多収穫栽培法三部ヲ買フ ¥100。

十九日(土) 雨 冷 *Elios* 服用 洗眼 注射 入浴

朝、石黒篤篤氏ヨリ電話ヲ以テ、昨日野田行政管理庁長官ト会見シタル内容ヲ詳シク説明セラレ、長官ノ要望ト石黒氏ノ態度トヲ明ニセラル。

右ノ結果、予ハ本日長官ト会見スルコトヲ必要ト認め、又長官ノ希望アラハ進ンテ吉田首相ト会談スルコトヲ決意ス。

登院ス。野田長官ヨリ会見ヲ申込マレ、議長応接室ニテ会談ス。長官ハ予ノ問ニ対シ、(1)外局ヲ内局トナスノ件ニ付、緑風会高瀬、徳川両氏ト電話セシコト、(2)自由党内ノ結束、未十分

ナラサルコト、(3)民主クラブハ二十一日朝、態度ヲ決スルコト、(4)二十一日ノ委員会ハ暫ク待居ラレタキコト等ヲ述フ。

又吉田首相ト会見ノコトハ、首相ト打合ノ上返事スルコトヲ答フ。予ハ委員会ノ重要問題ハ外局ヲ内局トスルノ件ニ止ラ

ス、本案廃止ノ跡始末モ亦重要ナルヲ述ヘ、之カ対策ハ如何ニ進展セルヤヲ問ヒ、更ニ緑風会工作ハ慎重且急速勇敢ヲ要スル旨ヲ告ケ、若シ議場ニ於テ阻止セラルルナラハ断念スヘキ旨ヲ勧告ス。

五時帰宅ノ時電話アリ。野田氏、明日九時首相ヲ訪問シタル上、其意向ヲ問ヒ、予ノ首相往訪ヲ求ムヘシト告ク。

栗栖尠夫氏ニ面会ス。氏ハ二十三日郷里ニ会社總會アリ。出席ヲ要スルヲ以テ二十一日ニテ委員会ヲ終了スルヤヲ問ハル。予ハ其不可能ナル所以ヲ告ケ、二十五日マテニ本會議々了ノ予定ヲ明ニス。栗栖氏ハ總會ヲ二十六日ニ延期スヘシト答フ。

内閣常任委員室ニテ執務ス。二十一日本會議上程ノ各案ニ付、委員長報告ノ原案ヲ受ケ之ヲ検討ス。

対馬支庁農地開拓課長大川雅久氏ヘ甘藷栽培法及麦多収穫栽培法ヲ郵送ス。

夜、二十一日ノ委員長報告ノ原稿ヲ整理ス。頗大事ナリ。

二十日(日) 晴 涼 *Elios* 服用 点眼 注射

胆嚢故障漸次退散シテ異状ナシ。食欲回復。良ク眠ル。館林ハ七時三十分羽田発ニテ帰任ス。

野田長官ヨリ早朝電話アリ。首相下痢ヲ起シタル為、三時往訪ニ変更シタル由。而シテ首相ノ依頼アラハ直チニ電話スヘキ

ヲ以テ往訪セラレタシ。而シテ其場合自動車ハ建設省ニ於テ用意ストノコトナリ。

午後三時マテ家居。明日ノ委員長報告ノ準備ヲ為ス。

朝、洋服屋石橋〔空白〕氏ヲ喚ヒ、Nicker 調製ヲ依頼シ又絹紬製夏服二著（既製）ノ縮縫ヲ依頼ス。Nicker 用麻ハ一昨日三越ニテ購入ノモノナリ。

十一時頃、富山県議会副議長柴田彌一氏、富山市商工会議所副会頭金山喜八郎氏、高岡市議会副議長吉田喜八郎氏及東化工会社常務星野芳郎氏來訪。北陸通産局ヲ金沢市ニ設置反対ノ陳情ヲ為ス。

三時半、藤村建設大臣秘書官ヨリ電話ヲ以テ、野田長官ヨリ首相ハ予ノ來訪ヲ求ムル旨ノ伝言アリ。四時十五分同秘書官來車、箱根小桶谷ナル首相邸へ案内セラル。六時四十分頃著。直チニ面会ス。首相ハ下痢ヲ起シ治療中ナルヲ以テ会谈十五分ニテ止ム。食事ヲ饗セラレ、首相、麻生太賀吉氏、同夫人ト同卓ス。八時辞去。

十時二十分帰宅ス。

十二時頃野田長官ニ首相ト会谈ノ内容ト首相ノ意向ヲ伝フ。

二十一日（月）晴 涼 Ebios 服用 点眼 注射 入浴

八時二十分佐藤助九郎氏來訪ス。伊東市ニ於テ地熱発電実行ノ計画ヲ告ケラル。又、丸山鶴吉氏參議院立候補勧告ノコトヲ

熱心ニ話サル。

本会議ニ出席ス。行政管理庁設置法中一部改正、労働省設置法一部改正、文部省同上、厚生省同上、建設省同上、法務局設置法案、調達庁設置法一部改正、法務府同上ニ付委員長報告ヲ行ヒ、夫々可決セラレタリ。此報告ハ総括ト各案トニ別チ、要点ハ詳細明確ヲ期シ、国会初期以来最優ノ報告タリシコトヲ信ス。而シテ尚、一時間ヲ要シタリ。

内閣委員会ハ午後三時ヨリ開会セラル。此間野田建設、村上運輸両大臣ノ緑風会ニ対スル説明ト了解運動アリ。自由党モ亦党議ヲ以テ前決定ヲ再認ス。委員会ハ今後開会及運営ノ計画ヲ決定シタル上、(1)郵政省ニ電波監理委員会（又ハ審議会）ヲ入ルルノ件、(2)安本廃止ニ伴ヒ經濟審議庁ノ性格ヲ如何ニスルカニ付、懇談会ヲ開ク。(1)ハ大体ノ結論ヲ得タルモ(2)ハ岐路ニ迷入セシ觀アリ。却テ審議庁案否決ノ結論ニ達セントシ、九時ヲ過キテ散会ス。

柴田以代子夫人、昨日見付ニ於テ逝去セラレシ由ニテ、二十二日葬儀ヲ行フトノ電報ヲ重友ヨリ受領ス。依テ同人ニ会葬ヲ命シ、又弔電ヲ遺族ニ呈ス。

二十二日（火）晴 暑 Ebios 服用 注射 洗眼

午後一時カラ内閣委員会ヲ開カレタルモ進行遅々ニシテ、自治庁設置法案外一件、郵政省設置法外一件、農林省設置法等一

部改正案及通商産業省設置法案外二件ヲ修正議決シ、八時三十分散会ス。

一也、成也ハ午後一時發ニテ佐賀ヘ赴ク。

二十三日(水)晴 暑 *Etiós* 服用 注射 洗眼

本會議ニ出席ス。自治庁設置法案、外一件。郵政省設置法改正案外一件ニ付、委員長報告ヲ為シ、何レモ修正議決セラル。

委員會ハ一時開会ノ予定ナリシ処、經濟審議庁設置法案ヲ改正スル点ニ付、栗栖氏、波多野氏、楠見氏等ノ意見纏ラス。長時間交渉ノ結果、栗栖氏ノ態度屢々變化シタル末、遂ニ修正案ヲ提出セラレ、八時開会。經濟審議庁設置案。安本廃止及之ニ伴フ關係法令整理法案、大蔵省設置法案改正外一件ヲ修正議決シ九時十五分散会ス。

正午過、全国治水砂防協会有志会ニ出席ス。徳川公、次田氏、山崎氏、赤木氏、河井出席ス。

二十四日(木)晴 暑 *Etiós* 服用 注射 洗眼 入浴

内閣委員會ハ十一時ヨリ開会シ、保安庁法案、海上公安局法案及運輸省設置法一部改正案ニ付、三好、成瀬、上条、波多野四氏ヨリ大橋、村上兩大臣ニ質疑ヲ行ヒ、三時ニ至ル(其間休憩一時間半)。

ソレヨリ右三案ニ付討論、採決ヲ行ヒ休憩ヲ重ネツ、修正案

ノ用意成リシ総理府設置法中改正案、行政組織法改正案ニ付討論採決シ、最後ニ定員法ノ数字ヲ検討シテ採決ヲ為シ、各案何レモ修正ヲ加ヘラレタリ。散会ニ先チテ予ハ委員長報告ノ結論トシテ、議場ニ報告スヘキ要項六ヲ挙ケテ委員ノ意見ヲ聴取シタリ。八時四十分散会ス。

夕、參議院ノ廊下ニテ柴田達夫氏ニ出会ヒ、母堂逝去後ノ取扱ヲ聞ク。近々遺骨ヲ東京ニ取寄セ告別式ヲ行ヒタル上、郷里ヘ埋葬スヘシト云フ。

昇三郎、夜來泊ス。

二十五日(金)晴 暑 服藥 注射 洗眼

登院。十時ヨリ一時マテ内閣委員室ニテ執務委員長報告ノ用意ヲ為ス。

三時本會議ニ出席。通産省設置法案、同上關係法令整理案、工業技術庁設置法ノ一部改正案、農林省設置法等改正案、經濟審議庁設置法案、安本廃止及關係法令ノ整理案、資源調查會法案、大蔵省設置法案、同關係法令ノ整理等、保安庁設置法案、海上公安局法案、運輸省設置法一部改正案、総理府設置法改正、行政組織法改正及定員法改正案ニ付、順次委員長報告ヲ為シ、次ニ内閣委員會ニテ審査セシ總括的報告ヲ為シ、最後ニ委員會ニ於ケル結論六則ヲ述ヘテ報告ヲ終了ス。所要時間約二時間ナリ。

保安庁法案、海上公安局法案及運輸省設置法中改正案ニ付、少数意見及反對討論アリ。記名投票ニ依リ修正議決セラル。其他ノ各案モ修正議決セラレアリ。

朝登院ノ際、昇三郎ト同車。新橋、住友鉦山ビルニテ別ル。同人、夜帰阪ス。

夜、興三、千葉ヨリ帰来ス。

二十六日(土) 晴 暑 服薬 注射

朝八時、赤木氏ト同車、東京駅ニ向フ。八時三十六分発電車ニテ横浜ニ到リ、神奈川県庁ノバスニ乗り函嶺ノ砂防視察ヲ為ス。一行ハ中川幸平氏(自)、一松定吉氏(民主クラブ)、松原一彦氏(改進黨)、竹下豊次氏、楠見義男氏、赤木氏及予(緑ナリ。其外、鬼頭嬢、上田主事、吉原調査員、平野調査員補及読売記者一名モ之ニ加ハル。県砂防課長小田島利八氏斡旋セラル。小田原ニテ県議(砂防支部副長)中井一郎氏、外一名之ニ加ハル。視察箇所ハ風季ニテ早川ヲ、二子山旧東海道上ニテ砂防ノ効果ヲ見、引返シテ環翠楼ニテ中食シタル上、大湧谷ヲ視察シ、芦湖畔ニ出テテ下リ、宮城野早川上流ノ砂防堰堤ヲ視察ス。ソレヨリ小田原駅前ニ小憩、一松、中川兩氏ト別レテバスニ乗ル。大磯ヲ経テ course ヲ海岸線ニ取り、腰越ヨリ藤沢ニ出テ横浜駅ニテ解散ス。七時六分発列車ニ乗り、品川ヲ経テ帰宅ス。少シク疲労セシモ、心氣転換、生々

潑刺ノ好刺撃ヲ得タリ。

二十七日(日) 晴 暑 夜小雨 服薬 注射 入浴

品川八、一―一―一、一四静岡三、三四―六、四一品川静岡へ赴ク車中ニテ雑誌投稿原稿ヲ認ム。

経営者協会ニ至リ、直ニ自動車ニテ千代田母子寮ヲ見ル。次ニ従来実行セシ保育所ヲ見タリ。

静岡経営者協会ニテ社会福祉法人静岡福祉事業協会理事会ヲ開ク。深澤、小塩、廣瀬、各理事及三橋幹事来訪セラル。理事會ハ極メテ順調ニ進ミ、三時頃散會ス

北村勝蔵氏宅ヲ弔問ス。忘婦人一人ノミアリシノミ。携フル所ノ線香ヲ捧ク。

協会ヨリ B.S.尾崎由郎氏へ電話ス。B.S.今夏ノ行動ヲ明ニセシカ為ナリ。

帰途ハ静岡駅ヨリ大船マテ尾崎行輝氏ト同車ス。

予ノ帰宅スルト同時ニ柴田達夫氏ノ来訪ヲ迎フ。母堂ノ告別式ハ止メタル由ヲ話サル。又、墓碑建立ヲ急ク由ニテ碑銘ノ揮毫ヲ求メラル。

之ヲ快諾ス。

二十八日(月) 晴 暑 服薬 洗眼 注射

登院。本會議ニ出席ス。

一時ヨリ内閣委員会ヲ開キ、請願及陳情ヲ審査結了ス。
建設委員会ニ出席シ、国道第一号線中浜松市内ノ幅員拡張ニ関スル請願ニ付、紹介議員トシテ説明ヲ為ス。之ニ対シテ田中一氏ハ反対ノ主張ヲ為ス。予ノ説明ハ委員ノ深キ了承ヲ得タルモノノ如ク察セラル。曩ニ幅員縮小ノ請願ヲ採択シタルハ委員会ノ誤ナリ。

二十九日(火) 晴 暑 服薬 洗眼 注射

衆議院ニテハ通商産業省設置法案、同関係法令整理案、農林省設置法等改正案、大蔵省設置法改正案、同改正ニ伴ヒ法令セイレ案、保安庁法案、海上公安局法案、運輸省設置法改正案、国家行政キカン組織法改正及行政キカン職員定員法改正案ニ付、両院協議会ヲ求メ来ル。参議院ニテハ前半五案及後半五案ニ付、委員ヲ選定ス。前半委員ハ緑風会及野党側トシ、後半委員ハ緑風会及与党側トス。

両院協議委員、参議院側ハ集会ノ上、正副議長ノ選定ヲ為シ、協議会ニ於テ發言スル内容ト説明者ヲ楠見氏及郡氏トナスニ決定ス。而シテ議長ハ予力選任セラレ、副議長ニハ《前半》松原一彦氏、《後半》中川幸平氏選任セラル。

六時五十分協議会開会。通産省設置法外四件ニ付協議ス。当番議長ハ抽籤ニ依リテ倉石忠雄氏ト決シ、質疑応答ヲ重ネテ少時休憩シ、再会^{マヤ}ノ上、各案ハ参議院議決ノ通リトストノ成案

ヲ全会一致可決シ、又行政機構改革ニ関スル申合ヲ全会一致可決ス。

次ニ保安庁設置法案外四件ノ協議会ヲ開キ、倉石議長、議長トナリ質疑応答ヲ省略シ、全会一致ヲ以テ各案ハ何レモ参議院議決案ノ通リトスルノ成案ヲ可決シテ散会シタリ。時二八時ナリ。

野田行政管理庁長官ヨリ治作方ニ招カレ晚餐ヲ饗セラル。両院協議会ノ為手間取り、八時半頃出席ス。内閣委員会関係ノ職員諸氏ハ、予等ノ出席スルマテ待居タリ。十分ニ頂戴、飲ヲ尽シテ帰ル。

所得税額ノ届出ヲ為シ、税金一六、〇二〇円ヲ納入ス。

三十日(水) 晴 暑 服薬 注射 洗眼

公二君ハ男児ヲ挙ケ体量九百五十匁ナリシ由。二十八日出生ナリ。慶祝ノ至リナリ。

衆議院ハ、本日自由党ニ於テ幹事長選任問題ヲ繞リテ紛糾ヲ極メ、收拾スヘカラサルニ至レルト、野党側ノ政府不信任案上程ニ関シテ混乱ヲ極メシトニヨリ、殆ント議事ノ成果ヲ得ル能ハス。竟ニ会期延長一日ヲ決スルノ已ムナキニ至レリ。参議院モ亦之ニ呼応シテ議事引延シニ出テ、本会議ニ於テ若干ノ議決ヲ見タルノミ。而シテ会期延長ノ件ニ付討論ニ入り、十二時ニ至リテ自然散会シタリ。

十二時過、砂防協会有志会ニ出席ス。徳川会長、次田氏出席。

熊本県支部長モ出席ス。

登院ノ途次、佐藤議長邸ニ立寄り、「酔心」一本ヲ呈ス。コレハ松本勝太郎氏所贈ナリ。

緑風会総会及会務委員会ハ随時開会セラル。常任委員ノ改選及ヒ役員ノ改選ヲ行フ。前者ニ付テハ議院運営委員会理事會作成案ニ基キ委員志望者ヲ募リ、且各派ヘノ委員割当ヲ行ヒシモ、国会法ノ改正ヲ要スルヲ以テ容易ニ実現ヲ見ス。依テ其場合ヲ考慮シ、第二トシテ現状ノマヽトスルトキノ委員長更迭ヲ行フニ決シタリ。

予ハ依テ内閣委員長ヲ辞シ、竹下豊次君ヲ推薦シテ之カ実現ヲ要望シタリ。

会務委員ノ改選ハ無名投票ヲ以テ銓衡、委員七名ヲ挙ケシニ、予モ亦其一名トナレリ。即チ之ニ決定シ、総会ニ報告シテ承認ヲ得タリ。

次ニ予ハ総会議長ニ推薦セラレ、之ヲ承諾ス。又、政務調査會長ニハ館哲二氏当選シ、総会副議長、政務調査会副会長、宣傳部長、會計担任、庶務担任等、夫々決定セラル。

選挙管理委員緑風会推薦者ハ長世吉氏ナルヲ以テ、改選ヲ如何ニスヘキヤニ付協議セラル。予ハ長氏ヲ推シタルニ、多数ハ松村眞一郎氏ヲ推スコトトナリ、決定ヲ見タリ。補欠委員ニ付テハ、嘗テ緑風会員タリシ者ヨリ推スノ原則ヲ定メ、夫々

交渉スルニ決定シタリ。

富士本宮浅間神社要求ニ係ル御神体山還付ノ件ニ付、早朝電話ヲ以テ審議会委員井手成三氏ニ斡旋ヲ乞ヒ、又西村政務次官ニ面会シテ適當ナル時期マテ決定延期ヲ求メ、高瀬氏ト相談シテ文化財保護事務局長森田孝氏ノ来院ヲ乞ヒ、高瀬氏ト共ニ面会シテ希望ヲ述ヘ、其結果佐藤宮司ノ決意ヲ問フコトトシ高瀬氏来八月一日帰郷、面会スルコトトス。

六時常任委員長懇談会ニ出席シテ、内閣委員会ニ關係アル事項ハ両院協議会ノ成案ノミトナリシ旨ヲ述フ。

三十一日(木) 晴 頗暑 服薬 洗眼 注射

朝、佐藤助九郎氏ヨリ伊国ラルデルロ地熱利用発電施設ノ写真九枚ヲ贈ラル。佐藤氏ヲ伊東市長太田氏ニ紹介シ、又紹介名刺ヲ佐藤氏ニ呈ス。

本会議ハ屢々休憩ヲ為シ、夜十二時ニ至リ会議中止トナリ散会ス。

其間、予ハ請願及陳情ノ報告ヲ為シ、又両院協議会ノ成案十件ヲ二回登壇報告ス。何レモ可決セラル。

公務員法改正案ハ、人事院ヲ廃止シ国家人事委員会ヲ内閣ニ置クノ規定ヲ含ミ、重要ナル議案ナルニ拘ラス、人事委員会ハ之ヲ審議セス、議案送付後六十日ヲ経ルモ何等ノ結論ヲ得サルヲ以テ、衆議院ハ両院協議会開会ノ要求ヲ通知シ来レリ。

参議院側協議委員ハ野党側四名ヲ含ミ、是等野党ハ一旦協議会ニ出席セシモ、其後ハ出席セス。依テ衆議院側ハ出席スルヤウ適當ナル措置ヲ求メ、且理由ナクシテ欠席シ、協議会ノ開会ヲ不能ナラシメタル議員ノ責任ヲ問フコトヲ議長ニ要求シタリ。議長ハ独断ニテ是等四名ヲ懲罰ニ附シタリ。

地方行政委員会ニテハ、ストライキ禁止法案ノ審議中、野党側ノ不法下劣ナル引延シニ遇ヒ時間切レトナリテ法案ノ審査ヲ打切レリ。

右ノ次第ニテ本會議委員会共ニ野卑低劣ヲ極メ fair play ノ態度ヲ欠キ、参議院ノ信用ヲ失墜シタリ。真ニ憂フヘク悲シムヘキコトナリ。

高瀬氏ノ紹介ニテ J.B. Tribetto 氏來訪ス（中谷芳邦氏同伴）。岡村、森、竹下、三氏ニ紹介ス。

八月一日（金）晴 大暑 服薬 洗眼 入浴

十時登院。図書館ニテ対馬ニ関スル調査ヲ為ス。五時半終了。

《五万分一地図ヲ求ム》

〔後筆〕図書館読書室ニ安藝校一博士及大野数雄氏來訪ス。資源調査会ヨリ対馬調査団ニ加ハルト云フ。

正午、公務委員会アリ出席ス。万国議員會議へ出席スヘキ代表者一名ヲ緑風会ニテ選定ノ件《希望者ヲ募リ公務委員会ニテ決定》、次期国会召集マテノ間ノ処務ニ関スル相談、緑風会

附議員ノ関西見学旅行費補助ノ件ナリ。

二時、首相邸ニ於テ吉田總理ヨリ招カレ出席ス。首相謝辞。三木参議院副議長挨拶、岩本副議長挨拶、林元議長挨拶アリ。

中山博氏逝去。嗣一蔵氏へ弔電ヲ呈ス。錦水女主人逝去ニ付弔問、焼香ス。

六時、木村法務大臣ヨリ初波奈方ニ招カレ、晚餐ヲ饗セラレ。出席議員ハ徳川、西郷、岡部、館、新谷、小林政夫諸氏及予ナリ。九時過マテ気焰ヲ挙ク。

新谷氏ノ好意ニ依リ自動車ニ同乗、帰宅ス。

昨日、マス子ハ犬ノ仔ヲ貰フ。Shepherd 族ナリ。

二日（土）晴 大暑 服薬一回 入浴

六時起床。柴田令夫人ノ墓誌ヲ揮毫ス。マス子ヲシテ達夫氏方ニ持参セシム。

竹下豊次氏ニ電話ヲ以テ委員長用自動車ノ使用ヲ勸ム。又、松

崎運転士ニモ竹下氏ハ委員長ニ非サルモ委員長トシテ車ヲ運行スヘキコトヲ命ス。

東京発九時四十五分ニテ帰村ス。車中、平野繁太郎氏ニ出遇フ。軍人会館使用ニ関シ湯河、中山、〔空白〕三氏ト会見ノ内容ヲ告ケラル。

昨日、七月分歳費未払額及八月分歳費ヲ受ク（《秘書給料共》）。

三日(日) 掛川朝濃霧 冷 日中ノ暑ヲ懷ハシム

報徳社ニ出頭。常会ニ臨ム。中山常務ニ対シ川崎館ノ建物ヲ相

良町某婦人ノ経営セントスル託見所ニ貸与ノ件取纏メノコ

ト、及培本塾ノ復活ニ関シ積極的ニ援助スルコト(然ラサレハ該地方有志ハ小田原塾長ノ死去ヲ待ツノ觀アリ)ヲ促進スルヤウ依頼ス。

柴山重一中将来社セラレ、予ノ揮毫ヲ求メラル。小文字ヲ認ム。十二時四十六分發ニテ東上、六時十一分品川著。渋谷ヲ経テ帰宅ス。

ソレヨリ旅行ノ仕度ヲ為シ、十時東京發ノ急行列車ニ乗ル。赤木博士先着、世話セラル。葉子ハ平岩婦人ト共ニ東京駅マテ荷物ヲ運ヒ来ル。

四日(月) 晴 午後山陰地方曇ニシテ冷 淀江 不老園泊

昨夜ハ特別二等車ニ乗リタル為、睡眠困難ナリ。京都ヨリ伊達

源一郎氏同車ス。又、大阪ヨリハ田部長右衛門氏同車ス(予ノ識ル田部氏ノ令嗣ナリ)。又、鳥取ヨリ松原一彦氏同車ス。

四時五十分米子駅下車。砂防協会支部長深田武雄氏外有志出迎ヘラレ、車ヲ駆ツテ淀江町不老園方ニ投ス。

夕、不老園ニテ深田支部長主催ノ晚餐会アリ。建設省木村技官ヲ加ヘ、赤木氏ト共ニ出席ス。主人側ハ副支部長山家一太郎

氏、砂防課長杉橋涉氏、砂防係長武信順三氏、三和建設社長谷口順一氏等ナリ。谷口氏ヨリ開襟シャツ一、下シャツ上下及パンツヲ贈ラル。厚意忘ルヘカラス。

五日(火) 曇又ハ雨(雷ヲ伴フ) 冷 玉造 鶴の湯方泊

八時、旅館不老園ヲ出テ砂防視察ヲ為ス。木村技官同行、杉橋砂防課長案内ス。

大山ヨリ發スル荒廢河川、阿弥佗川ノ中流護岸築造箇所、其支流ノ堰堤及坊領川ヲ見テ大山ニ登リ、西北山腹ノ大崩壊ヲ見ル。雨霧深ク鎖シ、展望ヲ得ス。砂防事務所タル倉吉治山事業所出張所ヲ訪ヒ、其事業計画ニ付説明ヲ聴取ス。

ソレヨリ大神山神社ニ参詣ス。帰途ハ佐佗川支川精進川砂防成功地ヲ車中ヨリ見ル。此箇所ハ開拓適地下ナリ、相当広面積ナルニ拘ラス、開拓者ハ其上流及坊領川上流ノ荒蕪地ニ在リ。徒ラニ勤苦ヲ累タルノミニシテ効果少キヲ憐レム。当局ノ着眼浅キヲ遺憾トス。

一時、皆生温泉東光園ニ著、昼食ス。此時衆議院立候補ノ為建設次官ヲ辞任セル中田(政美)「空白」氏、鳥取ヨリ来ル。

三時、菊水旅館ニ開会セル砂防協会支部總會ニ出席ス。中田前次官ハ一同ニ推サレテ支部顧問ニ就任シ、熱誠以テ謝辞ヲ述フ。予ハ理事長トシテ挨拶シ、砂防事業ノ不振ナル実情ヲ告ケ、有力ナル代議士ノ選出ヲ期待スト演説ス。赤木氏モ次テ

演説ス。

四時、東光園ニ還ル。島根県ヨリ泉谷技師等出迎フ。出發ニ當リ菊水館ニ立寄り、懇親会ニ臨ミ歡ヲ偕ニスル能ハサルヲ謝シ、盃ヲ挙ケテ県支部ノ万歳ヲ三唱ス。昨日来深田支部長ニ負フ所大ナリ。

五時過、皆生出發。泉谷技師ノ案内ニテ、七時、玉造鶴の湯方ニ投ス。

島根県支部長中田龍一氏主催ニテ歓迎会ヲ催サル。

六日(水)曇 冷 夜雨 鶴の湯泊

八時三十分發車。伊藤広島建設局長ノ案内ニテ、直轄工事タル日登堰堤及三成堰堤(≡ヨテイ箇所)工事著手)ヲ見、更ニ加食堰堤及三成県發電堰堤予定地ヲ見ル。三成町曾田旅館ニテ中食、此際同町長ヨリ仁多郡斐伊川水系ノ砂防ニ関スル陳情ヲ聴ク。

往路ノマ、ヲ引返シテ松江市ニ入り、二時半湖畔亭ナル県砂防支部總會ニ出席ス。予ト赤木氏ハ夫々挨拶及意見ヲ述フ。

夕、支部長中田龍一氏主催ノ晚餐会、鶴の湯方ニ開カレ、赤

木、木村技官ノ外、伊達參議院議員及草光義質氏モ出席ス。

副支部長竹内懋氏、土木部長有馬博雄氏モアリ。泉谷課長、最幹旋ス。

草光氏ハ十数年前ヨリノ知己ナリ。伊達議員ノ誘引ニ応シテ欣

然来会セラレタリ。

七日(木)雨 冷、午後ヨリ晴 暑氣ヲ覺ユ 博多長浜莊方泊

八時二十分玉造ヲ出テ、山陰線玉造駅八時四十分發ニ乗ル。駅ニハ元會計審査官野々村浩氏来リテ見送ラル。氏ハ此附近ニ居住シ、松江市保険部長トシテ勤務スト云フ。奇遇ヲ喜フ。

泉谷氏ハ係員一名ヲ同乗セシメ、予等ノ為世話セシメラル。厚意謝スルニ辞ナシ。強ヒテ益田駅ヨリ帰還ヲ乞フ。

益田駅ニテ矢富義児氏出迎フ。鮎すしヲ贈ラル。

萩ヲ經テ七時五分下関着。同十分發ノ急行列車ニ乗ル。福岡県

土木部長飯田技師及砂防課長補佐堀氏、下関マテ出迎ヘラレ、博多ニテハ旅館長浜莊方へ案内セラル。

長浜莊ニテハ副知事副知事土屋香鹿氏、砂防協会支部長三嶋

藤太氏、県議≡土木建築常任委員長≡山路虎夫氏、同牛尾淳太郎氏、長崎県副知事佐藤勝也氏、同企画室次長倉成正氏、

同主査高田信一氏等出迎ヘラレ、旅行ノ便ヲ計ラル。又倉成氏ヨリハ、明日海上保安庁ノ好意ニ依リ、警備船いすゞニ乗

船スルコトトナレル旨ヲ告ケラル。

九大名誉教授小田二三男博士ハ佐藤助九郎氏ヨリ連絡アリ。予ノ電報ニ依リ、特ニ長浜莊ニ来訪、予ノ来ルヲ待居ラル。依

テ面会シテ来訪ノ厚意ヲ謝シ、地熱發電ニ関シテ下旬上京ノ節、説明ヲ為ス旨ヲ約セラル。博士ハ宗像郡福岡町ニ住ス。

依テ駅マテ自動車ヲ供ス。

八日(金)晴 涼 東北風強ク浪高シ 同乗者悉ク船暈 巖原、佐伯旅館泊

九時半旅館発。波止場ニ至ル。石黒氏ハ昨夜小倉ニ泊リ定刻来著ス。

いすゞニ乗船、十時出帆ス(二六四屯)。湾口ヲ出ツルヤ風強ク、波甲板ニ躍リ一同船暈ス。予ハ嘔吐数回ナリシモ気分悪シカラス。

窃ニ赤木氏ノ苦惱ヲ想フ。福岡海上保安部長兼博多港長池田詣人氏アリ、警備船ノ配備及警戒ノ状況、密貿易、不法入国取締等ニ付テ説明ヲ聴ク。四時、巖原港ニ著。直ニ上陸。自動車ニテ佐伯旅館ニ入ル。

視察者氏名 (十二人)

参議院議員 石黒忠篤 河井弥八 赤木正雄 藤野繁雄

藤永元作 農博 水産庁調査研究部長

大野數雄 資源調査会事務局長兼国土調査室長

藤井米三 国民経済研究協会理事

猶原恭爾 理博 資源科学研究所研究員

長谷川浩 技官 農林省九州農業試験場作物第二部長

大久保恭 林野庁技官

早川孝太郎 石黒議員秘書

藤野保 東京文理大 文学士 郷土史研究者 《藤野議員令息

秘書》

長崎県庁特派随行者氏名 (十三人)

倉成正 企画室次長 高田信一 同主査

山口清一郎 企画室技師 福永瑛 同技師

米田正 同主事 定松辰見 同主事

高津戸益美 林務課長

吉村敬輔 耕地課長

梅井清 農政課技師

松尾英俊 農業試験場技師

白石嘉藏 水産課技師

立石新吉 理博 水産試験場長

石川芳 河港課技師

対馬支庁関係随行者氏名 (十一人)

山田才太 対馬支庁長 田平一郎 支庁経済課長

古川秀夫 農地開拓課長 松本良香 水産課長

村里静男 土木課長 田口元重 総務課主事

森秀夫 経済課技師 吉田七郎 土木課技師

乙成健一 総務課雇

緒方守 対馬保健所長 飯盛文夫 対馬宮林所長

視察日程〔別表1〕

八									月	(別表1) 視察日程
十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	日	
金	木	水	火	月	日	土	金	木	曜	
平戸 佐世保	武生水八、〇〇 平戸一四、〇〇	巖原 九、〇〇	佐須奈一〇、〇〇	三根 九、〇〇 比田勝二変更	巖原 八、〇〇		巖原 九、〇〇	博多港一〇、〇〇	玉造 八、三〇 下関一九、一〇	出発
長崎	平戸一〇、〇〇 佐世保一六、〇〇	勝本二一、〇〇	巖原一七、〇〇	佐須奈一七、〇〇	三根村佐賀 一六、〇〇		巖原一六、〇〇	巖原一六、〇〇	下関一九、〇五 博多二一、〇〇	到着
県庁出頭	平戸(視察者打合せ(有志と会見)(視察)観光(夕張岳)川谷ダム)	勝本(漁港、畑)鯨伏(牛)那賀(試験場、田、畑)田河石田(土地改良)	西海岸 漁港 海王丸	佐賀(畑、ダム)一重(港)網代(畑)	高浜港 仁位 奴加岳(畑、椎茸、松喰虫)	浅藻(港、ブリ)	支庁打合せ。小茂田(水田、鉦山、港)日掛(発電、ダム)瀬、豆酸(水田、畑、漁港)	海王丸、いすゞに変更		行事
	泊 石黒 平戸田口楼	武生水 平田旅館	巖原	町) 佐須奈比田勝(豊崎)	造方 三根村佐賀小沢幹		巖原	巖原佐伯旅館	博多長浜荘	泊地

[視察日程の表は日記本文中にあるが、印刷レイアウト上、別表として印刷した。]

議員加藤武徳氏、佐伯旅館ニ來訪。氏ハ人事委員トシテ、委員長カニエ邦彦氏ト共ニ本日本來航セシ由ヲ告ケラル。而シテ航海中波浪高クシテ船暈ニ悩ミ、委員長ハ病後ノ故ヲ以テ特ニ其健康憂慮セラルト報告セラル。依テ赤木氏ト共ニいろは旅館ニカニエ委員長ヲ見舞ヒ、大ニ自愛センコトヲ勸告ス。帰途、パンビタン錠劑ヲ買フ。

我等一行ハ十二名ノ多数ナリ。随行者県庁側十三名、案内者支庁側Listニテモ十一名ナリ。嚴重ニ饗宴ヲ謝絶シテ冗費ヲ去リ、昼夜兼行、視察調査ノ為專念センコトヲ期シ、石黒、赤木両氏ニ謀リ之カ実現ニ邁進ス。

東京出發ノ時、旅費トシテ七千円ヲ石黒氏ヨリ渡サル。素ヨリ受領スヘキニ非スト考ヘタルモ、他トノ均衡モアリ、之ヲ受ク。而シテ今後ハ如何ナル名義タルニ拘ラス、旅費、謝礼等ハ之ヲ受ケサルコトヲ約束シタリ。至誠報國ノ微衷ヨリ出ツ。

九日(土) 晴 暑

調査団一行無事、ソレリリ独自ノ見解ヲ以テ、対馬島ノ実情ヲ審ニセンコトヲ期ス。

八時、一同佐伯旅館ヲ出テ、自動車ニテ対馬支庁ニ到リ、県庁特派及支庁関係ノ随行者各員ト各町村側代表、県議員等ト会合ス。其数五、六十名ナリ。

先ツ石黒代表ヨリ來島調査ノ目的ヲ述ヘ、一行各員ヲ紹介シ、官民ノ熾烈ナル協力ヲ深謝シ、併セテ無用ノ費ヲ省キ、調査ノ徹底ニカメシメランコトヲ要望ス。次ニ県庁特派代表企画室次長倉成正氏ヨリ挨拶ヲ述ヘラレ、且随員一行ヲ紹介シ、更ニ県勢ノ概要及対馬島ノ總括的説明ヲナス。了テ各団員ニ専門ニ応シテ夫々案内者ヲ附属セシメラル〔予ノ案内者ハ古川農地開拓課長ナリ〕。

ソレヨリ山田支庁長以下案内員ノ紹介アリ。各係官ヨリ農業、農地、水産、森林、交通、土木等ニ付テ説明ヲ為ス。十時自動車及トラックニテ出發。経ル所左ノ如シ。

対州鉦山(鉛、亜鉛)。東邦亜鉛株式会社対州鉦業所副所長阿部猛男氏説明及案内セラル。島内唯一ノ鉦山ニシテ他県人ノ經營ニ係リ盛ニ稼行セラル。鉦石ハ粗煉ノ上、巖原ニtruck輸送ヲ為シ、遠ク室港ニ送り日光精煉所マテ送ラルト云フ。トラックニ往復。特殊運搬船四隻〔歸路所要物資搬來〕運賃嵩大。小茂田港ノ修築ヲ望ムモノ切ナリ。

佐須村役場、中食ヲナス〔弁当ヲ食フ〕。麦酒バナナ等ヲ饗セラルルモ之ハ辞退ス。

道路港湾等ニ付、村長井田秀夫氏、議長一宮源太郎氏みやヨリ陳情ヲ受ク。

〔以下、『日記追加』より、一部重複〕

八月五日(火)晴 重友、マス子、三喜男、昇三郎、矢富義
児氏へ発信

八時、不忘園出發視察ヶ所

阿弥陀川上流堤防

大山大崩壊

大山神社参拝

米子皆生温泉東光園中食

〔以下、五行空白〕

〔一頁空白〕

視察者

石黒忠篤 河井弥八 赤木正雄 藤野繁雄 藤永元

作(農博)《水産庁 調査研究部長》 大野数雄《資源調査

会事△局長 国土調査室長》 藤井米三 国民経済研究協会

理事 猶原恭二(理博) 資源科学研究所研究員 長谷川

浩《農林技官 九州農試作物第二部長》 早川孝太郎 石黒

氏秘書 大久保恭 林野庁技官 藤野保 藤野議員秘書

県庁随行者

企画室次長 倉成正 同主査 高田信一 同技師 山口

清一郎 同技師 福永瑛 同主事 米田正 同主事
定松辰見

林務課長 高津戸益美 耕地課長 吉村敬輔 農政課技

師 梅井清 農業試験技師 松尾英俊 水産課技師 白

石嘉蔵 水産試験場長 立石新吉 河港課技師 石川芳

対馬支庁関係随行者

支庁長 山田才太 経済課長 田平一郎 農地開拓課長

古川秀夫 水産課長 松本良香 土木課長 村里静雄

総務課主事 田口元重 経済課技師 森秀夫 土木

課技師 吉田七郎 総務課雇 乙成健一

対馬保健所長 緒方守 対馬営林所長^(署) 飯盛文夫

^(欄外記載)
二七、八、九、

対馬支庁ニ於ケル一般事情聴取会

山林五万町 耕地《水田六七〇 畑一八〇〇》 農四五〇〇

一戸六反

経営面積然リ。故ニ進歩セス。故ニ又、農業ハ漁業ヲ副業ト

ス。山林副業ハ百分ノ二

之ハ男子ノHard Labourナリ。ソノ経営ハ婦人ナリ。之カ為

ニ生活安定ス。内地ノ比ニ非ス。

而シテ動力ヲ使用スル者、多キ村アリ。之ハ内地ニ比シテ寧ロ勝レリ。佐須村ノ例《漁業収入ヲ動力ニ転換セリ》
反之、仁田村麦ばしかヲ行フ。《麦穂ヲ六七寸ニ刈取り立幹ニ掛ケテ乾ス法（梅雨中）》
之ヲ小屋ニ積ミ夜間ニ穂先ヲ焼キ調整ヲ行フ（貯蔵ニ宜シ）。
今ハ根本ヨリ刈取り、穂ヲ拔取り、腰ニ付ケタ籠（スカル）ニ入レ、更ニ穂先ヲ焼ク。

品種 一四五〇町《裸六、大四、小一》 □古

立茎ハアホウカマ鎌 ニテナギ、家畜飼料又ハ敷藁トス。

大麦一石八斗 裸一石六斗 小麦一石五斗 最多六石 播種料一斗二三升

米十石五斗平均 一尺五寸ニ厩肥ヲ与へ之ニバラマキ、肥料ト共ニヤキ、鋤立テル。之ニヨリ全面ニ発芽ス。

峰村青海部落ニテ行フ。

昔ハ木庭作ヲ為シ麦ヲ作ル。麦ハ朝鮮へ輸出シ白米ヲ購入ス。土地割替制度カ行ハレ、一年乃至三年ニ一回実行セララル。

生産力伸長セス、営農上不利ナリ。

部落ノ団結力強ク法律ヨリモ強シ。農地制度改革ニ依リ小作農ハ解放セラレタリ。之カ為、地主ノ勢力失墜シ、却テ部落ノ団結力衰微シ、災害時ノ農家ノ負担力衰亡シタリ。

肥料、海藻、半乾トシテ施用ス。堆肥（豊崎村）

何故ニ山地ノ草木ヲ利用セスシテ海藻ヲ用フルヤ。

麦、過磷酸五貫 硫安七貫

水稻 五貫 五貫

対馬への海路交通ハ国鉄経営船の航行を要す。

甘藷のせんとりヲ作り、団子トシテ食フ。主トシテ上県郡五村甘藷及麦の食糧増産（自給達成）を強調す。

（欄外記載）
八月九日

支庁にて一同打合会

倉成企画室次長 挨拶及紹介

石黒氏 謝辞、及来島ノ主旨、及一同ノ協力要望

藤永博士 日本海ヲ一環トシテ水産業ヲ確立スル為、行政

ヲ確立セヨ、トノ主張。

大野数雄氏 《資源調査会、国土計画》区内島経済推進為意

見者

藤井米三氏 地方財政権威者

猶原恭爾博士 野草ニ依ル家畜粗飼料ノ研究者

長谷川浩コウ 九州農試作物第二部長（甘藷）（九大森永博士

ハ出席出来ス）

早川孝太郎氏 高等農事講習所講師《農民土族ノ研究者、農民

生活ノ強化ノ為

藤野保氏 文理大卒業、長崎県内藩政研究者、対馬ノ研究

大久保技官 元対馬営林署長

長崎県概要 倉成企画室次長説明

長崎県

海岸線四、二〇〇km 対馬島947km 杵岐島147km

面積 四、〇七六km²方里

氣候 海洋性、各 平均一〇 二十五ケ 一八〇〇m

人口 ≒二七年末 ≒一、六八八、七〇〇 日本1/50ニ当ル。

石炭資源、面肥炭田ト云フ。火力発電 地熱発電研討四ヶ所

産業、船 ≒三菱会社、川南、佐世 船工業 ≒イモ イワシ

石炭

耕地59%畑 二毛作41% 田五八% 畑七六%

米五九、二、三七七、イモ六〇、一、一 本年八一九〇、一、

一貫 米消費量ノ三〇%

対馬九〇、〇〇〇、〇〇〇ノ利用 ≒□□□□≒アルコール

蓄収量全国並ミ

イワシ 一億数千万貫ノ中、六〇%カイワシナリ。

鮮魚 2/3 加工 1/3、戦前ハ肥料トシテ用キラル。

冷蔵、冷凍、未発達ノ為、価格ノ昂低著シ。

石炭三、六四〇、一屯、面肥七千カロリー以上ノモノアリ。

対馬概況

支庁長 山田才太氏説明

面積七〇、八八〇km² 人口六〇、三七六八 韓人二五三四

中国六人

一K² 八六八人

農林水 人口七五%カ従

漁業最適

二、六八二町 農耕地 氣候 夏涼 冬寒 -5g 二至ル

町村財政 一八四、八九八、〇二円 内 五二、九六万 平

衡交付金 29%

主要食糧 消費 四〇、五三〇石 島産 ≒七八〇石 2% 五

八、五五〇 輸入 ≒

備蓄米必要ナルモ現在八十日分ニ止マル。

工業 佐須村

電力 一二、二〇五戸ニ対、六、一五一戸 九州電力 四六〇

自家発電

中央五ヶ村無点灯

≒七〇八八〇丁 ≒耕地六区水田 二〇四五 畑 其他

山林

農戸 二、七九三 副 一、五四三

五反六畝 ≒一戸当 ≒耕地

林業。林地 三〇、五九九町 90%

四六〇〇ニ割当一二町

水産。アジ、サバ、イカ、一本釣、人口⁵/ナルモ水揚 二五億
一八六四万円

交通、海上、東沿岸 西沿岸 三日二一回 博多厳原間八時間
北端へハ島内一泊又ハ二泊

自動車通路、縦貫道路計画一二三km 未改修アリ。五年後ニ
非サレハ成ラス。

漁港、西岸ニハナシ。計画中。東岸ノミ。豆酛^カ 賀茂池

鴨居灘 佐賀四特^カ

一重 著工

治安関係

海上保安部

昨年八月末ヨリ一ヶ年 検キヨ 一、七一〇名 一、二四一件

内密貿、三三件一〇〇人ナリシモ、拒否権ヲ行フ。実ハ二〇
三件三二七名

密航 一二六件 三七六名

密貿 泉、豊、盛ナリ。鮮人カ主^カ四〇人^カ。邦人ハブローカ
一ノミ。

故ニケイビヲ強クセシ為、中部東岸ニ移レリ。大阪生野区イガ
イ野ト関係厚シ。

次ハ博多カ中心。全部個人名義ニテ各箇各人別名ナリ。

航路ハ先ツ東方ニ取り、又壱岐ニ向フ。荷札下関壱岐ト書ス。
裁判ニ依リ無罪トナリシ時ハ、之ヲ例トシテ倣フ。品物、衣類、

文房具、薬品、麻薬、金塊ヲ輸出ス。百倍ノ利ヲ挙ク^カ昨今
ハ密入品ナシ。朝鮮ニハ物資欠乏甚シ。数犯者アリ。止メ難シ。
最近ケイビ厳重トナリシ為、博多直航ニ変シタリ。伊万里、之
二次ク。

船ハ七屯程度多シ。速力速ク、保安部ノ船ニテハ及ハサルモノ
アリ。

密航、昨年十二月ヲ境トシ、九〇%ハ捕ヘラルル故、内地へ直
行ス。

此中20%ハ捕ヘラレス。遭難密航者又ハ一二二人ノ漁師ニ化ケ
タ者、海上四十哩ノ所ニテ捕ヘタルニ四六名アリ。公海上ナリ
シ故、起訴出来ス。強制送還セシノミ。常ニ繰回^カス。

日本ハ優遇ス。逮捕サレテモ良シ。婦人ハ釈放サレル見込。

原因ハ生活問題、教育問題、徴兵忌避ニ在リ。

東エイ、釜山(二七哩)方面ヨリ来ル。

思想的悪シキ者多シ。取調時間ハ四十八時間ナルヲ以テ思想
問題ニ及ハス。

例、十一名乗組、千円ヲ携帯ス。船中ノ小室ニ米貨三万\$ヲ
有セシ者アリ。

取扱者ハ北鮮系ニシテ思想干係者ナリ。手数料ハ密貿^カ五百
万円 千万円^カノ10%。

故ニ特審局出張所カ必要。米軍へCICヲ強化シテ昨年ノ三倍
トセリ。

然レトモ無力ナリ。

米穀ノ密輸ハ最近ナシ。

密漁、周辺六湮ハ底曳ノ禁止区域ナリ。然ルニ沿岸三湮ハ公海ナルヲ以テ其間ニ朝鮮ヨリ底曳及鱸漁ヲナス。船ハ二〇屯(ソコヒキ)、一八屯(フカ船)ナリ。検拳シタルニ、五湮ノ地点ト主張シ、裁判所ニテモ同一主張ヲナシ(又犯意ナシ)刑ヲ免レタリ。依テ入国管理庁ニ移シ二十日間抑留シテ当分対策トセリ。鱸ヲ換価処分セシ故又鱸船船長ハ密ニ入国ヲ企テ居タリ。又、近海二十湮ニテ韓船カ日本漁船ヲ臨検シタリ。韓国軍艦ヲ救助セン為、先方ハ厚意ヲ有ス。

巖原ニハ専用車四アリ。内訳、二ハ官庁(海上保安庁支庁)ニ

ハ小型、民有ナリ。

外ニトラツク 三輪車若干アリト云フ。

日掛ニ於ケル発電ダムハ見ズ。水量甚少シ。山高シ、四百以上。

水源ノ山月輪山460mニ植林励行ノ要アリ。

通信施設切要、特ニ無電ニ依ル通信ノ要ヲ認ム。

一朝有事ノ際何ヲ以テ内地ト連絡スルヤ。

西岡知事ハ道路開設ヲ政綱トシテ掲ケタリ。故ニ島民ノ福岡併

合熱ハ冷却シツ、アリト云フ。

対州鉦山視察 副所長 阿部猛男氏説明及案内ス。

月産七、〇〇〇屯。製品鉛、亜鉛二二〇〇屯ナリ。一日二回

一七kmノ巖原へ truck 輸送シ、輸送船四隻(内(四〇〇屯一

隻、更ニ小型三隻)ニテ、鉛ハ広島県契島製錬所へ、亜鉛

ハ飾磨港上陸安中精錬所へ送ルト云フ。此船及 truck ハ石

炭ヲ積帰リ発電其他ニ用フト云フ。鉦石処理状況ヲ一見ス。

又別ニ発電所八〇〇kwアリ。火力 Turbine 二基ヲ運転ス。

本鉦山ハ頗有利ナルカ如ク、総テ本島人以外ノ経営ニ係レ

リ。只、村議会議長一宮源太郎氏ハ此会社ノ取締役ナリ。

佐須村役場ニテ中食ヲ饗セラル。麦酒ヲ薦メラレシモ辞退ス。

村長ハ塩入田ノ整理、林道開設、等ニ付陳情セラル。

又海王丸ニ乗船ノ際、見送有志ヨリ各種協同組合ノ不統一

ト、港湾工事ト漁港工事トノ管轄異ルノ不便ヲ愬ヘラル。海

岸小茂田部落ニハ元寇來襲ノ遺蹟アリ。

海王丸乗船ノ時、小茂田港ヲ一見ス。外灣ニシテ港ニ非ス。其

一角ニ小茂田神社アリ。元寇ノ難ニ殉シタル勇將ヲ祀ル。

久根浜ニ上陸。土地改良状況ヲ視察ス。四十町歩ノ水田ニ利用

セラレ、之ニテ米二七一石、麦(米換算)三三一石、増収ノ

見込ニシテ、工費反二六、三〇〇円ニシテ、一石七千円ニ当

ルト云フ。

土地ノ旧家齊藤榮氏ヨリ宗家ノ祖先ノコト其他ノ史談ヲ聴

ク。

豆酸港ニ上陸

築港工事ヲ見ル。第一期工事完成ニ近ク、二〇〇mノ突堤ヲ

見ル。

工費一二〇、一、一円、第二期ハ未着手。一〇、〇〇〇、〇〇〇円ヲ要スト云フ。

村長ヨリ中谷旅館ニ招カレ小食ヲ饗セラル。例ノ如ク麦酒アリ。飲ムコトヲ辞退ス。

豆酛港ヨリ自動車ニテ浅藻湾ヲ見ル。良港ニシテ豆酛ニ勝ルコト大ナリ。周囲ノ山ハ国有林ニシテ鬱蒼タル美林ナリ。対馬

ニ来リテ初メテ斯ル美林ヲ見タリ。技師大久保恭氏ノ自ラ行ヘル段状沢伐ヲ見ル（撮影ス）。

村婦人会員ニ対シテ石黒氏ハ挨拶ヲ述フ。

ソレヨリ自動車ニテ竜ノ崎県有林ノ椎茸栽培事業ヲ見ル。本年

二月榎木ヲ伐採セリト云フ。赤松林ニシテ乾燥度強シ。故ニ之カ成功ヲ疑フ。而シテ生椎茸ノマ、売出ス計画ナリト云フ。不思議ナル事ナリ。他ニ良キ利用法アリ。考慮ヲ要ス。

同地ニ在ル竜ノ崎旧砲台跡ヲ見ル。宏大ナルペトン塔アリ。42 cm

砲ヲ据置ケ、老岐北端ト呼応シテ敵艦ヲ挟撃スル為ニ作レリト云フ。偉観ナリ。

ソレヨリ山路ヲ駛リ巖原ニ入り、佐伯旅館ニ帰ル、六時二十分ナリ。

今朝乳牛飼料計画書ヲ藤野氏ニ渡ス。又報徳誌八号「養鶏飼料トシテノスリ込ミ甘藷」ノ記事ヲモ呈ス。

柳澤海上保安庁長官ニ対シ特ニいす、提供セラレシニ対シ

一同ヲ代表シテ謝電ヲ呈ス。

石黒氏ヨリ旅費七〇〇〇円ヲ渡サル。之ハ長崎県ノ支出ニ係ルモノニシテ、官吏以外ノ者ニ渡サレタル手当ナリト云フ。

対馬ノ山ハ頗険峻ナリ。陶山鈍翁カ猪狩ヲ行ヒシ偉績ヲ回顧シ其不撓ノ精神ヲ仰ク。而シテ今日一猪ナシ。兔モ居ラス。鹿ハ若干アリ。烏ノ害頗大ナリト云フ。

対馬ノ山ニ竹ノ叢生繁茂セルハ驚クヘシ。之カ根絶又ハ利用ハ刻下ノ急務ナリ。

〔以下、四行空白〕

八、一〇、

鶏知町。一三部落 七、二〇〇人 一、二〇〇戸。《戦後漸寂、

産業ニヨリ興隆セン》

水産。漁業 真珠

山林。六、五〇〇町 白岳ヘ林道、模範林アリ。《六五〇町

明治四三年ヨリ 杉 松 檜 雑》

道路 大体完成 国道、県道、限状道路ノ完成ヲ急ク。

耕地。水田八〇町 洲藻川干拓計画十町。

水路ヲ作レハ五町歩ノ畑カ田ニ変換サル。

畜産 六五〇町ノ牧場アリ。年一五〇頭ノ養畜可能ナリ。

要望。

Printノ外、軍ノ残シタ国立病院アリ。七〇人力在院ス。施

設完備シ島民ノ感謝スル所ナリ。然ルニ之カ廃止サルヘシトノ噂アリ。

林大臣カ国立存続ヲ快諾シタルモ地方委讓説アリ。

従来ノマヽノ特殊事情存続セヨ（藤野議員發言、政府へ要望

取次（對馬アリ）。

警察ヨビ隊設置要望、其位置ハ鷄知カ最適。

河井發言 政府へ取次キ請願処理方注意ヲ促ス。

主タル産業

農兼漁、林木炭（六〇、〇〇〇 一〇〇、〇〇〇）米九〇〇

一、〇〇〇反収一四 麦一〇〇〇 一、二一三

甘藷二四〇、〇〇〇（三〇〇一四〇〇）農一、

二、30% 源氏20% 護国25%

竹數ノ今昔、保安船 五六隻在泊ケイラス。

模範林六五〇町 明治四三年植栽 杉 松 檜

久須ヶ浜 鮮人部落視察

国立療養所視察、七〇人在院（本年度精神病室増設）

樽ヶ浜乗船（海王丸）

松ノ害虫被害絶大、（五倍子蜂ト云フ、駆除方法ナシ、對馬

壱岐（一部） 隱岐（黒松ニハ付カズ）。

仁位村 村長梅野岩雄氏

位置、東西海岸アリ。十月ヨリ降霜アリ、夏季少雨、春秋多雨。

面積、四、五〇〇町 水田五二 畑一六〇 山林

人口、四二〇〇人。朝鮮人二百数十名、製炭土木工事 漁業ヲ営ム。

農二〇〇 漁二四五 兼一〇〇 其他

米 麦一四斗 藪三〇〇（）

林業 製炭、植林ニ努ム。松喰虫ノ害夥シ。

県郡ノ力ニ依リ造林熱昂上シタリ。

汐浜干係

要望。

電気開發、一戸当二万数千円ヲ要ス。故ニ国費補助希望。

水田開發ノ為溜池ヲ構築シタシ。之ニ依リ百町歩ヲ得ン。

林業。五倍子蜂ノ被害、（對馬、壱岐及隱岐ノミ駆除法ニ加

ヘラル。被害木ハ材トシテ用弁差支ナシト云フ。（）

漁業⁴

道路、沔川 上島下島ヲ達ス。林道ヲ先ツ作り、後ニ国道ニ

移ル方針 村道改修年一ヶ年？。国道線ハアルモ県道ナシ。

林道。

港湾 西海岸三崎、戦前大ナリシモ今日ハ朝鮮ニ通スル唯⁴。

学校ニテ甘藷増産強調 並 畑ニテ実地指導

石黒氏ハ特農

努加岳村 村長阿比留正雄氏

人口 仁位村学校ニテ聴話

戸数

田四五 畑一六二 山林二、〇〇〇町
其他 三、二九七町

農 二九六 漁 九九 林 一九
其他 計五〇六戸

部落十、山間ニテ交通不便、地味不可。

米 (反) 九斗 麦一石一斗 炭三〇〇ノ
今後ノ問題

道路、海岸道路ヲ横断セシメヨ。

西海岸ニ漁港ヲ設ケヨ。避難港ヲ兼ネシメヨ。

農業、水田、田畑ハ改善ノ余地多シ。山畑ノ改良必要。

自力開発ニ望ムモ村へ貧乏ナル故、国ノ援助ヲ希望ス。

仁位村役場ニテ甘藷増産論及実地指導。

田部落マテ約一里乗馬。新開未開ノ県道険峻ナリ。

田浦入口ニテ甘藷増産講義ヲ為ス。

田浦ニテ休憩後乗船。三根ニ至リ上陸ス。島間ヨリ遙ニ濟州

島ヲ望ム。

峰村 村長島井清太郎氏 議長 阿比留奎太郎氏

三根川沿新築家屋二階ニ少憩、村長(明、一五年生)ヨリ陳情

ヲ聴ク。

トラツクニテ出発。三根川氾濫ノ跡ヲ見。

破堤ノ箇所ヲ視察ス。

再トラツクニテ穿堰堤ヲ見ル。之ハ発電ニ利用スル計画ナリ。

更ニトラツクニテ一倉坂ヲ下リ佐賀部落ニ入り中学校庭ニテ

議員(半数)及有志ノ出迎ヲ受ケ徒歩。

分宿ノ家ニ入ル。予ハ石黒早川藤井三先生ト共ニ小澤幹造氏方

ニ投ス。

小澤氏ヨリ佐賀港ノ修築成リシ後ノ漁船利用ノ状況ヲ聴キ、

入港船ニ対スル料金賦課ノ必要ナルヲ説明セラル。実ニ必要

ノコトナリ。立法ヲ要ス。

島井村長ハ明治五年生ト云フ。最経綸ニ富ム。村内円満ニシテ

朝鮮人ノ如キハ非道ヲ企ツル能ハス。

阿比留議長カ村長ヲ助クル態度ハ最我意ヲ得タリ。

町村議會ノ在方ノ模範タリ。

小澤氏ノ家ハ佐賀港ニ面シ一眸港内ヲ下瞰ス。

1

森林利用ハ全然見ルヘキモノナシ。自然ノ成林ニ放任スルノ

ミ。赤松ト竹ノ自然生ハ赤松亡国論ヲ想ハシム。県営椎茸ノ栽

培地ハ寧松茸育成ニ適スルカ如シ。杉檜ハ極メテ小面積ノ植栽

アリ。成績概ネ良好ナリ。故ニ

(1)大山アルモ水流ナク、洪水ノ被害甚大ナルハ赤松ト竹ノ叢生

ニ依ルモノト認ム。

(2)民有、村有ヲ問ハス一応国家経営ノ部分林ト為シ、全島ニ互

ツテ樹種ノ改変ヲ要ス。

之カ実施ハ二十年計画トシ、百年ヲ俟テ完成セン。

八月十一日

東海岸ノ漁港順位(利用)

一重、佐賀 鴨居瀬 比田勝、小鹿、

船志灣ハ真珠養殖ノ将来計画実行中。

浜玖須ニハスサノ才尊ノ遺跡アリ。古代交通路ヲ想フ。

豊崎町

人口一〇〇・戸〔空白〕農三〇〇戸 字十六。

交通要衝

米駐留軍、第五航空隊海栗島^(ウツ)〔福岡ヨリ〕派遣隊五六十人、氣

象隊及飛行関係。

農ヲ主トシ林ヲ副トス。而シテ足ラサレハ漁ヲ兼ヌ。漁ハ概シ

テ不慣ナリ。瀬付採収ヲナス。

林業、杉檜ノ造林ヲ見ル。成績佳ナリ。

登録外国人、朝鮮人三二四(男一九七、女一二七)。知識者多

シ。大阪、東京、神戸ト連絡ス。北鮮優勢トナレハ鼻息強シ。

半数以上ハ製炭ニ従事ス。

登録者ハ最近増加ノ傾向強シ。

一昨年行ハレタル鮮人ノ署名運動ハ南北鮮融和ノ為ト説明セラル。

八学会ノ対李宣言ハ李ノ虚偽ヲ明ニシタル為、対馬人ハ大ニ之ヲ徳トシアリ。

比田勝、梅屋中食。平山旅館泊。

佐須奈村

道路開設。縦貫線一三kmノ中、未修九km

佐須奈一佐賀。佐須奈一舟志

特八号。

林道

林道改修一八km中10km

耕地改良

土地改良 增收石数三五七一石八四。

港湾 朝鮮、十五里、三時間ニテ達ス。

佐須奈、佐護湊、漁港。

砂防工事ヨテイ箇所視察。あべまきノ大樹アリ、コレハクヌギナリ。

密貿。変遷アリ。対馬ハ朝鮮ニテ欠乏セル物資ヲ取次ク場所ナ

リ。大阪ト朝鮮トノ取引、計画的ニ行ハル。政治的性格アル

モ、程度不明ナリ。

東沿岸、豊崎町一重港。西沿岸、佐須奈一帯ニシテ broker

アリ。阪神ヨリ日本人名義ニテ送り、多クノ商店ニ散在シ人

目少キトキ船ニテ送ル。夜中ニ多シ。

保安部力取締ニ出向ク。

雜貨、キカイ、キグ、布等トス。鮮魚船、沿岸線ニテ輸送ス。然レトモ的確ナル証拠ナキ故、検挙出来ス。輸送船中ニテ捕フルモ朝鮮宛ニ非サル故検挙出来ス。二十六年度中 十九件五十名。押収船五隻。

時価一九、五〇〇、一円。

二十七年 五件 一〇、〇〇〇、〇〇〇

此外密輸アルモ、法ヲ潜ルコト及検挙船不足ニ由ル。

密航

鮮人一〇八六人。《水産製炭》ヲ主トシ一般ニ平穩ナリ。

不法入国者、昨年（二六年）最多。

二一年以前、入国二四二二 一八三三被検挙

二六年最多、其後ハ生活問題ニ由ル。

入国ハ夏季ニテ上陸スルト共ニ山ニ入ル。朝人部落ニ入ルトキ
検挙ス。

逆密航、登録証明書ヲ買フ者、偽造者モアリ。

治安ヨリ見レハ悪質犯罪者ナシ。平穩ナリ。

思想関係連絡ナシ。

古鉄業者ニシテbrokerヲ為ス。各町村ニ存ス。

豊崎町小学校集会

豊崎町長意見、比田勝雋氏。

離島ナル故、本土トノ交通如何。 国营

《港灣 漁港》施設完成要望。何レヲ希望スルヤ。

縦貫道路完成ノ要望。未成三分ノ一ナリ。

病院経営、《産業組合経営ヲ》昨年ヨリ町営トセリ。 国又ハ
県ノ補助ヲ乞フ。

町会議古里供氏

対馬カ Back ground 立ツ理由、二十余年間軍用地トシテ
使用サレタルニ由ル。

産業未発達ノ理由ハ資金不足ナリ。軍用地タリシ賠償トシテ
資産ヲ充足セヨ、手買入資金ヲ与ヘヨ。

向学心ノ満足ヲ与ヘヨ。上下ニ高等学校一ツ、与ヘヨ。

水産加工ニハ多費ヲ要ス。電力不足ナレハナリ。

町営病院主事執行正作氏

病院経営関係ヨリ自家発電ヲ要望。

医師三名アルノミナル故往診力不能。

自動車（乗用）必要。

最初ニ河井挨拶。其中ニ来島ノ趣旨ヲ明ニス。

赤木先生、藤野先生挨拶。

最後ニ石黒先生挨拶。

夜、旅館平山方ニ国家地方警察長崎県上県地区警察署長《国家
地方ケイサツ警視》田中正美氏、同上下県地区署長警視福田鶴
松氏及同上長崎県本部総務部長警視古屋安治氏ノ来訪ヲ請ヒ、
石黒、赤木、藤野、河井ノミニテ対馬陣ノ治安関係状況ヲ聴取
ス。密貿、密入国、等各種ノ事情ニ付隔意ナク報告セラル。

次ニ豊崎町長比田勝雋氏、町議会代表議員、対馬総町村組合
議員平間芳介氏来訪。今回ノ視察ヲ深謝セラル。石黒氏、之ニ
対シテ総括的感想ヲ述へ、将来ニ対スル抱負ノ一端ヲ告ケラ
ル。予ハPrinlandノ国民性ヲ説明ス。更ニ対馬支庁農地開拓課
長古川秀夫氏ヨリ同課所管事項報告書及各町村甘藷ニ関スル
諸表ヲ与ヘラル。

陶山鈍翁、平田喬信碑（佐須奈村江古字金庫丘腹ニ在リ。鼈ニ
乗ル）

雨森芳洲撰。総高六尺五寸。碑高四尺、一尺三寸角、花崗岩。

〔図あり。碑文は

「平田類右衛門喬信

陶山庄右衛門 存」

碑ニ謁ス。永年ノ渴仰ヲ医ス。旅中ノ大慶也。

十二日（火）快晴、暑、海上平穩

八時、比田勝港ヨリ海王丸ニテ発船ス。埠頭ヨリ直ニ乗船ス。

比田勝町長、平田（開カ）議員、其他多数ノ見送ヲ受ク。

本日ハ島ノ北端ヲ廻リ、西海岸ヲ南下シ浅茅湾（アソウ）ニ入り萬閑、

瀬戸ヲ経テ東海岸ニ出テ厳原ニ入港スル予定ナリ。

船上ニテ各所ヲ展望ス。又同乗ノ町長、村長等アリ。説明ヲ聴
ク。出港後、東北海上ニ釜山（カマクラ）ヘ向フ汽船ヲ見ル。コレハ博多
発ノ船ナリト云フ。

出港後三、四十分間海上保安庁所属艇ノPatrolヲ受ク。

北端ニ近ク海栗島アリ。米軍観測所ノ設アリ。無線電信柱、水
槽等ヲ認ム。

此辺ヨリ朝鮮南部ノ諸山ヲ見ル。雲煙模糊タリ。

佐須奈港ハ寄港セス。外洋ヲ通過ス。

千俵蒔山ニハ元寇襲来当時ノ遺跡アリ。今ハ全山草生シ炭俵用

萱ヲ産ス。一俵代十二円ニシテ之ヲ比田勝ヘ運搬スレハ十五

円トナルト云フ。

棹崎ニハ旧砲台アリ。棹崎以南約一里ノ海岸崖上ニ無煙炭ノ露
所アリト云フ。

十時十五分伊奈崎沖ヲ過ギ、漁港候補地志多留ヲ遠望シ、伊奈
港ノ入口マテ進ム。之ハ漁港トシテノ両港ノ適否ヲ研究セシ

メントスル意図ニ出ツ。

〔以下、七行空白〕

二七、八、一四、平戸町、田口楼旅館、座談会

石黒氏挨拶

高橋、多々良氏、二七、三月提出ノ計画概要書ノ大要。

主目標。(1)水産資源開発、〔空白〕、道路、港湾、漁港ノ基礎開

発、(2)鉱産探究

漁港施設、東岸〔空白〕西岸二所

《交通道路》

第一期 豆酸ヨリ比田勝マテ 従貫道路〔縦九〕

第二期 東岸比田勝一仁位 西岸鶏知一

南 巖原 比田勝ニ三千屯船ノ碇泊ヲ目標トス

河川、林道、耕地ヲ完ウスル為河川ヲ修ム。

食糧増産ノ為ニモ砂防ヲ中心トシテ河川ヲ修ム。

木材流送ヲヤメ林道開発ニカム。

(附)電灯 普及完成 《現在ハ重油発電ナリ。徐々ニ実行中》

以上ノ設施ハ二六億ヲ要ス。之ヲ利用スル能力カ対馬ニ在リヤ。

倉成次長

施設ニハ目標ヲ要ス。

島民ノ所得ヲ昂メ生活水準ヲ進メルカ必要。之カ為ニハ夫々目

標ヲ明ニシテ計画ヲ立テヨサンヲ計上ス。

赤木氏

地下水

縦貫道路

港湾、最要ノモノヨリ着手。少数ニテモ完成セヨ

河川 地質悪シ。砂防必要。堰堤利用発電及利水。

〔欄外…土田□鉄、孝子〔行〕イモ、農、林、教育、行政組織、警備、病院〕

大野局長

食糧56%自足、44%不足。品種導入、耕種改善ノミニテハ50%増産ニ止ル。

土地改良、道路修築、造林、砂防カ必要。肥料ハ麦ニ堆肥。

反250ベヲ投入スルノミナルカ故ニ瘠悪甚シ。

堆肥舎ナシ。厩肥舎アリ。改善ヲ要ス。

労力不足ト云フモ馬ヲ利用セヨ。

協力欠乏ス。佐須奈村ノ揚水pump

鶏知ノ試験場分場ヲ農村有志ニ増産可能性ヲ示セ。

農村青年ノ実地教育施設必要

猶原博士

対馬ヲJersey島、Gangee島〔イマ〕ニ模範ヲ取りテ実現ヲ期待ス。

急峻ナル山地ノ不利ヲ克服セヨ。而シテ人心ハ半農半漁ニ依

リ、山地開発ハ鮮人ノ低賃銀ニ任シテ顧ミサルハ不可。寧ロ

山地利用ヲ牛馬ノ養成ニ努力メ進ンテ乳牛ヲ導入シテ堆肥

肥ノ増産ニ向ケテ食糧問題ヲ解決セヨ。

長谷川技官

地力維持、土質ハ必シモ悪カラス。輕鬆ヲシテ有キ分ノ分解

速ナリ。

従テ其ノ保有力少シ。只堆厩肥ノ資源豊富ナリ。之カ利用ヲ

強クスル為、堆肥舎ヲ普及セヨ。

現状ニテハ瘠度甚シク《改良》品種ノ導入、耕作ノ改善モ其

効果ヲ期シ難シ。

畑地灌漑ヲ徹底セヨ。

藤井

内地ト比較シテ四分三カ、六分五カ。

小田漁業状態 烏賊釣り。

島民指導方法ハ考慮ヲ要ス。

山林ノ復興ハ営林署長ノ有力者ヲ十年間モ駐留セシメヨ。

開発計画書ニ依リ、費用ヲ考勘シテ二五億円ヲ長崎県ニ割當

テラレル塩梅ヲ立テヨ。

議員立法ニ対スル注意要望。

〔6行空白、次頁全て空白〕

二七、八、一六

優良教員ノ養成及配置。

〔欄外…教育長田中円三郎氏ト会谈、県議松浦規氏同席、次長

黒田義晴氏同席〕

(1) 本年度ヨリ奨学金制度、月県1000、町村1000以上トス。対

馬ハ町村ニテ2000トス。定員県百名トシ、離島者ハ優先選定
ス。対馬八月3000ヲ無償給付セントス。

(2) 島ニアル対馬高校(四十年ノ歴史アリ)ニ一年ノ養成科ヲ

設ケ(大学分校ヲ置クノ制)、県力管理スルコトトスルノ要
アリ。七五%ノ小学校教員ノ無資格者ヲreplaceセン。之カ

為ニハ明年四月ヨリ一学級四十名ヲ教育シ、現職者ハ半年教

育セントス。経費五、〇〇〇、〇〇〇円ニテ足ル(寄宿費ヲ
含ム)。

高校ニハ教育course四十名アリ。

(3) 離島手当ヲ与フ。一級地150 二級地300 三級地450ノ国費加

給ニ対シ、県ニテ150円加給スルコトトス。厳原ハ一級地ナリ。

隔遠地手当ヲ給スル(県 教員数)一一、〇〇〇名中五、〇

〇〇名アリ。隔遠地勤務者ナリ

(4) 本年ハ卒業生十九名ヲ対馬ニ配当セリ。

(5) 二六年度ヨリ内地留学生百名、二十日間年額一五、〇〇〇

円トシ、離島者、特ニ対馬人ニハ希望者少シ。経済力不足ノ

故ナリ。

対馬高校長(元農学校長)平古場多四郎氏(本年四月任命)

ハ、学力昂上、設備完成等ノ為、全生ヲ捧クル決意ナリ。又

明年度教員養成ニハ既ニ着手シタリ。

本年度ニ比田勝ニ分校ヲ作り(従来ノ水産学校ノ廃止)目的

ニ副ハントス。

(6) 青年研修所(青年学級ニ対スル名称、一年)公民館中心、

第一種三百時間、第二種百時間、第三種五十時間ノモノヲ設

ケ、各科修了者ニ証書ヲ与フ。中心人物平古場校長トシ、高

校教師一団トナツテ之ニ従事ス。

(7) 義務教育就学率92%新制中学、95%小学校

(8) 教員ノ熱意ハ本土ニ劣ラス。

(9) 対馬ノ巨人朝鍋信一氏(元軍人)今ハ福岡ニ在リ。汽船会社ニ就業ス。久田村長長直人氏会见、長信楽氏ハ有力ナリ。近来病弱ト云フ。然レトモ其夫人ハ健全ニシテ感慨アリ。甘藷増産千貫ヲ期スト云フ。

〔8行空白、次頁へ〕

二七、八、一六

県澱粉協会常務島田昇氏 主事前田清氏ト会谈。

台弯^(港)ニテ甘藷加工会社ニヲ創設シタ。

前田氏ハ草薙ニテ澱粉工場ヲ作ツタ増井慶太郎氏ノ親戚ナリ。

長崎ニハ澱粉工場七ニアリ。古クシテ技術進歩セルアリト雖、

原始農業ナリ。従テ反当収量二八〇ト云フモ四二〇ナラン。(千

葉ハ八〇〇)

澱粉工業モ亦旧態依然タリ。即歩留一八%—二四%、加工費十

貫二〇〇前後—六〇〇前後ナリ。コレハ技術面ニ進歩不進歩ア

ルニ由ル。即、日本加工工業ノ科学性ナキニ由ル。優良ナル技術

者ヲ得テ之ヲ中心トシテ改善ヲ加フルノ外ナシ。

〔3行空白、次頁へ〕

〔1頁空白〕

二七、八、一九、笠岡市役所にて

渡辺翁 いも増産期成会結成会

市長 挨拶

河井 挨拶 いも増産期成会結成希望ヲ述フ。

角谷 技師 《県農業改良課蔬菜及藷類専門技術員》諸年産

額20%ハ黒斑病、軟腐病ニテ消耗ス。品種改良ハ此点ヲ救フ。

食糧増産五年計画ハ五年ニシテ所粟内地不足ノ2/3ヲ

生産スト云フモ甘藷ハ neglect サルルモノノ如シ。此

際、甘藷増産有志会ノ結成ヲ望ム。

小谷技師佐藤保武氏 改良普及ノ為ノ立法及ヨサン措置ヲ執

レ。 特農

唱 《カケヤ掛谷隆》《安藤普及員 角谷技師》いも増産期成会提

坂本議長《輝太郎氏》 甘藷ハ此地方ノ特産ナリ。優良種子普

及会結成。 国トシテモ努力セヨ。

出席者

県指導連 羽原保

農林省農試甘藷試験地 小野光幸

地方事ム所経済課長 長船敏男

経済課 出原綱男

〃 改良室長 矢吹健蔵

普及所

”

”

”

市議長

市議

農協会長

辻勝則

藤枝安男

磯田稔

笠原健一

志水主計

佐藤保武

掛谷隆

山成輝雄

安藤良治

坂本輝太郎

小寺市雄

長安海六

藤井小太郎

小笠原三郎

城戸寛

増成匡雄

江浪時雄

〔以下、6行空白

日記部分終わり〕

1 9 5 2年日記 人名録

人名録凡例

- 1 並べ方は、五十音を基本とした。苗字のみで名前が不明の場合には、その苗字の最後とした。
- 2 アルファベット名は、全体の末尾まとめた。
- 3 物故者を除き、役職等は基本的に 1952 年時点を記載した。場合により、遡って元職として記載したものがあある。
- 4 「弥八との関係、職、肩書きなど」で、調査不分明のものは居住地のみや空欄となったものがある。
- 5 「記載年月日」は、日記記載年月日であり、年は初出のみとし、西暦年、月日とも 2 桁で示した。
- 6 『日記』の「一九五二年 追加分」の日付は、日付に + を付し、『日記』の「一九五二年」と区別した。
- 7 『日記』の「一九五二年 追加分」中、対馬視察関係一覧 36 人は、『日記』の「一九五二年」8 月 8 日記載と同一のため省略した。
- 8 人名字体は、日記記載に準じた字体を使用した。

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
相川 勝六	52.01.23	官僚・政治家 知事歴任
青木 正	52.06.20	衆議院議員、自由党
青砥 道雄	52.04.01	新日本放送
青山 於菟	52.03.11	静岡県秘書課嘱託
青山 秀一	52.04.29 04.30	横山（静岡県磐田郡龍川村）の醤油屋旅館
青山 士	52.03.22 03.24 06.15	静岡県出身土木技術者 全国治水砂防協会評議員
赤木 樟一	52.03.01 03.14	林業家
赤木 正雄	52.01.15 01.22 01.23 01.30 01.31 02.04 02.05 02.06 02.07 02.08 02.12 02.15 02.16 02.23 02.28 02.29 07.02 03.05 03.07 03.08 03.12 03.17 03.19 03.20 03.26 03.28 03.30 04.05 04.09 04.10 04.12 04.13 04.14 04.16 04.23 05.06 05.07 05.13 05.14 05.21 05.27 05.29 05.30 06.02 06.15 06.18 06.20 06.21 06.24 06.25 06.28 06.30 07.02 07.03 07.09 07.13 07.17 07.18 07.23 07.26 08.03 08.04 08.05 08.06 08.08 08.10+ 08.11+ 08.14+	参議院議員 緑風会 砂防協会常務 博士 砂防の父
赤堀 猪太郎	52.04.26	静岡県議会議員 自由党 大日本報徳社参事
赤松 照彦	52.01.18	磐田市市長（静岡県）
安藝 皎一	52.08.01	河川工学、資源問題の研究者
浅井 一彦	52.02.19 02.29 03.19	財団法人石炭科学研究所長
朝鍋 信一	52.08.16+	汽船会社勤務 元軍人
浅野 哲禅	52.01.28	大洞院住職 報徳の先覚者
浅野 正昭	52.03.22	天城営林署長（静岡県）
朝日 原作	52.03.20	三島市長（静岡県）
朝比奈 貞一	52.02.05 02.17 03.06	国立科学博物館職員 弥八娘婿 報徳連合会理事
朝比奈 アキ	52.02.17 03.26	弥八の次女、朝比奈貞一の妻 アキが正式
朝比奈 美弥子	52.02.17 03.06 03.10	貞一の家族
朝比奈 素子	52.02.17	貞一の家族
東 小一	52.03.15	遠師会会長
東 隆	52.03.23	参議院議員 民主社会党 報徳連合会理事
東 季彦	52.04.01	弁護士、法学博士
麻生 太賀吉	52.07.20	衆議院議員 自由党 九州電力会長
足立 篤郎	52.02.28	衆議院議員 自由党
厚子内親王	52.05.24	昭和天皇の第四皇女 池田隆政夫人
アップルゲート	52.02.15	Free Mason バストマスター 大尉
阿比留 正雄	52.08.10+	努加岳村長（長崎県下県郡）
阿比留 李太郎	52.08.10+	峰村村議会議長（長崎県上県郡）
阿部 孝太郎	52.04.25	報徳社関係者
阿部 猛男	52.08.09 08.09+	東邦亜鉛株式会社対州鉱業所副所長
天野 亨	52.02.20 06.28	庵原村長（静岡県庵原郡）
雨森 芳洲	52.08.11+	江戸時代中期の対馬府中藩儒者
雨宮 文吾	52.02.14 04.06	浜名郡北浜村長（静岡県）
安楽城 敏男	52.05.09	農林専門員
有馬 博雄	52.08.06	島根県土木部長
有海 寿三郎	52.06.06	堀之内町長（静岡県小笠郡）
安藤 良治	52.08.19+	普及所（いも優良種子普及力）（岡山県）
安部 定	52.03.01	元参議院議員 緑風会
飯島 連次郎	52.05.03	参議院議員 緑風会 群馬
飯田 浩	52.03.22	上大見村助役（静岡県田方郡）
飯田 英作	52.05.31	
飯田 精太郎	52.03.07 03.10	元衆議院議員 緑風会

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
飯田 一実	52.08.07	福岡県土木部長技師
飯盛 文夫	52.08.08	対馬営林署長
池田 勇人	52.02.04 02.28 05.16 05.23 06.10 06.11	衆議院議員 自由党 大蔵大臣
池田 詣人	52.08.08	福岡海上保安部長兼博多港長
池田	52.02.13	全国治水砂防協会 池田勇人カ
石井 英之助	52.04.10 04.11 04.13 04.14 04.16 04.18 04.21 04.22 04.24 05.06 05.08 05.17 05.29 06.21	元農林省農政局長、元群馬県知事
石井 義勝	52.07.04	いも通信月刊誌編輯
石川 喜三郎	52.01.17 01.19 01.21 02.03	愛知県立農事試験場所属
石川 利助	52.01.03	
石川 芳	52.08.08	長崎県河港課技師
石川	52.06.27	西山清の誤記カ
石倉 守太郎	52.02.01	
石黒 忠篤	52.04.10 04.11 04.12 04.13 04.15 04.16 04.17 04.18 04.19 04.20 04.21 04.22 04.24 04.25 04.27 04.28 04.29 05.01 05.02 05.07 05.08 05.09 05.11 05.14 05.15 05.18 05.21 05.24 06.12 06.13 06.21 06.24 06.28 07.19 08.08 08.09 08.09+ 08.10+ 08.11+ 08.12+ 08.14+	参議院議員 緑風会 戦前農林官僚、農政の神様
石黒 仁	52.05.03	犬居町長 (静岡県周智郡)
石黒 夫人	52.04.21 04.27 05.21	
石坂	52.02.23	全国治水砂防協会顧問 石坂繁か石坂豊一か不明
石津 浪次郎	52.01.04 04.21 04.28	
石野 元治郎	52.01.04 01.06	
石野 治録	52.01.11	焼津市助役 (静岡県)
石橋	52.07.20	洋服屋
石原 幹市郎	52.05.22	参議院議員 自由党
石間 督也	52.01.27	
石間 尚	52.02.14 06.30	石間たみの子 弥八の甥 静岡県島田市旧家
石丸 志都磨	52.04.11 05.26 05.31 06.10	元陸軍少将 軍人恩給復活期成会代表
石和田 靖章	52.05.25	後に石油開発公団理事
泉 美之松	52.03.18	主税局税制課長
泉谷 吉春	52.08.05 08.07	島根県土木部砂防課長 元静岡県土木部
磯田 稠	52.08.19+	いも増産期成会結成会出席者 (岡山県)
磯部 英一	52.01.20	静岡県磐田市馬場町の人
井田 秀夫	52.08.09	佐須村長 (長崎県下県郡)
市岡 邦友	52.04.11	駿河鉱業株式会社取締役
一ノ瀬 康一	52.01.08 02.11	大昭和製紙監査役
一万田 尚登	52.06.17 06.20	財政家、日本銀行総裁 (第十八代)
一宮 源太郎	52.08.09 08.09+	佐須村議会議長 (長崎県下県郡)
市村 寿章	52.03.21	伊東 (静岡県) の青年
一木 軻太郎	52.02.26 05.19	一木喜徳郎の子 検事 静岡育英会理事
井手 成三	52.07.30	土地調整委員会委員
井出 光三	52.02.29	
井出 一太郎	52.01.24	衆議院議員 改進黨
出原 綱男	52.08.16+	地方事務所経済課
伊藤 勇次郎	52.05.18 05.30	大阪市議会議員
伊藤 修	52.06.03	法務委員 理事
伊藤 敏	52.01.25 06.13	
伊藤 佐一	52.04.30	井通村長 (静岡県磐田郡)
伊藤	52.02.19	建設省課長 (建設省河川局治水課長伊藤剛カ)

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
伊藤	52.05.06	静岡事務所
伊藤	52.08.06	広島建設局長(中国・四国地方建設局長伊藤令二カ)
稲浦 鹿藏	52.02.19 02.23	建設事務次官
稲勝 正太郎	52.03.24 05.18	天竜木材関係(静岡県)
稲田 正純	52.03.19	前陸軍中將
稲田 周一	52.01.24 03.06	侍従次長 元内閣書記官
稲玉母上	52.05.25	
稲宮 又吉	52.02.29	静岡新聞社会長
稲盛	52.04.17 04.18	
井野 包次	52.02.02 03.08	ボーイスカウト静岡県連盟理事
井野 数丸	52.03.21 03.22	伊東報徳社長(静岡県)
井上 一郎	52.06.15	静岡県林務部長
井上 春成	52.03.13	工業技術庁長官
伊林 初次郎	52.01.30 05.09 05.28	名古屋通産局公益事業富山支局長
今村 信次郎	52.06.03 06.04	海軍中將
入江 貫一	52.04.23	全国治水砂防協会監事 元貴族院議員
岩崎 保治	52.01.13 01.14 02.11 02.19 02.20 02.22 03.07	久能山東照宮宮司
岩崎 豊	52.01.18 02.19 04.28 07.09 07.18	浜松市長 静岡県議会議員
岩澤 忠孝	52.03.14	自由党政務調査会長
岩竹 信太郎	52.01.02 01.06 02.20 02.26	大日本報徳社参事・講師・雇(総務主事)
岩塚 源也	52.01.23	
岩淵 辰雄	52.07.13	読売新聞主筆
石見 元秀	52.06.14	姫路市長(兵庫県)
岩本 信行	52.08.01	衆議院副議長
上田	52.03.13 07.26	事務局(組織名不明)主事
植松 一	52.05.13	同盟通信社静岡支局長
植松 義忠	52.04.11	南富士開拓農協組長
植村 実	52.06.27 07.01	四国林業社長
牛尾 淳太郎	52.08.07	福岡県議会議員
臼井 俊郎	52.03.04	林野庁林政課長
内田 明	52.02.13 03.10 06.16	国会図書館国会分館長
内田 重成	52.06.16 06.17 07.18	元貴族院議員 元司法官 元海軍中將
内田 孝藏	52.02.05	丸ビル眼科医長、52年1月29日没
内田 林平	52.03.22	上大見村議会議長(静岡県田方郡)
内田 常雄	52.03.17 03.18	大蔵省管財局長
内田 護文	52.05.18	静岡地方裁判所長
宇都宮 登	52.06.12	元参議院議員 無所属 緑風会
梅井 清	52.08.08	長崎県農政課技師
梅崎 哲一	52.01.24 02.23	甘藷米製造・献上
梅地 慎三	52.04.15	
梅野 岩雄	52.08.10+	仁位村長(長崎県下県郡)
梅原 統一	52.04.26	静岡県議会議員、自由党安静地区選挙委員長
梅原 真隆	52.02.04 02.15 03.07 06.10	参議院議員 緑風会 仏教学者
浦上 喜平	52.02.07 04.13 04.14 05.09	技師
浦上 敏夫	52.06.06	静岡市浅間町住人
海野 数馬	52.04.26	元衆議院議員
枝村 藤次郎	52.04.13 04.14	勝間田村長(静岡県榛原郡) 大日本報徳社参事
江藤 素彦	52.01.24 01.30	東大農学部林学科〔カ〕学生
江浪 時雄	52.08.19+	いも増産期成会結成会出席者(岡山県)
榎本 重治	52.02.29 03.01 06.10	元海軍省参事官 元海軍書記官 塚本重治は誤記
遠藤	52.04.17	
遠藤 三郎	52.02.14 04.12 04.27	衆議院議員 自由党
緒明 太郎	52.02.01 03.06 03.17 05.18 05.19 05.28 06.06	実業家 育英事業 静岡育英会副会長
大池 眞	52.05.22	衆議院事務総長

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
大石 義雄	52.06.11	京都大学教授
大石 廉一	52.01.19 01.31	吉田町長 (静岡県榛原郡)
大石 俊雄	52.03.14	静岡県議会議員
大石 光之助	52.02.29	静岡新聞社社長
大石	52.03.19	全国治水砂防
大石 武雄	52.04.19 04.26 04.27	静岡県議会議員 自由党
大内 峻	52.01.11	静岡県経済部水産課技師
大川 雅久	52.07.19	対馬支庁農地開拓課長
大久保 恭	52.08.08 08.09+	林野庁技官 元対馬営林署長
大隈 信幸	52.02.19 02.29	参議院議員 民主クラブ
大熊 喜邦	52.02.29	建築家 工博・経博
大島 徹雄	52.03.26	
太田 民次郎	52.02.07 02.26 06.03	大日本報徳社参事・講師
太田 正孝	52.05.18	衆議院議員 自由党
太田 はる子	52.03.07 03.09	磐田郡連合婦人会長 (静岡県)、民生委員指導者
太田 賢治郎	52.03.21 03.22 06.02 07.31	伊東市長 (静岡県)
太田 はる	52.03.29 03.30	静岡福祉事業協会関係
太田	52.06.03	大日本報徳社関係
大谷 正男	52.04.23	元皇太后宮大夫1936-1946
大野 数雄	52.08.01 08.08 08.09+ 08.14+	資源調査会事務局長兼国土調査室長
大野 よし子	52.05.14	
大野 虎雄	52.04.27	静岡県内民生委員活動のリーダー
大野木 克彦	52.02.16 03.17 03.18 06.09 07.10 07.12	行政管理庁次長
大野木 秀次郎	52.05.28	参議院議員 自由党 国務大臣
大橋 武夫	52.02.16 04.05 05.22 06.06 06.18 07.07 07.08 07.12 07.24	衆議院議員 自由党 国務大臣
大畑 團平	52.05.03	熊切村議会議長 (静岡県周智郡)
大村 清一	52.02.14 04.03 04.04	衆議院議員 自由党
大森 しづ子	52.06.19	要従弟の妻
大屋 晋三	52.06.28 07.04	参議院議員 自由党
大矢 半次郎	52.01.30	参議院議員 自由党
大山 謙吉	52.02.22	食糧生産・農業技術研究者
岡 正路	52.01.29	
岡崎 勝男	52.02.04 02.19 02.21 02.27 02.28 02.29 03.14 06.26	衆議院議員 自由党 外務大臣
小笠原 三郎	52.08.19+	いも増産期成会結成会出席者 (岡山県)
小笠原 三九郎	52.02.03	農林大臣 実業家
緒方 守	52.08.08	対馬保健所長
岡野 繁蔵	52.04.09	元衆議院議員 民主党
岡野 徳右衛門	52.03.11 05.05 05.29	静岡県教育長
岡野 清豪	52.03.14	衆議院議員 自由党 国務大臣 文部大臣
岡部 常	52.03.19 08.01	参議院議員 緑風会
岡村	52.07.31	岡村文四郎カ
岡本 愛祐	52.01.26 01.30 02.05 02.08 03.02 02.08 02.14 02.21 02.28 02.29 03.20 03.31 05.17 06.02 06.05 06.21 07.09	参議院議員 緑風会 元皇室林野局長官
岡本 礼一	52.05.04 05.05	日本ボーイスカウト総局長
小川 繁雄	52.03.22	小山繁雄の誤記
小川 武	52.03.22	小川大夫氏ノ従兄弟、松原町電気商
小川 大夫	52.03.22	
荻野	52.03.16	荻原の誤記
荻原 文清	52.03.22 06.05	上大見村長 (静岡県田方郡) 荻野は誤記
奥 むめお	52.02.28 07.07	参議院議員 緑風会
小串 清一	52.03.13	参議院議員 自由党

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
奥野 開十郎	52.04.06	元浜松検事局書記カ
奥野 健一	52.05.23 07.12	法制局長
奥原 日出男	52.01.22	林野庁四国営林局長
奥村 重正	52.02.14	経済調査庁次長
小倉 嘉明	52.01.15 01.21	海軍中将
小倉 幾重子	52.01.20	小倉嘉明夫人
尾崎 忠次	52.02.02 03.08 03.11 05.04 05.05	ボーイスカウト コミッショナー
尾崎 行雄	52.02.10	衆議院名誉議員
尾崎 行輝	52.02.10 07.27	参議院議員 緑風会
尾崎 由郎	52.07.27	静岡市の名望家尾崎家第6代徳郎の誤カ
長船 敏男	52.08.19+	地方事務所経済課長
小澤 幹造	52.08.10+	対馬住人
小田 俊与	52.05.07	参議院議員立候補者 諸派 (社民)
小田 二三男	52.08.07	九大名誉教授・工学博士
小田島 利八	52.07.26	神奈川県砂防課長
小田原 勇	52.01.12 01.19 01.22 02.07 02.11 08.03	静岡県立榛原高校校長 培本塾長
乙成 健一	52.08.08	対馬支庁総務課雇
小野 秀一	52.03.17	長野県福島町元代議士
小野 義夫	52.06.25 06.28	法務委員長 参議院議員 自由党
小野 近義	52.04.26 04.28 05.01	自由党 静岡県議会議員
小野 仁輔	52.01.02 01.06 02.03 02.24 04.20	大日本報徳社副社長 著書『報徳問答』
小野 博	52.08.19+	笠原市長 (岡山県)
小野 光幸	52.08.19+	農林省農試甘藷試験地勤務(岡山県)
小野	52.04.18	
小汀 利得	52.04.23	国家公安委員会委員
小山 繁雄	52.03.22	三島土木事務所所長 (静岡県) 小川繁雄は誤記
加賀 操	52.02.29	参議院議員 緑風会
掛谷 隆	52.08.19+	普及所 (いも優良種子普及カ) (岡山県)
柏木 庫治	52.05.02	参議院議員 緑風会 元天理教東中央分教会会長
数原 貢	52.01.08	静岡県民生部長
笠原 健一	52.08.19+	いも増産期成会結成会出席者 (岡山県)
片岡 紀一	52.03.16 03.22 04.14 07.16	静岡県土木部河川課長 河港課長は誤記
片岡 七蔵	52.06.22	不明 千葉県長柄郡白潟町
片岡 ハル子	52.06.22	片岡七蔵の娘
片柳 眞吉	52.01.30 04.29	参議院議員 緑風会 農林委員長
片山 佐又	52.03.18	林野庁特産課長
勝	52.05.07	全国治水砂防協会
勝田 博	52.02.20	静岡県社会福祉協議会理事 御殿場町長 医師
勝又 春一	52.01.24 04.27	衆議院議員 初代御殿場市長
勝又 嘉一	52.03.08 03.16 04.08	静岡県林務部林政課長
勝亦 干城	52.04.27	静岡県漁業協同組合連合会初代会長
加藤 正治	52.03.27	元東大教授 元中央大学総長 法学博士52.03.16没
加藤 武徳	52.08.08	参議院議員 自由党
加藤 辰弥	52.02.02	西園寺公望秘書官
加藤 仁平	52.03.23 05.29	全報連会長 文学博士
加藤 正人	52.04.25	報徳社関係
加藤 芳太郎	52.03.15	元中央大学教授、財政学
角谷	52.08.19+	岡山県農業改良課蔬菜及藷類専門技術員
金森 徳次郎	52.04.23	国会図書館長
金山 喜八郎	52.07.20	富山市商工会議所副会頭
蟹江 邦彦	52.03.14 05.20 05.21 06.06 08.08	衆議院議員 右派社会党 人事委員長
兼岩 伝一	52.04.14	参議院議員 共産党
神尾 正夫	52.01.30 01.31	農林省畜産局生産課長技官
上条 愛一	52.02.13 06.21 07.24	参議院議員 右派社会党
上村 守策	52.02.23	全国治水砂防協会監事

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
神谷 喜作	52.01.05 01.06	袋井土木出張所長 (静岡県)
神谷 文平	52.01.03 03.30	静岡県立磐田実業高等学校初代校長
神谷 文吉	52.04.27	
神谷 慶治	52.02.03 03.02 03.17 06.08 06.12 06.13	大日本報徳社副社長 東京大学農学部教授 静岡県育英会理事
亀得 正之	52.01.24 01.30	大蔵省主税局調査課長
賀屋 茂一	52.06.24	建設省河川局防災課長
川井 健太郎	52.02.02 03.11 05.04 05.05	静岡県ボーイスカウト連盟理事長
河井 要	52.06.17 06.18 06.19	弥八妻
河井 公二	52.03.05 03.13 05.24 06.03 06.05 06.21 06.28 07.11 07.12 07.30	弥八弟昇三郎息子
河井 興三	52.03.10 03.18 06.01 05.23 05.25 05.26 07.07 07.10 07.25	弥八四男 重友弟
河井 重友	52.01.03 01.17 01.18 01.21 01.23 01.28 02.22 02.26 03.02 03.28 04.07 04.18 04.21 05.14 05.15 05.25 05.28 05.29 06.06 06.29 07.06 07.08 07.15 07.21	弥八次男 日本航空電子工業元社長
河井 昇三郎	52.03.13 05.03 05.06 05.07 05.24 07.11 07.12 07.24 07.25	弥八弟 芦屋住
河井 泰治	52.02.04 02.05 03.31 04.02 05.31 06.01 06.02 06.24 07.02	弥八三男
河井 敏子	52.01.20 05.29	河井重友妻
河井 ふき子	52.07.15	弥八母 正式には「ふき」
河井 誠	52.04.27	弥八孫 河井泰治息子
河井 弥八	52.01.06 01.17 01.24 02.04 02.13 02.14 02.15 02.23 03.13 04.16 07.23 08.08 08.05+ 08.10+ 08.11+ 08.19+	弥八本人
河井 弥八郎	52.07.05	弥八祖父 遠州佐野郡上張村庄屋
河合 多三	52.03.04 04.06	中瀬村長 (静岡県浜名郡)
川上 嘉市	52.04.18 04.21	参議院議員 (緑風会) 浜松出身
川崎 信助	52.03.20	参議院事務局庶務課長
川島 悦郎	52.03.20	川島製紐工場代表 (静岡県吉原市)
川島 恆	52.7.16 07.18	由比町議会議長 (静岡県庵原郡)
河西 凜衛	52.01.06	報徳社講師
河野 義克	52.06.30 07.08	参議院議事部長、元内務官僚、静岡県出身
河野辺 静	52.04.21	女医 静岡市議会議員
川村 満雄	52.04.14	建設省河川局治水課技官
河村 実	52.05.03	犬居町秋葉神社宮司
川村 松助	52.06.04	参議院議員 自由党
神田	52.01.18	静岡県自由党関係 神田博力
神田 博	52.03.24 03.26 04.14 04.15 04.16 04.17 04.20 04.29 05.07	衆議院議員 自由党 厚生大臣
菅野 義丸	52.03.18 04.15	内閣官房次官
甘露寺 受長	52.05.05	宮内庁掌典長
木内 信胤	52.06.11	外国為替委員会委員長
菊池 昌治	52.04.04	青森県森林組合連合会会長理事
菊池 捨六	52.02.17	
北井 二三夫	52.04.30	佐久間村長 (静岡県磐田郡)
北村 治久	52.04.01	日本著作権協議会幹事長
北村 勝蔵	52.03.11 03.15 07.27	弥八と同級、医学博士、第3代静岡県医師会会長
北村 竹治郎	52.01.04	
北村 一男	52.03.07	参議院議員 自由党
城戸 寛	52.08.19+	いも増産期成会結成会出席者 (岡山県)
鬼頭	52.07.26	
城所 啓	52.03.07 03.16 03.22 06.05	上狩野村長 (静岡県田方郡)
木下 辰雄	52.02.04 03.31 06.14	参議院議員 緑風会

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
木全 大孝	52.03.29 03.30 04.20	住職 浜松市議会議員 社会事業家
木村 久蔵	52.06.03	富士宮商工会議所副会頭 (静岡県)
木村 小左衛門	52.03.01	衆議院議員 民主党 第31代衆議院副議長
木村 武	52.01.29 02.14 02.15 02.21 02.23 02.27 03.05 03.29 06.06	経済調査庁監査部長
木村 弘太郎	52.02.07 02.23	建設省河川局砂防課長 元内務官僚
木村 武雄	52.04.30	水窪営林署長 (静岡県)
木村 篤太郎	52.01.19 01.29 01.30 02.04 02.09 02.12 02.14 03.19 03.29 05.10 06.25 06.26 08.01	法務総裁 行政管理庁長官 大正・昭和期の弁護士、政治家、剣道家
木村 守江	52.06.20	参議院議員、自由党
木村 遍	52.02.10 02.13	
木村	52.02.07 08.04 08.05 08.06	建設技官 建設省河川局砂防課木村正昭カ
金原 長松	52.04.06	笠原村 (静岡県小笠郡)
金原 舜二	52.01.24 02.05 02.14 03.04 03.18 03.24	参議院議員立候補落選 自由党 静岡県
金原	52.01.18 04.14	金原舜二カ
日下部 養一	52.02.02 03.08 03.24	ボーイスカウト静岡県連盟理事兼事務局長
草光 義質	52.08.06	弁護士 弥八の知人
楠瀬 常猪	52.06.20	参議院議員、自由党
楠 孝平	52.01.14 01.24 01.30	緑化会幹事、日本林業協会常務理事
楠見 義男	52.01.22 02.04 03.30 04.10 04.12 05.28 06.04 06.07 06.11 06.20 06.21 07.10 07.23 07.26 07.29	参議院議員 緑風会 元農林省官僚
久保田 陣太郎	52.04.08	由比町助役 (静岡県庵原郡)
久保田 養一	52.05.16	
熊村 昌一郎	52.03.03 03.10 04.30 06.04 06.16	熊村長 (静岡県磐田郡)
桑田 良太郎	52.05.18	
倉石 忠雄	52.07.29	衆議院議員 自由党
倉田 吉雄	52.06.12 06.13 06.16	林業専門家 『林業六法』執筆
倉田	52.01.30 06.06 06.27	専門員
倉田	52.07.01	博士 上記倉田と同一人物か不明
倉成 正	52.08.07 08.08 08.09 08.09+ 08.14+	長崎県企画室次長
倉橋 留吉	52.02.03	
栗林 千鶴子	52.05.23 06.01	秋田市
栗山 徳太郎	52.06.02	井川村長 (静岡県安倍郡)
栗栖 赳夫	52.06.03 06.11 06.20 07.11 07.17 07.19 07.23	参議院議員 自由党
樽林 良一	52.06.06	元菅谷村長 (静岡県榛原郡)
黒田 重兵衛	52.03.03 03.06	衆議院議員 憲政会 1924. 5
黒田 義晴	52.08.16+	長崎県教育委員会教育次長
黒田 吉郎	52.01.09	
顕徳院殿	52.03.12 06.05	田安德川家5代当主徳川慶頼
小出 邦太郎	52.03.26 03.27	鎮玉村長 (静岡県引佐郡)
香淳皇后	52.02.23 02.24 02.27 03.08 03.11 03.20 04.04	昭和天皇皇后
幸田 午六	52.01.22 01.24 01.30 02.27 02.27 02.28 03.24	林野庁林政部長
河野 一之	52.04.09 06.20	大蔵省主計局長 のち事務次官
甲良 とみ	52.02.29	参議院議員 緑風会 婦人運動家
郡 祐一	52.07.29	参議院議員 自由党
小久保 徳三郎	52.02.25	伊良湖岬村 (愛知県渥美郡)
小塩 孫八	52.01.05 01.08 02.20 03.04 04.11 04.18 04.19 05.28 07.03 07.04 07.27	安倍川工業創立、静岡福祉事業協会理事・評議員 静岡県育英会理事 静岡県勸善会理事長
古島 一雄	52.02.12 04.05 04.10 05.27 05.28 05.29 07.17	ジャーナリスト、元衆議院議員、元貴族院議員
小杉 良平	52.04.06	弁天島同胞寮 (静岡県) 寮長・主事補

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
古関 一郎	52.03.27	国鉄労組書記長、坂部村坂部 (静岡県榛原郡)
小平 権一	52.04.17 04.21 04.22	元農林次官、農林中央金庫監事
小寺 市雄	52.08.19+	笠岡市議会議員 (岡山県)
後藤 正夫	52.03.26	統計委員会事務局審査第二課長兼審査室長
後藤 文夫	52.03.26 04.14 04.22	参議院議員 (1953) 緑風会
小濱 八弥	52.04.18 05.08	人造米協会会長 元静岡県知事 (39-42年)
小林 準一郎	52.01.30 02.05 02.14 03.18 03.18	王子製紙(株)副社長 中央林業懇話会会長
小林 武治	52.01.08 03.24 03.25 03.26 03.30 04.03 04.09 04.14 04.15 04.16 04.18 04.21 04.22 04.24 04.27 04.30 05.01 05.07	官僚 静岡県知事 参議院議員立候補
小林 次郎	52.07.13	元参議院事務総長 元貴族院議員
小林 政夫	52.08.01	参議院議員 緑風会
小林 信祐	52.03.18	中央林業懇話会
小林	52.05.19	家政婦
駒形 作次	52.03.13	電気試験所田無分室長、工学博士
小室 鶴松	52.06.02 06.03	富士宮市長 (静岡県)
菰田 康一	52.06.27	元陸軍中將、静岡出身
小柳 直吉	52.01.04 06.01	報徳社農事講師 掛川市杉谷 (静岡県)
近藤	52.04.20	議長
近藤 久一郎	52.01.11	漁業協同組合専務理事、静岡県議会議員
近藤 伊平	52.04.26	静岡県医薬業組合長、静岡県議会議員
近藤 英明	52.02.05 02.19 02.27 03.20 03.28	参議院事務総長
西園寺 公望	52.02.13	元内閣総理大臣
西郷 吉之助	52.02.04 08.01	参議院議員 緑風会
齋藤 太郎	52.02.08	都田村長 (静岡県引佐郡)
斎藤 寿夫	52.01.14 02.07 03.03 03.08 03.11 04.04 04.08 04.10 04.09 04.16 04.17 04.18 04.21 04.24 05.03 05.05 05.06 05.27 05.28 05.29 06.04 06.15 06.16	静岡県知事 斎藤は誤記
斎藤 知一郎	52.04.12	大昭和製紙創業者、斎藤美英の父
斎藤 美英	52.04.12	大昭和製紙専務取締役 斎藤は誤記
斎藤 榮	52.08.09	対馬の旧家
斎藤 重美	52.04.14 04.17	静岡県自由党参議院議員立候補、後立候補辞退
三枝 元	52.03.04 03.04 03.22	上大見村 (静岡県田方郡) の人
酒井 実平	52.06.28	金谷町長 (静岡県榛原郡)
酒井 勝一	52.06.24	長崎県主事
酒川 達雄	52.05.03	熊切村助役 (静岡県周智郡)
坂田 英一	52.04.16 07.04	不明 芋関係
坂中 建市	52.04.30	山香村長 (静岡県磐田郡)
坂西 志保	52.06.18	外務省常任委員会専門委員
坂野 鉄次郎	52.04.13 04.14 04.19 04.23	元通信官僚、元貴族院議員
坂本 輝太郎	52.08.19+	笠岡市議会議員 (岡山県)
坂本	52.01.30	林野庁事務官
勾坂 佐一	52.06.12	二俣町長 (静岡県磐田郡)
桜井	52.05.26	御茶の水医科歯科大学歯科治療室医師
佐々井 信太郎	52.01.15 02.03 02.17	元大日本報徳社理事 一円融合会理事長
佐々井 典比古	52.02.17 02.24	大日本報徳社理事 佐々井信太郎の子
佐々木 栄一	52.03.13	機械試験所本所長
佐々木 喜久治	52.01.30	地方自治庁事務官
佐々木 孝男	52.05.30	労働省官僚
佐々木 良作	52.06.04 06.13 06.21	経済安定委員長 参議院議員、第一クラブ
笹山 忠夫	52.02.14	森林資源総会对策審議会会長
笹山 茂太郎	52.04.22	衆議院議員 改進黨 元農林事務次官
指形 重吉	52.06.18	熊本県砂防協会支部長阿蘇郡宮地町長
佐田 友三郎	52.03.22	静岡県議会議員、上狩野村湯ヶ島

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
佐竹 義栄	52.05.30	元侯爵 元貴族院議員
定松 辰見	52.08.08	長崎県企画室主事
左藤 義詮	52.06.03	参議院議員 自由党
佐藤 東	52.02.07 02.27 02.28 02.29 03.10 03.11 03.16 06.03 05.27 07.30	富士山本宮浅間神社宮司
佐藤 栄作	52.03.14	衆議院議員 自由党 郵政大臣 電通大臣
佐藤 勝也	52.08.07	長崎県副知事
佐藤 喜一郎	52.06.17 06.20	銀行家、帝国銀行頭取、のち三井銀行社長、会長
佐藤 助九郎	52.02.15 06.15 06.21 06.26 06.29 07.07 07.21 07.31 08.07	総合建設会社佐藤工業株式会社創業者
佐藤 照雄	52.07.02 07.03	国鉄調査官
佐藤 虎次郎	52.03.08	衆議院議員 自由党
佐藤 尚武	52.02.05 02.22 02.23 03.05 03.06 03.07 03.28 03.31 05.16 05.27 06.19 06.25 06.27 06.28 06.30 07.01 07.02 07.30	緑風会 参議院議員 参議院議長
佐藤 信淵	52.04.06	江戸時代の思想家
佐藤 保武	52.08.19+	普及所 (いも優良種子普及カ) (岡山県)
眞田 登	52.06.16	運輸省自動車局営業部長
佐野 善作	52.05.11	東京商科大学初代学長
佐野 寅雄	52.04.21	静岡県漁業協同組合連合会会長
澤地 敏郎	52.04.09	熱海市会議員 (静岡県)
澤野 栄太郎	52.05.16	静岡県引佐郡鎮玉村住人
澤野 太郎	52.05.06	静岡市住人カ
澤村 久右衛門	52.03.29 03.30	静岡福祉事業協会評議員
塩島 金一郎	52.01.14 01.22 02.01 02.11 02.27 03.02 03.04 03.05 03.17 06.05 06.18	静岡育英会主事
塩島夫人	52.06.18	塩島金一郎夫人
執行正作	52.08.11+	豊崎町営病院主事 (長崎県上県郡)
重田 光晴	52.03.08	静岡新聞社社長 ジャーナリスト
志田 収	52.03.20 04.08 07.16 07.18	由比町治山関係対策委員 (静岡県庵原郡)
司馬 鼎甫	52.03.15	静岡市内医師
柴田 以代子	52.07.21	柴田達夫母親
柴田 善三郎	52.06.19	元内務官僚 元貴族院議員 静岡県出身
柴田 達夫	52.07.24 07.27	国家地方警察本部総務部長
柴山 重一	52.04.06 05.31 08.03	元陸軍中將
渋澤 敬三	52.04.18	経済団体連合会相談役 財界人 民俗学者
島 五郎	52.03.13	東京工業試験所本所長、理学博士
島井 清太郎	52.08.10+	峰村長 (長崎県上県郡)
島田 昇	52.08.16+	長崎県澱粉協会常務
島村 軍次	52.03.14	参議院議員 緑風会 農林省政務事務官
清水 敏治	52.07.16 07.18	由比治山事務所長 (静岡県)
清水 兵一郎	52.01.11	焼津市長 (静岡県)
志水 主計	52.08.19+	いも増産期成会結成会出席者 (岡山県)
下條 康麿	52.04.23	緑風会結成メンバー 翌年参議院議員 文部大臣
昭和天皇裕仁	52.02.21 02.23 03.08 03.11 03.20 04.04 05.28 05.29 06.02 06.03 06.05 06.06	天皇
白石 嘉藏	52.08.08	長崎県水産課技師
白波瀬 米吉	52.07.10 07.13	参議院議員 自由民主党
新谷 寅三郎	52.03.31 04.16 07.13	参議院議員 緑風会代表
榛葉 勇次郎	52.01.20	静岡銀行行員
榛葉 元水	52.02.26	谷田川報徳社 (静岡県榛原郡初倉村) 初代理事社長 良之助祖父
榛葉 良之助	52.01.12 02.26	大日本報徳社理事 谷田川報徳社理事社長
榛葉 康子	52.05.13	東京都目黒区の人

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
杉田 正三郎	52.01.23 01.29 01.31 02.13 02.16 02.29 03.01 03.13 04.12	常任委員会専門員
杉橋 渉	52.08.05	鳥取県砂防課長
杉村 七太郎	52.03.11	弥八と同級、医学博士、秋田県立病院長
杉本 恒夫	52.05.03	熊切村長（静岡県周智郡）
杉本 荘一郎	52.01.11	静岡県榛原郡坂部村の人
杉森 正一郎	52.07.05	土方村助役（静岡県小笠郡）
杉山 甕男	52.03.17 03.20 05.19 05.28 06.18	静岡育英会理事 理事（故人）
杉山 喜美子	52.05.29	杉山甕男未亡人
杉山 茂	52.03.20 05.19 06.19	杉山甕男の子息
杉山 昌作	52.02.04 03.26 05.29 07.07	参議院議員 緑風会
杉山 東一	52.03.01 03.09 04.10 05.13 06.04	農林事務官
杉山 祐作	52.03.15	
杉山	52.03.04	（農林省）競馬部事務官
鈴木 章夫	52.01.31 02.20 03.02	榛原地方事務所長（静岡県）
鈴木 邦三	52.05.13	大工
鈴木 賢一	52.01.06	大日本報徳社参事
鈴木 信一郎	52.04.07	元海軍中佐
鈴木 甚一	52.05.01	浜松商工会議所副会頭
鈴木 信太郎	52.03.21	画家か仏文学者か確定しがたい
鈴木 恭一	52.04.16 05.22	参議院議員 自由党
鈴木 千尋	52.06.01	
鈴木 恒雄	52.01.10	静岡県衛生部予防課
鈴木 俊一	52.07.06	地方自治庁次長
鈴木 直人	52.01.22 02.06	参議院議員 緑風会会務委員
鈴木 直人	52.04.29 04.30	前水窪町長（静岡県磐田郡）
鈴木 二平	52.03.05 03.06 07.08	弥八妻要の甥 土肥町（静岡県田方郡）
鈴木 八郎	52.06.03	田原村報徳青年会会長（静岡県磐田郡）
鈴木 寛	52.05.08 05.18 06.04	醸造会社力
鈴木 文史朗	52.02.28	緑風会 参議院議員 新聞記者、評論家
鈴木 弥四郎	52.01.12 02.03	東萩間報徳社社長（静岡県榛原郡）
鈴木 弘	52.01.23	静岡女子短期大学初代学長
鈴木 洋子	52.01.27 07.08	弥八親族 妻要姪
鈴木 与平	52.03.15	7代目 鈴与社長（静岡県清水市）
鈴木 文吉	52.04.17 05.06	静岡県選挙管理委員長
鈴木	52.02.23	全国治水砂防協会顧問 名前確定しがたい
鱸 正太郎	52.05.18	静岡大学文理学部教授（法学）
住山 徳太郎	52.04.11	元海軍中將
陶山 庄右衛門 鈍翁	52.07.16 08.11 08.09+ 08.11+	対馬府中藩郡奉行 木下順庵門下
関屋 正彦	52.06.10	関屋貞三郎長男
関屋 貞三郎	52.06.10	元貴族院議員 元宮内次官 元静岡県知事
関屋 衣子	52.06.10	関谷貞三郎夫人
千賀 康治	52.01.30	衆議院議員 自由党
仙石 久英	52.06.06	元子爵
曾祢 益	52.02.06	衆議院議員 右派社会党
高尾 亮一	52.02.13 02.18 03.20 06.10	宮内庁秘書課長 宮内庁文書課長
高尾	52.03.07	（宮内庁）事務官
高崎 徳雄	52.02.19 02.20 02.22	静岡市助役
高瀬 荘太郎	52.02.07 02.27 02.28 02.29 03.18 03.19 03.20 03.31 04.06 04.07 05.11 05.24 06.02 06.21 07.05 07.19 07.30 07.31	郵政大臣 参議院議員 緑風会政務調査会長 一橋大学名誉教授 静岡育英会理事
高田 信一	52.08.07 08.08	長崎県企画室主査
高館 義雄	52.01.10	国立療養所天竜荘庶務課長
高塚 栄一	52.07.05	土方村議会議長（静岡県小笠郡）

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
鷹司 信輔	52.02.08	神社庁理事長 鳥類学者 元貴族院議員
高津戸 益美	52.08.08	長崎県林務課長
高橋 栄一郎	52.03.10	可美村長 (静岡県浜名郡)
高橋 権六	52.01.30	衆議院議員 自由党
高橋 信	52.03.22	博士
高橋 衛	52.07.17 07.18	国税庁長官 大蔵官僚
高橋 道男	52.06.04	参議院議員 緑風会
高橋 龍太郎	52.04.15 04.27 05.05	参議院議員 緑風会 通産大臣
高橋	52.03.31	国会議員 道雄か龍太郎か判別しがたい
高橋	52.08.14+	対馬座談会参加者
高林 辰雄	52.04.06	北浜村議会議長 (静岡県浜名郡)
高平 勇	52.03.19 04.20 07.10	
高松宮宣仁親王	52.02.20 05.05	昭和天皇の弟
高見 三郎	52.02.29 03.08 03.09 03.17 04.17 04.24 05.05 05.06	静岡県副知事 衆議院議員
高村 禪雄	52.06.13	報徳社関係カ
瀧川 一栄	52.04.25	井川村議会議長 (静岡県安倍郡)
滝口 定一	52.03.22	伊東土木工営所長
田口 元重	52.08.08	対馬支庁総務課主事
田口 英太郎	52.05.06	静岡県出納長
竹内 懋	52.08.06	砂防協会島根県副支部長
竹内	52.03.08	
竹下 豊次	52.01.22 01.24 01.30 02.05 02.13 02.21 03.13 04.16 05.22 06.20 07.10 07.26 07.30 07.31 08.02	参議院議員 緑風会 労働政務次官
武田 茂六	52.04.30	浦川町長 (静岡県磐田郡)
竹中 節雄	52.02.07	榛原郡徳山村村長 (静岡県)
武見 次郎	52.03.21	伊東市教育委員(1952. 10) (静岡県)
武見 太郎	52.03.22	武見次郎の誤記カ
竹村 啓三郎	52.03.06	静岡県議会議員 入野村 竹村啓太郎息
竹村 啓太郎	52.03.06 03.07	静岡県議会議員 入野村
竹村 政清	52.06.28	静岡県議会議員補欠選挙 (浜名郡) 候補、自由党
竹山 祐太郎	52.04.10 04.14 04.15 04.16 04.20 04.27 04.29 05.11 06.20	衆議院議員、改進黨・静岡三区
田子 一民	52.02.20 02.23	全国社会福祉協議会々長 全国治水砂防協会顧問
田島	52.01.26	厚生省事務官 名前確定しがたい
多々良	52.08.14+	対馬座談会参加者
館 哲二	52.02.09 02.11 02.15 07.07 07.30 08.01	参議院議員 無所属 緑風会
伊達 源一郎	52.02.04 03.30 08.04 08.06	参議院議員 緑風会
立石 新吉	52.08.08	長崎県水産試験場長 理博
館林 一也	52.03.18 03.23 05.24 07.22	弥八孫 長女マス長男
館林 成也	52.03.26 05.24 07.22	弥八孫 長女マス次男
館林 マス子	52.01.30 02.09 02.11 02.17 02.27 03.10 03.16 03.18 03.26 03.27 05.23 05.24 05.29 06.10 06.13 06.16 06.19 06.22 07.08 08.02	弥八長女、重友姉 正式にはマス 館林三喜男夫人
館林 三喜男	52.01.27 02.05 05.18 05.21 05.24 06.12 07.07 07.17 07.20	佐賀県副知事 (8月8日まで) 衆議院議員 (10月1日より) 弥八次女マス婿
館林 葉子	52.03.16 03.18 05.18 05.23 05.24 06.22 08.03	弥八孫 長女マス長女
田中 栄一	52.03.14	第61代警視總監
田中 円三郎	52.08.16+	長崎県教育委員会教育長
田中 次郎	52.01.22 06.11	東京大学法学部教授 行政法学者
田中 宋太郎	52.01.06	『精練二宮尊徳』著者
田中 太次郎	52.03.11	静岡市議会議員 (静岡県)

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
田中 武雄	52.03.21 06.18	元貴族院議員
田中 保	52.04.27	沼津市議会議員 (静岡県)
田中 長茂	52.04.20 05.24 07.06	宮崎県知事 戦前の革新官僚 (農商務省)
田中 一	52.05.30 07.09 07.28	参議院議員 日本社会党 建設委員会理事
田中 好	52..02.23 03.12 03.19 04.16 05.07 05.21 06.18	全国治水砂防協会監事
田中 正美	52.08.11+	国家地方警察長 崎県上県地区警察署長
田中 靈鑑	52.06.06	正林寺 (静岡県小笠郡南山村) 住職
田中	52.05.26	軍人恩給復活期成会代表
田中	52.04.26	自由党安静地区選挙副委員長
田中館 愛橘	52.05.26	地球物理学者 元東京帝国大学教授
棚橋 小虎	52.02.06	衆議院議員 右派社会党
田部 長右衛門	52.08.04	23代田部長右衛門カ 大山林地主 実業家 政治家
田部	52.08.04	22代田部長右衛門カ 大山林地主
田辺 三郎平	52.01.18 05.03	大日本報徳社顧問 森報徳館館長
谷口 三郎	52.05.30	建設省関係各府県代表 日本建設機械化協会会長
谷口 順一	52.08.04	三和建設社長
田畑	52.02.21	宮内庁侍従職事務官 名前確定しがたい
田平 一郎	52.08.08	対馬支庁経済課長
田村 文吉	52.01.30 02.14 03.19	参議院議員 緑風会 北越製紙社長 元郵政大臣 元 電通大臣
千葉 信	52.06.14	参議院議員 社会党
長 信楽	52.08.16+	長直人関係者
長 世吉	52.07.30	選挙管理委員 緑風会推薦者 元貴族院書記官長
長 直人	52.08.16+	久田村長 (長崎県下県郡)
塚野 清一	52.03.07	新潟県議会副議長
塚本 重治	52.02.29	塚本重治の誤記カ
塚本 三	52.06.14	名古屋市長 元衆議院議員
塚本 孫衛	52.02.02	ボーイスカウト 静岡県連盟理事
次田 大三郎	52.01.30 02.06 02.13 02.23 03.05 03.12 03.19 03.26 04.09 04.16 05.07 06.11 06.18 07.23 07.30	首都建設委員会委員 元貴族院議員 元法制局長官 全国治水砂防協会顧問
辻 勝則	52.08.19+	いも増産期成会結成会出席者 (岡山県)
蔦ヶ谷 龍太郎	52.01.17 03.10 03.14 .04.18 05.11 05.18 07.02 07.03	小笠郡掛川町長 小笠郡町村会長 (静岡県)
土屋 香鹿	52.08.07	福岡県副知事
土屋 竹次郎	52.02.22	稲梓村 (静岡県賀茂郡)
堤 伝平	52.03.07 03.22 06.05	仁科村長 (静岡県賀茂郡)
常岡 一郎	52.04.27 07.11	参議院議員 緑風会
角皆 文子	52.06.19	弥八妹
角皆 源一	52.06.01	静岡県小笠郡掛川町板沢の人
角皆	52.01.06	
椿 繁夫	52.04.14	参議院議員 社会党左派
坪井 貞次	52.01.06	浜松市議会議員、副議長
坪上	52.04.20	
坪川 信三	52.04.22 04.24	自由党副幹事長
津村	52.03.24	静岡県議会議員津倉彦次 (浜松) の誤カ
貞恭院殿	52.03.12	徳川家達の妻 1944年没 寛永寺
貞明皇后	52.05.17	大正天皇の皇后
手塚 誠	52.02.14	弁護士
寺尾 豊	52.06.30	参議院議院運営委員長 参議院議員 自由党
寺田 美佐久	52.01.12	大日本報徳社 農事講師
土居 明夫	52.02.15	大陸問題研究所長 元陸軍中將
當間 重民	52.02.12	同成会員 那覇市長 (沖縄県)

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
徳川 家正	52.01.14 01.22 01.24 02.07 03.06 02.11 02.19 02.22 02.23 03.05 03.12 03.22 03.26 03.29 03.30 03.31 04.09 04.10 05.07 05.28 06.04 06.18 06.19 07.08 07.23 07.30	徳川宗家第17代当主 全国治水砂防協会会長 静岡育英会総裁 静岡福祉事業協会顧問 弁天島同胞寮（静岡県）財団顧問
徳川 宗敬	52.01.30 02.04 02.11 02.14 03.07 04.16 08.01	参議院議員 緑風会 林学者
徳川 慶久	52.01.08	徳川慶喜七男 元貴族院議員 第一銀行取締役
徳川 義寛	52.02.27 05.24	天皇侍従
徳田 政信	52.05.24	吉原市高等学校教員（静岡県）
徳田 由太郎	52.06.12 07.03	浜松市議会議員（静岡県） 濱田は誤記
戸田	52.05.25	歯科医
戸塚 九一郎	52.01.20 03.02	衆議院議員 自由党 重一郎兄 大日本報徳社名誉講師
戸塚 建	52.01.01 01.17	戸塚重一郎長男 平喜二代社長
戸塚 重一郎	52.01.01 01.03 01.17 01.21 01.23 01.28 02.16 02.24 03.02 04.15 04.18 04.21 04.25 05.11 05.13 06.06 06.12 06.13 07.17	酒造業、平喜初代会長 九一郎弟
戸塚 実	52.01.12	静岡県立榛原高校教員
戸塚 民平	52.06.13	平田村長（静岡県小笠郡） 大井川用水組合代表
戸巻 俊一	52.05.05	日本ボーイスカウト静岡県連盟役員
富岡 盛彦	52.02.08	深川富岡八幡宮宮司（東京都）
富永	52.04.08 06.24	静岡県由比治山事務所長 技官
友田 元效	52.05.25	
豊田 喜一郎	52.04.01	豊田機械豊田自動車会社相談役
鳥居 幸子	52.03.26	鳥居政幸葬儀の喪主
鳥居 政幸	52.03.26 06.16	静岡市
内藤 友明	52.04.22	改進黨代議士
内藤 惣一	52.04.28	静岡県弁護士会長
猶原 恭爾	52.01.30 01.31 05.09 08.08 08.09+ 08.14+	日本山地酪農創始者 資源科学研究所研究員
中井 一郎	52.07.26	神奈川県議会議員 砂防支部副長
中井 光次	52.05.19	大阪市長 静岡県出身 静岡県育英会理事
永井 純一郎	52.06.04	参議院議員 社会党
中川 幸平	52.05.22 05.28 05.30 07.26 07.29	参議院議員 自由党
中川 融	52.07.10	行政管理庁管理部長
中川 以良	52.06.04	参議院議員 自由党
中島 清市	52.06.06	菊川町立菊川西中学校校長（静岡県小笠郡）
中島 健蔵	52.04.01	日本作家組合
中島 龍一	52.08.05 08.06	島根県議会議員 砂防協会島根県支部長 中田龍一は誤記
中嶋 定吉	52.01.06 02.03	愛知県碧海郡常磐村（額田郡の誤り） 報徳社
長島銀蔵	52.03.25	参議院議員 自由党
永田 龍之助	52.01.30 03.18	東京大学教授
中田 政美	52.08.05	衆議院議員 自由党 建設次官 砂防協会支部（鳥取県）顧問
中田 龍一	52.08.05 08.06	中島龍一の誤記
中田 吉雄	52.06.05	参議院議員 社会党
中田 騷郎	52.02.20	社団法人救護会設立 弁護士
中谷 芳邦	52.07.31	
永積 寅彦	52.05.24	天皇侍従
中西	52.05.12	長官
永沼 真二	52.03.01	経済保安課長警視
中野 智蔵	52.01.25	公益質屋
長野 宇恵茂	52.05.06 07.06	相良町長（静岡県榛原郡）
中村 円一郎	52.01.11 01.20	実業家 貴族院議員円一郎の子（秀平から襲名）
中村 健治	52.01.10	国立療養所天竜荘荘長

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
中村 幸八	52.02.27 03.04 03.18 03.26 04.03 04.12 04.13 04.14 04.15 04.16 04.17 04.20 04.22 04.24 05.07 06.18 06.20 06.28	衆議院議員 自由党・静岡三区
中村 竹次郎	52.05.21	浜名郡自由党支部長 静岡県議会議員
中村 達一郎	52.02.24	大日本報徳社理事 浜松報徳館館長 浜松酒造社長
中村 正雄	52.05.21	中村竹次郎嗣子
中村 幸子	52.05.24	藤波次男と結婚 円一郎娘 貴族院議員円一郎孫
中村 豊	52.06.16	運輸省自動車局長
中村 与資平	52.05.25 05.29	建築家
中村	52.05.01	中村氏義弟 静岡県浜松住
長安 海六	52.08.19+	農協会長 (岡山県)
中山 一蔵	52.08.01	中山博嗣 桜木森林組合製材部関係カ
中山 吉平	52.01.05 01.06 04.26 05.06 05.18 06.15	静岡県議会議員 自民 (小笠郡)
中山 純一	52.01.02 02.03 02.26 04.18 06.03 06.08	大日本報徳社理事 元農学校・農業高校教員・校長
中山 寿彦	52.01.25	日本医師会4代会長 参議院議員 国務大臣
中山 均	52.01.24 03.17 03.18 04.10 05.19 05.28 06.29 07.04	静岡銀行頭取 日銀政策委員 静岡県親和会初代会長 静岡福祉事業協会理事
中山 博	52.08.01	
中山 福蔵	52.04.11	参議院議員 自由党
半井 清	52.06.19	元内務官僚
名取 栄一	52.04.27 05.08	沼津信金創設 静岡県沼津政財界の重鎮
鍋島	52.04.20	
奈良 英二	52.05.03	宮林署長 (静岡県周智郡気多村)
成瀬 幡治	52.02.13 04.16 05.28 05.29 06.05 06.11 06.21 07.24	参議院議員 自由民主党
南江 治郎	52.02.05	日本放送協会理事
西 幸太郎	52.04.05	日昭ピッチコーク株式会社代表
西尾 末広	52.02.23	衆議院議員 右派社会党 全国治水砂防協会顧問
西岡 竹次郎	52.08.09+	長崎県知事
仁科 太郎	52.02.02 03.08 04.08 04.11 05.06 06.15 07.18	静岡県土木部長
西村 直己	52.03.17 03.18 04.16 04.20 04.26 05.07 05.24 05.27 06.03 06.06 07.30	衆議院議員 大蔵政務次官 自由党 静岡選挙区
西山 亀七	52.03.14	参議院議員 自由党
西山 清	52.06.27	静岡県経済部長 石川は誤記
仁藤 新作	52.06.12	静岡県酪農協連専務理事
二宮 尊徳	52.04.06 06.12 06.13	報徳思想の形成と仕法の体系化 通称金次郎
荷見 安	52.04.10 04.12 04.13	元農林次官、日本銀行政策委員会委員
丹羽 雅次郎	52.01.24 01.30 02.21	林野庁経済課長
庭山 慶一郎	52.03.18	国税庁資産税課長
根道 廣吉	52.05.13 05.15	調達庁長官 行政官
野澤 英太郎	52.03.26 03.27	
野末 菊之助	52.04.25	報徳社関係
野末 里平	52.04.07	大日本報徳社監事
野田 卯一	52.01.14 01.29 02.05 02.08 02.23 02.28 03.18 03.19 03.20 03.29 05.22 05.28 06.04 06.09 06.19 06.21 06.28 07.05 07.08 07.10 07.17 07.19 07.20 07.21 07.29	建設大臣兼北海道開発庁長官兼行政管理庁長官 参議院議員 自由党 元大蔵官僚
野田 俊作	52.03.07	参議院議員 緑風会
野々村 浩	52.08.07	松江市保険部長 (島根県) 元会計審査官
野原 正勝	52.02.14 02.27 04.03	衆議院議員 自由党 農林政務次官
野村 嘉六	52.01.23 02.20 03.19	弁護士 元貴族院議員、元衆議院議員
野村 儀平	52.05.20 05.21	諫早市長 (長崎県)
袴田 銀蔵	52.01.02	『大日本報徳社沿革史』『報徳家略伝』著者

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
萩嶋 酉三	52.01.31	古谷村酪農協組合長 (埼玉県入間郡)
橋本 清之助	52.04.14	元貴族院議員 日本電力経済研究所常任理事
橋本 伝左衛門	52.04.19	京都大学教授、農学
橋本 富貴良	52.05.07	参議院議員立候補者 左派社会党
橋本 龍伍	52.01.14 01.19 05.27	衆議院議員 自由党 厚生大臣 元大蔵官僚
長谷川 清	52.01.30	農林省畜産局長
長谷川 浩	52.08.08 08.09+ 08.14+	農林省九州農業試験場作物第二部長・技官
長谷川 保	52.01.10 02.11 02.20	聖隷事業団 (静岡県) 創設 衆議院議員 社会党
畠山	52.04.17	衆議院議員畠山鶴吉カ
波多野 鼎	52.05.06 06.11 07.23 07.24	参議院議員 社会党右派
初見盈五郎	52.02.29	引揚援護庁第二復員局残務処理部長 元海軍大佐
羽生 三七	52.01.25	参議院議員 左派社会党 社会運動家
羽原 保	52.08.19+	岡山県指導連
濱田 由太郎	52.07.03	濱田は徳田の誤記
早川 孝太郎	52.08.08 08.09+ 08.10+	石黒議員秘書
林 譲治	52.04.03 04.04 08.01 08.10+	衆議院議員 自由党 衆議院議長 元厚生大臣
原 榮作	52.04.08	静岡県医師会 第4代会長 衆議院議員
原 大平	52.05.31	静岡市嘱託 飯田英作の弟
原川 角太郎	52. 02.24 04.07 05.11	静岡県掛川の人
原川 夫人	52.05.02	小笠原農協婦人役員会会長 佐倉村 (静岡県)
原田 二郎	52.05.24 05.31 06.03 06.04	元陸軍少将原田次郎
原田 武雄	52.06.18 07.08	浜名町 (静岡県浜名郡) 住人
東久世夫人	52.07.17	
東辻 正夫	52.01.30	農林事務官 (大臣官房総務課長)
比田勝 雋	52.08.11+ 08.12+	豊崎町長 (長崎県上県郡)
一杉 藤平	52.04.27	弁護士
一松 定吉	52.03.21 06.03 07.26	参議院議員 全国治水砂防協会理事 改進黨 民主クラブ 法務委員
一松 政二	52.01.25	参議院議員 自由党
平岩 美江	52.07.12 08.03	河井家お手伝い 西山口成滝 (静岡県小笠郡) 出身
平岡 市三	52.03.20 03.25 03.29	参議院議員 自由党
平川 守	52.02.14 02.27 03.04 03.24	農林省農地局長
平古場 多四郎	52.08.16+	対馬高校校長
平田 類右衛門 喬信	52.08.11+	対馬府中藩家老 農業・治水に尽力
平田	52.08.12+	豊崎町会議員 (長崎県上県郡) 平間の誤りカ
平塚 三四郎	52.05.03	犬居町助役 (静岡県周智郡)
平沼 彌太郎	52.06.10	参議院議員 自由党 大蔵委員会委員長 銀行家
平野 三郎	52.02.14 03.04	衆議院議員 自由党
平野 繁太郎	52.02.02 08.02	静岡銀行頭取 日銀政策委員会委員 静岡育英会理事
平野 敏	52.06.28 07.16 07.18	由比町長 (静岡県庵原郡)
平野 雅子	52.04.01	静岡県磐田郡富岡村の人
平野	52.07.26	調査員補
廣川 弘禪	52.03.06 04.12 04.16 05.27 06.10	衆議院議員 自由党 農林大臣
廣瀬 修道	52.03.29 03.30 04.18 04.19 .04.21 07.27	静岡市議会議長 自由党 静岡県親和会監事
廣瀬 直行	52.03.17 03.20	廣瀬素行の子息
廣瀬 素行	52.03.17 03.20	報徳社元監事
廣瀬 与兵衛	52.06.20	参議院議員 自由党
ブース	52.04.20	英人
深川たまエ	52.05.16	深川タマエ 参議院議員 民主党
深澤 鑛二	52.02.11 03.29 04.07 07.27	静岡福祉事業協会常務理事
深田 武雄	52.08.04 08.05	元貴族院議員 元鳥取県議会議員
福田 鶴松	52.08.11+	国家地方警察長崎県下県地区署長警視
福永 瑛	52.08.08	長崎県企画室技師
藤井 小太郎	52.08.19+	いも増産期成会結成会出席者 (岡山県)
藤井 静一	52.05.02	社会事業家 報徳思想

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
藤井 照二	52.05.02	静一の孫
藤井 米三	52.08.08 08.09+ 08.10+ 08.14+	国民経済研究協会理事
藤江 喜重	52.04.27 05.03	静岡県議会議員
藤枝 安男	52.08.19+	いも増産期成会結成会出席者 (岡山県)
藤田 久蔵	52.01.06	報徳農学塾 (1947) 塾歌作詞
藤田 訓二	52.04.06 04.07 04.10 06.10	静岡県自治講習所主事 大日本報徳社名誉講師
藤田 友作	52.01.08 01.10 01.11 01.12 01.31 03.13	内閣常任委員会専門員
藤田 久四郎	52.04.20 04.21 04.28	
藤田 義光	52.01.31	衆議院議員 地方自治政務次官
藤永 元作	52.08.08 08.09+	水産庁調査研究部長 農学博士
藤波 収	52.06.13	北海道電力社長
藤波 善郎	52.01.11	静岡県土木部港湾課技師
藤波	52.05.24	収次男 (日記は長男と誤記) 中村円一郎娘と結婚
藤野 繁雄	52.01.24 02.29 03.14 04.03 06.06 08.08 08.09+ 08.10+ 08.11+	参議院議員 自由党 政務次官
藤野 徳雄	52.01.31	埼玉県庁畜産課技師
藤野 保	52.08.08 08.09+	藤野繁雄子息 藤野議員秘書 郷土史研究者
藤巻 宗吉	52.04.11	北山村 (静岡県富士郡) 、農業委員、営林委員
藤村	52.07.20	建設大臣秘書官
藤森	52.06.04	佐久間線布設促進陳情
藤原 正治	52.01.08 03.25 05.11	静岡県副知事
藤原 義久	52.03.03 03.21 03.22	伊東報徳社設立者 (静岡県)
藤原	52.04.21	藤原夫人
古川 秀夫	52.08.08 08.09 08.11+	対馬支庁農地開拓課長
古里 和夫	52.01.22	植物学者 農博 興農学園理事
古里 供	52.08.11+	豊崎町会議員 (長崎県上県郡)
古瀬 恵三郎	52.03.21	長伏報徳社長 (静岡県) 報徳社三島出張所主事
古田 駒次	52.02.05	外務省勤務
古野	52.04.20	
古屋 安治	52.08.11+	国家地方警察長崎県本部総務部長警視
平間 芳介	52.08.11+	対馬総町村組合会議員
星野 芳郎	52.07.20	東化工会社常務
保住 きね子	52.05.19	
細井 篤郎	52.04.20 05.31	遺家族及元軍人生活擁護連盟委員長 元陸軍大佐
細井	52.04.18	
堀 悟	52.08.07	福岡県砂防課長補佐
堀 悌吉	52.02.29	元海軍中將
堀	52.04.13 05.25 06.29 07.13	医師
堀	52.04.22 04.23	保利茂の誤記
保利 茂	52.02.04 03.18 04.22 04.23 04.24 05.14 05.16 05.23 05.24 06.18	衆議院議員 内閣官房長官 自由党
堀江 清一	52.04.10 05.16	弁天島同胞寮 (静岡県) 理事長
本田 静六	52.02.08	林学博士 造園家
前田 清	52.08.16+	長崎県澱粉協会主事
前田 穰	52.02.04	参議院議員 緑風会
槇田 弥太郎	52.03.22	静岡県伊東市の旅館観水荘主人
牧野 良三	52.02.13 05.14	全国治水砂防協会理事 弁護士 前衆議院議員
孫田 良平	52.05.30	労働省専門調査官など
増井 慶太郎	52.08.16+	実業家 静岡商工会議所会頭
増田 甲子七	52.03.18 03.26 04.22 04.23 05.07 05.27 05.28 06.04 06.28	衆議院議員 自由党幹事長
増田 茂	52.01.08 02.19 02.20 02.22 04.17 04.26	静岡市長
増田	52.05.07	増田甲子七夫人
益谷 秀次	52.04.15 04.16 04.17 04.22 04.23 05.07	衆議院議員 自由党総務会長
増成 匡雄	52.08.19+	いも増産期成会結成会出席者 (岡山県)

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
町田 徳之助	52.05.13	東京人絹㈱社長
町村 敬貴	52.03.31	元参議院議員 緑風会
松井 三郎	52.02.13 05.19	静岡育英会理事
松浦 規	52.08.16+	長崎県議会議員
松浦 久治	52.01.03 01.05 06.15 06.24 06.28 07.03	曾我村長 (静岡県小笠郡)
松浦	52.02.03	報徳社助手 名前確定しがたい
松尾 英俊	52.08.08	長崎県農業試験場技師
松木 金蔵	52.04.26	元静岡市議会議長
松崎	52.01.14 02.09 03.12 06.11 07.10 07.11 07.18 08.02	弥八用自動車運転士 名前確定しがたい
松島 舜治	52.06.28	静岡県議会議員補欠選挙 (浜名郡) 候補、無所属
松平 勇雄	52.03.19	参議院議員 自由党
松平 恒雄	52.05.22	参議院議員 第一クラブ
松平 康昌	52.06.05	式部官長
松永 安左衛門	52.05.26 06.13	「電力王」財界人 実業家
松野 弘	52.04.29	下阿多古村議長カ (静岡県磐田郡)
松原 一彦	52.05.16 06.06 06.18 06.28 07.26 07.29	参議院議員 改進黨
松村 光麿	52.03.23	報徳経済学研究会会員
松村 眞一郎	52.07.30	元参議院議員 緑風会
松本 勝太郎	52.02.06 02.09 06.11 07.30	元貴族院議員 実業家
松本 堅三郎	52.06.24 07.01	『甘藷救国論 増産と加工』1948の著者カ
松本 俊一	52.06.11	外務官僚 駐英大使
松本 昇	52.06.04	参議院議員 自由党
松本 良香	52.08.08	対馬支庁水産課長
馬淵 真蔵	52.06.28	静岡県議会議員補欠選挙 (浜名郡) 候補、自由党
丸尾 謙二	52.01.17 01.18 01.19 01.21 01.22 02.03 02.07 03.17 04.26	静岡県議会議員 組合立池新田農学校初代校長
丸亀 秀雄	52.03.04	長崎県漁連会長
丸山 方作	52.02.25 03.02 07.01	農業技術の普及指導、さつまいも増産技術 大日本報徳社農事講師 新城町石名
丸山 鶴吉	52.04.23 05.27 07.21	元警視總監 元宮城県知事
三浦 辰雄	52.02.13 02.14 04.04	参議院議員 無所属 緑風会
三浦 安蔵	52.02.12 04.16 06.11 07.18	
三浦 善郎	52.06.13	農林事務官 (農地局経済課)
三浦	52.04.20	
三木 武夫	52.04.16	改進黨幹事長
三木 治朗	52.06.28 08.01	参議院副議長、社会党
三上 陽三	52.03.17 04.24 04.29 05.06 05.11	静岡県議会議員 自由党静岡県支部幹事長
三島 通陽	52.03.07 04.26 05.04 05.05 05.16	ボーイスカウト総裁 (総長)
三島 藤太	52.08.07	砂防協会福岡県支部長 弁護士 三嶋は誤記
三島 直子	52.03.30 05.31 06.03	弥八の三女なほ
三島 甫	52.03.20 06.17	弥八三女直子の夫
三島 実	52.03.18	岡山県倉敷市の人
水野 彦治郎	52.02.02 07.07	衆議院議員 無所属
水野 政治	52.04.19 04.27 05.03	静岡県議会議員 大日本報徳社理事
水野	52.01.17 05.11	水野彦治郎と同一か不明 名前確定しがたい
水橋 藤作	52.06.05 06.28	参議院議員 労働者農民党
溝口 三郎	52.06.12 06.13	報徳社関係カ
溝口 諱一	52.06.29	土方村長 (静岡県小笠郡) 大日本報徳社参事
溝淵 春次	52.07.04	参議院議員 自由党
三谷 隆信	52.01.24 05.17 05.24	宮内庁侍従長
三橋 四郎次	52.01.17 03.29 03.30 04.21 06.06	静岡福祉事業協会監事 元貴族院議員 実業家
三橋 則雄	52.02.06 02.13 05.14 05.16 05.23 05.24	総理府事務官恩給局長
三矢 宮松	52.03.01	皇室林野局長官 公職追放 根津美術館長
三宅 福島	52.04.13 04.23	東京都武蔵野市吉祥寺

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
宮崎 通之助	52.03.15 04.18	元静岡市長
宮澤 干亟	52.04.30	龍山村長 (静岡県磐田郡)
宮幡 靖	52.03.17 04.14 05.27	衆議院議員 民主自由党 静岡選挙区
宮本 栄太郎	52.02.08	池新田町長 (静岡県小笠郡)
三好 始	52.04.16 05.22 06.06 06.11 06.20 07.24	参議院議員 改進黨 内閣委員会委員
向井 忠晴	52.06.17 06.20	経済安定本部顧問
武者小路 公共	52.02.02	元華族、元外交官
武藤 泰輔	52.01.04	掛川営林署長 (静岡県)
武藤 弘	52.01.20	山梨大学教授
村上 竜太郎	52.01.11 03.18	農山漁村文化協会会長
村上 義一	52.01.22 02.04 03.14 04.01 04.02 04.05 04.14 04.27 06.11 06.16 06.26 07.21 07.24	運輸大臣 緑風会会務委員 官僚 実業家
村上	52.04.03	事務局長 (組織名不明) 村上義一カ
村里 静男	52.08.08	対馬支庁土木課長
村瀬 直養	52.06.11	元貴族院議員 元法制局長官 元商工次官
村瀬 茂	52.06.02 06.03	富士宮市議会議員 (静岡県)
村本 喜代作	52.04.26 04.29 05.06	県自由党関係 元静岡県議会議員 筆名山雨楼
目黒 清雄	52.02.07 02.08 02.23	建設省河川局長
本杉 亮平	52.03.17	静岡県議会議員
森 幸太郎	52.01.22 02.14 05.14	政治家 衆議院議員 農林大臣 滋賀県知事
森 秀夫	52.08.08	対馬支庁経済課技師
森 昌也	52.07.02 07.03	島田市議会前議長 (静岡県)
森 八三一	52.02.13 06.07 06.28 07.31	参議院議員 無所属 緑風会
森川 宗興	52.04.01	毎日新聞社
森下 陸一	52.03.07	第二復員局残務受理部復員業務課長
森下	52.04.21	森下夫人
森田 熊太郎	52.02.26	大日本報徳社参事
森田 孝	52.07.30	文化財保護事務局長
森田 豊寿	52.04.12 04.16 04.17 04.21	参議院議員 自由党 自由党静岡県支部長
森田 実	52.02.02 03.08 04.08	静岡県耕地課 ボーイスカウト静岡県連盟理事
森永 貞一郎	52.07.08 07.11	大蔵大臣官房長 大蔵官僚 のち日銀総裁
森永	52.08.09+	九州大学 博士
守屋 利一	52.04.30	前水窪町議会議員 (静岡県磐田郡)
八木 一郎	52.05.22 05.23 05.26 06.18 06.28	衆議院議員 自由党 衆議院内閣委員長
八木 忠義	52.01.11	静岡県焼津漁港修築事務所技師
八木 芳男	52.07.02 07.05	島田市議会議員 (静岡県)
矢嶋 三義	52.06.19	参議院議員、社会党
矢田部 昌子	52.05.08 05.09	弥八妻要姪 三島大社宮司矢田部盛枝夫人
矢田部 盛枝	52.01.08 01.13 02.01 02.07 03.11 02.11 02.20 02.22 02.27 03.09 03.16 03.30 04.25 05.25	三島大社宮司 (静岡県)
矢富 義児	52.05.09 08.07	元安田村長 (島根県美濃郡)
柳澤 米吉	52.08.09+	海上保安庁長官
矢野 久太郎	52.04.27	静岡県議会議員
矢吹 健蔵	52.08.19+	地方事務所改良室長
矢部 和作	52.03.18 04.30	初代浦川町長 (静岡県磐田郡)
山内 四郎次	52.06.06	静岡県小笠郡下の郵便局長
山内 実	52.01.18	商工会議所事務局長
山形 さだ子	52.03.04 06.29 07.04	山形春人未亡人
山形 春人	52.01.08 01.10 02.11 06.29	弁天島同胞寮 (静岡県) 寮長
山川 揚一	52.03.21	宇佐美村 (静岡県田方郡) 山田の青年
山口 清一郎	52.08.08	企画室技師
山口 忠五郎	52.04.29	元衆議院議員 元静岡県議会議員 実業家
山口	52.04.29	山口忠五郎夫人
山崎 健太郎	52.01.03 01.05	資産家 地主 大日本報徳社理事

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
山崎 昇二郎	52.01.03 01.17 01.19 01.22 01.31 02.03 02.07 03.07 07.10 07.11	弥八弟、静岡県農林統計協会長、小笠郡大坂村村長 大日本報徳社参事・顧問
山崎 史郎	52.03.15	弥八弟昇三郎の息子
山崎 猛	52.03.19	無任所相 衆議院議員 自由党
山崎 延吉	52.01.17 01.18 01.19 01.21 01.22 02.03	農政家・教育者、愛知県立農林学校校長、帝国農会幹 事 衆議院議員
山崎 恒	52.04.12 04.13	参議院議員 改進黨
山崎 巖	52.04.09 07.23	衆議院議員 自由党 全国治水砂防協会理事
山路 虎夫	52.08.07	福岡県議会議員土木建築常任委員長
山下 重兵衛	52.01.17	静岡銀行平田支店長
山下 陽一郎	52.05.03	熊切農協長（静岡県周智郡）
山下 義信	52.05.16	参議院議員 広島戦災孤児収容所経営
山下	52.03.07 03.09	掛塚町婦人会長（静岡県磐田郡）
山田 寛司	52.03.02	五和村長（静岡県榛原郡）
山田 佐一	52.02.19 02.29 3.12 05.22 05.30	参議院議員 自由党 議院運営委員長
山田 茂夫	52.03.22	三島土木事務所技師（静岡県）
山田 才太	52.08.08 08.09 08.09+	対馬支庁長
山田 繁夫	52.04.29	
山田 節男	52.05.06	参議院議員 右派社会党
山田 義郎	52.03.21 04.26	伊東報徳社長秘書役（静岡県）
山田	52.04.05	理事（内閣地方自治両委員会連合会出席）
大和	52.04.25	報徳社浜松出張所長（静岡県）
山梨 勝之進	52.02.29 05.31	元海軍大将
山成 輝雄	52.08.19+	普及所（いも優良種子普及力）（岡山県）
山花 秀雄	52.03.13	参議院議員 社会党
山本 米治	52.02.06 03.12	参議院議員 自由党
山本 勇造	52.02.29	参議院議員 緑風会 作家山本 有三
山本 淑志	52.03.15	賀茂郡田子か富士市田子か確定しがたい
湯河 元威	52.03.04 04.22 05.13 08.02	元農商務官僚 農林中金理事長 静岡育英会理事
横尾 龍	52.03.13	参議院議員 民主自由党
横川 信夫	52.01.22 01.30 02.27 03.26 03.27 03.28 04.03 06.05 06.27	林野庁長官
横光 吉規	52.04.20	元浜松市長（静岡県）
吉河 光貞	52.02.14 06.02	法務府特審局長
吉川 末次郎	52.01.26 06.05	参議院議員 社会党
吉田 喜八郎	52.07.20	高岡市議会副議長（富山県）
吉田 茂	52.02.16 03.06 03.10 03.18 04.05 04.15 04.16 04.23 05.07 06.17 06.18 07.19 07.20 08.01	首相 自由党 衆議院議員
吉田 七郎	52.08.08	対馬支庁土木課技師
吉武 恵市	52.01.19 02.07 03.14	政治家、官僚 労働大臣 厚生大臣兼任
吉村 敬輔	52.08.08	長崎県耕地課長
吉原	52.03.20 07.26	調査員
吉原 和孝	52.01.08 01.10 01.11 01.12 02.09	内閣常任委員会専門員
米田 正	52.08.08	長崎県企画室主事
ディーン・ラスク	52.02.28	米回国務次官補
李 垠	52.05.27	初代大韓帝国皇帝高宗第7男子
李 承晩	52.08.11+	大韓民国大統領
リゾー	52.05.16	元G. H. Q. 民政局長
若木 勝藏	52.06.02 06.05	参議院議員 社会党
若宮未亡人	52.05.27	
鷺巢 憲之助	52.01.24	静岡銀行東京支店長
鷺山 恭平	52.02.03	大日本報徳社副社長・理事・講師
和田 博雄	52.03.31 05.28	参議院議員 衆議院議員（10月から）左派社会党
渡辺 鋭	52.02.01 05.20	湯の家寮長 老人ホーム草分け
渡辺 嘉一	52.02.22	沼津市（静岡県）
渡辺 猛	52.03.20	参議院事務局人事課長
渡辺 忠雄	52.05.13 05.15	弥八への就職依頼者 東京都板橋区板橋の人

氏名	記載年月日 (yy.mm.dd)	弥八との関係、職、肩書きなど
渡辺 文作	52.05.03	気多村長（静岡県周智郡）、農協長
渡辺 辯三	52.03.14 04.03 08.19+	芋博物館（岡山県小田郡笠岡町）設立
渡辺 良夫	52.03.07	衆議院議員 自由党 新潟県選出
渡辺 光子	52.03.29	静岡福祉事業協会評議員
淳三郎	52.03.30	
アルファベット表記外国人		
Base	52.05.04 05.05	米陸軍少尉（〔Second〕 Lieutenant）
Finnele	52.05.16	ボーイスカウト関係 アメリカ人
GeorgeVI	52.02.07	イギリス国王
John ボイド, Sir オア	52.04.11	世界食糧長長官
Muller	52.03.19	和蘭海軍大佐
Murphy, Robert D.	52.07.04	駐日アメリカ大使
Shriro	52.07.18	カナダの貿易商
Stuart	52.06.15	アメリカ土木技師、ダム
Tibbetto, J. B.	52.07.31	
Wall	52.05.04 05.05	米陸軍大尉（Captain）

河井弥八手帳 1952年分

手帳 凡例

- 1 以下以外は日記の凡例に準じた。
- 2 判読不能の場合はその文字数程度の □ を入力した。
- 3 句読点は原文通りを原則とし、新たに付さなかった。
- 4 手帳の朱字は、その文字や記号に〔朱字〕を付した。
- 5 朱字など月日の上外などに表記してあっても、欄外と見なさず、位置を指定表記しなかった。
- 6 文字や文の記載位置はできるだけ尊重したが、必ずしも、記載位置の通りではない。
- 7 文字の大小は考慮しなかった。
- 8 縦書きは、〔縦書き〕と付して横書きした。
- 9 個人の住所地番、電話番号と思われる箇所は記載しなかった。

1月1日 (火) 元旦 暖 蛙鳴夕 pm2 27,097

村社 観世音(寺立寄り) 掛川町新年会 1030 (旧幼稚園)

神宮寺 眞如寺 戸塚氏 am9 - pm1.

1月2日 (水) 夕ヨリ雨

来賀 中山純一氏、 小野仁輔氏、岩竹信太郎氏、袴田銀蔵氏

1月3日 (木)

来賀 戸塚重一郎氏 神谷文平氏 石川利助氏(代)

山崎昇二郎夫妻 松浦久治氏 山崎健太郎氏

往訪、青山士氏

1月4日 (金)

来訪、武藤泰輔氏 石津波次郎氏

往訪 小柳直吉氏 石津元次郎氏(見舞)

1月5日 (土)

東山沢川上流視察 8.30 - 13 - 青山、中山県議、神谷出張所長

松浦村長案内

往訪、山崎健太郎氏

来訪(掛川アテ) 小塩孫八氏

(予備欄)

二宮四郎氏 上目黒

仁科寿玄氏 久能山東照宮禰宜

松浦宗案(大永五年生 [1525年]) ? 伊藤

親民鑑月集

宮崎安貞

農業全書

大蔵永常

佐藤信淵

草木六部耕種法 種樹秘要 種樹園法並秘奥

秘伝種樹園法 苗木作付法 致富小記 田峻年中行事

養蚕要記 牧馬法 甘藷説

1月6日 (日) 雨
報徳社常会 930 - 400
報徳社役員有志晩餐会 5 -

1月7日 (月)
掛川社社長会 10 - 2.30
報徳学園女子部茶話会 3 -
上張有志会 6 - (八日 pm3:延期) 平野土建

1月8日 (火) 県庁出頭
民生部長数原貢氏 漁業課 公室長 訪問
小塩孫八氏ト会見
増田静岡市長ト会見 (久能山岩崎宮司ノ件、高崎助役ニ伝言)

1月9日 (水) 在宅 斬髪

1月10日 夜雨 (木) 掛川 11.26 - 11.59 浜松 5.16 - 掛川
(東参報徳社常会)
天竜荘、聖霊保養農園 視察 県衛生部 予防課
山形春人氏同夫人見舞 鈴木恒雄氏案内
内閣委員会 藤田、吉原氏 浜松来著 (東京 8 - 1114 静岡 - 12 浜松)

1月11日 (金) 掛川 8.33 - 焼津 - 神戸 - 坂部
焼津漁業研究 930 - 2 -
(浜松館常会) 中村円一郎氏訪問
坂部村報徳社 7 - 杉本荘一郎氏方泊
村上竜太郎氏ヨリ明日知事ト会談アリ。出席ヲ求メラル (断)
藤田、吉原氏焼津水産組合視察 8 - 4

1月12日 (土) 静波 248 - 藤枝 350 - 掛川
川崎館常会 10
小田原培本塾長ト会談 塾へ寄付 ¥ 5000
藤田、吉原両氏、清水海上保安部視察

(予備欄)

徳川慶光公、静岡市上沓之谷是洗 (八日静岡幸町街頭出會)

田中宗太郎氏、足立区梅島町

1月13日 (日) 上京 8.33 - 三島 4.12 - 6.30 品川

三島大社参拝 矢田部宮司ト会談

(志太出張所常會)

報徳研究並実践法人結成準備會 11 - 3 江戸橋 - 1 - 五雪印ビル 社長室

1月14日 雨 (月) 登院

徳川公往訪

赤木氏ト会見

野田建設大臣 橋本厚生大臣 往訪

天竜院殿明善日勲大居士三十回忌 1. 和田村橋羽 妙恩寺

野田建設大臣来訪 810 赤木氏ト共ニ会談 10.10 マデ

歳費受領 ¥ 3901

1月15日 (火) 成人の日 品川 7.47 - 小田原 3.18 - 657 掛川

小田原報徳社常會 10 - 出席 15 人

(庵原) 故小倉嘉明氏弔問

(南山出張所常會)

1月16日 (水) 家居

全国治水砂防協會

1月17日 (木)

小笠郡町村會 11 -

山下重兵衛氏来訪 4.

重友上京 319 -

1月18日 (金) 掛川 830 - 袋井 854 - 森

森 - 浜松 - 掛川 (自動車)

森報徳館常會 10 - 12 出席 150

二俣佐久間間鉄道急設懇談會 10 - 浜松市公會堂

岩崎市長晚餐 5. やつこ

田中八百八氏葬儀 日本治山治水協会 永田町二ノ一
東海北陸甘藷澱粉生産者大会 10.30 愛知県商工館

1月19日 (土) 掛川 1830 - 1106 安城 249 - 551 掛川
山崎延吉氏往訪。石川喜三郎氏ニ紹介セラル

(予備欄) 小倉幾重子 (故嘉明氏夫人) 小田原市十字
石川喜三郎氏、安城町大字安城字毛賀知二
(愛知県農業改良理事農事試験場勤務 専門技術員)

1月20日 (日) 故三島氏^{〔朱書〕}三周忌^{〔朱書〕}
掛川 8.30 - 磐田 531 - 551 掛川
榛葉勇次郎氏来訪 7.45
見付館常会 10 - 12 120人 社長会 1.30 - 3.30
第66回天真会 日本楽器見学
大石廉一氏葬儀 (十七日逝) 1 - (二十七日、延期)
武藤弘氏来訪

1月21日 (月) 上京 掛川 3.19 - 7.45 品川

1月22日 (火) 登院
第十三国会開会式、11 - 緑風会総会、式後会食 5 -
林業議員懇話会 1 - (ヨサン、税、運賃)
幣原平和財団創立総会 1.30 首相官邸 世話人 吉田、林、佐藤、一万田
興農学園定時評議員会 3 - 兜町二ノ一八田中鉦業
池新田町長来院 (丸尾県議同伴) 1 -

1月23日 (水) 登院
本会議 3 -

全国治水砂防協会
宮内庁侍従職出頭

1月24日 (木) 父^{〔朱書〕}上命日^{〔朱書〕} (大14年)
登院

往訪。徳川公（病氣見舞）聖堂（挨拶）

静岡銀行東京支店（祝賀並記念品ノ礼）

中山均氏（日銀不在病氣）

林業議員懇話会 11 - （税制改正要望）

金原、井出、竹下、河井、楠、永田、倉田、幸田林政部長、丹羽課長

主税局調査課長、亀得正之氏 桜井事務官 出席

天機 御機嫌奉伺、諸米献上 藤野議員 梅崎氏 同車

三年祭 3 - いろいろや

1月25日（金）^{〔朱書〕} 牧野伯命日 ^{〔朱書〕}（昭24年）

登院

本会議 10 - 質疑羽生氏、一松氏

中野智巖師来訪

伊藤敏氏来詣

ライス博士送別カクテルパーティー 530 - 7.30

日本産業協会（会長石川一郎氏）主催 工業倶楽部中食堂

1月26日（土）登院

本会議 10 - 岡本氏 吉川氏

政務調査会 遺家族援護問題. 散会后

厚生省田端事務官

国土緑化推進委員会総会全国委員長合同会 10 - 衆第三会服

（予備欄）

江藤素彦氏 東大林学（父誠之氏）勝又春一氏依頼

就職1件 幸田林政部長ニ依頼ス

1月27日（月）病臥

館林上京 本多静六博士逝去

1月28日（火）病臥

本会議 10 -

駒込吉祥寺二宮先生法要（断—電報—浅野哲禅師

三葉会 5・（断） 住家小修理 大工三人 戸塚氏配慮

1月29日 (火) 登院

本会議 10 -

岡弁ゴ士来訪 10

内田孝蔵氏逝去

1月30日 (水) 大森命日 (大11年)
〔朱書〕〔朱書〕

登院

全国治水砂防協会 12

林業議員懇談会 1 - 林業税制問題

木村法務総才ト会见 3 -

郡民税納入 7330 円

1月31日 雨 (木) 登院

猶原恭爾氏事業視察 参議院 9 - 2 参議院 片柳、赤木、河井

(案内) 畜産局生産課長神尾正夫氏、県畜産課技師藤野徳雄氏、組合長荻嶋酉三氏

2月1日 雪 (金) 東京 1021 - 熱海 - 三島 - 長岡

本会議 10 - (ヤメ)

矢田部氏訪問 緒明氏打合 (電話)

湯の家泊 (寮長渡辺鋭氏不在)

中井光次氏宛依頼状ヲ認ム (育英会資金充実関係)

2月2日 (土) 長岡 855 - 長岡 - 三島 10.11 -

静岡 437 - 557 掛川

県庁 仁科土木部長往訪

尾崎忠次氏訪問 駅出迎。静岡鉄道社長室ニテ会談

川井健太郎氏 森田実氏 (耕地課) 日下部養一 (事務局長宮ヶ崎 72)

尾崎忠次氏 井野包次氏 (東豊田小学校長) 塚本孫衛氏

車中 平野繁太郎氏 (育英会資金寄宿舍買収関係報告)

座漁荘法人組織会合。 - 知事武者小路、加藤 (辰弥) Miss Redman

内田孝蔵氏告別式 1 - 2 麻布.新龍土町

(予備欄)

西倉守太郎氏(湯の家) 安田嬢、石田嬢

Parker51.シュリロ trading corporation

富田 Bldg 806

猶原恭爾氏 川越市小仙波

2月3日 (日) 上京、掛川 319 - 7.45 品川

報徳社常会 9.30

小笠原三九郎氏池袋 海老塚町倉橋留吉方

萩間村東萩間.八十原地内砂防堰堤一ヶ所

2月4日 (月) 登院

本会議.10

木下水産委員長令夫人告別式 1 - 2

村上運輸相ト会見 5 - 大崎 般若苑

村上 岡崎 池田 木村 保利

徳川 伊達 赤木 前田 高瀬 楠見 杉山 西郷 梅原 河井

2月5日 (火)

内田孝蔵氏弔問

外務省吉田駒次氏ヲ南江日本放送会理事ニ紹介

林業議員懇話会

野田建設大臣ト会見 5 -

2月6日 (水) 登院

本会議 11 - 質疑、曾根、棚橋

内閣委員会 1 - 理事選挙、法案説明聴取、調査承認要求

全国治水砂防協会 12 - 次田、赤木、河井、青森県有志多数

政務調査会 2 - 軍人恩給法ニ付三橋恩給局長説明

〔朱書〕 〔朱書〕
King George VI. died. 十五日大葬

松本勝太郎氏来院

2月7日 夜雪 (木) 登院

政務調査会 1 -

2 - 遺家族 (戦死者) 及傷害者援護 吉武厚相

建設省砂防課出頭 9.30 静岡県関係事業折衝

富士山本宮浅間神社宮司佐藤東氏、矢田部宮司外三氏来訪

池田大蔵大臣卜会見、高瀬議員同席
岩崎宮司対観光協会紛議未解（矢田部氏報告徳川公電話）

2月8日（金）^{〔朱書〕}角替太郎氏命日

登院

宮本池新田町長、丸尾県議外二村長来訪 11 — 朝比奈川中小河川編入ノ件
斉藤都田村長来訪 12 — 目黒河川局長ニ紹介
鷹司神社庁総裁往訪 230 神社庁、岡本氏同車
野田建設大臣来訪 430 会館 32 号
故本多静六博士葬儀 1 — （青松寺）告別式 2 —

2月9日（土）登院

館哲二氏卜会見

松本勝太郎氏来院

木村法務総裁卜会見

歳費受領 ¥ 87,501

（予備欄）

大沼庄省^カ 相模原病院

2月10日（日）宅 830 — 600 宅 鶴沼一逗子行

木村遍氏訪問 10.30 — 1

尾崎行雄先生見舞 215 — 3

2月11日（月）登院 ^{〔朱書〕}

徳川宗敬氏訪問（会館）

東京瓦斯会社ニ育英会配当金所得税免除依頼書ヲ出ス。

二六年分所得税納入申告書作成

恩給受領 ¥ 28,500

2月12日（火）登院

榛葉良之助氏来院 10 — 培本塾を榛高ニ併合ノ記事ニ付釈明

法務総才会見 4 —

赤木氏古島氏ヲ訪問

2月13日 (水) 泰治生^{〔朱書〕}

登院

本会議 10 緊急質疑。

内閣委員会 1 - 恩給制度ノ調査 竹下、楠見、横尾、石原 (松原)、山花、成瀬、
上条

全国治水砂防協会 12 - 次田、池田、赤木、河井、牧野

林業議員懇話会 1 - (欠席) 機構改革問題、諸法案、木材運賃

松井三郎氏来訪 10 -

三浦辰雄氏 森八三一氏 緑風会入会

2月14日 (木) 登院

山形春人氏葬儀 1 - 弁天島同胞寮

木村法務総裁ト懇談 3 - 副議長公邸

森林資源総合対策協議会晚餐 530 新橋くらぶ

2月15日 夕ヨリ雪 (金) 登院

本会議 10 - (二時四十分開会定数ヲ欠ク故、直ニ散会)

内閣委員会 1 - 電力統制ノ実績調査報告 木村

館哲二氏緑風会入会

パスト マスター アップルゲート大尉帰国ニ付送別/3 - 議長公邸

土居明夫氏ト会見 5.30 参院第二会議室、題 米ノ戦ト日本

経済政策懇話会 銀座一ノ六 日本製鋼内 52 - 2350

2月16日 雪 (土)

戸塚重一郎氏来訪 830 -

大野木行政管理庁次長ト会談 11.30 - 1.20 会館 32 号室

杉田専門員同席

大橋国务大臣ト懇談 1 - 元副議長公舎 防衛力ニ関スル諸問題

赤木正雄氏来訪 (宅) 5 -

(予備欄)

山下こと子掛塚町夫人会長 (皇居内洒掃ノ件)

一ノ瀬きみ子 富士市緑町 (康一氏夫人)

和歌山県伊那郡紀見村 はげつふし植付 昭9 - 14

橋本彰秀 世田谷区松原町

2月17日 小雪小雨（日）

佐々井信太郎氏来訪 1円融合会運営ノ件 佐々井理事更任ノ件
朝比奈貞一宅訪問

菊池捨六氏来訪 8pm.鎌倉市二階堂

2月18日 （月）登院

本会議 10 -

内閣委員会 1 - 流会

〔縦書4行〕 皇居洒掃奉仕日割

二十八年二月二十一日ヨリ三日間 小笠郡農協婦人

二月二十八日ヨリ三月二日マテ 磐田郡連合婦人会

高雄理事報告

2月19日雪 （火）登院

岡崎国務大臣ト懇談会 1030分置 行政協定其他ニ付テ

仁科土木部長ト会見（病気、不上京） 稲浦技監 伊藤課長ト会見

佐藤議長晚餐会 5 南甫園 大隈氏、山田佐一氏、浅井一彦氏同席

2月20日 （水）静岡往復

本会議 10 -

富士浅間 Dr. Burns & Mr. Woodard 来訪 18名 宗務課長藤原義雄

全国治水砂防協会 12 -

静岡県社会福祉協議会第二回総会 1 - 市公会堂

野村嘉六翁追悼会 4 - 日本クラブ ￥400

緑風会懇親会 5 - 三笠会館 ￥1,000

2月21日 （木）登院

内閣委員会 1 - 皇室経済法改正外一件（可決）

木村経済調査庁監査部長来訪 9 -

岡崎国務大臣ノ説明聴取 10 分室

林業議員懇話会 11 - 木材引取税対策

2月22日 (金) 登院

本会議 10 - 皇室経済法改正皇室経済法施行法改正 (可決)

大山謙吉氏往訪

大河内輝耕氏来訪

渡辺嘉一氏 (沼津市今池) 土屋竹次郎氏 (稲梓村)

来訪 中小製紙業ノ実情ニ付報告

2月23日 (土) 中村^{〔朱書〕}円一郎^{〔朱書〕}氏命日八回忌

登院

木村経済調査庁監査部長来訪 9.15

野田建設大臣ト会見 1 - 院内

全国治水砂防協会総会 10 - 出席 360 徳川、河井、赤木、佐藤、次田、田中、上村、野田、稲浦、目黒、田子、西尾、石坂、鈴木

両陛下御晩餐御相伴。参内 pm5.50

小島侍医 (□) 小川梅子 雲井よし子女官

(予備欄)

羽衣松記念碑 仏人ジュグラリス

William Axling. Evangelist - at large, church of Christ in Japan 銀座四ノ二日本基督教団 (宅) 西大久保四ノ一七〇. 56 - 1.488 6.616

浅井一彦氏 石炭総合研究所長 中目クロ

駿東郡報徳青年来講許可ノ件

大河内輝耕氏 代々木山谷 伊藤邸内

2月24日 (日)

帰村。品川 811 - 11.14 静岡 11.20 - 1229 掛川

第六七回天真会 10 -

大日本報徳社役員会 10 ... 6 ...

原川角太郎氏来訪 (社)

2月25日 (月) 新城往復

丸山講師往訪

渥美郡杉山村久美原伊藤辰雄氏 甘藷作 (農一、関一 2)

澱粉工場 400,000 ㍻ 処理

伊良湖崎村 小久保徳三郎氏(揮毫所望)組合發展増産ニ如カス
米不足(草)6,000 俵 栽培不適(化学肥料、水)
Masonic meeting3 - 議長公邸 m.blg 買入基金募集(債券)

2月26日(火) 出社、上京。
大日本報徳社通常総会 10 - 12
三葉会 5 -
〔縦書1行〕 埼玉県比企郡大岡村森田熊吉氏

2月27日(水) 登院
侍従職出頭 11 名刺注文 500 枚
内閣委員会 1 - 請願陳情
北浜村有志来院、平川局長野原次官ニ紹介
佐藤東氏矢田部氏外一名来訪(富士山頂還地要求)
全国治水砂防協会 有志会 次田氏 赤木氏 河井 山梨県有志
塩島金一郎氏来訪
26年所得税納付スミ ¥ 56,960

2月28日(木) 登院 幸田林政部長訪問
本会議 3 - 5.20 日米行政協定ノ内容報告(本日午前中ニ調印ス)
二七年度ヨサン案ノ説明 1 - 緑風会
木村監査部長来訪 1 - 会館 32 号
全国澱粉代表者大会 1 - 衆、第一会館No. 1、山崎恒氏
富士山本宮浅間神社宮司佐藤氏来訪。大蔵大臣ト会見。対策発状
行政セイリ案説明 4 - 野田建設大臣(延期) 付属公舎

2月29日 雪(金) 登院
本会議 10 - 行政協定ニ対スル質疑
山梨勝之進氏往訪 10.50 - 11.50
静岡県事務所、高見副知事ト会見。
内閣委員会 1 - 議事散会後
浅井一彦氏講話、6 - 議長公舎
大熊喜邦氏告別式 1 - 青山斎場
〔縦書5行〕 品川区大井林町 玉城寮山梨勝之進氏
榎本重治氏 松濤

堀悌吉氏 上馬
初見盈五郎 第二復員局残務処理部長 (元大佐)
森下事ム官 (元大佐)

3月1日 (土) 27.156 登院

榎本重治氏往訪 1030

Parker pen 会社訪問。修繕ノ為 pen 二本ヲ託ス 五月マテカ、ルト云フ
木村小左衛門氏告別式 1 - 本願寺
行政セイリ案説明 3 - 木村野田山崎三大臣出席。

(予備欄) 藤原義久氏 岡口久治町
井野数丸氏 伊東市松原 伊東報徳社 Vine and basho
北海道六月下旬、農一、二、沖百、一九、二一 (早)、泊、黒
地管 12° - 14° 床伏四月下旬 適温 30 - 33、飼料 (茶葉)
中部地方、農一、二、関一九、二一、泊黒、

苗作、菜種、胡麻、油ノ粕 絶対必要 坪当 3 - 5 合 骨粉
工藤良忠氏札幌北四西一、道生産農場連 (北生連) 参事

3月2日 (日) 帰村、品川 811 - 静岡 - 1229 掛川

報徳社常会 9:30 丸山、岡本、戸塚、600 人
岡本愛祐氏来講 (地方自治ト民主政治ニ付テ)
熊村昌一郎氏来訪 am10 面会デキズ
葛ヶ谷町長来社 (二俣線輸送力促進ノ件)
戸塚重一郎氏訪問

3月3日 (月) 上京 掛川 1246 - 610 品川

青年報徳講習会。開講式 930 撮影 - 講義 54 名
電波監理行政ニ付テ 1 - 新谷寅三郎君
中共治下中国ノ現状 3 - 守田藤之助君 (在華四年)
第三回青年報徳講習会 10
黒田重兵衛氏葬儀 2 - 下川津専光寺 (mar.1 逝去)

3月4日 (火) 登院

Scandal 書類提出 (通産省)

10 - 恩給法案ノ調査 (流会)

内閣委員会

林業議員懇話会 11 -

十四号室 森林法改正案外林業関係法案

農地法案

林業税制

小塩孫八氏来訪 330

最近ニ於ケル治安問題 3 - 分室 警視総監田中栄一氏

Private bill legislation 調査、図書館 犬伏 氏

3月5日 (水) 登院

公ニ来訪 杉山事務官訪問 不在

県事務所訪問

全国治水砂防協会有志会 12 次田、田中、小林、山崎、赤木、河井

常任委員長懇談会 10 -

木村武氏来訪 pm 7 -

[縦書2行] 鈴木堅次氏 (国立病院、湊、海会
催促状ヲ福祉協議会へ移ス

3月6日 (木) 雨 登院 ^[朱書] 

本会議 10 -

工業技術庁視察 電気試験所 永田町、田無町

工業試験所 幡ヶ谷 am10 - (延期)

機械試験所 井荻

鈴木二平氏出迎 2.53 東京駅

3月7日 (金) 登院

丸山方作氏放送 am5.45

森下復員局事務官説明聴取 1.30 内閣委員室

BoyScout 集会 4 - 会館No. 194 室 三島、徳川、野田

第三回報徳講習会終了

3月8日 大雪 (土) ^[朱書] 久宮様御命日 ^[朱書] (昭3)

東京 1000 - 103 静岡 437 - 5 掛川

12.15 - 515 720 - 830

県庁出頭 秘書課ニテ勝又林政課長ト面会

BS 県 展示会 尾崎、日下部、森田、井野、横山、塚本

静岡新聞社往訪 (尾崎氏同伴)

太田磐田婦人連合会長へ電話

(予備欄)

3月9日 (日) 上京 830 - 1120 三島 3.16 - 531 品川

矢田部氏訪問 富士山頂下戻ノ件、植樹式関係、久能山宮司件

副知事公舎 2007 雨

竹村啓太郎氏告別式 1 - 竹村啓三郎氏

3月10日 雨、小雪 (月) 幣原議長薨^[朱書] 北村勝蔵氏逝^[朱書] am2^[朱書]

登院

本会議 10 -

政務調査会 3 - 北大西洋条約に於ける行政協定 外務省条約局藤崎萬里氏

BoyScout ニ関スル調査

飯田精太郎氏葬儀 七日逝 1 - 告別式 2 - 青林寺

歳費受領 82401 円 腰痛治療血圧 154.

3月11日 (火) 静岡往復 品川 811 - 11.14 静岡 4.48 - 7.56 品川

二俣線輸送強化期成同盟会陳情 10. 国鉄本庁

政務調査会 3 - 軍人遺家族援護問題

B.S. 静岡県連盟長就任式 1 - 松坂屋

杉山甕男氏逝 (嗣、茂氏、十三日葬儀)

3月12日 (水) 登院

貞恭院殿御墓詣 11.30

全国治水砂防協会有志会

内閣委員会 1 -

3月13日 (木) 貞恭院殿薨^[朱書] (18年)^[朱書] 十回忌

登院

工業技術庁視察 東京工業試験所目黒分室 1020 - 11

同本所 1120 - 12

機械試験所 本所 130 - 3

電気試験所分室 田無 3.30 - 5

3月14日 雨(金) 香邨居士命日

登院

渡辺辯三氏来訪 8.3 - 参議院へ同行 岡野、村上、岡崎、吉武、佐藤各大臣、岡村、藤の、西山、カニエ

本会議 10 -

内閣委員会 1 - 内閣厚生連合会

大石県議来院 合併町村長代表来院 蔦ヶ谷町長

岩沢忠恭氏ト会見(自由党ノ機構改革案ヲ問フ)

政務調査会 3 - 会報No.4. 田中ケイ視総監報告

木村法務総才ト打合

3月15日 (土) 品川 10.11 - 10.03 静岡 5.52 - 7.00 掛川

報徳講習会 三島大社社務所

北村勝蔵氏葬儀 1 - 伝馬町法伝寺 嗣義廣氏一番町九 夫人らく

大社講習会 西光院覚譽正念法勝居士

松阪屋用件、B.S.uniform

[縦書2行] 一也盲腸炎手術(三楽病院)

史朗来泊 掛川 [丸で囲む]

(予備欄)

野田与太郎 諫早市宗方町 619

片岡紀一土木部河川課

運送 案

廣瀬素行氏、十五日逝十七日告別式、嗣直行氏

3月16日 夜雨(日) 上京、掛川 8.33 - 11.20 三島 250 - 514 品川

矢田部氏訪問 (在社、電話ス) 佐藤宮司来会

史郎帰西、掛川 8.30 - 10.07 豊橋。

3月17日 (月) 登院

大蔵省出頭。西村政務次官 内田管財局長ト会見

宮幡代議士、高見副知事、本杉議長、三上丸尾両長老

高見副知事ト会见 10.30 来院
静岡育英会評議員会 2 - 静岡県出張所内
〔縦書1行〕天白又ハ蓼子

3月18日 (火) 登院
内閣委員会 10 - 定員法改正案 山口次官 大野木次長
内閣厚生連合委員会 1 - 恩給法特例
金原財団晚餐会 500 陶々亭
〔縦書3行〕^{〔カスレ〕} 浜名用排水
要求六三、〇〇〇一円
五〇、一、一可能

3月19日 (水)
本会議 10 -

政務調査会 3 - 分室 最近ニ於ケル両独乙ノ諸状勢 浅井一彦氏
全国治水砂防協会有志会
経済政策懇話会 5.30 会館第四室 新シキ国土防衛体制ニ付テ 元陸軍中将稲田
正純氏

3月20日 (木) 登院
平岡市三氏弔問 4 高瀬氏赤木氏同車

3月21日 (金) 春分の日 品川 800 - 1044 伊東
伊東報徳社講演 1 - 三日藤原義久氏来訪
伊東職業安定所(市役所前) 社長井野數丸氏(松原)
観水荘泊。 市長秘書山田義郎氏案内

3月22日 (土) 伊東 9.30 - 1030 上大見村役場
観水荘(主人、榎田弥太郎氏) 来訪者、鈴木信太郎氏、井野社長、藤原義久氏、小川
武氏
瀧口定一氏(伊東土木工営所長) 自動車供給
(案内) 片岡河川課長、小山三島土木事ム所長、山田同事ム所技師、青山氏、城所上
狩野村長、堤仁科村長、佐田県議(友三郎)
上大見村砂防視察(村長荻原文清氏地藏堂、議長内田林平氏中原戸)

天城営林署（長、浅野正昭氏）

国土越踏査 上狩野村役場 湯の家泊

〔縦書1行〕 体重十四貫

（予備欄）

加藤仁平博士（専任講師） 近藤鷲部長

3月23日 夕雨（日） 上京 湯の家 750 - 800 長岡 804 - 1003

大倉山 - 渋谷

天真会、第68回 10 - 3 重田光晴氏

財団法人一円融合会設立準備会 11 - 大倉山研究所

3月24日 （月） 登院

内閣委員会 10 - 水防省設置法改正、安本設置法等改正

中野智巖師来訪 10 -

神田代議士ト会见 1 - 参議院補欠選挙ニ付テ

林業議員懇話会 11 - 農地法改正案ニ付テ

竹下、徳川、三浦、金原、河井、平川局長、幸田部長

金原代議士、稲勝、津村、外三氏ヲ幸田林政部長ト会见セシム

3月25日 （火） 登院 9.30

本会議 10 - 行政協定ハ国会ノ承認ヲ要ストノ決議案

内閣委員会、議事散会後、定員法改正案

小林武治氏来訪 8 -

池ノ上小学校第十回卒業式 10 -

3月26日 （水） 登院

内閣委員会 1 - 文部省 農林省 総理府

鎮玉村長小出邦太郎氏野澤英太郎氏ヲ林野庁長官ニ紹介

後藤正夫氏（統計委員会事ム局 審査第二課長）来訪 統計報告 調整法案

全国治水砂防協会有志会 徳川公、次田、赤木、河井

報徳社支社長講習会 10 -

3月27日 雨（木） 登院 記名投票 総数214 白135 青79

本会議 10 - 27年度ヨサン案可決

徳川公爵家家政相談人会 330 工業クラブ
加藤正治博士告別式 3-4 中央大学
杉山報徳社視察

3月28日 (金) 登院

内閣委員会 10- 経済安定本部設置法改正、外務省設置法改正、農林省設置法改正
可決

本会議 11-

パス引換。国鉄外ニ0005575 地方鉄道574 都電793

(請願四町村長 浦川町長武田茂六氏 佐久間村長北井三子夫氏)

熊村昌一郎氏来訪 930 滝川村長高良伊平氏

3月29日 雨(土) 母上命日(明44年)
〔^朱書〕

長岡行 東京321-三島-長岡(泊)

災害復旧促進国会議員連盟理事会 12 衆会館 No3 食堂

平岡市三氏告別式 1- 日本女子学園(靖国神社脇)

財団法人静岡福祉事業協会理事会評議員会 pm2- pm4- 湯の家

1.財団法人ヲ社会福祉法人ニ変更 従テ寄付行為ヲ定款ニ変更

2.役員選任承認 3.27年度事業計画並ヨサン決定ノ件

4.28年度事業計画並ヨサン決定ノ件

徳川顧問 三橋監事、廣瀬、木全、木田夫人、渡辺夫人、澤村、深沢

(予備欄)

樋口光男氏(王子造林-銀座四ノ三)山林相続税及所得税ニ付テ永田教授講義

浅野長光氏品川区西大崎. 水産研究会勤務

三好始氏。北多摩郡昭和町中神 15. 栗山食事研究所内

小出邦太郎氏。引佐郡鎮玉村長(横川林野庁長官紹介)

世界連邦建設同盟本部 神田錦町一ノ六(25-6691)

組織部長 小塩完次氏 南俊夫氏

世界食糧局長官 Sir John ボイド オア W.P.

(農、哲、文、博士 Nobel 賞受賞者) 中山福蔵氏紹介

3月30日 (日) 帰京。長岡-三島316-531品川

三島大社参拝 矢田部宮司訪問 矢田部家中食

神谷文吉氏へ発状(父君追悼の文) 三島駅前投函

小林武治氏へ発状

3月31日 雨(月) 登院

本会議 10 安本一部改正。 農林省等改正案 外務省改正案

常任委員長懇談会 1230

内閣委員会 10 - 特別調達庁設置法ノ一部改正案(可決) 日程追加、可決

町村敬貴氏来院会食ス

佐藤議長懇談会 530 公邸

泰治来泊

~~静岡県神社総代会~~ 静岡市公会堂 [抹消後イキ] (欠席)

4月1日 雨(火) 登院 27187

内閣運輸地方行政連合委員会 1 - 海上保安庁法ノ一部改正案

文部省設置法改正中著作権審査会改正反対

中島健蔵氏、森川実興氏、青砥道雄氏、原季彦氏、北村治久氏

培本塾卒業式 10

豊田喜一郎氏告別式 2 - 築地本願寺 (宅) 等々力

4月2日 (水) 登院

内閣委員会 10 - 120

ポ宣言ノ受諾ニ伴ヒ発スル命令ニ関スル件ニ基ク総理府本府並ニ地方自治庁関係法
命令ノ廃止法案(可決)

統計法及ヒ教育委員会法ノ一部改正案(可決)

全国治水砂防協会有志会(欠)

泰治帰阪 館林飛来

4月3日 (木) 登院 品川 熱海。大野屋泊。

内閣地方行政連合委員会 10 - 海上保安庁令改正

内閣委員会(開会セス)。

緑風会総会 12 行政機構改正ノ件

戸塚九一郎氏ト出会、要談ス。

経済政策懇談会 5.30 参会館No.4 現下世界軍事情勢判断。海軍少将富岡定俊氏

4月4日 (金) 植樹行事函南村駒止

三島 316 - 5.31 品川 帰京

本会議 10 - (欠席)

植樹行事参加、両陛下御植樹ニ奉仕

静岡県 BoyScout 参加

41096

4月5日 (土) 帰村 横浜 302 - 751 掛川

内閣地方自治連合委員会 10 - 海上保安庁令改正 ケイサツヨビ隊令改正

古島一雄先生米寿祝賀観桜会 1 - 横浜市杉田 1631、西幸太郎氏 湘南杉田又ハ市
電 聖天橋方

(予備欄)

三島淳三郎氏及同母堂。芦屋市打出楠町、三月十五日転居、

4月6日 (日)

報徳社常会(祭典)高瀬荘太郎氏来講 2 - 来泊。

雨宮文吾(北浜村長)河合多三(中瀬村長)両氏来訪

高林長雄氏(北浜議長)外十数名 畑地灌漑ノ件
奥野開十郎氏外十名来訪。浜名町姥ヶ谷開拓地区外道路
柴山重一元中将来訪

金原長松氏来訪天竜開発ト笠原村灌漑ノ関係

小杉良平氏来訪。弁天島同胞寮々長選任ノ件

培本塾入塾式 10 -

4月7日 (月)

高瀬氏見送 掛川 830

鈴木新一郎氏(元海軍中佐)

深沢鑛二氏来訪、社会福祉財団設立ノ件、藤田訓二氏招聘ノ件

野末里平氏来訪 笠井気賀往還路開設ノ件

旧南郷村共有林植樹及記念式 2 -

大陸問題研究所発表 「ソ連ノ戦争指導」 1 - 師友クラブ 世界経済館

松影会 10.30 宮内庁会議室 新浜獵場中食 12.30 会費 200 円

4月8日 雨(火) 掛川 833 - 静岡 - 由比 343 - 725 品川

県庁 知事 農地課森田氏 林政課勝又氏 土木部長

県庁ニテ堀江淳一氏、小林代議士ト出会フ

由比地辻視察（今宿平、濁沢上流、国道工事、濁沢下流）
志田収氏方、治山事務所富永技官案内

由比町助役

由比沼津間 原榮作氏ト同車
泰三技官 安東

4月9日 雨（水）登院

岡野繁藏氏電話

小林武治氏来訪 1030 会館

全国治水砂防協会有志会 12 徳川、山崎、次田、赤木、河井

国会晚餐会 5 錦水 星ヶ岡茶寮、野田夫臣 河野主計局長招待

九州向飛行機木星号行衛不明トナル（三原山ニ衝突）

4月10日 （木）登院

竹山祐太郎氏ト会見

蓮見安氏往訪 1030 日本銀行

石黒忠篤氏来訪 5 - 630（会館）

杉山東一氏来訪 8 - 9

住山徳太郎元中将来訪（不在）

八木千恵子武蔵野音楽大学入学保証人トナル

〔縦書〕木星号三原山腹ニテ発見全員三七名死亡

4月11日 （金）^{〔朱書〕}M元帥免官

登院

住山元中将来訪

石井英之助氏来訪 1030 会館

植松義忠氏（富士根村北栗倉）藤卷宗吉氏（北山村角木）

外三名来訪、南富士開拓地 道路開設水道敷設ノ件

石丸志都磨氏（元陸少将）来訪 2 - 軍人恩給復活ノ件

市岡邦友氏（駿河鋳業株式会社取締役）来訪、融資ノ件

4月12日 （土）登院

中村幸八氏電話

赤木氏楠見氏へ報告

荷見安氏来訪会館ニテ会見

山崎恒氏談話（食卓ニテ）

日本河川協会評議員会 10 — 参会館No. 1. 歌舞伎座 4 —

（予備欄）

仁科太郎氏 静岡市安東

富永泰輔氏（技官） 由比町今宿、東京営林局治山事務所長

久保田陣太郎（助役）（報徳社長） 由比町阿僧

西尾銚次郎氏同夫人えつ子 武蔵野市吉祥寺

住山徳太郎氏 世田谷区赤堤町

石井英之助氏 大田区田園調布

石黒忠篤氏 新宿区揚場町

小平権一氏 新、下落合

4月13日（日）^{〔朱書〕}久保田男^{〔朱書〕}命日（昭11年）

石井英之助氏ト電話

勝間田村長枝村氏、相良工営所長、浦上技師外四名来訪

坂野鉄次郎氏へ電照（十四日返電受）

健康診断。心臓正常血圧 154 — 80 尿蛋白ナシ糖痕跡

4月14日 雨（月）^{〔朱書〕}飯田氏^{〔朱書〕}命日

登院

本会議 10 — 緊急質問ニ（破壊活動防止法案反対）

内閣委員会 1 — 追放解除法案可決、海上保安庁改正

建設技官川村満雄氏（治水課）往訪 浦上技師、枝村村長外四名

三栗川下流部防災工事増額陳情

後藤文夫氏橋本清之助氏来訪 700 中村代議士電話 8.30

4月15日 雨（火）

内閣委員会 10 定員法

緑風会臨時総会 1230 石黒氏入会並立候補ノ件

戸塚九一郎氏来訪 石黒氏出馬事情説明

中村代議士県支部情勢、小林憤起、報告、竹山関係

伊豆山神社例祭（断）

4月16日（水）登院

本会議 10 追放法令廃止案 (可決)

吉田首相ト会見 廣川農相同席 11 - 石黒氏援助 安請ノ件
西村代議士報告 神田代議士へ挨拶 中村代議士打合。

内閣委員会懇親会 430 議長公舎

全国治水砂防協会有志会 18 徳川、次田、田中、河井
石井英之助氏坂田英一氏来訪

4月17日 (木) ^{〔朱書〕}久能山例祭 (断) ^{〔朱書〕}鈴木首相命日 ^{〔朱書〕}(昭23年)

品川 8.11 - 11.14 静岡 756 - 905 掛川

車中 益谷総務会長、神田、中村、遠藤、畠山、益谷

石黒氏選挙事務所ニ入ル 小平権一氏ト協議

斎藤知事往訪 1 - 高見副知事同席

鈴木選挙管理委員長訪問 (不在) 地方課次席訪問

平喜、静岡新聞社

徳川公訪問 市長、稲森氏

県自由党集会 130 - 830 県庁内控室 齊藤候補取消石黒支持

4月18日大雷雨 (金) 掛川 - 静岡 642 - 掛川 751

川上嘉市氏へ電話

石黒氏静岡著 11.14 渋沢氏、石井氏、小濱氏来著 街頭演説、新聞社6社訪問

観桜会 10 - 3 新宿御苑 吉田首相主催 (不参)

街頭演説 知事往訪、記者会見。

宮崎通之助氏往訪 (小林候補ニ関係)

戸塚、蔦ヶ谷、中山、小野四氏来訪 重友上京 11.51

¥2,000 重友へ ¥600 一円融合会費 ¥385 butter&cheese

静岡 2 7 3 5

4月19日 (土) 掛川 1109 - 静岡 - 751 掛川

水野政治氏へ電話

大石武雄氏 ”

選挙事務所出頭 各代議士へ発状 中山小野両氏来援 10,000 円渡

石黒候補帰京 1301 - 小濱八弥氏、楠克己氏同行

橋本傳左衛門氏来援

廣瀬修造氏 小塩孫八氏 (何レモ不在)

小笠郡町村議会議員大会 10 - 報徳社出席

鈴木新一郎氏会談 芙蓉会欠席ノ件

坂野鉄次郎氏上京、二十三日マテ木挽町小松屋ニ滞在

(予備欄)

三宅福馬氏 吉祥寺

後藤文夫氏 玉川野毛町

橋本清三郎氏 世田谷

村瀬茂氏、野田伊三郎氏、富士宮市議会正副議長

浜松屋別館 伝馬町

4月20日 (日) 花房氏^{〔朱書〕}命日^{〔朱書〕} (昭18年)

掛川—静岡—浜松 ⇄ 気賀 ⇄ 三ヶ日

静岡駅出迎、神田西村兩代議士 事ム所中心者決定要求

応援者多数来著 石黒候補ハ東京発浜松へ赴ク

浜松行 事務所 栄町95 藤田久四郎氏方

気賀—三ヶ日—気賀 晚餐(吉野家)—浜松 竹山、横光、木全ト打合

公会堂講演(静岡1—出席) 浜松(7—欠) 藤田方へ泊

○弁天島同胞祭理事会(延期)—

大井川右岸用水組合懇談会1—堀之内野波楼(欠)

遺家族及元軍人生活擁護連盟結成大会3—研屋町顕光院 委員長細井篤郎

○一円融合会創立総会1—断〔断：丸囲み〕 大倉山文化研究所

4月21日 (丹火) 登院

益谷総務ト会見940 330 自由党県代表上京 益谷総務ト会見

内閣委員会10—1.30—海上保安庁法改正案可決(修正)

緑風会総会12—県ノ情勢報告、益谷氏へノ要求報告 会へ要望

小平、石井、湯河、笹川四氏ト会見130 会館32号

石黒事務所訪問430 後藤氏、石井氏ニ報告 内藤友明氏出会

報徳青壮年連盟10——報徳社中村代議士ト電話(増田幹事長旅行中止ノ由ヲ聞ク)

4月22日 (大月) 浜松7.02—静岡—掛川833—静岡—品川

石津氏訪問

戸塚氏ト会見 報告及意見聴取 重友報告 同車静岡へ

森田氏、佐野氏、平野氏、三橋氏 茶連訪問

廣瀬議長 川野辺県婦人会連盟長 訪問森下夫人

自由党県議集会ニテ挨拶 知事森田氏幹旋

4月23日 (水) 登院

本会議 10 - 海上保安庁法改正案修正可決

益谷総務会長訪問

吉田首相訪問 増田幹事長訪問 増田幹事長静岡行ノ件

自由党静岡両院議員会 (中止)

全国治水砂防協会有志会 12 - 赤木氏、河井

同成会懇親会 5 - 坂野、入江、下条、丸山、金森、大谷、小汀、河井、赤木、

固定資産税第一期分 10160 円払 (淡島局)

4月24日 雨 (木) 静岡行 品川 8.11 - 静岡 - 700 掛川 保利 坪川両氏特派
神田、西村、中村同行

増田幹事長保利官房長官同行 静岡行 東京 10 - 103 静岡 334 - 655 東京

保利長官ニ挨拶 石黒、河井、石井、同席

高見副知事ト打合 1130 - 1 石井同席 斎藤知事へ挨拶

石黒候補挨拶 (自党県支部) 河井同行

天龍川総合開発促進同盟諸氏来京 10 - 衆院面会所 (不在ト打電)

4月25日 (金) 岩波氏命日 (昭21年) ^[朱書] ^[朱書]

静岡行 833 - 静岡 346 - 430 掛川

矢田部氏三島 740 - 931 焼津

井川村議長滝川一栄氏

報徳社出頭 静岡 郡農場挨拶

赤木氏令嬢結婚式 11 -

長谷川保氏 堀江清一氏

阿部孝太郎氏来訪 5 - 報徳社

野末菊之助氏 大和浜松出張所長 (4.033) 板屋町 18

4月26日 (土) 掛川 11.07 - 1215 静岡

小笠郡町村長会 900 B.S.制服仮ヌイ

増田、松木、西村、海野、近藤 県庁内、梅原、田中、村本

赤木 11.14 - 332 (面会セス) 山川

浜松行 静岡 552 - 735 浜松 8.32 - 9.07 掛川 高砂

B.S.伊東 BS.会 pm3 西小学校 cap wall. cap. Land.

晚餐田坂邸 三島総長 出席

主催者山田義郎氏（伊東第四隊 BS 育成会長）水村芳夫氏伊東第二隊長

（予備欄）

芙蓉会（委員長細井篤郎氏）静岡市栄町三ノ九布川農機具店 1886 番

浜松の形勢 澁澤氏の手紙 木全氏 大巖寺

内藤惣一氏 浜松議長 山下義次氏 県議：

鈴木辰夫 磐田地方事ム務所長

鈴木金作 磐田農業高等学校長

両替徳就 北海道阿寒郡阿寒村雄別炭山

選挙事ム所 沼津市大手町商工会議所前、藤井方

大和紡 阿部孝太郎（取締役）野末菊之助、浜松板屋

4月27日（日）^{〔朱書〕} 誠誕生

掛川 627 - 磐田 1226 - 静岡 334 - 沼津 800 - 1047 掛川〔縦書1行〕市議田中保氏

竹山氏 水野氏 藤江氏 ¥1,500 自動車

磐田町村役員会 10 - 水の氏大石氏外二十余名 神谷氏

事務所 打合 駿東報告聴取 石黒夫人行動聴取

遠藤代議士打合一（沼津行決定）

高橋通産相へ打電

常岡氏ト同車. 伝言依頼 名取氏訪問 矢野県議勝又氏

天真会 10 - 沼津市会有志会 一杉氏

4月28日（月）^{〔朱書〕} 米山氏命日（昭21年）^{〔朱書〕} 平和条約発効 pm10.15

掛川 830 - 906 浜松 550 - 627 掛川

藤田久四郎氏（夫人ニ面会）事務所ノ件

市会議長内藤惣一氏訪問（不在）市長（市役所）訪問

自由党浜名郡支部役員会出頭 全会一致支持 声明書決定

浜名郡町村会長出頭全会一致支持

自由党浜松市支部役員会出頭

石津浪次郎氏訪問

東海振興会講和条約発効記念晚餐会 530 日活国際会館

4月29日 午後雨（火）^{〔朱書〕} 天皇誕生日 ^{〔朱書〕} 

事務所執務 県庁自由党総務室出頭 神田、三上、村本会見
山口忠五郎氏訪問（不在）

龍山行 藤枝 352 - 506 浜松 530 - 625 鹿島 630 - 船明 - 横山
青山秀一氏（醤油屋）泊 ￥1,000 宿料、電話料
￥150 Bus 通算
￥200 弁当、Butter

4月30日（水）

横山 640 - 840 水窪 - 城西 - 龍山 - 山香 - 佐久間 -
浦川 - 豊橋 - 掛川 ￥200 紙
￥300 運転手へ
￥220 電車汽車賃
伊東左一氏ら

全国治水砂防協会有志会

5月1日（木）27.217 mayday 掛川 930 - 1006 浜松 1153 - 1209 静岡 642 -
826 浜松 1114 - 1151 掛川

浜松事務所 督戦 中村 氏外二名在リ 県議不在
静岡事務所 執務 街頭出陣二回（七間町）
自党支部遊説部長小林氏出動

浜松立会演説 pm9 - 930（石黒代理トシテ出席）高砂ニ休息 ￥200 手当
五三会第四回例会 pm5 - 帝国ホテル

5月2日（金）掛川 1246 - 134 静岡 756 - 905 掛川

（2）小笠郡 農協婦人役員会 10 農協 協組協会 10 - 12
部落中心人物養成講習会 小笠支部主催 報徳社
酪農組合協議会 中山県議同席

（1）天理教 柏木先生訪問打合 930

静岡事務所ニテ執務

藤井静一氏逝 嫡孫昭二氏岡山市浜

5月3日（土）北周行

掛川 930 - 950 磐田 847 - 907 掛川 飯島議員同行
地方事務所 - 森 - 三倉 - 犬居 - 気多 - 熊切 - 三倉 - 森 - 磐田

水野氏—藤江氏—田辺氏—平塚三四郎氏

渡辺文作氏（気多）奈良英二氏（リ）杉本恒夫氏

大畑団平氏 酒川達雄氏 山下陽一郎氏（熊切）車賃 4500 円 弁当 300 円

昇三郎来泊

田岡村 ^{〔カ〕} □年報徳 230 神谷副社長

（予備欄）

宮澤干丞（医）養子 袖浦高安出身 伊東博士 九一郎氏親戚

植松一氏 同盟通信社静岡支局長 音羽町

県議山下義次氏談 日清紡女工ハ能登屋社長ニ賃金 20 %減ヲ申出ツ

鈴木千尋氏就職ノ件 PX 在勤中

5月4日 風雨（日）掛川 833 — 静岡 756 — 905 掛川

報徳社常会 楠見氏、西垣博士 久保佐土美博士

神谷氏 河西氏

静岡事務所 三島総才 岡本局長 Cap.Wall Lieut.Base 来ル

BS 会合 大東館 11 — 市公会堂 1230 — 9.05

栄屋晚餐 5 — 公会堂 630 — 向坂氏ニ世話ニナル

BS 制服仕立料 4,700 払

5月5日 曇雨（月）^{〔朱書〕} こどもの日

掛川 740 — 静岡 642 — 菊川

静岡事務ム所 9 — 930 6 — 630

静岡市事務所 立寄

第六回 BS 大会 三島 岡本 Wall.Base. 幹部全員

B.S.推戴式 10 表彰式 市中行進 1 — 330 2,000 以上 Camp fire 止メ

高松宮殿下拝問 500 大東館 tea 同席

奉送 552 高橋通産相見送 552

東京 B.S. Brassband 見送 450

5月6日 （火）掛川 833 — 静岡 101 — 4.12 品川

本会議 10

静岡事ム所出頭 石井氏伊藤氏ト会談 三上氏来訪

県庁出頭、知事、副知事、土木部長ト会見。 選管委員長田口氏（不在）

自由党事務所出頭 三上、^{〔本脱力〕} 村 外一名ニ挨拶

澤野太郎氏往訪

中山吉平氏事△所来訪

東京宅 長野相良町長 赤木氏 昇三郎来訪

県庁ニテ森田実氏ニ BS 制服地代金取調タノム

5月7日 (水) 神谷氏^[朱書]命日

登院 昇三郎同車

本会議 10 -

内閣委員会 10 -

石黒候補当選確定ニ付 首相、各閣僚、益谷、西村参院自由党へ挨拶 増田、神田往訪

全国治水砂防協会有志会 徳川公、勝、次田、田中、赤木

岐阜県砂防支部副会長

開票ノ結果 石黒 370,340 小林 317,005

橋本 128,556 小田 23,798

5月8日 (木) 品川 811 - 1114 - 静岡 334 - 420 沼津 434 - 442 三島 528 - 745

品川 (石黒氏一行ト同車)

各所挨拶

沼津 名取栄一氏訪問 (不在) 三島 矢田部氏訪問 (不在)

政務調査会 3 行政機構改革案説明 野田長官

5月9日 (金) 修^[朱書]誕生

登院 眼鏡修繕依頼朝倉方

本会議 10 -

内閣委員会 ~~学生ト連合 10 - 恩給法ノ特例ニ関スル件 措置~~

支部ト連合 1 - 文部省設置法一部改正

石黒氏緑風会 出頭 挨拶

矢富義児氏来院. 安楽城専門員及猶原恭爾氏へ紹介

伊林初次郎氏来訪

矢倉義児氏来訪

2 Parker Pens repaired ¥ 420

5月10日 (土) 破壊活動防止法案 公安委員会設置法案 公安調査庁設置法案

地方行政労働

法務連合 10 学生ト連合 10 — 恩給法ノ特例措置法案

内閣委員会 文部ト連合 1 — 文部省設置法一部改正

清水直江津間横断道路国道編入会議 9 — 衆第三会館

大陸問題研究会 1 — 3 大手町二ノ八 世界経済館、師支クラブ “ソ連ノ経済外交”

直井武夫氏

帰村 東京 2.25 — 7.51 掛川

(予備欄) 入の村 有効票 2,500 内川上 1,895 河井 248 森田 224.

中井光次氏入院慶応病院三一七号室

入野村出身市議 伊藤勇次郎氏 夫阪市南区北日屋野 阿倍野区阪南町西二丁目

宇都宮登氏 世田谷区玉川田園調布 河内一郎方

千代田区内幸町二ノ二富国ビル

石黒氏応援者 緑風会議員 30 閣僚 8

5月11日 (日) 掛川 833 — 静岡 334 — 641 品川

戸塚氏 (不在) 原川氏、蔦ヶ谷氏 浦上氏 (不在) 訪問

静岡 松坂屋勘定皆済 時計バンド、ペンサシ買

石黒氏出迎 大東館 休憩 中食

改進黨有志会ニ挨拶 11.30 浜松屋 (石黒氏ニ同行)

自由党県支部会ニ挨拶 300 中島屋

佐野善作博士 (商大元学長、育英会理事) 葬儀 2、国立

5月12日 (月) 登院

本会議 10 —

内閣委員会 10 — 文部省 法制局設置 行政管理庁

行政機構改革全般ニ関スル説明

緑風会政務調査会自由討議 3 — 電源開発促進法案

5月13日 (火) 登院

内閣地方行政連合委員会 10 警察ヨビ隊令改正 (3)

内閣委員会 1.30 — 調達庁 文部省 (旧) 総理府

厚生省 行政組織法 説明聴取

町田徳之助氏弔問 渡辺忠雄氏へ発状

同盟通信静岡支局長植松一氏ヲ湯河元威氏ニ紹介

杉山東一氏来訪 赤木博士ノ砂防史稿通読

5月14日 (水) ^{〔朱書〕} 大野よし子命日 墓 染井墓地 ^{〔朱書〕} 慈眼寺
登院

本会議 10 -

内閣委員会 130 - 建設省、労働省、大蔵省、同施行法令整理
文部省 説明

三橋恩給局長ト会見 10 及 3

林業懇話会 11 - 運輸委員会、請願 (熊村) 採択

全国治水砂防協会有志会

緑風会懇親会 5 - 南甫園 千円

5月15日 (木) ^{〔朱書〕} △ 登院

内閣委員会 10 - 機構改革各府省内容説明聴取

警察ヨビ隊令改正案 (修正議決) 恩給法制処理ニ付協議
統計報告調整法案可決

石黒氏静岡県行ニ付打合 其結果重友へ打電

保利内閣官房長官ト会見 自由党へ警告 (委員出席ノ件)

眼鏡 lens 直ル及 sack 購入¥350 朝倉へ

5月16日 (金) 登院

本会議 10 -

内閣委員会 10 - 文部省設置法 1 - 恩給関係
民政局長リゾー氏離任挨拶 pm2 議長 Salon.

5月17日 (土) ^{〔朱書〕} 貞明皇后一年祭

登院

内閣地方行政連合委員会 10 - 地方自治庁法外一件

天機並御機嫌奉仕 納 12.40 侍従長面会

石井英之助氏来訪

映画看覧 1 - 5 時事 News、結核ノ一生、井戸、羅生門

(予備欄)

The Scout Oath

On my honor, I will do my best -

To do my duty to God and my country, and to obey the Scout Law;
To help other people at all times;
To keep myself physically strong
mentally awake, and morally straight.

5月18日 (日) 掛川往復 東京 8 - 静岡 11.20 - 12.29 掛川
掛川 303 - 7.45 品川

同車 (往路) 伊藤勇次郎氏 (大阪市議)

(帰路) 石黒忠篤氏、太田正孝氏 (二宮下車) 稲勝氏 (静岡)
護夫氏

鈴木寛氏一家 (新橋) 内田才判所長 緒明太郎氏 (三島)

館林上京 葉子修学旅行出発 11.30pm

一円融合会創立総会 10 - 3 大倉山文化科学研究所

5月19日 (月) 登院

本会議 10 -

内閣委員会 11 - 恩給 農林省 運輸省

内閣郵政電通連合 1 -

静岡育英会評議員会 4 - 理事会 2 -

5月20日 午後雨 (火) 登院

内閣安本連合 10 - 五号室 経済審議庁 資源調査会

安本設置法廃止 定員法

内閣委員会 安本ト連合会散会後五号室 文部省設置法不開

内閣通産連合 1 - 通産省設置法. 関係法令セイリ 工業技術

政務調査会 3 - 電源開発問題 松下公益委員長説明

5月21日 (水) 登院

内閣委員会 10 - 文部省設置法一部改正

1 - 恩給法ノ特例ノ措置

政務調査会 3 - 破防法 新聞協会

全国治水砂防協会有志会 12 赤木、田中、河井

5月22日 (木) 登院

内閣委員会 10. 文部省設置法 (修正議決)

1 - 恩給法ノ特例ノ措置

建設省設置法 労働省設置法

大橋国務大臣懇親会 5 - 南甫園 山田、鈴木、石原、中川、河井、竹下、三好、松原

5月23日 (金) ^{〔朱書〕}東京空襲

東京 22.50 - 6.18 大垣 登院

本会議 10 文部省設置法一部改正 (可決) 食糧管理法一部改正 (可決)

内閣委員会 10 130 = 変更 恩給法ノ特例措置 文部省設置法 建設省設置法

衆議院内閣委員長八木一郎氏訪問 恩給法ノ特例措置 (憲 59) ノ件

5月24日 (土) 登院

内閣委員会 10. 恩給法の特例に関する件の措置法案 (可決)

厚子内親王殿下納采の儀につき拝賀 11 - 十時半参内恐悦 不参ヲ侍従長ニ告ク

政務調査会 1 - 破防法 日本学術会議副会長我妻栄博士

岐阜県砂防協会支部 大垣

(予備欄) [記載無し]

5月25日 (日) ^{〔朱書〕}東京空襲 ^{〔朱書〕}楠公戦死

岐阜 11.25 - 1700 東京 (燕) -

健康診断 (堀先生) 心臓正常、尿中無蛋、血压 170 - 80、糖痕迹 0.5/100

歯治療

5月26日 (月) ^{〔朱書〕}井戸公命日

登院 歯治療桜井先生

本会議 10

内閣委員会 1 - 行政組織法一部改正案発議

行政組織法 法制局設置法

総理府設置法 行政管理庁設置法

改正労働法規ニ付テ 2 - 控室 吉武労働大臣

労働法規改正ニ付テ 4 - 控室 中労委 吾妻光俊氏

地下日共の実力判定 6 - 会館二号 佐野博氏 緑風会政務調査会

古島一雄氏逝去 pm9.30

松永安左衛門氏来訪

田中館博士葬儀 1 - 大学

5月27日 雨(火) 登院

古島一雄氏弔問 佐藤議長ト会見

内閣委員会 10 -

佐藤東(官司) 来訪

公共企業体労働関係法改正ニ付テ 2 - 公営企業職組代表北村暢氏

外為委員会ノ廃止問題ニ付テ 3 - 木内外為委員長

5月28日 (水) 登院

本会議 10 行政組織法ノ一部改正 議員発議案可決

法務内閣地方行政労働連合委員会 10 破防法外二件

内閣委員会 1 - 取止メ

静岡育英会理事会 2 - 河井、緒明、中山、小塩出席 杉山茂氏ト交渉

全国治水砂防協会有志会 徳川会長、河井

古島氏通夜 pm7.-

杉山茂氏 2 - 事務所 緒明、中山、小塩出席、河井出席

5月29日 (木) 行幸記念

登院、議長ト会見

内閣委員会 10 - 理事補欠 成瀬氏指名

農林省設置法

内閣郵政電通連合会 1 -

古島一雄氏葬儀 1 - 天王寺

5月30日 雨(金) 登院

伊藤勇次郎氏来訪 830

本会議 10 -

内閣委員会 10 - 理事補欠選挙 中川君指名

農林省設置法

建設省設置法 赤木田中両理事意見陳述

常任委員長懇談会 1230

5月31日 (土) 登院

内閣委員会 10 - 1 調達庁設置法

文部省設置法一部改正

委員会室及委員部諸氏ト会食 1 -

第二回電波記念式典 10 電波監理局、青山北町四ノ一
泰治来泊（釜石製鉄所ヨリ来ル）

（予備欄）〔記載無し〕

6月1日（日）27248 家居
報徳社常会（断） 鈴木千尋氏 杉並、成宗、来訪 三ノ五五六 来訪。
第二回電波記念日（断）
岐阜県砂防支部総会 2 - 大垣商工会議所（断）

6月2日 雨（月）登院
本会議 10 -
内閣地方行政連合委員会 10 - 保安庁法案
海上公安局法案
内閣委員長及理事打合会 連合委員会散会后
小室富士宮市長 村瀬議長 等 来訪
太田伊藤市議 等 来訪

6月3日（火）登院
内閣委員会 130 文部省設置法 運輸省設置法
内閣通産法務連合委員会 10. 法務府設置法改正
通産設置外二件工業技術庁
今村信次郎氏来訪 230（住所）藤沢市鶴沼
小室富士宮市長、議長、商工副会頭来訪
原田次二郎氏会见

6月4日 雨（水）^{〔朱書〕} ふき子誕生 ^{〔朱書〕} 参議院議員選挙
登院
内閣法務通産連合委員会 1130 通産省設置法外一件 工業技術庁
法務府改正法
内閣経済安定連合委員会 130 -
佐久間線期成会有志来院 am955 東京著
全国治水砂防協会有志会（欠）
陸運議員連盟懇談会 4 - 参 委員会館
国鉄固定資産税、踏切ノ歩行者取締

6月5日 (木) ^{〔朱書〕} 顯徳院殿 13回忌 ^{〔朱書〕} 坂野鉄次郎氏逝 ^{〔朱書〕} 嗣常礼氏
内閣地方行政連合 10 - 自治庁設置法案外一件
内閣郵政電通連合 1 - 郵政省設置法一部改正外一件
顯徳院殿十三回忌 9 - 上野寛永寺 (参拝ス)
全森連通常総会 1 - 衆 第二会館、第一会議室

6月6日 (金) 登院
本会議 会期再延長 二十日マテ
内閣委員会 10 定員法
保安庁法案、海上公安局法案。
小笠郡 三十名傍聴 代表 田中靈鑑師 南山村正林寺
第十三回国国会会期終了 浦上技師外菅谷村有志来院

6月7日 (土) 登院
内閣委員会 10 行政組織法一部改正 調達庁設置法同上
南方連絡事務所設置 恩給不均衡是正法案
内閣地方行政人事連合会 1 - 保安庁、海上公安局
政調会 1 - 其後ノ戦犯ノ処遇ニ付テ
大陸問題研究所第三回講演 1 - 3 日共最近ノ戦略戦術カラ見タ米ソ關係 鍋山貞親氏
全国治水大会 10 大阪商工会議所 日本河川協会
全国治水期成同盟会

(予備欄)

戸塚重一郎氏 豊 日ノ出 九段 上大崎
仙石久英氏 京都、上京、西堀川通今出川村雲瑞龍寺門跡

6月8日 雨 (日) 家居
後藤文夫氏来訪 11 - 1.30

6月9日 雨 (月) 登院
本会議 10 -
内閣厚生連合委員会 10 -、厚生省設置法一部改正案
内閣委員会 1 -、行政管理庁 総理府 法制局設置

野田行政管理庁長官午餐 12 一南甫園

6月10日 (火) 登院 ^{〔朱書〕} 関屋氏命日

内閣委員会 10 一、大蔵省設置法一部改正、施行関係法令整理
午後、農林省設置法一部改正、運輸省設置法一部改正
建設省設置法一部改正

6月11日 (水) 登院

内閣委員会参考人意見聴取 10 一、保安庁、海上保安局
内閣委員会 3 一、大蔵省設置法一部改正、施行関係法令整理
全国治水砂防協会有志会
村上運輸大臣晚餐 5.00 鉄道ホテル
日本弁護士連合会晚餐 5.30 会長長野國助氏
日比谷公園松本楼 (断)

6月12日 (木) 登院

戸塚重一郎氏来訪、宇都宮登氏来訪
内閣委員会 10 一 6 懇談会 法案整理打合
通産省設置法改正。関係法令セイリ。工業技術庁設置法案。
浜松市議会議長徳田由太郎氏来訪
県酪農協連専務理事仁藤新作氏 (葉梨村時ヶ谷) 来訪
二俣町長匂坂佐一氏来訪
昆陽先生墓参並懇談会 2 一 滝泉寺 主催者遺徳顕彰会
荻窪 丸本氏

6月13日 (金) 登院

藤波収氏来訪 8 一
本会議 10 一 夏手当給与増額案ニ付記名投票アリ
内閣安本連合委員会 11 一
内閣委員会 2 一 通産省設置法外二件
高村禪雄氏来訪
国土緑化大会並植樹式実況映写会 pm3.首相官邸
米国立公園 yellow stone 実写
神谷教授ヲ溝口三郎氏及三浦善郎氏ニ紹介 4.院内

6月14日（土）登院

大蔵委員卜連合会開会承認

内閣委員会 10 調達庁設置法一部改正案（10.30 - 1）

（労働省、法務省、郵政省外一件ハ上程セス）保安庁法案 2 - 7

内閣人事連合会 2 - 4（終了）

二俣線輸送強化期成同盟会総会 10 - 二俣町役場 町長匂坂佐一氏

（予備欄）

入江貫一氏旅寓、札幌市北二七条東四丁目北大住宅

渋井内膳 城代家老（秋田藩） 慶長年間 大阪夏陣ニテ戦死

三浦善郎氏 農地局計画部経済課（報徳研究） 溝口氏紹介

安藤廣太郎氏 同秀夫氏 北区西ヶ原町

徳田由太郎氏 浜松市議会議長

6月15日（日） 家居 静養

佐藤助九郎氏来訪 5 - 瑞・伊ノ発電、仏 Rhone 上流ノ MarshallPlan ニ付テ

6月16日 雨（月）登院 佐藤氏ヨリ来書

熊村村長来訪 9.30

本会議 10 - 内田重成氏来院

内閣大蔵連合委員会 10. 大蔵省設置法一部改正案外一件

内閣委員会 1 - 大蔵省設置法改正外一件

~~経済審議庁設置法案—安本廃止及関係法令整理案~~

資源調査会設置法案 自動車番号改定

内閣委員会懇談会 6.30 - 7

政務調査会 2 - 電源開発促進法案 4 - 破防法案修正

6月17日（火） 登院

内閣委員会 10 - 法務府設置法改正 労働省設置法改正

安本廃止 経済審議庁 資源調査会法

吉田首相卜会见 10.40 - 11.20

懇談会

緑風会政務調査会 破防法修正箇所検討

^{〔審〕} 芥藤知事就任一周年記念会 5 - 大山 築地二丁目二

政務調査会 4 - 労働三法修正案

6月18日 雨(水) 登院

本会議 10

〔縦書1行〕内閣委員会

農林設置法改正 郵政省改正外一件 保安庁外一件 吉田首相出席

調達庁設置法改正 南方連絡事△所設置(可決)

全国治水砂防協会有志会

全国災害復旧促進連盟第三回総会 10 - 日本赤十字社

政務調査会 労働三法修正案 日印条約其他最近ノ諸条約

6月19日 (木) 登院

〔朱書:要命日 am2.16 昭和23年〕

内閣委員会 10 - 保安庁法案 海上公安局法案

自治庁法案 // 関係法案 文部省設置法改正 文部ト連合

常任委員長懇談会 12.30 議長応接室

6月20日 (金) 登院 ^{〔朱書〕} 静岡空襲

本会議 10 - pm12

内閣委員会 10 - 参考人意見聴取 一万田日銀総才

向井安本顧問(忠晴氏) 佐藤帝国銀行社長(喜一郎氏)

国家行政組織法ノ一部改正案 定員法一部改正案

恩給不均衡是正法案(青木代議士説明)可決

懇談会

第十三回国会々期終了(六日再延長)

6月21日 (土) 登院

内閣安本連合委員会 10 - 佐々木委員長意見陳述 連合終了

内閣委員会 1 - 通産省設置法案 同上施行関係法令整理案 海上公安局法案

請願 陳情

懇談会 今後ノ委員会日割表決定 pm4.

(予備欄)

眞田登氏 運輸省自動車局業務部長 June16th

太田貞市氏 平塚市羽衣町

浜名郡県議補欠立候補者

(自) 馬淵眞藏、竹村政清 (改) 松島舜治 (共) 戸田要一

6月22日 (日) 家居

三越 白木屋 高島屋ヲ見ル夏服ヲ求ム、得ス、マス子同行

6月23日 (月) 登院 退院 24th am1.30

本会議 10 - 破防法案 公安調査庁設置 公安審査委員会設置

法廷等ノ秩序維持法案 恩給不均衡是正法案

内閣委員会 10 -

議院運営委員会及議長招集ノ各派代表会

6月24日 (火) 登院

議院運営委員会

内閣委員会 10 - 開会ニ至ラス

九州旅行日程決定 長崎県主事酒井勝一氏来訪

松本堅三郎氏来訪

浜松市議会代表来訪

泰治朝来京、夕来訪、夜帰阪

6月25日 (水) 登院

〔 朱 書 〕
朝鮮動乱二周年日

本会議 10 pm11.50 国会法改正案上程 可決 破防法曰曰

内閣委員会 11 - 1230 2 - 6 予定表決定 修正点打合 (秘密会)

緑風会総会 連続開会

岡咲恕一氏 抜山平一氏来院、電波管理政府案反対説明

小坂順造氏来訪 12.30 - 1 不来、寄書

青野氏傍聴 但十三時過帰ル

全国治水砂防協会有志会

6月26日 (木) 登院

本会議 10 - 流会

内閣委員会 10 - 各案主要点共通点検討

調達庁、保安庁案ニ付、村上、岡崎、木村、野田ニ質疑質疑大体終了

緑風会総会…連続、翌朝一時マテ

緑風会政務調査会 3 - 佐藤助九郎氏 電力開発問題

Private Bill Legislation ノ研究 調査立法考査局

政治法制調査室三宅孝治氏

6月27日 (金) 登院

本会議 10 - pm4 - 議長不信任案 国会法改正案

委員会 10 - am11 - 1215 各案審議開始

佐藤、三木正副議長見舞

菰田康一氏来訪、石川、県経済部長へ紹介

植村実氏来訪、午前中、横川林野庁長官、倉田専門員へ紹介

6月28日 (土) 登院

本会議 10 -

内閣委員会 10 - 今後委員会運営ノ件、組織二四条二項ノ件

常任委員長懇談会 12.30 会期延長ノ件

衆議院内閣委員長八木氏訪問

静岡県ダイナ台風被害調査ノ為技官派出要求

中村幸八氏来訪

佐藤、三木両議長見舞

(予備欄)

酒井勝一氏 (長崎県主事、東京事務所、丸ノ内二ノ二、丸ビル三階 348号 和田倉

松本堅三郎氏 港区飯倉片町、竹内勝重方

京大甘藷関係学者 松本熊市 (主任) 西山市 此原覚雄

今村駿一郎 藤村吉之助 上坂章次 近藤金助

菰田康一氏 千葉市緑町

植村実氏 新居浜市金子 (四国林業社長)

Private Bill Legislation ノ研究

犬伏孝治氏、渋谷、北谷 (国会図書館三宅坂分室)

6月29日 (日) 家居

佐藤助九郎氏来訪 10.45 - 11.30

古島一雄氏五七日 Blutd.180 - 80 Herz Normal Klein Zucker

6月30日 雨 (月) 登院 〔朱書〕 慧光院殿八回忌

本会議 10. 11.10 - 50 破防法上程セス. 会期延長議決

国家行政組織法の一部改正案（可決）

内閣委員会 10 - 4.45 国家行政組織法一部改正（可決）

緑風会総会 終日

議長訪問 12 - 議長室

石間尚来泊

第十三回国会会期終了（十九日三延長、国会法十三条）

7月1日 雨（火）登院 29278

本会議 10 - 11. 佐藤議長不信任決議案 否決

破防法上程 質疑

佐藤議長訪問、pm11 重要協議

内閣委員会 10 - 開会セス

静岡県東京事ム所訪問

石崎氏訪問 庵原村青年来院

松本堅三郎氏来訪

植村実氏来訪

7月2日 雨（水）登院

本会議 10 - 7 緑風会修正案質疑終了 法務委員会再付託動議否決

佐藤議長訪問 pm7. 重要協議アリ

島田市議会議長八木芳男氏 森昌也氏来訪 千頭営林署誘致ノ件

掛川町長葛ヶ谷龍太郎氏等来訪 国鉄調査官佐藤照雄氏訪問

泰治来訪、夜帰阪（名古屋事務ム所支配人奥氏訪問セリ）

全国治水砂防協会有志会（赤木、河井）

〔縦書2行〕光明皇后御歌

折りつれハ たふさに汚るたてながら 三世の仏に花たてまつる

7月3日 雨（木）登院

本会議

内閣委員会 1 -

7月4日（金）登院

本会議 10 - 1.30 - 7. 懲罰動議ノ取扱ニ始終ス

内閣委員会 11.45 - 6.30

石井茂勝氏来訪 「いも通信」巻頭語執筆ノ要求

米国大使同夫人 Reception pm6 - 8.

7月5日（土）登院 〔朱書〕〔朱書〕
祖父上命日（明20年）

本会議 10 - 6. 日華条約、日印条約承認 亜細亜民族ト友好決議
内閣委員会 10 - 3. 懇談会 開会セシモ結果ナシ

(予備欄)

石井義勝氏 杉並区高円寺
財団法人いも類懇話会
鈴木俊一氏 杉並区荻窪

7月6日 雨(日) 家居
報徳社常会、欠席
宮崎県知事田中長茂氏来訪
相良町長長野宇恵茂氏来訪
関西電力 鈴木俊一氏来訪 丸山 dam へ案内セラル

7月7日 (月) 登院 舘林帰京
本会議 10 - 昭和二三年七月以前ニ給与事由ノ生シタル恩給ノ特別措置ニ関スル法律案 可決
電源開発促進法案 修正議決(予ハ反対)
内閣委員会 10 - 大橋国務大臣ニ対スル質疑
三上陽三氏来訪 急傾斜地帯農業振興対策並特殊土壤地帯対策ノ事業指定ノ件
水野代議士、小笠南部町長来訪 ダイナ台風対策ノ運動

7月8日 (火) 登院 胃部故障診察
内閣委員会 10 - 6 保安庁関係秘密会
懇談会
河野議事部長ト打合 野田長官ト打合
鈴木二平同夫人来訪 重友へ電話(マス子) 女中来京ノ件
徳川公ヨリ中元ヲ頂ク

7月9日 雨(水) 登院 胆嚢炎ト診断 疲労
本会議 10 - 12
内閣委員会 10 - 9. 保安庁問題、質疑 各案検討(懇談会)
議院運営委員会出席 3
緑風会総会ニテ懇親会ノ開催ヲ提議ス
緑風会政務調査会 4 - 6

全国治水砂防協会有志会 赤木氏

7月10日 雨(木) 登院 尿検査 三島^{〔朱書〕}義命日

内閣委員会 10 - 5

緑風会政務調査会 4 - 7

興三、大多喜行 山崎昇二郎氏来泊

7月11日 (金) 登院 塚本^{〔朱書〕}清治氏命日 第八回忌^{〔朱書〕}

本会議 10 - 労働関係法修正議決

内閣委員会 10 - 7 保安庁質疑 各案ニ付懇談

緑風会政務調査会 12.30 行政機構改革問題

緑風会懇親会 5 - 中心社

昇三郎来泊 昇二郎用務了 帰県

7月12日 (土) 登院

内閣委員会 10 - 二時開会 -5.30 保安庁法案 7 - 8.30 各案審議、修正点決定 (五案
残ル) 破防局設置案敗ル

緑風会政務調査会 12.30 行政セイリ案説明

女中来著 (平岩美江子) - 戸主、平岩猪太郎氏 掛川市成滝

昇三郎ト内幸町マテ同車

(予備欄)

今村荒男博士

田渕丑太郎氏 大阪府豊能郡西能勢村栗栖

昇三郎ニ託シテ栗煎餅ヲ、安井英二氏ヨリ畑清六君 (委員部在勤) ニ託シテ「柴田善
三郎氏と田渕丑太郎氏ノ口話」ナル小冊子ヲ贈ラレタ

7月13日 (日) 家居 健康診断

小林次郎氏来訪 1030

古島一雄氏七七日 Herz Blutdruck 150 - 80. Schmerzen. Normal Garren^カ
Blase.

7月14日 (月) 登院

内閣委員会 1 - 4 九案修正議決 7.30 - 8.30 案ナシ

7月15日 (火) 登院

帰村 1 - 406 4.30 - 5.56

亡友初盆〔4字を○で囲む〕

東久世秀雄氏 大石廉一氏 北村勝蔵氏 廣瀬素行氏 藤井静一氏 佐野善作氏

古島一雄氏 坂野鉄次郎氏 本田静六氏 杉山甕男氏 飯田精太郎氏 中西四郎氏

野村嘉六氏 山形春人氏

7月16日 (水) 上京 掛川 8.33 - 1016 由比 345 品川 10.20 - 3.40

由比地辻地視察

説明者、由比治山事業所長清水敏治氏 町長平野敏氏 議長川島恆氏 志田収氏

立会者、県河川課長片岡紀一氏

全国治水砂防協会例会

7月17日 (木) 登院 血圧 160 - 92

□□□□氏来訪 am6

内閣委員室勤務

野田行政管理庁長官訪問 2.30 - 3.30

慰労金 10,000 進呈

古島一雄氏、東久世秀雄氏、弔問

7月18日 雨 (金) 登院

高橋国税庁長官往訪 9.30

岩崎浜松市長外四名来訪 11.30 赤木氏ト共ニ会見

三越ニテ買物 シャツ二 麻服地 2y8 靴下

7月19日 曇 (土) 登院

石黒氏電話

野田行政管理庁長官ト会見 閣議内容ヲ聴ク

内閣委員室ニテ執務

栗栖委員ト会見

(予備欄)

高橋衛氏、国税庁長官、官舎

古川雅久氏 (本名秀夫氏)、対馬支庁農地開拓課長

福田武男氏 (主事)、巖原郵便局

興津義三氏、静岡市安東二丁目国立静岡病院未復員療友会代表

7月20日 (日) 家居

委員長報告セイリ 石橋洋服屋に短袴依頼

吉田氏訪問 415 - 640 800 - 10.20 藤村秘書官案内

富山県会副議長柴田弥一氏外三名来訪

館林帰任 羽田 7.30 -

柴田伊代子夫人逝去二二日葬儀

7月21日 (月) 登院

本会議 10 行政管理庁、労働省、文部省、厚生省、建設省

法制局、調達庁、法務省 (可決)

内閣委員会 10 - pm230 開会 懇談会 9 - 散会

佐藤助九郎氏来訪 am830 地熱発電ヲ伊東ニテ実施ノ件

7月22日 (火) 登院

内閣委員会 1 - 8.30 自治庁設置法外一件 郵政省一部外一件 農林省設置法等一部 通産省設置法外二件、修正議決

一也成也佐賀へ

7月23日 (水) 登院 ^{〔朱書〕} 二宮先生命日

本会議 10. 自治庁設置法外一件 郵政省設置法外一件可決

内閣委員会 1 - pm8 - 9.15 経済審議庁法案、安本廃止関係 大蔵省設置法 関係法令セイリ 修正議決

全国治水砂防協会有志会 12 - 徳川、次田、山崎、赤木、河井

7月24日 (木) 登院

内閣委員会 10 - 11 - 8.20 保安庁海上公安局、運ユ省、総理府、行政組織法、定員法、修正議決

緑風会総会 9.30

柴田達夫氏ト出會

昇三郎来泊

7月25日 (金) 登院

本会議 10 - 840 通産省設置ハ関係法令セイリ、工業技術庁設置、農林省設置等改

正、 經濟審議庁設置、安本廃止及關係法令セイリ、資源調査会設置、大蔵省設置改正、同關係法令セイリ、保安庁法案、海上公安局法案、運_ユ省設置法改正、総理府設置法、行政組織法、定員法、十五件報告、修正議決
昇三郎帰阪 興三帰宅

7月26日 (土)

東京 8.36 — 横浜…バス…箱根…横浜 706 — 品川 — 渋谷
砂防視察

二子山砂防 (須雲川水源) 及対面ノ荒廢、
大湧谷ノ荒廢 宮城野村早川上流砂防、
同行者、中川、松原、竹下、楠見、一松、赤木、河井、鬼頭、上田、吉原、平野、読
売記者

案内、県建設協会委員長小田島利八氏 (土木部砂防課長)
岡澤多六氏逝 am7.06 年66 嗣 保 ^(ニジミ) Sept.15 通知

(予備欄)

興三宿所 千葉県夷隅郡大多喜町長田屋旅館

7月27日 (日) 静岡行 品川 8.11 — 11.14 静岡 静岡 3.34 — 641 品川

北村勝蔵氏盆吊

尾崎忠次氏卜電話 (BS 事業ニ付テ)

柴田達夫氏来訪 am8.30

静岡福祉事業協会役員会 理事長河井、理事小塩、廣瀬、常務深沢 監事三橋

7月28日 (月)

本会議 10 —

内閣委員会 1 — 請願陳情

建設委員会出頭、浜松国道一号線ノ件説明

7月29日 (火)

本会議 10 —

両院協議委員会二種 7 — 830 議長河井 副議長松原、中川

野田建設大臣招宴 6 — 明石町治作

津久井利行氏逝去 (夫人秀子) 北区上中里町

7月30日 (水) ^{〔朱書〕} 明治天皇祭

本会議 10 -

井手成三氏へ電話

常任委員長懇談会 6 -

森田孝氏文化財保ゴ事ム局長

緑風会総会 (随時)

第十三回国会々期四延長 (六月二十八日衆議決 法十三条)

全国治水砂防協会有志会

7月31日 (木) 27308 登院 10 - 24.

本会議 両院協議会成案報告

緑風会々務委員会及総会

J.B.Tibbetto 来院 (中谷芳邦氏同伴) 岡村 森 竹下 諸氏紹介

第十三回国会会期五延長 (七月三十日衆議決、参未了)

佐藤氏ヨリ ラルデルロ地熱発電写真到来

8月1日 (金) 27309 登院

緑風会々務委員会 12.

錦水女主人弔問

図書館ニテ調査 安藝博士 大野氏来訪

吉田首相午餐会 2 - 官邸 高橋国税庁長官訪問

法務総才晚餐 6 - 初波奈 (富ヶ谷 1510. 46 - 2108)

8月2日 (土) 帰郷 東京 9.45 - 2.52 掛川

柴田夫人墓誌揮毫

平野繁太郎氏ト会見 旧軍人会館建物ノ件 (車中)

(予備欄)

柴田達夫氏 (国家地方ケイサツ本部総務ム部長 警視長)

牧野秀三氏、鷺津町古見 牧野織布合資代表

鈴木敏夫氏 鷺津町、浜名郡青年団連絡協議会長 (県青連理事)

以上、中村代議士ノ為ニ

大野数雄氏 (浦和市仲町) 資源調査会事務局長

安藝皎一博士 (保土ヶ谷区桜ヶ丘) 資源調査会副会長 東大教授

高橋廣治氏、愛知県大府町横根山 日本家禽研究家

8月3日 (日) 掛川 12.46 - 611 品川 東京 22 -
報徳社常会

川崎館建物ヲ託児所へ貸与承諾ノ件
培本塾復活ノ件 学校側有志側ハ塾長ノ死ヲマツカ
柴山重一中将来訪 揮毫数件

8月4日 時々驟雨 (月) 大阪 925 - 2.55 鳥取 - 4.50 米子 淀江町不老園泊
車中同行。伊達氏 (京都ヨリ)、田部長右衛氏 (大阪ヨリ)、松原氏 (鳥取)
不老園晚餐会 支部長深田武雄氏主催 両支部長、山家一太郎氏、赤木、河井、佐藤
技官出席 砂防課長杉橋涉氏、〃係長武信順三氏、三和建設社長谷口順一氏
佐藤建設技官同行

8月5日 曇雨雷冷 (火) ^{〔朱書〕} 敏子誕生 鳥取 松江

27年ヨサン 11,000,000 円

鳥取県 (砂防協会) 支部総会 河井、赤木、中田挨拶

会員 73 町村中 70 出席 (全県 166 町村)

皆生 玉造 鶴の湯泊 pm.7 - 菊水旅館

視察、阿弥陀川中流護岸 支流堰堤 坊領川

大山崩壊地 倉吉治山事業所出張所

佐陀川支 精進川砂防成功地 (開拓適地ナリ)

大神山神社参拝

中食及休憩 皆生 東光園

鶴の湯方晚餐 支部長 (県議長) 中島龍一氏 [日記は中田、中島が正] 催

8月6日 曇雨冷 (水) ^{〔朱書〕} 広島爆撃 玉造 830 - 230 松江

27年ヨサン割当 109,500,000 円

島根県 (砂防協会) 支部総会 3.30 松江 湖畔亭 85 会員中 70 名出席

日登 日登堰堤 (直轄)

三成 三成堰堤 (直轄)

横田 加食堰堤

三成 県発電所ヨテイ地

三成 仁多郡 斐伊川水系砂防陳情中食 曾田旅館

雀の湯晚餐会 伊藤局長 県支部長竹内^{ス、ム}懋 有馬博雄 (土木部長)

伊達議員 草光氏来場列席

全国治水砂防協会有志会（欠）

8月7日 雨冷（木）野々村浩氏迎送

玉造 8.40 - 19.05 下関 19.10 - 21.57 博多 長浜荘泊

矢富義児氏迎送 益田駅 砂防課津野章智氏同車

飯田（一実氏）福岡県土木部長、堀砂防課長補佐下関迎

田中保蔵氏県議会議長ト同車（下関ヨリ）

8月8日 （金）^{〔朱書〕}ソ連開戦

対馬行 博多発 am10.00 - 16.00 巖原（海王丸いすず 264 吨）

カニエ人事委員長、加藤委員訪問（いろは方） 佐伯旅館泊

8月9日 （土）^{〔朱書〕}長崎空襲 am8 - pm6. 佐伯旅館泊

対馬支庁 815 - 管内概況聴取、石黒氏挨拶

対州鉦山（鉛 亜鉛） 佐須村役場 中食、陳情

小茂田港視察 海王丸乗船

久根浜上陸 久根田舎土地改良視察 齊藤栄氏史談

豆酛港視察上陸 中谷旅館小憩、村長其他要望

浅藻湾視察 虎刈林遠望

竜ノ崎砲台跡及椎茸栽培視察

（予備欄）

小田二三夫教授（九大、地熱発電研究）宗像郡福間町

杉山東一氏、国際食糧農業協会へ転職 八月十日 ○目、三谷町

8月10日 （日）巖原-佐賀 石黒 河井 早川 藤井 小沢（幹造氏）家宿

高浜港

鶏知町役場

樽ノ浜

仁位港 仁位村役場

仁位港

三根港

ウゲツダム（穿ダム）

佐賀港視察

8月11日 (月) 佐賀—比田勝—佐須奈—比田勝
一重港 港視察 平山 旅^カ籠屋
浜玖須 水田
比田勝 (港、缶詰工場 造船工場 製氷会社) 梅屋中食
佐須奈
佐護 砂防工事
佐須奈 水田

8月12日 (火) 27.320 巖原 佐伯旅館
比田勝佐須奈発 (船) 佐須奈港
佐護
伊奈
仁田 巖原見物 旧城址 CIC
ナカツグ
暢孫誠実氏邸
萬松院及宗家墓 宗^[ニジミ]家ノ倉^[ニジミ] 庫アリ
修善寺陶山先生墓
廉見 原田三郎右衛門碑及墓
小綱
ママ
水先港
大船越北村真珠養殖場、万関瀬戸^[ニジミ] □ □
鴨居浜 久田公会堂懇談会 730

8月13日 (水) 〔朱書〕 伊沢氏命日 巖原 7.50 — 10 勝本—鯨伏村
那賀村—芦辺—石田村—武生水町 430 (平田旅館泊)
畜牛 (鯨伏村) 古墳 農業試験場分場 (那賀村)
(中食) 芦辺港 農業 土地改良 水利事業 (石田村)
熊本利平氏邸 (小憩) 家畜保健所 (種牛) 武生水町
船ちくご 船長有村富男保安官、機関長横山禪一保安官
内海右金吾 壱岐支庁長 するめヲ贈ラル
藤田忠員氏 試験場壱岐分場長 (那賀村)

8月14日 (木) 〔朱書〕 ちくご^{ママ}塔乗 佐世保市万徳町
郷の浦 830 — 10 平戸港 田口楼 視察団意見打合会 まつら荘
及町村長並農事指導員会
中食 (石黒氏等及藤野氏ト別ル)

平戸港 d.200 ちくご (赤木氏 河井) 土木部長塩塚重蔵氏案内
 柚木村

川谷 dam 視察

弓張岳展望台 助役山中辰四郎氏斡旋

市長中田正輔氏招宴 7-まつら荘 (所労ノ為中座ス)

8月15日 (金) 佐世保 8-有田-上波佐見-諫早-長崎 本田屋

小佐世保川 23年災害復旧工事視察 (佐世保小学校上)

館林英夫氏方訪問

上波佐見町中尾郷広川原崩壊地及ダム工事視察

諫早市役所ニ野村市長訪問 (梅崎哲一氏来訪)

長崎著 (老岐平戸經由)

長崎県庁出頭 知事へ挨拶

知事招宴 四海楼 650 精霊流見物 8-10

8月16日 (土) 曾我祐邦氏逝 (84) アタミ市小嵐十五日 pm1.

藤野氏父子来訪 企画室主査高田信一氏来訪

長崎県庁出頭 9.15

相良千里技師ト会见 甘藷飼料意見書ヲ渡ス

教育長田中円三郎氏ト会见 次長黒田義晴氏 県議松浦規氏

藤野議員 同令息同席

県澱粉協会常務島田昇氏 同主事前田清氏ト会见

長崎発 1230 西岡知事見送、佐賀下車 館林方泊

下出民義氏逝 (91) 名古屋市中区南鍛冶屋町 下出義雄氏父

(予備欄)

平戸町 松本久三郎氏 (観光協会)

長崎市、澱粉協会常ム理事 島田昇氏 前田清氏 (主事)

教育長田中円三郎氏 相良千里技師

国吉 氏防府 (三田尻) 県営経営者伝習農場長、

山田啓一氏 長崎県農業改良課長 (七月一日徳島場長ヨリ転^[ニジミ])

曾我準和氏 熱海市小嵐町

8月17日 (日)

弔電2、曾我祐邦氏遺族、下出民義氏嗣

渡辺辯三翁

鍋島知事午餐会（公舎）

視察2、駅ヶ里部落（生活改善）、県農業試験場
会合、興農青年連盟、篤農有志 川上、春日山道場

8月18日（月） 板谷秘書課長

佐賀 1046 - 1129 鳥栖 11.46 - 1515 門司港

下関 2014 -

関門国道建設事務所長中尾光信氏 下関市壇之浦

8月19日（火）

440 岡山 503 - 608 笠岡 1700 - 1807 岡山 1822 -

いも博物館見学 威徳寺墓参

いも増産推進会結成会出席（市役所）

渡辺辯三翁岡山駅マテ同車

笠岡市長小野博氏、議長坂本輝太郎氏

8月20日（水）^{〔朱 書〕} 長谷川鉄雄氏命日（昭和20年）^{〔朱 書〕}

508 静岡 530 - 634 掛川 1246 - 1.49 静岡

静岡 1.54 - 255 富士-富士宮-富士 655 - 905 掛川

青山士氏来訪 戸塚重一郎氏往訪

深澤鉦二氏往訪

佐藤東氏（宮司）往訪

文部省宗務課長篠原義雄氏

8月21日（木）掛川 830 - 901 浜松 Mr Ginnel BS

川上嘉市氏見舞

岩崎浜松市長訪問

小山正氏訪問 鈴木寛氏不在

可美村村長訪問

和地村賀茂政晴氏方座談会 宇津山犇蔵氏

山崎昇二郎来泊

8月22日（金）

熊村昌一郎氏来訪 12.50 一本杉隧道開通式 国鉄バス営業開始ノ件
光明村長平野廉作氏来訪

松浦英一氏来訪 九月二日議院看覧ノ件
石間たみ子来泊

8月23日 (土) 掛川 12.46 - 110 金谷 605 - 630 掛川
報徳社 9 - 報徳学園第五期第六期生 70人
戸塚九一郎氏 同重一郎氏訪問
小田原勇先生訪問

(予備欄)

原田音吉氏 ^[ニジミ カ] 蒲田区蓮沼 44.六条方 Aug.21.転居

8月24日 (日) 掛川 709 - 854 豊橋 1344 - 1841 品川
^[カスレ]
○ □ 興報徳会 豊川稻荷 10 - 3

8月25日 (月) 登院、育英会ニ 15,000 立替 ^[朱書] 柴田氏命日 ^[朱書] (昭18年)

興三見舞 議員徽章再交付
杉田専門員ト会見 赤木氏ト相談
海上保安庁往訪 (長官不在次長ニ面会)
高尾宮内庁秘書課長来訪 1.30
佐藤議長ニ挨拶

8月26日 (火) 登院
第十四回国会召集日 (八月五日詔書) 議席決定
総会議長就任挨拶

緑風会総会 10 -
土岐章氏来院
故津久井利行氏弔問 (内田明氏同行)

興三見舞、副院長佐奈田幸夫氏 (医博) ニ挨拶 石川光子贈
8月27日 (水) 登院 ^[朱書] 重友誕生 ^[ニジミ カ] □ □ ^[ニジミ カ] sol Calodin
大蔵省主計局長ニ補正ヨサン恩給是正 ^[ニジミ] 計上要求
会務委員会 12 -

西岡長崎県知事来訪 340 文部省監理局長近藤直人 助成課長 赤石
榛村桜木村長来訪 10.

林業試験場 大崎 (49) - 0935 - 6.

全国治水砂防協会有志会 徳川 次田 赤木 正 木全氏 兵藤^{〔ニジミ〕}議長
〔縦書1行〕大森健一郎^{〔ニジミ〕}来訪 興三^{〔ニジミ〕}ヲ訪フ^{〔ニジミ〕}

8月28日 (木) 登院〔朱書：米軍厚木飛来〕

緑風会会務委員会 12 - 衆議院解散 12.20

議員総会 1 -

長崎・国鉄前総才訪問 pm4 公邸 33-9941 一番町 12 2

Ⓢ 42-724 北沢四ノ三三 六

河合良成氏訪問 3 -

興三見舞

8月29日 (金) 帰村東京 945 - 1500 掛川.

本会議 10 -

報徳社 3 - 5 黒田、大橋、中山、小の、外

戸塚重一郎氏訪問 5 - 8 赤堀、大石、中山、県議報告 蔦ヶ谷(丸尾帰去)

町有志会：国会報告 4 - 430 竹の丸(町会、商工会)

館林上京(面会セス)

大河内正敏氏逝

8月30日 (土) 斬髪 上京 掛川 1107 - 1215 静岡 3.25 - 647 品川

帰村。東京 1-4.07 静岡 437-5.57 掛川

第十四回国会開会式 11 -

小柳氏来訪

戸塚重一郎氏訪問、事務長承諾通告ヲ依頼

斉藤知事訪問(公舎) 副知事吉岡恵一氏 仁科土木部長訪問(県庁)

森田豊寿氏訪問

次野氏 澤野氏 館林へ贈

(予備欄)

柴田寿一家 薫 杉並.大宮町 学生

達夫 大田区田園調布

光三郎 中野区桃園町

見付 家…見付小学校長鳥井先生仮寓ス

大平駒槌氏 京都市左京区田中春菜町

桜井新一 金谷町 尾崎氏親戚

中田二三男博士 宿所 杉並区和泉町 田中正次郎

(エジミ) (エジミ)
連絡所. 東京電線 KK. 57 - 4709 0266

8月31日雷夜雨(日)登院 土京。掛州303—7.45品川

緊急集会 10 -

総会 1.教育委員会法改正ニ付、緊急集会要求ノ件

2.中央セン挙管理会委員長選任ニ付、態度決定ノ件

第七十回天真会 10 - 3 天理教会堂(欠席)

興三見舞

9月1日 朝雷雨(月)登院 27.340 二百十日 大震災記念日

榛葉康子来訪(12…) 230 杉山夫人卜来院

大河内正敏氏告別式 2 - 3 本願寺

9月2日 (火) ^[朱書]降伏条約 名古屋行 1030 -

一行、徳川、高瀬、赤木、杉山、河井、

館 杉山氏…此夜 志な忠方ニ泊ル

第四回青年報徳講習会

古島一雄氏百日忌

9月3日 (水) 帰京 名古屋 321 - 450 浜松 ^[朱書] 依願免官 (昭11年) ^[朱書]

名古屋著 518 森副社長出迎 休憩朝食かもめ方

丸山ダムへ出発 8.30 視察 昼食

丸山発 1 - 名古屋著 3 - 名古屋 321 - 445 浜松

9月4日 (木)

小笠郡町村長会 11 -

地方事ム所、検察庁、及ケイサツ挨拶

選挙関係幹部集会、2 -

経済調査庁静岡局長外三課長 来訪

〔縦書1行〕池新田町 野川清松氏来訪 二男俊郎氏ノ件 依頼

9月5日 (金) 掛川 712 - 西鹿島 830 - 930 熊

浜松 416 - 454 掛川

一本杉隧道落成式 11.30 (青山士氏同行)

熊横山間道路並横山橋視察 (岩崎市長ノ車ニ乗ル)

戸塚候補ノ為第一声 pm6.30

9月6日 (土) 掛川 930 - 1008 静岡 7.56 - 905

街頭演説 (堀之内)

静岡地方監察局出頭 11.

千代田寮開寮式 130 - 400 東京 10 - 1303 静岡

^{〔ニジミカ〕}
温讓 経 講話 430 - 500

片平氏 平岡夫人 小笠原氏訪問、^{〔ニジミ〕}藤田氏案内

服部氏訪問 (不在)

興三退院ス 永かりし病の床を打払ひ家に還りを知らせ喜ぶ

(予備欄)

^{〔ニジミ〕}
佐藤建治技官 鳥取、島根ニ同行

^{〔ニジミカスレ〕}
広島県福山市東深津 暁の星学園

^{〔ニジミ〕} ^{〔ニジミ〕}
舘林 佐賀市松原町 69 平川旅館 (佐賀 673)

9月7日 (日) 出社

報徳社常会 神谷、丸山、加藤、河井、

柴田伊代子夫人 墓石ヲ建ツ (不参)

選挙運動、桜木村へ出動

選挙演説会 1 - 報徳社、丸尾、黒澤、戸塚、河井

小田原、服部、黒田、上村、

9月8日 朝雨、曇 (月) 平和条約調印式 ^{〔朱書〕}

第四回報徳青年講習会講演並終了式

選挙事務所出頭 堀越氏 高瀬氏へ依頼

小栗一雄氏来訪 5 - 6

〔縦書 1 行〕 高セ氏へ打電、一三四五六ノ四日、才出乞フ (返)

9 月 9 日 驟雨 (火) 金谷行。掛川 8.33 - 8.55 金谷 弁天 705 - 810 掛川

中村候補応援 金谷 12.10 - 12.58 浜松

浜松^{〔エジミ〕} - 可美^{〔エジミ〕} - 舞阪 - 弁天 - 新居 - 白須賀 - 新所原 - 新所 - 入出 -

鷺津^{〔エジミ〕} - 新居 - 弁天

金谷町演説 11 - 12 五和 - 菊川 - 松島 - 神谷城

水野彦治郎氏 (静岡行) 同車、同氏立候補 辞退

郡農協組長会議、10 - 1015 (欠) 戸塚^{〔エジミ カ〕} 候 有口

9 月 10 日 (水) 掛川 8.33 - ^{〔エジミ〕} 9 .05 藤枝島田。

宮城先生卜同行 島田着 12.04

島田 - 向谷 - 大長 - (神坐、鶴網、相賀、伊太

- 大津 (野田、落合) - 島田 (戸塚同車)

島田 - 六合 - 初倉 - 吉田 - 川崎 (戸塚^{〔エジミ カ〕}、宮城^{〔エジミ〕}、黒澤

湯日小学校演説会 河井、宮城、戸塚、黒澤

島田第四小演説会 7 - 甲賀、河井、黒澤、宮城、戸塚

萩^{〔エジミ カ〕} 間^{〔エジミ〕} □ □ 婦人会 - 宮城

全国治水砂防協会有志会

9 月 11 日 驟雨 (木) 三島行 833 - 1014 由比^{〔エジミ〕} 1118 - 1218 三島

由比地辻視察

三島 408 - 700 掛川

三島大社参拝

報徳社浜松館常会 (欠)

報徳社三島出張所講習会 第三日 1. 50 人 終了式 2. 社長会

矢田部氏訪問

大社

斉藤一 (持越) 勝又徳蔵翁 (小沢)

西瓜^{〔カ〕}

9 月 12 日 (金) 掛川 709 - 7.49 浜松 751 - 809 掛川

中村候補応援 浜松 9 - 積志 - 北浜 - 浜名 -

赤佐 - 中瀬 - 二俣 - 赤佐 - 中瀬

- 竜池 - 笠井 - 長上 - 和田 - 中ノ町 - 飯田 - 葛川

一河輪一芳川一 700 浜松

平野繁太郎氏母堂弔問

報徳社川崎館常会 腕時計成ル石澤氏届来ル

昇三郎来泊

渡辺史郎氏来訪 大石光之助氏紹介

9月13日 (土) 掛川 833 - 912 藤枝一焼津 451 - 557 掛川

^{〔ニジミ〕}ママ 四 之谷政男氏常会へ来問。多々羅勝雄氏見送^{〔ニジミ〕}

山口忠五郎氏訪問 (不在 夫人ニ面会)

片山いさ子訪問 事ム所出頭山^{〔ニジミ〕}□ □ □氏来援

昇三郎静岡行 川崎相良ヲ経テ帰ルー泊

報徳社志太常会 10 - 出席者四〇講師村田忠^{〔ニジミ〕} □ 氏

(予備欄)

八栗一雄氏 世田谷区代田

^{〔ニジミ〕} 四 之宮政男氏 藤枝町木町 山口氏関係

^{〔ニジミ〕} 青 島喜重氏 高洲村 多々良酒造 相川村

中村事ム所 鍛冶町

9月14日 (日) 掛川 90010 - 御前崎 - 白羽 -

^{〔崎脱〕} 御前港視察 相良 - 川崎 930 - 11.掛川

御前崎個人演説会 2 - 蔦ヶ谷氏 荒木氏 山菅氏 河井

白羽 〃 3 -

鈴木八郎左衛門氏. 竹内 矢部太郎氏

高木三郎氏

〔縦書1行〕身をけつり骨をくたきて西東、けふもまた乗る火の車かな

9月15日驟雨 (月) 掛川 833 - 1000 清水 転居^{〔朱書〕} (昭10年)

高部村柏尾川工事視察

神戸保氏訪問 (揮毫)

静岡事ム所訪問 鈴木貞次氏 中村雄一郎氏 戸塚昌宏氏

川井健太郎氏訪問

芙蓉会役員会訪問 (長) 馬^{〔ニジミ〕} 浏

入出村消防大会 11 - 12 (欠)

駿河東報徳社常会 10 - 二十名

南山出張所常会（休会）

〔縦書2行〕報徳のいはらのむらハ 世の楽土、山にもかねの みかんすゝなる
世の楽土築きし人のいさをしを仰けひろめよ 村のもろ人

9月16日小雨（火）―〔日曜日〕― 出動810－6

掛川―佐倉〔ニジミ〕 倉〔カ〕 口〔ニジミ〕（役場、農協水野氏）―比木（役、農）―池新田

（役、農、丸尾氏）―朝比奈（役、農）―新野（役、農）―

南山〔ニジミ〕（役、農）―小笠〔カ〕（役、農三柏氏）―掛川

掛川―堀之内（役、農）―河城（役、農）―六合

横地（役、農）―掛川（同行、蔦ヶ谷、荻〔ニジミ〕 原〔カ〕、石野、縣）

静岡県大菩薩会2－3

掛川営林署.

9月17日（水）出動820－6.

掛川―（堀之内）―加〔ママ〕茂（役、農）―内田（〃）―佐束（〃）―

土方（〃）鷲山先生見舞―大坂（〃）―中村（〃）―

平田（〃）（昼食）―千浜（〃）―睦浜（〃）―大淵（〃）

―横スカ（〃）（婦人会、高等学校関係 町村長会議長

―笠原（〃）（街頭演説二回）

同行 蔦ヶ谷、荻原、

9月18日（木）掛川830－840 袋井853－940 森

原田（役場 農協）―原谷（〃）―和田岡（〃）―曾我（〃）

同行、蔦ヶ谷

報徳森館常会10― 天方村鍛冶島森下平四郎氏

日月神社ノ幟揮毫依頼

1120－230

鍛冶島自得院 深見元堂師

9月19日雨（金）掛川 ⇄ 浜松

石黒氏使井上勝英氏来訪（小金井農牧取締）

森下平四郎氏来訪（揮毫謝礼ノ為）

事務所出頭 選挙費用寄付

中村候補応援1－3（市中行進）

赤松照彦氏訪問（則良男 3 3 回忌ニ付）

柴田夫人ノ墓参リ 青山士氏訪問（不在）

〔縦書 2 行〕：闇のよを明るく照らす炬火もかな われもさゝけむ貧の一灯
貧といへと一灯はあり やみの夜を明るくてらす炬火となすへく

9 月 20 日 （土）掛川 830 - 851 磐田 1226 - 1301 金谷一家山-久野脇-上長尾

同行者小栗一雄氏 案内者小^カ□□□□^(ニジミ)

大井川鉄道 伊藤利司氏

家山 3 - 5 小学校 10 人 山下志香氏 原小三郎氏

久野脇 7 - 9 小学校 700 小平林作氏方夕食

村長鈴木宗一郎氏 小澤佑氏（医）上長尾

報徳社見付館 10 - 1120 100 人 23 時梅野屋泊

（予備欄）

〔記載なし〕

9 月 21 日 （日）上長尾 800 - 下泉 - 千頭 - 小長井 -

千頭 - 徳山 - 金谷 637 - 900 掛川

来訪者、村長鈴木宗一郎氏、医小澤佑氏（上長尾）

殿岡幸治郎氏 伊藤馨氏

東川根村役場演説会 10 - 12 小澤、小栗、河井、10 人

徳山村小学校演説会 1 - 3 小澤、河井 8 人

砂防地視察

小栗氏帰京（千頭ヨリ）

〔縦書 1 行〕高見派ノセンキヨ違反横行

9 月 22 日 （月）掛川 210 - 土方 - 佐東 - 小笠 - 池新田 -

高瀬氏来援 1020 著駅 - 11.30 宅.

掛川町遺家族会主催 戦病没者慰霊祭 1 …報徳

個人演説会 聴衆 150 人□ 但小笠約百人

土方村 山本亮、山菅正誠、高瀬荘太郎、松森英雄、河井

佐東村 同上

小笠村 赤堀猪太郎及同上

池新田町 丸尾謙二及山本、山菅 松森、高瀬、河井、

9月23日 (火) 秋分の日 掛川 551. 焼津

体口詣 観世音 神宮寺

加茂村婦人会 2

原田村 3 - 5 個人演説会

焼津市 7 -

藤枝町 3 - 517

○赤松元中将 33 回忌

9月24日 (水) 上京 掛川 833 - 1.48 新橋

登院 □次氏へ電話

赤木氏ニ面会

当間氏遺贈帽子^カ到着

文部省 相良総務課長訪問

会計検査院検査第四局長大沢実氏訪問

〔縦書 2 行〕 涙してかふるパナマの New Hat □ □ 会ノ昔 □ □ □^{〔ニジミ〕} □ □ □^{〔ニジミ〕} □ □ □^{〔ニジミ〕}

9月25日 (木) 佐賀行

東京 10 - 1306 静岡 - 1420 浜松 - 2020 大阪 2040

9月26日 (金)

848 門司 900 - 1041 博多 1055 - 11.27 鳥栖

鳥栖 1143 - 1226 佐賀、平川旅館著、泊 1430

鹿島町小学校演説会 7 - 10 300 人

9月27日 (土) 佐賀 1.54 - 302 有田 319 - 342 伊万里

228 - 402 // 435 - 503 //

個人演説会 359 - 544 // 623 - 651 //

伊万里町中部小学校 730 - 9. 興銀支店前 吉永下駄店前^{〔ニジミ〕}

二里村公民館 830 - 12.

大阪銀行佐賀支店長倉田清兵衛氏 玉屋 dept 隣訪問

(予備欄)

〔縦書 1 行〕 金谷町 □^{〔ニジミ〕} 神谷城 菊川右岸崩壊工事費

9月28日 (日) 有田 2.30 - 3.40 佐賀

個人演説会

市内日新小学校 6.30 - 9. 河井受持 7.30 - 8.00

〃 神野小学校 7.00 - 9. 〃 8.30 - 9.00

早津江小学校 8.30 - 11. 〃 9.50 - 10.20

明蓮寺 楊柳亭泊

酒井田柿右衛門 曲川村 (角田.243)

9月29日 (月) 帰村

1549 1648

佐賀 1615 - 1657 鳥栖 1703 - 1735 博多 1750

9月30日 (火)

831 大阪 840 - 1421 浜松 1435 - 1503 掛川

町内 on parade

戸塚候補演説会 730 掛川報徳社

事務長挨拶

10月1日 (水) 上京 登院

掛川 833 - 1348 新橋

緑風会ニ出頭

衆議院議員総選挙

10月2日 (木) 登院

図書館ニテ読書 故当間重民氏贈 パナマ帽受領

赤木氏ト打合セ

村上運輸大臣訪問 1 - 2.30 高橋通産相訪問 3.20

戸塚氏 (第二位) 中村氏 (第四位) 舘林 (第五位) 当選

町村氏 山崎氏 牧野氏 大村氏当選 富田氏 〃

神田氏 金原氏落選

掛川遺族会 150 名 皇居拝看後議院参看 (□)

10月3日 (金) 登院

健康診断 血圧 174 (又ハ 150) - 76

塩島育英会主事来訪 立替金返済 (Aug25th)

伊東弥恵治博士見舞 御茶水 2.35 一千葉一 630 宅

10月4日 (土) 登院

宮城夫人、西村代議士、神田前代議士 訪問

佐藤議長ト会见

石黒忠篤氏ト会见 12.30 - 200

社団法人静岡県人会役員会 5 - 参議院会館食堂

高瀬荘太郎氏ト会见 3 - 3.30 富士山神体ノ件

(予備欄)

五日順宮様御茶会

珈琲 日本酒 冷食

パンニ 菓子ニ

ハムニ片ポテト添

フライドフィッシュー

梨一 ^(=ジミ) □

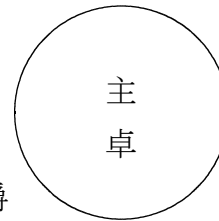
百武元侍従長

三谷侍従長

御養育掛女官

東伏見宮伯爵

順宮殿下



田島長官

大谷元大夫

保科女官長

大金元侍従長

河井

10月5日 (日)

報徳社常会 (欠席) 公二君往訪 (不在)

教育委員選挙

厚子内親王殿下御茶会 3 侍従職西口玄関ヨリ参内

10月6日 雨 (月) 静岡往復 品川 8.11 - 11.14 静岡 1.08 - 2.15

浜松 3.41 - 7.56 品川

甲賀安藏氏令嬢ト出会 (静岡市電)

三橋四郎次氏見舞 静岡市日赤病院

岡野繁藏氏見舞 (ヤメ)

金原舜二氏見舞 浜松市日赤病院

平喜店 (昌宏氏) 知事 (不在) 警察隊長

森田氏 (BS) 川井氏 (不在) 大石県議ト出会

10月7日 (火) 登院 昇三郎帰阪

緑風会議員集会 12

山本有三氏と懇談 Unesco 会議 Nov10 Paris

石黒忠篤氏と懇談

伊東市長太田賢治郎氏来訪 法制局三部一課長村田育二氏へ用件

10月8日 雨(水) 登院

対馬開発打合会 2 - 会館No. 149 石黒氏室

北海道開発事業調査

中村氏夫人来訪 重友来訪

全国治水砂防協会 12 - 徳川公大河内子爵^カ 両^{〔ニジミ〕}氏

血圧 164 - 76. 山崎氏 小林氏 赤木氏^{〔ニジミ〕} 河井

10月9日 (木) 登院

議長事務総長ト会見 山本氏ユネスコ総会出席ノ件

丸亀秀雄氏来訪 1030 - 木下水産委員長継続ノ件

10月10日 (金) 登院

順宮厚子内親王殿下御帰嫁に付奉賀 対馬対談 日時打合 侍従長 次長

甘藷献上ノ件 永積侍従ニ伺

内山眞龍翁御贈位ノ件 高尾秘書課長ニ懇談

坂田管財局長往訪 2 - 高瀬氏同行 富士山ノ^{〔ニジミ〕} □

村上運輸大臣ト電話 歳費俸給^{〔ニジミ〕} □ □

10月11日雨(土) 帰村、東京 10 - 1.06 静岡 14 - 256^{〔ニジミ〕} 掛川

石黒氏へ電話 宮中御都合報告、三葉会入会勧誘

中山国務相へ電話 堀主治医ヨリ病歴書ヲ受領

赤木氏訪問(会館) 平野氏ヨリ甘藷増産意見^{〔ニジミ〕} □ 稿受取

(予備欄) 浦上敏夫氏 島田土木事ム所 藤枝工営所 (308)

戸塚九一郎氏 熱海市西山

藤原正治氏 世田谷区上馬町

鈴木貞次氏 静岡市北安東(元陸軍中将)

藤田忠貞氏 長崎県壱岐郡那賀村 農試壱岐分場

高橋榮一郎氏 浜名郡可美村長

西田悦夫氏 財団法人諸善会館 中、椿町一丁目

10月12日(日) 昆陽祭^{〔朱書〕} 大阪行 芦屋泊
掛川 1126 - 1159 浜松 1225 - 1810 大阪
高子夫人出迎 芦屋泊
布施先生往訪 神戸市東灘区深江神楽田 (御影局区内)

10月13日(月) 布施博士ノ車ニ同乗 国立大阪病院ニテ検診。930 - 4.30
布施博士 肺、心、胃、腸、肝、胆、腎、脚、神経
中村医長 尿、血圧 耳 眩暈 Pseudo Menieres check
藤原博士 眼、視力(眼鏡) 白内障(ナシ) 飛蚊(ママ) 症
老人性結膜炎 眼薬ヲ与ヘラル
X光線ニヨル心臓脚部撮影

芦屋泊

10月14日(火) 休 芦屋泊
吉田首相へ宛書状ヲ認ム 発送 眞龍翁ニ贈位ノ件
内山正氏、重友、興三へ発状
三島甫往訪 3 - 7. 直子健康回復。□□尿□查^{〔ニジミ〕}

10月15日雨(水) 布施博士ノ車ニ同乗 国立大学ニテ検診。10 - 2
X Ray 照射(写真撮影一回) 三回□□□□□□□^{〔ニジミ〕}
採血第一回。10.15 採尿第一回及葡萄糖 100g 合□用 45^{〔ニジミ〕}
採尿第二回及採血第二回 11.15 採尿及採血第三回 1155 尿 □^{〔ニジミ〕}
採尿及採血第四回 12.50 大便排 出^{〔ニジミ〕}
中食 1.30 ソレマテハ朝来飲食ヲ断ツ ○頭痛止□下剤ヲ与ヘラル
全国治水砂防協会(欠)
角皆利策^カ訪問 830 - 330 □□訪□^{〔ニジミ〕}

10月16日(木) 芦屋滞在
布施博士訪問 8 - .神楽新田一帯、排水 状^{〔視脱カ〕} 視察
原口神戸市長訪問 11. 排水施設急施ヲ要望ス
市長不在ニ付秘書課長角張繁市氏ニ面会
泰治宅訪問 1.30 - 4.0 泰治不在。中食ヲ饗セラル
住吉川 芦屋川 視察

10月17日（金）芦屋滞在

田淵丑太郎氏往訪 豊能郡西能勢村東栖

全国治水砂防協会岩手県支部総会

東照宮秋季大祭 930 - (欠)

〔縦書3行〕 特長アル日本栗産地 林野庁特産企画官入野陽太郎氏

山梨ニ東山梨、松里村武士原甲州栗 北巨摩日野春村日野春栗

長野上高井小布施村小布施栗

10月18日（土） 掛川行。大阪 840 - 221 浜松 浜松 235 - 303 掛川

朝布施先生へ挨拶状ヲ認ム。

大阪駅頭見送。 昇三郎、泰治、三島甫。

浜松乗換1時小山正氏ト会见。眞龍翁御贈位ノ件、首相宛手紙首相返書ヲ写ス

布施信良博士 神戸市東灘区本庄郡神楽町

（予備欄）

国立大阪病院 東区法円坂町一・二番地（東 94.336 - 7）

大阪建物会社 北区宗是町一・土佐堀 44 - 1931 4951

藤原謙造博士 国立大阪病院眼科医長 京都上京区

中村博士 " 耳鼻科医長新烏丸頭町

寺田二郎氏 Xray 科

田淵由喜夫君（培本塾卒業生）大阪府豊能郡西能勢村

10月19日（日）帰京、掛川 1246 - 64 品川一

便通停止ノ為出発遅ル

岡田啓介氏（元海軍大将、首相）葬儀

興三健在。館林佐賀行 東京 1 -

10月20日（月） 登院

後藤文夫氏申入（伝言電話）

伊豆明朗会甘藷共進会 1 - 丸山氏講話 6 - (欠席)

高瀬氏ト打合 下村氏訪問ノ件（電話ニ止ム）廿七日見学ノ件

文部省監理局長往訪 梅木村組合中学補助ノ件

総務課長ト面談 一一高尾宮内庁課長へ書状

砂防協会広島県支部長以下十数名来訪（中津井眞氏）

全国治水砂防協会ノ当選議員歓迎会 5 -

出席者 50 名 植原 森 中井 牧野 薄田 町村 諸氏ト懇談

10月21日(火) 登院

安倍涼基氏来訪 900.

緑風会総会 12 - 中山吉平氏来院 12 -

Parker Pen 買入 Price 6900 円

石黒忠篤氏ト打合 2 - 大久保技官ノ報告聴取

橋本清之助氏来訪 9 -

10月22日(水) 会館執務

三越ニテ買物 冬服 帽(鳥打) マス子同伴

津村卓郎氏(大田区南千束町)ト出会ス

静岡県人会 5 - 参議院会館(欠)

内田重成氏晚餐会 5 - 目黒雅叙園 内田重成氏来館

全国治水砂防協会 12 - 会長池田氏 赤木氏 河井

後藤文夫氏来館 4 - 木村武氏来訪 330

10月23日(木) 内閣総辞職 自由党々首会見 1.30

登院(館林ト同車)

塩島金一郎氏来訪

緑風会会務委員会 12 - 常任委員割当方法 委員長割当 議席決定等

藤川正達氏(熊本県)来訪 2 - 庵原村長、片平氏及中山常務

林廣人氏ヨリ紹介

桜木村助役外一名来訪 組合中学校国庫補金額ノ件

高橋道男氏晚餐 5.30 - 銀座いわしや 佐藤議長 赤木河井

10月24日(金) 27393 登院

第十五国会召集(八日詔書) 内閣委員長ヲ免セラル 議席決定 委員長更任 会期決定

内閣総理大臣指名 10 - 20

緑風会議員集会 9.45 - 随時

対馬ニ付テ対談 2 - 4.30 皇居内花蔭亭(御思召ニヨリ)

10月25日(土) 登院、帰村 東京 1 - 4.07 静岡 静岡 439 - 509 掛川

赤木氏ト打合 図書館ニテ調査

内閣官房総務課長訪問

小野彦治郎氏ヨリ遠江射場復活反対運動ノ^{〔エジプト〕}□ヲ聞ク

(予備欄)

後藤文夫氏 世田谷区玉川上野毛

文部省総務課長福田繁氏 監理局長近藤直人氏施設部助成課長赤石清平氏

安倍涼基氏 杉並区和田本町

10月26日(日) 出社 1030 - 3.30.

榛葉康子へ返書及返電 熊村村長へ返書

報徳農学塾生(男、女)へ講演

揮毫 上張部落自治会結成記念手拭ノタメ

小野仁輔氏 其他へ応嘱

睦浜村長 電話 沿岸試射場設置反対ノ件

鈴木志直氏山崎昌平氏来訪 7 - 那須局長相続ニ付推薦依頼

天真会(第71回)政局見通シ談ヲ拝ス

10月27日(月) 富士宮行 掛川 833 - 1036 富士

大橋恒友氏(中瀬村、静岡県蚕糸会社中瀬工場長)ト同車 富士駅ニテ別ル

Blue Lodge Fellowship dinner 6.

富士山実地検分

駿河銀行 Cook tail party 4 - 6 東京会館

〔縦書き〕直哉惟清婿 舜帝祭神之戒 中^{〔カスレ〕}□三島博士 伊江男女

10月28日雨(火) 登院

睦浜千浜池新田佐倉町村長来訪 10.30

谷垣専一農地局管理部長 水産庁長官(次長海路課長面会)

平川農地局長訪問 2.30

緑風会議員集会 11 -

全国運送代体中央協議会委員長

新倉文郎氏(銀座一ノ五〔銀一ビル〕大和自動車交通会社社長)来訪

10月29日(水) 登院

徳川宗敬氏ト会談 柏木^カ廉治氏訪問

~~東海道完全舗装期成同盟会陳情組織 10~~——市公会堂 (欠)
恩給問題ノ解決ニ付テ、三橋局長報告 11.30。
地域給引上又ハ設定ニ付テ静岡市、小川町代表来訪
遠江射場反対町村集会 10 — 欠席 (電)
全国治水砂防協会 12 —

10月30日 (木) 登院 徳川氏赤木氏ト要談。
水産委員会 10 —
土肥町代表来訪 三ヶ日町長来訪
東海道完全舗装期成同盟会陳情 pm1 県東京事ム所
佐藤議長古稀祝賀会 430 工業クラブ ¥ 1500.
吉田内閣認証式
〔縦書き〕 □□^[カスレ]の上りは□□^[カスレ]初登城

10月31日夜雨 (金) 登院
御前崎、三ヶ日町村長来院 地域給ノ件
中央气象台長
対馬開発ニ付対談 2 — 4.30 (陛下御前) 石黒.赤木.河井

11月1日 (土) 27401 登院
映画看覧
五三会第五回例会 5 — 日本工業クラブ

(予備欄)

松本堅三郎氏 港区飯倉片町 竹内勝吉方
塩見友之助氏 水産庁長官 伊東正義氏 漁政部長

11月2日 (日) ^[朱書]米子誕生 品川 8.11 — 12.29 掛川
報徳社常会 土岐章氏来講 作物品評会
池新田明朗会代表小笠婦人会幹部ト会見
睦浜村長 山崎昇二郎 電話
睦浜村中学校へ出動 有末ト会見 5 — 7
戸塚重一郎氏来社会見 330 — 4 蔦ヶ谷町長来訪 830 — 930
田辺顧問病氣 (Oct.30 脳溢血発病) 神谷 中山 見舞

11月3日 (月) 家居

〔ニジミ〕

□ 霊神社献燈揮毫

沼津市 富士製作所田中清一氏祝賀

11月4日 雨(火) 上京.掛川 8.33 - 939 静岡 334 - 641 405 - 745

遠江射場問題対策協議会 10

〔ニジミ〕

仁 科土木部長ト会談

緑風会議員集会

三橋四郎次氏見舞 (小塩氏同行)

竹山代議士ト同車上京

山崎昇二郎来京

米大統領選挙 Eisenhauer 当選

県庁〔以下町村長9名縦書〕

池新田町長 宮本栄太郎

佐倉村長 鴨川源作

千浜村長 藤原治郎兵衛

睦浜村長 宇田 作平

白羽村長 松井仁平次

御前崎村長 小野田喜平

地頭方村長 増田英太郎

相良町長 長野宇恵茂

吉田町長 武田千春

11月5日 風雨(水) 登院

後藤正氏来訪

議院運営委員会 10 - 6

緑風会議員集会 12 -

〔ニジミ〕

首相主催観菊会 15 - 3 新宿御苑 (欠)

全国治水砂防協会 12 (欠)

11月6日 (木) 登院

掛川町蔦ヶ谷町長 志村議長来訪 (緑風会へ)

会務委員会 12 立太子式参列者決定、餐宴参列者決定

選挙対策委員会 12

林業議員懇話会 12 午餐会 1 協議会

大蔵省主計局長往訪 1 - 山崎、赤木、河井 (局長不在)

11月7日 (金) 登院

藁品祐一氏等 地域給関係 来院

永持源次氏来訪 軍人恩給関係 旧軍人関係恩給復活

全国遺族会々長

〔縦1行〕 〔ニジミ〕 中 □北町、 〔ニジミ〕 □神社内

遠江射場反対陳情 杉田専門員へ紹介 1030 一東京事務所集合
農、水、運、外連絡
高瀬郵政大臣訪問 3.15 戸塚労働大臣ト会見 430 院内政府委 ^[ニジミ] □

11月8日 (土) 登院

第十五回国会開会式 11 一

本会議 2 一 賀詞ニ 委員任命ノ承認 質疑三 千葉氏、中村氏、岩本氏
林業議員懇話会 11.15 参第 14 号

農林大蔵両大臣へ要望 主計局長主計官、農林官房長出席
人事院総裁往訪 2 一

緑風会總會

^[ニジミ] □ □ 會議 ^[ニジミ] □ 予備 議員 任命 当選 (議長指名)

(予備欄)

^[ニジミ] 古味 伸夫君 大田区馬込西

二宮先生 銅像再建事業 三生 ミツイキ 貴山作
銅像福岡県篠栗町駅前

相良雄一氏 京都大学事務局長 (京都市左京区吉田町)

林野庁長官 柴田 林政部長 幸田

業務部長石谷 指導部長 藤村

11月9日 (日)

シャツ上下ヲ求ム ¥ 15,000 重友上京来著

秋田藤原一男教授へ発状

11月10日 (月) (No240) 第四休所

皇太子成年式加冠の儀 9.20 参内 正門ヨリ

立太子式の礼宣制の儀参列 1130 儀了 正門ヨリ退出

血圧 146-80 尿中糖微量 蛋白無

11月11日 (火) 登院 映画 大仏開眼 3 一

一(立太子式饗宴)一 塩島主事来訪 8 一

両陛下へ拝賀 皇太子殿下御同席 1130 参内 内廷西口ヨリ参内

御祝酒頂戴 御酒、豚清汁、煮物、^[ニジミ] □ 勢芋、赤飯

睦浜有志来京 10 -

内閣委員会 10 -

大塚政次郎氏来院 2 - 松本勝太郎氏来訪 ^[ニジミ] □ □

下村氏 86 - 0910 井手成三氏 42 - 10 ^[ニジミ] □ □

11月12日 (水) 登院

(立太子式御饗宴)

楠見、赤木両氏 遠州射場視察 東京 8 - 堀ノ内 - ^[ニジミ] 静岡 岡 - 東京

柴田達夫氏往訪 930 国整総務部長 ^[ニジミ] □ 半井氏同行

全国治水砂防協会 12 -

11月13日 (木) 東京 8 - 静岡 1120 - 1221 堀ノ内 - 静岡 1750 - 2030 東京

立太子式御饗宴被召

井手光三氏へ電話 (不在)

当間重剛氏 (故重民氏令兄) 来訪

古味信夫氏ノ尊徳先生尊像頒布会ニ賛成署名ス

静岡県町村会二七回総会 10 浜松市公会堂 (欠)

志太出張所常会 (欠)

11月14日 (金) 朝昇三郎来訪 午後帰阪

参内 1130 マデ 散会 1240 頃 正門入退

立太子式御饗宴被召 皇太子成年式 宮中饗宴の儀

立太子の礼

参内券 3 G No2072.

遠江射場反対有志会 11 - 衆第三会館二号

緑風会選挙対策委員会 1 - 高橋氏ト要談

藤原一男先生来訪

夕公二君来訪 昇二郎来訪一泊

11月15日 (土) 福井行 東京 22.30 - 赤木、次田、木村、^[ニジミ] □ □

殿下御催

皇太子成年式御内宴 11.40 参内 東宮大夫野村行一氏

立太子の礼 No126

全国治水砂防協会 13 - 赤木博士講演 15 - 支部総会 (福井)

駿河東常会 10 -

10 - 協会長室田有、追手町 2 静岡^{〔ニジミ〕}□□□
静岡県私学協会創立五周年式典

(予備欄) お茶水女子大学々長、文、大塚

大塚政次郎氏 松江市東本町四丁目角

^{〔ニジミ〕}当間重剛氏 (故重民氏令兄) 琉球上訴才判所 首席判事

^{〔ニジミ〕}□□□□ ^{〔カ〕}岡本建設局長 ^{〔カ〕} 肱川 dam

^{〔ニジミ〕}□□□□□□□ 中金 松山中 書

^{〔ニジミ〕}□□□武□氏未亡人 もと夫人 9th 逝、下目黒 (男) 守男

11 月 16 日 (日) 715 米原 720 - 1109 福井

福井 9 - 11. - 西谷村中島 1330 - 14. 上庄村佐開 16 - __

1630 大野 俵屋泊. □□ 8,000kw 16 □ - □

視察 西谷村 雲川 笠生川 (中食) 真名川総合開発調査事務所
上庄村 鬼谷川 ¥140. - . - .

11 月 17 日 (月) 掛州 528 富山

大野 9 - 930 上庄村 10 - 11 阪谷村 1120 - 1220 北郷村

14 - 1430 永平寺 1630 - 1520 芦原 開花亭泊

視察 阪谷村 清滝川 赤根川 (中食) 小舟渡遊園地
北郷村 唐谷川 岩谷川

11 月 18 日 (火) ^{〔朱書〕} 平和条約 ^{〔朱書〕} 安保条約 ^{〔朱書〕} 批准

芦原 10 - 1030 東尋坊 11 - 1140 金津 1154 - 1526 富山 富山越^{〔ニジミ カ〕} 路泊

視察 東尋坊 庄川中流太田橋 (柳瀬村)

緑風会集会 12

森 報徳館常会

11 月 19 日 (水) 延楽泊

立山 白岩堰堤 富山 8 - 10 藤橋 - ^{〔ニジミ〕} □ □ - 1210 事ム所

- 事務所 1.00 430 - 市川

上市川

富山県土木部長小林庄平氏

全国治水砂防協会

11月20日 (木) 帰京 富山 21.32 上 ^[野カ] □
黒部 22-7-1 愛本橋 (桜井町) 農林 トノ□係
片貝川上流三ヶ [記号2つ] 橋本技官
井田川ノ先 1230 □屋牧川 室 大長谷砂防堰堤 10 m
20.-.-. 380kw 発電
宮の越堰堤工事中、□□下川 桐□□ 会ヒ 300 円
高瀬戸塚両大臣就任祝賀 3- 上の精養軒 県人会
見付報徳会常会

11月21日 (金) ^[朱書] 鈴木幸作氏命日 (八回) ^[朱書] 水野梅暁師命日 登院
着京 (上の) 7.22
当院 1- 公二君来訪 赤木氏へ紹介 肱川発、末松栄氏、^[ニジミ] □□□□
赤木氏ト会見
静岡県議会議決陳情 労働、郵政両大臣ノ配慮ニ依ル
農林、通産、大蔵、官房長官 保利長官
富士山関係土地審議会 佐藤宮司来京セシモ面会指定ノ時来ラス

11月22日 (土) 登院 高瀬、戸塚両大臣へ ^[ニジミ] □
建設省出頭 10- 富樫道路局長、高野国道課長
企画課長、枝野訪談。次官 (不在)
^[ニジミ] □□□県議来訪 1030 会館中山
佐藤富士山浅間神社宮司来訪 11- 会館
富士山関係書類セイリ
諸方面へ発状

(予備欄)

^[ニジミ] 伊林 □□□氏 富山市堀川小泉町三ノ二県庁公舎
^[ニジミ] To wes □□ cava □□ cost 70.-.-円 year capa □□ 50、^[ニジミ] □

11月23日 (日) 勤労感謝の日 ^[朱書] 小倉嘉明氏命日
新穀感謝行事 11.30 明治神宮新嘗祭 10- 参著 9.30
野村儀平氏来訪 (不在)

11月24日 雨 (月) 塩島氏来訪 登院

本会議 3 - 首相、外相、蔵相、演説
会務委員会 10 会務委員二名補欠
常任委員担当決定
議員総会 1030 委員所属等決定ノ件
選挙対策委員会 12

遠江射場反対陳情 ~~1030~~ 12 - 衆第一会館、第五会議室 食堂
富士山問題 愛知政務次官ニ報告ト依頼 高瀬大臣同断
松本勝太郎氏来訪 赤堀篤氏外三名傍聴
日坂村長、東山村長

Mar13 - Ap5 - May5 - Oct7 - 20□□

〔縦書き 1 行〕東海電通局、多□□部長、田部課長

11 月 25 日 雨 (火) 登院 左膝へ電気 VB1 - 2 注射 洗眼
選挙対策懇談会 1 -
会員懇親会 5 羽根沢 garden (羽沢 □両地)
丸山鶴吉氏往訪 11 日本 club 狭^{〔ニジミ〕}間氏
緒明太郎氏母堂葬儀 2 - 三島市同邸
田澤義鋪氏記念会 1 - 日比谷市政会館四階

11 月 26 日 (水) 登院
本会議 10 - 質問 下条、高田、羽生
決算委員会 1 -
緑風会総会 930
遠信鉄道及国道線指定陳情 浜松市長外十七、八名来訪
全国治水砂防協会 12

11 月 27 日 (木) 〔朱書：小野塚博士命日〕登院
本会議 10 - 質問
中山□〔土扁に白〕氏往訪 130
内閣委員会 230
内閣委員懇談会 (県下委員長主催) 430 分室
天竜川発電ニ関ル水利関係者来訪 3 - 石黒氏会見□□
緑風会会務委員集会 630 赤坂若松方(出王前)

11 月 28 日 雨 (金) 登院

本会議 質疑終了 岩間、柏木、島

決算委員会 1 -

緑風会総会 945 会務委員会散会后、センキョ会其後

佐藤宮司来訪 高瀬氏ト共ニ会见 大竹十郎氏来訪 永野成夫氏噂

林業議員懇話会 11 ——ヨサン報告、木材運賃問題、税制

県庁薫品祐一氏来訪 黒田長敬氏へ返答

国立近代美術館開館 10 - 4、立食 11 - 1 京橋三ノ十一 (都電車 地下鉄)

志村小市氏来訪 町長就任ニ付、鈴木理一郎氏へ電話

11月29日 (土) ^{〔朱書〕} 秀子誕生 登院

天理教東京出張所訪問 教会本部表統領諸井慶五郎氏、出張所長大須賀貞夫氏

緑風会用件 10 池田錫氏来訪

三橋芳夫氏来訪、同氏ヲ中山均氏ニ紹介 静岡ビル建設資金ニ付テ

林業議員懇話会 11 - 鉄道貨物運賃及税制ニ付テ

安倍源基氏来訪 帰県 (Dec1 - 21) ト云フ

(予備欄)

〔縦書5行〕 決算委員会定日時 毎週水、金ノ一時

^カ 窪田一郎 (医) 草津 栗生楽泉園

鈴木理一郎氏 仙川二一号

廣瀬久忠^{〔カスレ〕} □□□

蔦ヶ谷竜太郎氏、労相官邸 渋谷 (46) 2.718 1.559

11月30日 (日) 浜松行 品川 1811 - 1220 浜松 浜松 235 - 303 掛川

川上嘉市氏訪問 改選ニ付候補者選定ノ件、資金ノ件

高瀬郵政大臣ト同車 (浜松 - 掛川) 会談 上記二件、富士山ノ件

12月1日 (月) 27433 掛川 935 - 静岡 308 - 456 三島

斉藤知事ト会见 育英会県費補助ノ件

大竹十郎氏ト会见

森田実氏ト会见 BSノ件

静岡 Rotary club へ BSノ謝品贈呈

尾崎、川野辺、日下部、川井諸氏列席

政局批判講演

緒明氏弔問 矢田部氏訪問

12月2日 (火) 登院

内閣委員会 10

西田悦夫氏来訪 内田明氏、伊東平治氏へ紹介
堤、城所、萩原三村長来訪

土岐章氏来訪

富士山審査会懇談会 結論ヲ得

12月3日 (水) 登院

本会議 10 在外公館名称等 参議院ヨビ集 一般職員給与支給特例

総会 945 緊急質問三

決算委員会 1 - (林業懇話会ノ為欠席)

林業議員懇話会 11 十三号室 伊豆林道続行 了承

金井氏 ^{〔ニジミ〕} □ □

木材運賃値上是正ニ付 国鉄営業局長津田弘孝

同貨物課長遠藤鉄二氏ト折衝ス

全国治水砂防協会定例会 12 -

12月4日 (木) 登院

Times ヲ読ム ^{〔ニジミ〕} B r y a ^{〔ニジミ〕} Gov. of American cons ^{〔ニジミ〕} [□ □] ment

^{〔ニジミ〕} Lawe □ l ^{〔ニジミ〕} Government of S □ □

Stalin Lenin □ ^{〔ニジミ〕} フ□ス

高橋道雄氏ヨリ宿舎割当解決方法成ルヲ聞ク

杉山昌作氏ヨリ地方自治審議会割当ノコトヲ聴ク

丹羽 氏ト会見、西田氏立候補ノ件

日記帳ヲ友野氏ニ内見ヲ乞フ

12月5日 (金) 登院 東京 1042 - 1153 田浦 318 - 438 東京

佐藤宮司外二名来院一境内地問題経過報告 10

田浦

内閣委員会 横スカ港 frigate 視察 竹下、横尾ノ、上条、成瀬、河井

決算委員会 1 - (欠)

帰村東京 1 - 4.13 静岡 4.30 -

12月6日 (土) 登院

遠江射場設置反対連盟代表ト会見 1030 衆第四会館控室
日本鋼管清水工場視察（川田重氏社長）断 □^{〔エジミ〕}

映画 2 -

近藤儀一氏来訪 全国区立候補ニ付テ 新谷□□□^{〔エジミ〕}
吉野信次氏、宮城県ヨリ立候補

（予備欄）

^{〔エジミ〕} 辻 畑順一 東海電気通信局長

12月7日 （日） 出社

報徳社常会 10 - 理事会 1 - 土岐章氏来講 河合適氏来宅
掛川町会議員有志 倉真村長等ト会見 11 -
大竹氏立候補勧誘ニ付、水野県議ト会談
報徳誌新年号へ執筆

12月8日 （月）^{〔朱 書〕} 米英と開戦 上京。登院 掛川 833 - 1.50 新橋
梶井剛氏（日本電信電話公社総裁）来訪 8.30
建設大臣を招待する会 4 - 錦水 建設大臣出席 砂防協会主催
決算委員懇親会 430 議長公邸（不参ノ電報ヲ呈ス）
富士山境内地還付申請ニ対スル決定通告

12月9日 雨雪（火） 登院

日本電信電話公社ノ件ニ付、佐藤、高瀬両大臣へ電話
薦ヶ谷労相秘書官ト会見
全国道路利用者会議 10 - 虎の門共済会館（電通省隣）
理育倶楽部ト夕食 5 南圃園
日曜日 銅日 山本純民作（東京） 鑄銅花瓶

12月10日 （水） 登院

本会議 10 -
内閣委員会 10 -
決算委員会 1 -
浜松地域給追加ノ件 藁品〔空白〕氏等来訪
政務調査会 3 - 船舶貸与協定説明、下田条約局長
東海振興会 4 - 帝国ホテル

全国治水砂防協会定例会 12 -

12月11日 (木) 登院

緑風会総会 10 - ST.解決方法ニ付テ 緒方副総理、戸塚労相説明
政府へ申入ヲ為スコト

知事会諸氏来訪 平衡公付金、起債拡張ニ付陳情 330

Masonic brothers dinner 5 - 6.40

浜松館常会 掛川町会有志来訪、高瀬郵政大臣、梶井社長ト会見

12月12日 (金) 登院

本会議 10 - 平田村農委牧野音一郎氏等来訪

緑風会総会 strike 解決ノ件。政府へ申入レ、自由党へ報告
決算委員会 1 -

内閣委員ノ統計局事業視察 130

緑風会政務調査会 1 -

新大統領ノ対日政策如何

愛知大蔵政務次官ト面談

12月13日 (土) 登院

緑風会総会 10 -

政務調査会 1230 アイク政権ニヨリ対日政策ノ変化如何
時事通信研究所長入江啓四郎氏

志太出張所常会

(予備欄)

[記載無し]

12月14日 (日)

藤原正治氏来訪 9 -

静岡市長晚餐 4 -、長岡、三養荘 (断)

報徳民生信用組合事ム所落成式十六年感謝祭 1+ 梅島町 1961

愛知大蔵政務次官講話

12月15日 (月) 登院 ^[朱書] 桑木博士命日

炭労スト緊急調整発動、石橋河野自党復帰、林益谷執行部辞任

本会議 10 -

緑風会総会

内閣委員会、本会議散会后、憲法第八条ノ議決ノ件

戸塚芳相見舞 柳原亨

駿河東館常会

12月16日 雨(火) 登院 ^{〔エジミ 朱 書〕} □□□命日八回忌

緑風会政務調査会 10 -、補正ヨサン案説明 愛知政務次官

補正ヨサン衆院可決

炭労スト解決 (Oct12 以来 65 日目)

12月17日 (水) 登院 ^{〔エジミ 朱 書〕} □□□□九回忌

本会議 10 -

政調会 米価問題ニ付テ 片柳又報君^カ

清掃法制定ニ付テ藤森君

林業議員懇談会 11 - 参議院食堂 運賃、減税、木材運賃折衝、松岡氏、三浦氏、

林業税制改正問題

全国治水砂防協会定例会 12 (欠)

Blue Lodge Masonic fellowship dinner ^{〔エジミ カ〕} □□□□ ^{〔エジミ〕}

12月18日 (木) 登院

鉄道運賃改正案 津田営業局長

緑風会政務調査会 10、租税及印紙収入補正ヨサン説明

愛知政務次官、平田主税局長

国会図書館建築設計ニ付テ、2 - 金森館長

運輸委員会 10 - 木材運賃問題 衆、運ユ委員会 11 - 同上

浜松市庁舎落成式 (欠)

見付森館常会 (欠) 萩間村永田武等 7 名衆院 ^{〔エジミ〕} □ 鈴木弥四郎氏照会

12月19日 (金) 登院

本会議 10 - 重要議員総会 10 -

内閣委員会 1 - 請願陳情

対馬開発関係打合会 12 -

田中武雄氏来訪 奥村重正氏ノ件 高瀬、佐藤、本多 各大臣ニ要^{〔エジミ カ〕} 請

大蔵大臣招宴 5、ヨサン、大蔵 緑風会委員河井、館、杉山

三田網町官邸 旧渋沢邸

片平氏ミカン一函 青森支部 林檎一箱

12月20日 (土) 登院 ^{〔朱書〕} 白沢博士命日 27,452日

名原民次郎氏議員会館来訪 9 - 来院 12

浦川町長武田氏代理 来院 12 -

緑風会創立事情座談会 2 - 附属公舎

田中、佐藤、下条、山本、赤木、河井

宮中御接伴 6 - 8,00

両陛下、村山侍医、入江、徳川両侍従、保科女官庁、河井、井女官

濁汁 アジフライ ポテト 若^{〔カ〕}鱸^{〔カ〕} 洋茸^{〔カ〕} 煮 米 アスパラガス

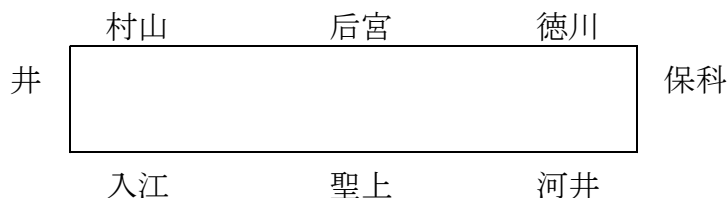
水 バナナ 珈琲

見付森館常会

(予備欄)

小林次郎氏 国分寺

戸塚重一郎氏 北品川



12月21日 (日) 登院

会館ニテ執務 2 - 4

緑風会出頭 4 - 6 ヨサン委員ノ打合会ニ出席

12月22日 (月) 登院

本会議 10 -

内閣委員会 10 - 憲法八条議決、外務省設置法改正可決

緑風会総会 10 - ヨサンニ対スル態度決定 会期延長ノ件

徳川会 (宗敬氏) 発起会 12 - 日本 club 三階

(事ム所、渋、桜ヶ丘 17、本多事ム所)

重友来京

第十五国会々期終了 (Oct.24 ヨリ 60 days)

12月23日 (火) 登院 ^{〔朱書〕} 皇太子御誕生
本会議 10 - 24年決算審査報告 不承認 カニエ氏
内閣委員会 10 - 竹岡長崎県知事来訪 河井、石黒面会
皇太子殿下御誕辰ニ付奉賀 拝謁
報徳社理事会及役員会 10. Pm 1 (欠席)
澤田廉三君来訪 3 - (不在欠礼) 後藤文夫君来訪

12月24日 (水) ^{〔朱書〕} 湯浅氏命日
本会議 10 -
内閣委員会 10 -
富士山宮司佐藤東氏外三名来訪 1. 副宮司来訪 10.30
澤田廉三氏来訪 2
総会 給与改訂
木村保安庁長官ノ晚餐会 530 三州 赤坂新町二ノ九
全国治水砂防協会定例会 12、徳 ^{〔エジミカ〕} 川、次 ^{〔エジミ〕} 田、田中、赤木、河井

12月25日 (木) 登院
本会議 10 -
緑風会総会 11 -
宮城県へ 全国治水砂防協会支部行 上野 pm7 ^{〔エジミ〕} □ 0
〔縦書一行：中央日韓協会 田中武雄氏〕

12月26日 夜雨 (金)
1.42 仙台 仙台ホテル泊 県庁出頭 am.11 Brother 軒中食 12.
駐留軍主脳 保安隊
仙台 2 - 330 中新田町 佐沢旅館 4 30 - 岩出山 - 川渡 - 6. 鳴子
門傳勝太郎氏 (支部長)、木村幸四郎氏 (副支部長)
井上東次郎氏 (前代議士)、関係町村長十余名 ^{〔エジミ〕} □ □
古川市長三浦篤氏来宿
鳴子ホテル 1 泊

12月27日 雪 (土) 車行 60 里
鳴子 830 - 10 古川市役所 10.30 - 石ノ巻 12.30 飯野川成田屋 ^{〔エジミ〕} □ □
(懇談) 飯野川 2 - 石巻 - 松島 - 塩竈 - 仙台 -

岩沼—大河原— 600 遠刈田（宮村）ホテル著
懇談会
遠刈田ホテル泊 おりみき茸

（予備欄）

宮城音五郎博士 宮城県知事
照井隆三郎氏 土木部長 大須賀利清氏 土木部次長
砂防課長
井上東治郎氏（元代議士）柴田郡村田町
門傳勝太郎氏（支部長）栗原郡岩崎村
木村幸四郎氏（県支部長）加美郡中新田町長
二瓶泰次郎氏 元貴族院多額納税議員 伊具郡丸森町
水 ^{〔ニジミ〕}□□吉氏（大木建設常務）仙台市北一番町

12月28日 晴（日） ^{〔朱書〕}要退院 仙台 11.40 —
遠刈田ホテル 8.30 — 松川工事事務所—白石町倉本堰堤— 11、白石町役場（懇談）
12—1、丸森 竹の家懇談—内川堰堤—丸森 430—520 仙台 桂月方夕食懇談
仁瓶泰治郎氏来訪
丸森町竹の中食
仙台、桂月晚餐 永田年氏発電会社理事

12月29日（月）帰京 7.20 著 在宅
帰宅 8³⁰ 熟睡 10—15
書類セイリ

12月30日（火）在宅
書類セイリ 晝換二階八晝六晝
来訪 黒河内透氏 1— 後藤謹之助氏 20.
年賀状ヲ認ム

12月31日（水）在宅 27,463
年賀状ヲ認ム 重友ヨリ著状 才判所出頭ノ件
公二君来訪
書類セイリ

昭和二十八年

一日（木）新年祝賀式 拝賀 1 — 参内 1240

二日（金）帰村

三日（土）

四日（日）常会（新年） ^{〔朱書〕}（高瀬） 二月一日ニ変更

五日（月）社長会（掛川館）

六日（火）

七日（水）島根県農業視察団来訪

八日（木） //

九日（金） //

十日（土）東参社長会及常会 河井

十一日（日）浜松 河井

十二日（月）川崎 神谷

十三日（火）志太

十四日（水）三島 神谷 ^{〔朱書〕}高瀬 東京 10 —

十五日（木）小田原 河井、駿河東神谷、南山 小笠郡

十六日（金）

十七日（土）

十八日（日）森 河井 ^{〔朱書〕}高瀬

十九日（月）南信、千代村 河井

廿日（火）見付 神谷

廿一日（水）

廿二日（木）

廿三日（金）

廿四日（土）

廿五日（日）

廿六日（月）

廿七日（火）

〔欄右に縦書き 2 行〕 柏木先生 三好先生

中津市浦町 長野豊治郎氏方 木材商 十八日以降

戸塚候補選挙事務局

事務長。 河井弥八

副事務長。 丸尾謙二 大石武雄 赤堀猪太郎 中山吉平（以上県議）

幹事長。 黒田節三（県農委） 代小野仁輔

幹事。 鈴木延平（河城農協長） 大石豊平（空白） 中山純一（報徳常務）

小野仁輔（報徳理事） 溝口茂雄（掛川町、医、医会副会長）、村松眞治（掛川町商工会理事）

大橋次一（農協、郡支部長） 染葉増夫（郡町村長会事務局長）

総務班。 長。 内田義一

石井清 松浦英一 萩田貞一 松本喜一 岩竹信太郎 山下芳彦

島居忠一 森平治 鈴木啓一郎

升允詩

慷慨捐身易 從容赴義難 仰看天上月 相照寸心丹
問訊井深淺 思量綆短長 身雖隱林隙 旭日照衣裳

誠敬為本 無人我之見 為功而不恃 威而不居 榮辱不驚

生死不易 志在拯物 不使一夫失所 《皇帝溥儀 寄工藤中將 語》

至誠為本 勤勞為主 分度為體 推讓為用

貞明皇后御歌 昭和九年四月 滿州国皇帝に贈られたるもの
若松の一もとそへる心地して 末たのもしき春の庭かな
我をしも御母の如くおほしつる そのみこゝろにしたしまれつゝ

鄭孝疋 詩 大正十三年十一月 溥儀皇帝紫禁城脱出之時

乘回風兮載雲旗 縦横無人神鬼馳

手持帝子出虎穴 青史茫茫無此奇

是日何來蒙古風 天傾地坼見共工

休嗟猛士不可得 猶有人間一禿翁

大難不死 必有後福 Jonestone

皇帝溥儀作

明々太陽 照臨萬方 皎々太陰 皎滿遐荒

道純氣一 無否無蔵 象彼初心 載魄同光

甘肅 定軍山 諸葛孔明之墓

武侯之墓 戎良書 (扁額)

漢丞相諸葛武侯之墓 中華民國五年 (石碑)

忠魂猶在 (額) 道路争膽漢相墳 (額)

大業定三分 伊呂洵堪称伯仲 死猶護蜀葬軍山 (額)

理事森田実《県庁耕地課》 日下部養一《事務局長 宮ヶ崎七三》 井野包次《東豊田小学校長》 塚本孫衛

審議員 横山博司 静岡市駒形通

〔一行全て印刷〕
参議院正副議長室及同各常任委員会専門委員会室電話番号

〔横書き〕
緑風会 58-0712 [略]

矢部善兵衛 福島、喜多方町 石川定子 《大阪市西成区柳通 民主報徳会 天下茶屋

大江清一 御影市（神戸商業学校経営）

静岡育英会 西銀座西 主事塩島金一郎 武蔵野市吉祥寺

次郎 関東自動車□□事△所

総裁 徳川家正公 代々木大山町 顧問徳川慶光公 静岡市上沓之谷

理事会長河井弥八 副会長江川英文 武蔵野市吉祥寺

副会長緒明太郎 《三島市》 児玉九十《北多摩、府中町明星高校長》

加藤虎之助 杉、新町（三九一三〇、三六） 三橋四郎次 小笠郡丹野（平田、三四）

西西乙《豊島区千早町（九五一二、四一四） 伊東弥恵治 千葉市亥鼻町

湯河元威 品、上大崎

高瀬壮太郎 杉並区井荻 中井光次 大阪市天王寺小宮町

依田耕一 青山南町 松井三郎 《市川市市川 世田谷区若林町》

戸塚昌宏 《鎌倉市極楽寺町》 中山均 文京区原町

浜松市三島町 柳町

小塩孫八 静岡市若松町（安倍川工業）

中、築地 安倍川工業

平野繁太郎 浜名郡北浜村貴布祢 杉山甕男 藤枝町益津（藤枝）

二七、三、一一逝

監事 平山洋三郎 文京区小石川原町一木輜太郎 駒込曙町 増田完五 渋谷上智町

〔欄外〕望月乙彦 大竹十郎 水野成夫 朝比奈幾太郎 鈴木興弘〕

（旧）静岡県同胞援護会 東鷹匠町

理事会長 河井弥八 副会長 小塩孫八 静岡市若松町 同、中山均 文京区原町
常務 深澤鑛二 西千代田町 理事 白井皎二 大仁町 同太田はる 袋井町川井
理事 戸巻俊一 吉原町依田原 長谷川保 三方原村 聖隷保養農園

廣瀬修造 西草深町 大井新一 志太郡高洲村

監事 三橋四郎次 重田光晴 澤村久右衛門 下田町坂下

評議員。加田萬藏 下田町須崎 天岫接三 沼津市丹羽廉芳《庵原村大乘寺》 石丸階

山城多三郎 金谷町 酒川敬三郎 熊切村 木全大孝 浜松市成子 三上陽三 庵原村 荒木孝繼

事業 緑寮(母子寮) 静岡市緑町 静岡職業補導所静岡授産所 上足洗 附属保育所

生活相談所、静岡宿泊所 東鷹匠 日吉町保育園 日吉町(理事長 稲森銀次郎)

《財団法人》福祉寮湯の家 伊豆長岡町(理事長、白井皎二)(長) 渡辺鋭 弁天島同胞寮 理事長堀江清一 寮長山形春人

静岡県東京事務所 銀座西(長) 鈴木辰夫 同東京出張所〔以下抹消〕 鈴木辰夫

財団法人培本塾 川崎町静波 塾長小田原勇

〔欄外…昭四、六、一、三 法人設立〕

財団法人興農学園 西浦村久連 神島 長古里和夫 理事田中次郎 芝、葦手町 兜町

財団法人静岡県勸善会 静岡市長谷町 理事長小塩孫八 評議員河井

社団法人全国治水砂防協会《建設省砂防課内》 会長徳川家正 理事長河井弥八 常務赤木正雄

同静岡県支部《県庁河川課内》 支部長河井弥八

財団法人静岡福祉事業協会 東鷹匠町 会長河井弥八 常務深澤鑛二

〔欄外…B. S.〕

三島通陽 代々木上原町

静岡県連盟、(長) 河井弥八 Commissioner 尾崎忠次 安西 理事長川井健太郎 長谷町

新野治 〃 井伊谷 三三、一一、一七 高平勇 三ヶ日村福長 三〇、一、二
 青山喜六 豊橋市老松町 二八、九、一二 小沢豊 豊橋市飯村町東川 一四、一一、七
 石川彦作 〃 牛川町南郷 三三、一一、八 磯部幸一郎 豊橋市飯村町本郷 三〇、一〇、二九
 磯部政佚 豊橋市飯村町茶屋 三一、三、一〇 近田儀一 宝飯、一宮村野添 一八、一一、一八
 田村本次郎 新城町札木 三一、三、三〇 近藤定一 碧海六ツ美村正名観音 三八、三、二〇
 牧原保平 宝飯、形原町上辻 二二、七、二九 浅岡源悦 幡豆、平坂町富山本郷 二六、一〇、六
 天野兼松 幡豆、一色町大塚古新 三六、九、一〇 柘植和平 幡豆、平坂町国森不動東 三七、一、一〇
 牧嶋忠夫 下伊那、下条村睦沢 三〇、四、一〇 石井信 香取神代村平山 二五、七、一五
 関谷守穂 〃 川路村 四一、二、一一 清水利一 香取橘村名出 三八、五、二九
 小林十一 中頸城斐太村五日市 四五、三、九 中村三次郎 新潟市平島、筒井方 岩船、山辺里 四三、三、二八
 片田温 中頸城直江津町至徳寺 三二、二、二五 瀬川誠喜 義 天田、金山村長尾
 岡沢多六 篠ノ井町 村田忠吉 庵原村
 鈴木隆平 宇刈村 中島藤吉 服織新聞
 加藤仁平 藤沢市鵜沼西海岸 草場弘 《世、成城町 千葉、香取、多古町》
 綿谷新之助 埼、北足立、朝霞町膝折 南郷三郎 白金三光町 報徳同志会
 大村霽 《札幌管区経済調査庁 監査部長》 馬越恭一 北日ヶ窪
 中野智嚴 《足立区梅田町 足立報徳社長》 渡部英一 福島、大沼宮下村大登
 小出孝三 木田区富士見市 平宿、中口住宅 「欄外」 太子堂大田区南千束 上浦種一 港北区篠原富士塚町
 津村卓郎 《緑十字運動日本青年植樹団理事長 千代田区大手 全国燃料会館内》 小山豊作 高田市南城町
 小林篤一 北海道美唄市峰延 山田利忠 《札幌市北四条西 北海道報徳社長》
 武内増雄 《報徳二宮神社宮司 上都賀、今市町》 高橋弥次右衛門 同上神社崇敬者同志会長

和田本、八二二(中野)三、八、四三、四方取次 大学八五―二、一三二 二、一三六
 常務 中山純一 桜木村上垂木 岡田分平 倉眞村
 中村達一郎《浜松市天神町》大村原一 静岡市大谷
 草山惇造 小田原市幸町 水野政治 磐田市見付町
 片平九郎左衛門《庵原村杉山(庵原)》佐々井典比古 横浜市港北区太尾町
 監事 戸塚廉平 倉眞村 野尻仁平 森町 渥美喜一 光明村船明
 榛葉良之助 《初倉村湯日》野末里平 《小野口村小松》 鷺山淑夫 土方村上土方
 杉山仁平 山梨町
 顧問 中川望 武蔵野市吉祥寺 佐々井信太郎《港北区太尾町 明七、五、二二》
 鷺山恭平《土方村上土方 明治五、一、二四》《徒七 勲七》田辺三郎平《三倉町(三倉) 一 明二、六、一六》
 参事 岩竹信太郎 掛川町 太田民次郎 袋井町川井
 上村良平 浜松市神立町 藤田訓二 庵原村原
 講師 丸山方作 新城町石名号、慶三、一二、一一 平野友五郎 金指町
 河西稟衛 三ヶ日町鶴代 磐田市県大農学部 四一、二、九 伊藤恒治 鎮玉村渋川
 服部源太郎 静岡市長沼 二〇、一、一六 寺田美佐久 坂部村坂部 二四、一二、三一
 山本福吉 金谷町菊川 一三、三、二五 寺田作市 坂部村坂部 四〇、八、三
 小柳直吉 杉谷 二三、一、二三 佐藤雅雄 上西郷 四二、一二、五
 松浦清三郎 五明 三六、八、一四 大塚実 日坂村日坂 大九、一一、六
 戸倉儀作 愛野 二九、一〇、二二 藤田久蔵 中川村中川 一八、一二、二
 田村勉作 白須賀町境宿 二七、四、二八 井村豪 〃 〃 四〇、一〇、一
 石原民次郎 井伊谷村花平 二二、三、一七 大谷英一 井伊谷村井伊谷 三九、一一、一五

河西豊太郎《杉、西田町 中巨摩郡三惠村》 高木八尺 世、成城町

松尾嘉右衛門 戸塚区戸塚町 寺尾博《藤沢市片瀬東〇（片七） 静岡聖一色、神奈川区桐畑、坂田種苗会社》

安倍能成 豊、目白町 学習院長舎宅 赤木正雄 世、北沢

〔一行赤ペンで追記。ニジミ判読不能〕

〔欄外・佐藤惣之助 仙台 柳生上河原 坂野鉄次郎 岡中、御津、野谷村菅野 二七、六、五逝 〇常〇氏 芦屋市宮塚町〕

佐藤助九郎《富山、東砺波、柳瀬村（九段） 富山市桜木町 千代田区三番町》 三橋四郎次《小笠郡小笠村丹野 静岡市

大岩町》

塩田團平 秋田、平鹿、沼館町沼館 下條康磨 麴町六番町

瀬古保次 世、上馬 入江貫一 世、玉川奥沢町 藤田重民 那覇市長 二七、二、七逝去

大谷五平《西白河郡五箇村 白河市富士小毬》 明石照男 《大磯町 東小磯》 小坂順造 世、岡本町

次田大三郎 大塚仲町 田中武雄 吉祥寺 坂千秋

平沼亮三 横、西区軽井沢 前田多聞 《港北区木尾町（大塚） 五四木 伏々木木山町 文京区原町》 丸山鶴吉 洪、大和田町

油井徳蔵《福島市宮下町 洪、桜ヶ丘町》 金岡又左衛門 富山市袋町

片倉兼太郎 《小石川、金富町》 白澤保美《下目黒》 原口初太郎《杉、西高井戸》

伊沢多喜男 橋本萬右衛門 郡山市大町 熊谷三太郎 福井市豊島上町 築土八幡町

磯貝浩 《名古屋、昭和区桜井町》

大日本報徳社 掛川

理事 社長 河井弥八《二〇、二、二七任 二三、二、二五再》 《振替口座 横浜一、三二一 副社長 神谷慶治 杉並、

住所録氏名欄

重友 12-8-27 敏子 7-8-5—ゆき 18-6-4—ゆき 22-11-7—修 24-5-9 泰治 8-2-13—秀子 12-11-29—誠 24-4-27 西宮市今津
出在家町

興三 11-7-14 館林三喜男《佐賀市赤松町 中ノ小路》 英夫 西松浦郡多久次神楽町

昇三郎《芦屋市平田町》 昇二郎《大坂村 寺部》 角替利策《保土ヶ谷区岩崎町 吹田市片山藤ヶ丘》

貞一 《西根岸坂下町》 三島甫 《豊能郡箕面町半丁(倉敷市中洲町)》 神谷文吉《中泉》

鈴木二平 《土肥町土肥》 寛一 土肥 矢田部盛枝 《三島市宮町》 伊沢母堂 《市谷左内町 紀方》 公二 北沢

稲玉むめ義知 《桃郷》 市川信吉《埴科郡 坂城町》 小林信次《更級郡村上村》 長井眞琴 越前堀 中央学院

石間尚 《御仮屋町》 信夫 《大岩宮下町》 壬生弥 《新居浜市 前田、湊視寮》 督也

山崎赳 《新宿区諏訪町、諏訪森寮》 大森健一郎 杉並区永福町 山田惇元 母しつえ 家代

川島悦郎 《吉原市本町》 廉平 《同市依田原》 禮一

鮫島茂 港北区菊名町 藤波収 北海道電力会社(世田谷二ノ一三四二)

羽田亨 京都、上京、大宮田尻町 原泰一 世、野沢町

小汀利得 《太田、調布鶴ノ木》 大谷正男 《新、若葉町》

渡部信《文京、上富士前》 渡辺覚造《水戸市表五軒町(水)》 世、羽根木

河合良成 目、芳窪 河井弥八

川上嘉市 《浜、広沢町 目、高木町》 金森徳次郎 世、代田

田島道治 千、紀尾井町 中山寿彦 鷺宮

野村嘉六 豊、椎名町〔欄外〕二七、一、一七逝〔〕 嗣敬六 里澤富次郎 長、南佐久、穂積村(畑)

山崎延吉 碧海郡安城町 町村敬貴 《札幌郡江別町対雁 中野、打越町》

河井弥八日記 河井弥八手帳 一九五二年

2014年8月31日 第一刷発行

編集・解題 前山亮吉

森山 優

校訂 河井重蔵・弥八研究会

発行者 静岡県立大学大学院国際関係学研究科

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1

本ワーキングペーパーにおける議論は、研究会の見解であり、大学を代表するものではない。

Working Paper Series

Graduate School of International Relations
University of Shizuoka

- 01-01 Hirohisa Kohama, *Misunderstandings on Japan's Economic Development: Japan's Experience and its Lessons for Transition*, September 2001.
- 01-02 Yasuyuki KOKUBO, *The EU Enlargement: Its Implications for Europe and Asia*, September 2001.
- 01-03 小浜裕久「日本の ODA—その歴史的展開」(*Japan's ODA: A Historical Overview.*)
2001 年 11 月.
- 01-04 小谷野俊夫「グリーンズパン議長の金融政策」(*An Evaluation of US Monetary Policy by Chairman Greenspan*) 2002 年 3 月.
- 02-01 Masaharu Hishida, *China and the WTO: The Effect on China's Sociopolitical Stability*.
Summer 2002.
- 03-01 梅本哲也「核兵器による秩序」と「RMA による秩序」 2003 年 7 月.
- 03-02 小浜裕久「グローバリゼーションと南北格差」 2003 年 9 月.
- 03-03 長谷川純一・小浜裕久「ODA 改革—我が国援助政策の転換とその経済学的意義」(*Japan's ODA: Its Policy Change and Economic Implications*) 2004 年 2 月.
- 05-01 小浜裕久「援助と政策一貫性—日本の国際貢献を考える」 2005 年 10 月.
- 07-01 小浜裕久「アジア通貨危機と IMF・日本」 2007 年 10 月.

Working Paper Series

Graduate School of International Relations
University of Shizuoka

- 09-01 小浜 裕久「世界経済危機と資本主義の将来」2009年9月.
- 10-01 飯野光浩・小浜裕久「アジア危機、世界経済危機とグローバル・インバランス」2010年11月.
- 12-01 梅本哲也「米中関係と大量破壊兵器不拡散」2013年2月
- 14-01 前山亮吉・森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）『『河井弥八日記』『河井弥八手帳』一九五二年』2014年9月